

教科用図書に関する学校意見

令和6年(2024年)7月16日

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	国語
教科用図書名	新編 新しい国語1・2・3	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・多様性及び共生社会の内容があってよい。
- ・1年次の古典教材の導入として内容が不十分。
- ・著名な作家が出稿し、視点が充実している。
- ・朗読、詩、表現技法について、それぞれの単元に「説明」が多い印象。親切なのか、生徒の思考を阻むものになるのかは不透明。
- ・他の発行者に比べ情報量が多い。一方で、図化が足りず、わかりにくく思う。中学校1年生P176「構成メモ」など。
- ・分かりやすさという点で、活字が小さいページ、特に初めの方が、気になる。
- ・単元ごとの読み物が少ない分、言語活動などを取り入れやすい。
- ・「伏線」が強調されている。
- ・「推敲」の指導内容の記載が曖昧である。
- ・かねてから教科書に収録されてきた定番的な教材に加え、近現代作家も時代網羅的に取り上げられており、適切な内容と考えられる。
- ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
- ・かねてから教科書に収録されてきた定番的な教材に加え、近現代作家も取り上げられており、適切な内容と考えられる。
- ・漢字のふりがな等、適切な配慮がなされていると思う。
- ・「てびき」があり、その単元を学ぶにあたって身に付けるべき力が書かれている。
- ・教材は適切である。
- ・「てびき」に学び方や学習の進め方が記載されている。
- ・「言葉の力」に、指導事項が掲載されている。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成 として、「思考のヒント」や「未来を考えるための9つのテーマ」が掲載されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・1年次の「さんきち」は内容として適切か疑問がある。
- ・基礎的・基本的な内容がしっかりしている。
- ・各領域の分量が適切である。
- ・主に現代文の分量が多く、生徒によっては文を追えないといった可能性があると感じる。
- ・各領域の教材が充実している。
- ・「情報」の処理の仕方など、最後にまとめられていて、見つけやすい。
- ・「てびき」が少なく、ポイントをおさえにくい面がある。
- ・学年が上がるごとに小説作品の抽象度が高くなるように作られている。
- ・読書教材が豊富で、たくさんの文章にふれることができる。また、詩の教材に詩の読み方に関する解説文が付されており、学ぶ上でのポイントを知ったうえで授業に臨むことができる。
- ・漢字や文法、言語などについての単元が複数確保されていて、充実している。
- ・詩歌に鑑賞文も掲載されているため、鑑賞の視点を学びやすい。
- ・「てびき」等で各単元の進め方が示されている。
- ・資料は主に巻末にまとめられている。
- ・単元の系統性が把握しやすく表示されている。
- ・構成及び分量は適切である。
- ・資料の量は、発達の段階から考えると少なめである。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・字が大きめで、見やすい。ただし、2段になっているページは1行への文字量が少なすぎて逆に読みにくい。
- ・ページで単色の傾向が高く、見にくい印象がある。
- ・図表が見やすい。
- ・簡潔かつ平易な文章で書かれている。
- ・書く分野での例文や、読む分野の教材での写真など資料が多い。一方で1ページあたりの文字量が多く、文字の大きさにめりはりがないため読みにくさを感じる生徒もいるのではないかと感じる。
- ・「学びの扉」の項目において、漫画を用いて興味をひきつけてから学習に入っている工夫がなされている。
- ・文字が大きめに印刷されており、見やすい。挿絵や図版が教材ごとに配されている。色づかいは抑えた色合いのものが多く、目にやさしいと感じられる。
- ・カラフルで、絵や写真、図などが多用されている。
- ・行数が数えやすいよう、文章の下に「・(点)」が打たれている。
- ・挿絵のキャラクターが現在の中学生が親しみをもちやすい。
- ・写真、挿絵が適切にあり、視覚的にわかりやすい。
- ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。
- ・一貫性をもった記述となっている。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・全体を構成から見通しやすい。
- ・各単元のつながりが適切でスムーズに行える内容になっている。
- ・学習の進め方が載っているので、学習の見通しが立てやすい。
- ・目次のほか、領域別教材一覧が付されており、全体の構成が見通せるほか各領域において身につける力についても確認することができるようになっている。一方で、目次が主要教材と補助教材が上下段に分けられているのがやや見づらく感じる。
- ・全体構成は見開き1ページでより簡潔に示されている。
- ・学習の見通しが右側まとめられて表示されておりわかりやすい。
- ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。
- ・キャラクターを活用して、学習のポイントを示している。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意見

- ・2次元コードを使いやすくする工夫が必要。
- ・2次元コードがあり、デジタル教材へのリンクもしやすい。
- ・2次元コードのリンクは動画や話し方の音声など、活用の幅が広いと感じる。
- ・2次元コードは多く掲載されている。
- ・2次元コードの内容は教科書に記載されている。
- ・2次元コードについてコンテンツ一覧でまとめられている。
- ・2次元コードでのコンテンツが豊富である。
- ・2次元コードに何がおさめられているかわかる。
- ・コンテンツ一覧があり、どのようなデータがおさめられているかがわかる。
- ・一目見て2次元コードに何が載っているのか分かる。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意見

- ・裏移りせず、紙が良い。
- ・グループディスカッションの教材がある。
- ・内容が発展的なため、発達の段階によっては家庭学習用の補助があるといい。
- ・オーソドックスなつくりの安心感の中に、探究的な学びにつながる工夫も多く、使ってみたいと思わせる教科書である。
- ・「他教科で学ぶ漢字」という項目が設けられている。
- ・SDGsに関する記載はあまり見受けられない。
- ・学年末の教材がSDGsに関するものが扱われるなど、複数のテーマが扱われており分量が適切である。
- ・「生活に広げよう」という項目があり、活用の幅を感じる。
- ・SDGsへの配慮がある。
- ・「未来への扉をひらこう」には、現代的な課題について考える教材が掲載されている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	国語
教科用図書名	現代の国語1・2・3	発行者	株式会社三省堂

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・著名なアーティストなどの現代の歌詞も載っているのが新しい。
- ・文法が文法書のようにきちんと解説されていて良い。練習問題がもう少しあるとさらに良い。
- ・読解力の手立てが3年間にわたって継続して学習できるのが良い。
- ・書くことの指導教材も充実している。
- ・著名な作家が多い。
- ・P156「情報の信頼性～」など教材を活用して思考力・判断力・表現力等の育成ができるような手立てがある。
- ・巻末の「読書の広場」「百人一首」など資料面が豊富。
- ・「推敲」の観点や仕方が明確に記載されている。
- ・とくに論説文等において、玄関扉やじゃんけん、動物園、広告と、生活になじみのあるキーワードや題材をもとにした教材が多数あり、生活に即して理解しやすいと考えられる。
- ・「読み方を学ぼう」の項目において、批判的な読み方や三角ロジックなど、読むことじたいの方法論が豊富に示されており、読みに関する確認ができ、指導がしやすいと考えられる。3年間を通して巻末に付録としてまとめられている。
- ・教材には、現代作家による文章など時代に応じたものが多く掲載されている。
- ・「学びの道しるべ」という名前で目標の確認と振り返りができるようになっている。読み方や学びの深め方も系統的に示されている。
- ・生徒が楽しめる内容となっている。また、基礎的な内容が多い。
- ・「漢字を身につけよう」がいい。短文が面白い。
- ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
- ・定番教材に加え、アーティストや作家など、生徒が親しみをもちやすい有名人のコラムがあり、興味を引きやすい。
- ・各単元で「学びへの扉」があり、その単元で身に付けるべき力が書かれている。
- ・基礎・基本の確実な習得に関する学習内容については、特化して取り上げられていない。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成については、「思考の方法」「語彙を豊かに」「読みを学ぼう」等で示している。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・発展的な内容も多い。
- ・「字のない葉書」は他の出版社の教科書では中学校2年生の配置だが、中学校1年生に配置している意図はどこにあるのか。
- ・実際の授業に即した単元内容が示されていて、授業を進めやすい形になっている。
- ・「読み方を学ぼう」シリーズのコラムで、基礎的・基本的事項をおさえている。同様の内容が各単元、および巻末にもまとめられている。
- ・巻末の資料が豊富。言語や情報活用の方法も確認しやすい。
- ・同じ領域の活動が、学年が上がるごとに高次化していくように作られていて、段階を経て発展的な内容が学習できるように作られている。例:スピーチ(1年生)→プレゼンテーション(2年生)→パブリックスピーキング(3年生)
- ・「学びへの扉」等で各単元の進め方が示されている。
- ・単元ごとに多くの資料が掲載されている。
- ・資料が多いため、教科書自体はやや厚くなっている。
- ・小学校からの円滑な接続についても意識されている。
- ・構成及び分量は適切である。
- ・基礎的・基本的事項等については、具体的には挙げられていない。
- ・発達の段階から考えて資料の量が多い。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現	
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現	
○一貫性をもった記述	
意	見
	・字の太さや大きさにメリハリがあって見やすい。重要な語句を見つけやすい。 ・色がきれいで見やすい。 ・色調がビビッド。 ・レイアウトなど見やすい。 ・表紙含めカラフルで生徒が感心をもつ表現になっている。 ・1部の挿し絵が不自然である。 ・カラフルで、絵や写真、図などが多用されている。 ・目を引く多様な挿絵がある。 ・写真、挿絵が適切にあり、視覚的にわかりやすい。 ・キャラクターのコメントが理解を深めやすくしている。 ・実際の資料(写真)ではなく、イラストが多い。 ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。 ・イラストや絵の位置が様々である。
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意	見
	・軽くて良い。 ・見通しが立てやすい。 ・全体の構成や学習活動のまとまりがわかりやすい。 ・学習の流れが分かりやすくなっている点が良い。 ・学習内容の「ポイント」が明確に掲載されている。 ・各単元末に付されている「学びの道しるべ」により、内容整理→読みの深化→自身の考えの深化という筋道が立てられていて、段階を踏んで学習していけると考えられる。 ・1ページ内の情報が適切。 ・全体構成は見開き3ページにわたって説明されている。 ・見出しなどにデザイン性があり、親しみやすいものになっている。 ・学習の進め方が掲載されているので、学習の見通しが立てやすい。 ・3ページにわたって、全体の構成を示している。 ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・一覧での掲載がある。
- ・見やすく活用しやすい。
- ・内容に動画が少ない。
- ・スピーチの音源がないなど、デジタル教材が薄く感じられる。
- ・2次元コードは多く掲載されている。
- ・2次元コードの内容は教科書に記載されている。
- ・2次元コードコンテンツなどがあり、「読み方」解説動画などが利用できる。
- ・2次元コードに何がおさめられているかわかる。
- ・一目見て2次元コードに何が載っているのか分かる。
- ・漢字の学習ができるようになっているが、1人1台端末上でも読み書きの記入ができるとよい。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・環境問題への教材が目立った。
- ・SDGsを取り入れている。
- ・SDGsの観点で意見文を書く単元等あり、探究学習もしやすい。
- ・資料編が充実しており、他教科との関連が図りやすくなっている。
- ・SDGsに関する記載はあまり見受けられない。
- ・対話を促す活動が「学びの道しるべ」など随所で促されている。
- ・SDGs等、現代社会の課題に関するページが設けられている。
- ・SDGsへの配慮は見受けられない。
- ・教材の中で、SDGs等について触れている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	国語
教科用図書名	伝え合う言葉 中学国語1・2・3	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・呉音・漢音・唐音などレベルの高い項目がある。負担になるのではない。
 ・漫画に関しての内容は面白そうだが美術っぽく、メディア学習と離れてしまいそう。
 ・「学びナビ」が非常にわかりやすい。目標の共有になるので助かる。
 ・なじみの少ない作品が多く、評価が難しい。
 ・思考力・判断力・表現力の育成に向けての教材として掲載順序に疑問がある。
 ・最近の著名な作家も入っており、生徒にもなじみがある。
 ・中学校1年生P24「桜蝶」のような単元は物語文の読み方を学ぶのに効果的だと感じた。
 ・中学校2年生P22「タオル」の学習をするところで、「象徴」のようにその単元を通して学習する技能の説明をすることで、生徒が自身の学習を認知することができると思う。
 ・生徒が興味をもちそうな題材が充実している点が良い。
 ・「推敲」の観点や仕方が明確に記載されている。
 ・かねてから教科書に収録されてきた定番的な教材に加え、近現代作家も時代網羅的に取り上げられており、適切な内容と考えられる。
 ・人工知能についての文章など、時代性をふまえた教材がとりあげられている。
 ・「学びナビ」として学習のポイントを提示している。予習がしやすい。
 ・各単元の最初に「目標」が設定され、最後の「みちるべ」の中で「振り返り」ができるようになっている。
 ・すべての領域でSDGsとの関連性を図っており、社会との結びつきが分かりやすい。
 ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
 ・人工知能についての文章など、時代性をふまえた教材がとりあげられている。
 ・「学びナビ」として学習のポイントを提示しているため、予習がしやすい。
 ・古典を現代文や図解を用いて説明しており、古典に苦手意識がある生徒も理解しやすいと考えられる。
 ・「言葉・情報」の学習が充実している。
 ・「学びナビ」として、学習のポイントを明示している。
 ・「学びナビ」で、基礎・基本の確実な習得としておさえるべきところが明示されている。
 ・『ベンチ』『夏の葬列』、村上春樹の『バースデイガール』は発達の段階から考えて高度である。
 ・「みちるべ」には、学習の進め方が示されている。
 ・「学びナビ」には、指導事項が掲載されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・3年次に村上春樹やさくらもこの作品があるが、すべて巻末の教材である。
 ・系統立っている。
 ・領域がまとまっている。
 ・各領域の分量が適切でないものもある。
 ・読みの観点として、「象徴」表現に注目させている点、重要学習事項を押さえている。基礎であるとともに、深い学びにつなげていける。
 ・巻末のとじ込みが「話し言葉」であり実践的である。
 ・各教材の補助教材が充実している。
 ・読書教材が豊富で、たくさんの文章にふれることができる。
 ・漢字や文法、言語などについての単元が複数確保されていて、充実している。
 ・「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の単元が各学年ともに5単元以上あり、分量は充実している。
 ・「学びナビ」が単元の最初にあるため、読み方のポイントを具体的に意識して読みやすい。
 ・巻末資料は大変豊富であるが、文章量はやや多い。
 ・「学びナビ」「みちるべ」等で各単元の進め方が示されている。
 ・単元ごとに資料が掲載されている。
 ・余白が多めで、ページごとの見やすさを考慮している。そのため、教科書自体は厚い。
 ・各教材の補助教材が充実している。
 ・「学びナビ」が単元の最初にあるため、読み方のポイントを具体的に意識して読みやすい。
 ・単元ごとで理解する部分とそれを活用する部分があり、横断的な学習をしやすいと考えられる。
 ・読み物教材の量が多いように感じる。
 ・全体的に分量が多い。
 ・資料の量は適切である。
 ・「学びナビ」には、各学年で身に付けなければならない指導事項が網羅されている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・シンプルで文が多く、見やすい。
- ・資料や絵が足りなくはないが、もう少しあると良い。
- ・配色が昔っぽい。
- ・色味が落ち着いていて見やすい。
- ・文章は文字が大きめだが、漢字や「広場」などのページは小さくなる。
- ・中学校1年生P227グラフなどが小さい。
- ・新出漢字のポイントが大きく、文字も太いので学習しやすい。巻末にまとめられている各学年で学習した漢字も大きく掲載されている。
- ・教材ごとに、理解を助ける図版やグラフ等が掲載されているほか、色づかいもカラフルに感じられ、生徒が親しみをもって授業に臨めると考えられる。
- ・古典の口語訳が下段に記載されていたり、原文の横に記載されていたりと、ばらつきを感じる。
- ・写真が多く、レイアウトにも凝っている。
- ・カラフルで、絵や写真、図などが多用されている。
- ・行数が数えやすいよう、文章の下に「・(点)」が打たれている。
- ・教材ごとに、理解を助ける図版やグラフ等が掲載されているほか、色づかいもカラフルに感じられ、生徒が親しみをもって授業に臨めると考えられる。
- ・写真、挿絵が適切にある。
- ・文字サイズにばらつきがあり、視覚的にわかりにくい。
- ・シンプルに記述されている。
- ・字体が細い。単元内でも文字の大きさが統一されていない。
- ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・折りたたみページがないので、めくりやすい。
- ・全体を見通しやすい。
- ・「言葉と出会う」など、学習の観点を示す前置きのようなものがある。活用のしかたは検討が必要。
- ・やや厚め。
- ・紙質が軽い印象。
- ・学習活動に必要な手びきが生徒にとっても指導者にとっても有効。
- ・学びナビによって学習の見通しが立てやすい。
- ・教科書の巻頭に学ぶ内容と身に付けたい力が一覧で提示されているのがよい。
- ・資料が充実しているため、作品の情報を理解しやすい。
- ・全体構成は見開き2ページにわたって説明されている。
- ・学びナビによって学習の見通しが立てやすい。
- ・先に知識を教えてから練習、という流れがある。
- ・1ページ内の情報量が適切である。
- ・教材の分量が多い分、製本が分厚くなっている。
- ・各教材の最初に登場するキャラクターの言葉が、学習の導入となっている。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意	見
・2次元コードがあるが、わかりにくい。 ・2次元コードがあるが、その明確性では他の発行者に劣る。 ・2次元コードは目次にのみのっている。 ・2次元コードは多く掲載されている。 ・2次元コードの内容は教科書に記載されていない。 ・2次元コードがあるが、何のデータがあるのか一目ではわからない。 ・2次元コードには見出しが付いていないため、何が載っているか開いてみないと分からない。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意	見
・3年次に対話的な力の育成に向けた教材が充実している。 ・家庭学習についても補助教材があるとよい。 ・全学年にそれぞれSDGsのそれぞれの目標について触れた文章を掲載しているため、生徒が繰り返しSDGsについて考えることができる。 ・本の紹介が多く、日常的に読書活動へのきっかけをつかみやすい。 ・レポートの書き方、学習用語のページがあり、便利である。 ・「SDGs」の内容が人権作文等と結び付けて用いることができる。 ・全体構成の記載の中に、SDGsについての記載がある。 ・全学年でSDGsに着目した教材を掲載している。 ・現代的な課題に向き合えるような教材を掲載している。 ・SDGsへの配慮がある。 ・SDGsについては、「言葉の地図」で触れられている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	国語
教科用図書名	国語1・2・3	発行者	光村図書出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・「漢字の造語力」や文法への扉が独特すぎて扱いにくい。
- ・読ませたい、扱いやすい教材が多くて良い。
- ・教材はよい。
- ・「話し合う」ことの学びが充実している。
- ・「聞く」ことへのクローズアップがある。
- ・余白が減り、文字が大きく見やすくなった。
- ・中学校3年生P129「複数の意見を読んで、考えよう」など、主体的・対話的で深い学びに活用できる教材がある。
- ・中学校2年生の平家物語の単元で、平家や源氏の資料が掲載されており、便覧などを購入しなくても学習に必要な資料を提示できると感じた。
- ・主体的については、学習指導要領に沿った目標と振り返りが明示され取り組みやすい。
- ・学び方は、扱いやすいと思う。
- ・新出漢字を用いた熟語などが一緒に紹介されているとなおよい。
- ・「推敲」の観点や仕方が明確に記載されている。
- ・かねてから教科書に収録されてきた定番的な教材に加え、近現代作家も時代網羅的に取り上げられており、適切な内容と考えられる。
- ・漫画やSNSについての文章など、時代性をふまえた教材がとりあげられている。
- ・中学生のうちに読ませたい定番の教材(文学的文章)を多く掲載。
- ・「説明的な文章」の内容が、自然科学、社会科学、人文科学など、様々な分野からバランスよく取り入れられている。
- ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
- ・学習指導要領に沿った目標と振り返りが明示され取り組みやすい。
- ・説明的文章では、教材によっては読書教材(資料)として扱われているものの方が扱いやすい。
- ・各単元で学習の「目標」があり、その単元で身に付けるべき力が書かれている。
- ・長く読み継がれている文学作品がある。また、近年人気の作家の作品も掲載されている。
- ・主体的な学びのために「学びへの扉」が示され、学習の流れ、学習のポイントが明示されている。
- ・語彙ブックがあり、言葉の世界を広げられるようになっている。
- ・説明的な文章と関連付けた図や表、グラフ等の資料が見やすく分かりやすい。
- ・中学校国語科として押さえておきたい『少年の日の思い出』『走れメロス』『故郷』等の名作が掲載されている。資料編には、『坊ちゃん』『形』『高瀬舟』も掲載されている。また、中学生が主人公である、本教科書書き下ろしの小説も掲載されている。
- ・古典の資料が見やすく正確で分かりやすい。
- ・単元の最初に示されている「学びの扉」には、学習の流れが明確に示されている。
- ・「学びのカギ」には、押さえておかなければならない指導事項が全て網羅されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・伊坂幸太郎や驚田清一の作品が掲載されており、興味を引き出しやすい。
- ・全学年が系統立っており、古典の資料が充実した。
- ・各単元の構成、発展性など適切で活用しやすい。
- ・学習指導要領に示された標準時数に照らし、適切な分量であると考えられる。
- ・漢字や文法、言語などについての単元が複数確保されていて、充実している。
- ・見通しを持って学べる構成となっている。
- ・教材の掲載が右ページから始まり左ページで終わるようになったため、読みやすさが増した。
- ・最後に「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」といった名前で充実した情報がまとめられている。また、「広がる読書」や「読書案内」として、各学年多くの本が紹介されており、表紙の写真やあらすじが書かれているので生徒の興味をひくものとなっている。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させた形で、単元が設定されている。
- ・「学びへの扉」等で各単元の進め方が示されている。
- ・資料は主に巻末にまとめられている。
- ・学習指導要領に示された標準時数に照らし、適切な分量であると考えられる。
- ・適切な分量である。
- ・「学びのカギ」として、「説明的な文章を読むために」など学びをまとめる折込があり、基礎的・基本的事項がおさえられている。
- ・構成及び分量は適切である。
- ・資料の量も適切である。
- ・学年ごとに「語彙ブック」が付いており、語感を高め、語彙を広げるのに役立つ。
- ・読書紹介も豊富で、朝読書等の読書生活につなげられる。
- ・各領域に「言の葉ポケット」があり、相手や場面に応じた話型・文型がポイントを絞って掲載されている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・縦書きの中に横書きのフローが入った。生徒の発達の段階によっては、縦横の行き来が難しい可能性がある。
- ・P65「学びへの扉」など情報が図化されていることが多く理解しやすい。
- ・脚注などの含め、文字サイズ・色も配慮されていて大変見やすい。
- ・絵や写真の印刷技術が高い利点を最大限に活用した仕上がりになっている。
- ・写真が豊富でよい。挿絵が適切に入っている。
- ・色づかいがカラフルではあるが、抑えた色味なので見やすい。
- ・UDフォントを採用していて見やすい。
- ・教材の種類が分かりやすく記号で分けられている。
- ・単元終わりの資料がコンパクトにまとまったため、見やすくなった。
- ・彩度が控えめで、絵や写真、図よりも文字が目立つようになっている。
- ・行数が数えやすいよう、文章の下に「・(点)」が打たれている。
- ・学年によって字の大きさや行間がより読みやすいものになるよう配慮されている。
- ・色づかいが抑えた色味なので見やすい。
- ・写真や挿絵が適切に入っている。
- ・文字サイズ、配色も配慮されていて、見やすい。
- ・字が全体的に大きく、行間も適切で読みやすい。
- ・挿絵、図、写真等の色が落ち着いており、読みやすい。大きさや位置も適切である。
- ・一貫性があり、系統性のある記述・表記である。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

・重い。
・カラー綴じが増えて見やすくなった。
・本文の行数を示す記号が、「5.10」と5行ごとの物だけだったのが、「・」が入るようになったため、数えやすい配慮がある。
・全体的に行間が狭くなったのが、プラスになるのかマイナスになるのか気になる。詩などは行間に余韻が感じられることもあるため、一概に良いとは言えない。
・「学びナビ」の項目において、語り手など読みに必要な事項が取り上げられているので、授業者も学習者も学習を進めやすいと感じる。
・「学習の見通しをもとう」が設けられており、どの教材を用いてどのような「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を身に付けるのかが明確に示されている。
・一単元が右ページから始まり左ページで終わるようになったため読みやすくなった。
・目次に文種(詩、物語、説明など)が添えられており、全体の構成が見通しやすい。
・全体構成は見開き1ページで示されている。
・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を身に付けるのかが示されている。
・視覚的に見やすいように、クリーム色の用紙に印刷されている。
・学習の進め方が掲載されているので、学習の見通しが立てやすい。
・「学習の見通しをもとう」には、1年間の学習の流れが書かれており、見通しを明確にもつことができる。
・単元の初めに登場するキャラクターの吹き出しは、ここで何を学ぶかを端的に示しており、導入として適切である。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

- 2次元コードによる学習内容
- 見やすさ、操作性

意見

・細かく多い印象がある。
・2次元コードが増えた。
・音声は家庭学習の補助になる。
・漢字から動画まで、2次元コードが豊富。
・2次元コンテンツの導入によって、生徒が家庭でも主体的に学び向かうことができると考える。
・2次元コードのリンクは動画や話し方の音声など、活用の幅が広いと感じる。
・2次元コードは多く掲載されている。
・2次元コードの内容は教科書に記載されている。
・巻末にICTの活用についてまとめられている。
・2次元コードで資料を補填できる。
・2次元コードに何がおさめられているかわかり、生徒が家庭でも利用しやすくなり、主体的に学びに向かうことができると思う。
・一目見て2次元コードに何が載っているのか分かる。
・「書くことのミニレッスン」は、基礎・基本の確認に役立つ。
・2次元コードでは、漢字や文法の練習問題を行ったり、古典の音読を聞いたりすることができ、家庭学習の充実につなげることができる。

観点⑥ 特記すべき事項

- 地域性への配慮
- 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ
- 対話的な学習が行いやすい工夫
- SDGsへの配慮
- その他

意見

・音声はオーディオブックのように学習の補助になる。
・中学校3年生で、報道×SDGsなど、SDGsを授業に取り入れやすい工夫がされている。
・「スピーチ」の動画では、話す側だけでなく聞く側の様子も移されている。
・全体構成の記載の中に、SDGsの関連項目についての記載がある。
・ICT活用のヒントが掲載されており、家庭学習等にも使いやすいと考える。
・SDGsへの配慮がされている。
・「学習の見通しをもとう」には、他教科や総合的な学習の時間、SDGsとの関連が明記されている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	書写
教科用図書名	新編 新しい書写 一・二・三年	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・お手本の字に線やポイントが書いてあるとよい。
- ・楷書の字形について最初に指導できるようになっているのが良い。
- ・練習ページが少ない。資料集のような形式である。
- ・毛筆の手本が少なく感じるので、もう少し毛筆を充実させたい。
- ・手本の字形が個性的。
- ・行書の2文字は水茎の跡が気になる。筆先が割れたり、細かなでこぼこがやや目立つ気がする。
- ・筆遣い、筆の動きが分かりやすくよい。
- ・ワークを別途買う必要があるかもしれない。
- ・「中心をそろえる」等、字形を整えるために何が重要なかが書いてある。
- ・学校生活や行事などに活用できるような実用的な教材が多く、意欲をかき立てやすい。
- ・基本の点画の書き方(P.10～11)の中に「右上払い」がなく、毛筆等で指導をする側としては、教科書内に手本があった方がよい。
- ・まとめのページで、基礎・基本を確認できるようになっている。
- ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
- ・行書の筆遣いが分かりやすい。
- ・実用的な教材が多く、日常生活で活用させやすい。
- ・お手本が半紙の大きさよりも小さい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・系統立っている。
- ・P65生活に広げようのページでの学習内容が、防災と書写を結び付ける物になっているが、その結びつきに妥当性を感じない。生活の中であれば、他の事例の方が実感しやすいのではないだろうか。
- ・幅広い教科書になっていて、書写の道具を考えると、生徒の狭い机の上には載せにくいと感じる。
- ・各学年の内容が充実してよい。
- ・分量が少し多い気がする。
- ・右ページに説明、左ページに手本が掲載されているため、練習しやすい。
- ・基礎的・基本的な内容に関わる単元の合間に、「生活に広げよう」という、知識や技能を活用する単元が設定されている。
- ・適切な構成及び分量になっている。
- ・「生活に広げよう」で身近な題材を扱うことで、日常の中で学びを生かす機会を想起できる。
- ・単元の構成、配列、分量は適切である。
- ・「書写テスト」が掲載されている。
- ・常用漢字表の文字が大きいため、ページ数が多い。
- ・補助教材の内容が多岐にわたっている。

観点③ 表記及び表現

○わかりやすく、読みやすい表記、表現

○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現

○一貫性をもった記述

意 見

- ・他の書写の教科書と比較すると、2番目に見やすい。
- ・表記が見やすい。
- ・記述は一貫性がある。
- ・行書と楷書の比較から行い、硬筆や毛筆で点画の確認を行ってから、毛筆の実践に移るので、生徒が行書へのイメージを一貫して書写に取り組むことができると感じた。
- ・図表やイラストが充実しており、生徒がイメージをしやすいつくりになっている。
- ・他の発行者に比べて配色が少な目。
- ・書くポイントが手本の左端に順を追って書かれているため、分かりやすい。
- ・説明が丁寧で、誤解が生じにくい。
- ・字の大きさが少し小さい印象がある。
- ・表記及び表現は適切である。
- ・「書写のかぎ」に要点がまとめられていて見やすい。
- ・毛筆のお手本が小さい。
- ・筆の入り方を「トン」「ピタッ」等で明示している。
- ・巻頭にある「基本の点画の書き方」で、筆の動きを「とん」「すう」「びた」という言葉で表していて手の動きを感覚的に捉えやすい。
- ・具体的な説明が多く、分かりやすい。
- ・具体例を示す資料の文字が、小さい。

観点④ 使用上の便宜

○全体の構成が見通せる配慮

○学習活動を進めやすくする配慮

○印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・書写活用ブックは独立して様々な場面で使いやすそう。
- ・「書写のかぎ」として目標にあった字の要点の記載があった。しかし、書くときには情報が少なく、小さいように感じる。また、実際の書道の授業では硬筆の実用性は低いように感じる。
- ・丁寧な学習のてびきで、自学自習しやすいと考える。
- ・見開きの目次を見ることで学習の見通しが立てやすくなっている。
- ・3年生の学習内容が最初に紹介され、全体が見通せるようになっている。
- ・全体の構成は学年ごと目次で示されており、学習活動を進めやすくなっている。
- ・書写活用ブックで資料が充実している。
- ・目次で、見通しや目標が図解されている。
- ・書写活用ブックが付いている。
- ・全体構成は、学年ごとに目次で示されている。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意見

- ・見やすさは適切である。
- ・目次に2次元コードがついている。各ページを探す必要がない。
- ・2次元コードは多く掲載されている。
- ・2次元コードの内容は教科書に記載されていない。
- ・各ページに2次元コードが掲載されていて資料が充実している。
- ・2次元コードは掲載されているが、どのようなことが掲載されているか一目見ただけではわからない。
- ・2次元コードが多く掲載されているが、見出しが付いていない。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意見

- ・対話的な学習や探究的な学習には工夫が必要である。
- ・国語の教科書と同様、Dマークに関してはほかの会社と比較してもログインまでの手間が煩雑であると感じる。
- ・サイズが大きく、毛筆をするときに邪魔になるのではないか。
- ・SDGsに関する記載は見受けられない。
- ・ユニバーサルデザインを有効に活用している。
- ・SDGsへの配慮は見受けられない。
- ・「生活に広げよう」話し合って記入する課題がある。
- ・行書による部首の書き方が巻末にまとめてある。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	書写
教科用図書名	現代の書写一・二・三	発行者	株式会社三省堂

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・お手本の字に線やポイントが書いてあるとよい。
- ・楷書の字形について最初に指導できるようになっていて良い。
- ・練習、資料ともにバランスが良い。
- ・毛筆の手本が少なく感じるので、もう少し毛筆を充実させたい。
- ・手本の字形が個性的。
- ・行書の2文字は水茎の跡が気になる。筆先が割れたり、細かなでこぼこがやや目立つ気がする。
- ・筆遣い、筆の動きが分かりやすくてよい。
- ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
- ・硬筆の練習欄が充実している。
- ・説明が簡潔で、見やすい。
- ・単元の最後に、学習の振り返りを記入する欄がある。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・系統立っていい。
- ・毛筆から硬筆につなげていきたい書写の特質上、都道府県名の行書の練習など、日常にも生きてくる内容がある。
- ・幅広の教科書になっていて、書写の道具を考えると、生徒の狭い机の上には載せにくいと感じる。
- ・各学年の内容が充実していてよい。
- ・分量が少し多い気がする。
- ・右ページに説明、左ページに手本が掲載されているため、練習しやすい。
- ・適切な構成及び分量になっている。
- ・単元の構成、配列は適切である。
- ・教科書内に、生徒に書かせる箇所があるが、その分量が多いと感じる。
- ・学力テストが掲載されている。
- ・構成及び分量は適切である。
- ・なぞり書きから清書まで、段階的に学習するようになっており、練習量が多い。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・悪いわけではないが、お手本の字が細い。
- ・1番見やすい。
- ・表記や色の使いわけなど適切である。
- ・行書と楷書の比較から行い、硬筆や毛筆で点画の確認を行ってから、毛筆の実践に移るので、生徒が行書へのイメージを一貫して書写に取り組むことができると感じた。
- ・図表やイラストが充実しており、生徒がイメージをしやすいつくりになっている。
- ・説明が丁寧で、誤解が生じにくい。
- ・表記及び表現は適切である。
- ・「振り返ろう」がある。
- ・日常生活に生かす教材が掲載されている。
- ・色使いがソフトである。
- ・毛筆の手本、楷書・行書の一覧表の文字の線が細い。

観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意	見
・見開きで見やすい。 ・国語と関連のある文章が活用されている。 ・丁寧な学習のてびきで、自学自習しやすいと考える。 ・見開きの目次を見ることで学習の見通しが立てやすくなっている。 ・3年生の学習内容が最初に紹介され、全体が見通せるようになっている。 ・全体の構成は学年ごと目次で示されており、学習活動を進めやすくなっている。 ・目標、お手本に対して、「横面の丸み」など要点が記載されている。 ・お手本に単元のポイントが示されている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意	見
・解説動画があって指導しやすい。 ・2次元コードの一覧がある。 ・国語の教科書と同様、Dマークに関してはほかの会社と比較してもログインまでの手間が煩雑であると感じる。 ・目次に2次元コードがついている。各ページを探す必要がない。 ・2次元コードは多く掲載されている。 ・2次元コードの内容は教科書に記載されており、一覧表としてもまとめられている。 ・2次元コード一覧表が掲載されており、どのようなデータが収められているか一目でわかる。 ・2次元コードが多く掲載されており、見出しも付けられている。 ・巻末に「2次元コード一覧表」があって使いやすい。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意	見
・対話的な学習や探究的な学習には工夫が必要である。 ・サイズが大きく、毛筆をするときに邪魔になるのではないか。 ・SDGsに関する記載は見受けられない。 ・SDGsへの配慮は見受けられない。 ・楷書・行書の学習のポイントが、巻末で一覧にまとめられているため、振り返りやすい。 ・グループ新聞、情報誌作りの課題や互いの作品を読み合う活動が、課題として出されている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	書写
教科用図書名	中学書写	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- 教材の適切さ
- 教材や資料の正確さやわかりやすさ
- 生徒の発達の段階に対する配慮
- 学び方、考え方の習得
- 基礎・基本の確実な習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的・対話的で深い学びへの配慮

意見

- ・お手本の字に線やポイントが書いてあってよい(特に中学校1年生の出だし)。
- ・1年次の内容としてレベルが高すぎるように感じる。
- ・大幅な変更がなく、使いやすい。
- ・見開きで手本を見ることができる。
- ・学年で扱う教材と連動しており、興味を持って取り組みやすい。
- ・「学びの木」を用いて、3年間で学ぶことを視覚的に示している。
- ・毛筆は充実しているが、硬筆では活用が難しいと感じる部分がある。
- ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
- ・学年で扱う教材と連動しており、興味を持って取り組みやすい。
- ・学習の目標から振り返りまでが丁寧に記されている。
- ・お手本が半紙の大きさよりも小さい。
- ・「学習の進め方」で学習の見通しをもつことができる。
- ・書くときの姿勢や用具の使い方が、写真で示されている。
- ・対話を通して学びを深めるための「話し合いメモ」が示されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・コラムで書写の歴史が学ぶことができる。
- ・各学年ともに十分な内容だと思われる。
- ・練習量が少ない。
- ・情報量(写真、イラスト ほか)が多く生徒が混乱してしまう可能性がある。
- ・巻末の「索引」がやや見にくい印象。
- ・単元終わりにテストがあり、論理や定着度の確認がしやすい。
- ・適切な構成及び分量になっている。
- ・学習手順が段階的であるため、理解したことを活用しやすい上、見通しを持ちやすい。
- ・単元の構成、配列、分量は適切である。
- ・日常生活と関連させた内容が系統的に並べられている。
- ・構成及び分量に関しては適切である。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・もくじの小さい文字が工夫して合っておりよい。
- ・両開きで見やすい。
- ・わかりやすく、表記も適切である。
- ・見開きで簡潔かつ見やすくなっており、実社会で活用できる資料の充実もあるため、学んだことを一貫して活用できるようになっている。
- ・写真や手本が豊富でよい。
- ・身近な資料で興味を引きつけやすい。
- ・表記及び表現は適切である。
- ・配色がシンプルで見やすい。
- ・お手本のサイズが小さい。
- ・説明の文字が小さめである。
- ・全体の構成は、学年ごとに目次で示されている。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
	意 見
・スズリーとハンシーが可愛い。 ・大きいので、開いて見本に置いたときに見やすい。 ・練習ページが多いので書きやすいサイズかもしれない。 ・目次が充実していてよい。 ・「書写テスト」でポイントを確認できる。 ・全体構成が「木」で表されている。 ・教科書に直接書き込める。 ・楷書・行書間の対応があり、便利。 ・全体の構成は学年ごと目次で示されており、学習活動を進めやすくなっている。 ・目標に沿った注意点や、他の字への応用も充実している。 ・教科書に直接書き込める。 ・幅広い教科書になっていて、書写の道具を考えると、生徒の机の上には載せにくいと感じる。 ・教科書の大きさが幅広である。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
	意 見
・何の2次元コードかわかりにくい。 ・2次元コードがあり、活用しやすい。 ・目次に2次元コードがついている。各ページを探す必要がない。 ・2次元コードは多く掲載されている。 ・2次元コードの内容は教科書に記載されていない。 ・指導書朱書編がデジタル化されている。 ・2次元コードは掲載されているが、どのようなことが掲載されているか一目見ただけではわからない。 ・2次元コードが多く掲載されているが、見出しが付いていない。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
	意 見
・対話的な学習や探究的な学習には工夫が必要である。 ・学級活動との関連が図れる内容が記載されている。 ・SDGsに関する記載は見受けられない。 ・SDGsへの配慮は見受けられない。 ・街中で見られる表札等の写真が掲載されている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	書写
教科用図書名	中学書写一・二・三年	発行者	光村図書出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・「文字の歴史を探る」などデザインがかわいくて、学習者に寄り添っている。興味がわきそう。
 ・別冊ブックの内容をもっと見やすくしてほしい。
 ・書写ブックと本紙が別になっている。
 ・巻末の資料が効果的に活用できそう。
 ・日常につなげている点がいっぱいあり、学習指導要領の求めている指導にしやすい。
 ・毛筆手本の水茎のラインがでこぼこなのが気になる。
 ・コラムや日常に役立つ書式が充実している点が良い。
 ・巻末に「人名用漢字表」が載っている点が良い。
 ・ノート教科書一体型。使いやすい。
 ・考えたり、話し合ったりする教材が充実。
 ・部首ごと等で色分けがなされているため、分かりやすい。
 ・硬筆中心の書写ブックは副教材を選択せずに活用できる点で評価できる。
 ・学習の進め方が、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という形でシンプルに示されている。
 ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
 ・コラムや日常に役立つ書式が充実している。
 ・日常につなげる点が明確で、扱いやすい。
 ・お手本が半紙や書き初めの大きさと同じである。
 ・「学習の進め方」で、学習の見通しをもつことができる。
 ・「学びの鍵」には、ポイントが示されている。
 ・「書写ブック」に、「書写テストに挑戦しよう!」が掲載されており、基礎・基本の定着度を確認することができる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・分量が適切である。
 ・配列や発展性が適切である。
 ・「文字を使い分ける」コーナーが別立てになっていて、役立てやすい。
 ・各学年の教材の分量が適切だと思う。
 ・唯一「楷書」の文字例が2つある。他者は1つしかない。
 ・漢字の組み立て、そのほかの単元すべて、「練習量」が多くて、基礎・基本の定着に生かせる。
 ・学年順に配列されていない。
 ・「楷書」「行書」「文字の使い分け」というように、各学年をまたぐような形で、系統性が示されている。
 ・適切な構成及び分量になっている。
 ・書写ブックが別冊にでき、活用することができる。
 ・各学年の教材の分量が適切。
 ・単元の構成、配列、分量は適切である。
 ・「書写ブック」「書き初めマスターブック」がある。
 ・「書写ブック」に書き込むことができる。
 ・補助教材として「書写ブック」や「書き初めマスターブック」が付いており、活用できる。
 ・教材としてはがきが付いているので、実際に活用することで、社会生活の中の書写につなげることができる。
 ・資料が多いため、やや厚みがある。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意	見
	・表記が見やすい。 ・漫画やイラストが豊富で、生徒が引き込まれる作りとなっている。 ・全体的に色味に統一感があり見やすい。「文字の歴史」「物語の年表」などのコラムも写真と柔らかいタッチのイラストが見やすく配置されている。 ・文字の色、大きさともに適切だと思われる。 ・写真も手本も多い。 ・説明が簡潔で分かりやすい。 ・表記及び表現は適切である。 ・手本が多く、大きく表記され分かりやすい。 ・資料が豊富である。 ・文字の色、大きさともに適切だと思われる。 ・毛筆のお手本の大きさが、半紙サイズで見やすい。 ・筆の運びを擬音語で示すことで、書く時のイメージをもたせている。 ・説明の文字が細くて小さめである。 ・硬筆の行書の手本の字が小さめである。
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意	見
	・1年生、2年生、3年生と見出しが分かれているので、3年間の学びの過程が見て取りやすい。 ・目標と、「①考えよう」「②確かめよう」「③生かそう」という3ステップで見やすく構成されている。しかし、実際の書道の授業ではステップ①で「鉛筆で印をつける」など実用性は低いように感じる。 ・毛筆と硬筆を相互に生かせるつくりになっている点が良い。 ・全体の構成は学年ごと目次で示されており、学習活動を進めやすくなっている。 ・教科書に直接書き込めるため、使いやすい。 ・「書写ブック」が取り組みがしやすく、内容も充実している。 ・行書を書く際の、筆順も掲載されている。 ・お手本の右端に筆順が示されている。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意見

- ・字のアニメーションがあるのでよい。
- ・他の文字にチャレンジが良い。
- ・見やすさが適切である。
- ・各ページに2次元コードがあり、毛筆の筆遣い等を動画として確認できる。また、資料を補填できる。
- ・2次元コードは多く掲載されている。
- ・2次元コードの内容が教科書に記載されている。
- ・2次元コードで書き方を適宜確認できる。
- ・2次元コードで、「右利き」「左利き」それぞれの動画があり、「左利き」の生徒にも配慮されている。
- ・2次元コードが多く掲載されており、それぞれ見出しも付けられている。
- ・筆使いのポイントの動画がわかりやすい。他の文字のお手本の印刷もできる。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意見

- ・対話的な学習や探究的な学習には工夫が必要である。
- ・家庭学習でも参考にしやすいよう配慮されている。
- ・SDGsに関する記載がある。
- ・ユニバーサルデザインで見やすくなっている。
- ・ICT活用のヒントが掲載されており、探究的な学びや家庭学習に生かしやすいと感じる。
- ・SDGsへの配慮がされている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	地理的分野
教科用図書名	新編 新しい社会 地理	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・各ページに「チェック」「トライ」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
- ・学習課題が簡潔で分かりやすい。
- ・図やグラフが他社に比べて多い気がする。
- ・生徒の関心を引くような授業の導入に使いやすい資料も多く、カラフルで見やすくなっている。
- ・「もっと知りたい」などで深く学べる工夫もされている。
- ・单元ごとに「まとめの活動」が用意されており、主体的・対話的で深い学びへの配慮がされている。
- ・必要な情報が網羅されている。
- ・最初に学び方について丁寧に説明されている。
- ・章末に探究課題が設定されている。
- ・発展的な内容、学び方について、「スキルアップ」としてお取り上げられている。
- ・資料がやや大きい感じがする。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成につながる部分が高度である。
- ・対話的な学びが促される補助発問等は少ない。
- ・時差など難しい内容は解説動画があり、映像で見直せる。
- ・チェックとトライという項目が基礎を確認しつつ、発展的な内容を学べるのでいい。

観点② 構成及び分量

- 单元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切である。
- ・基本的に見開き1ページで構成されており、単元の学習課題が明確に記されている。
- ・单元を貫く課題が適切に設定されている。
- ・配列・分量は適切である。
- ・基本事項がわかりやすく太字で示されている。
- ・単元の構成に改善必要。
- ・「まとめ」ゾーンが明確で活用しやすい。
- ・思考ツールの使用例が示されており、単元でのまとめに活用できる。
- ・資料から発見しようというページが各節ごとにいい。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。」とある。
- ・グラフよりも写真が多くあり、興味関心が高められる。
- ・色が落ち着いていて、見やすい。
- ・簡潔にわかりやすく書かれている。
- ・個人的に単語などをもう少し簡単な表現でしてほしい。
- ・適切である。
- ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。
- ・文字の間隔も見やすくなっている。
- ・写真が大きく見やすい。
- ・写真がやや大きい感じがする。
- ・地図や図が見やすい。
- ・巻頭の資料が分かりやすい。
- ・章の中でテーマ性があり分かりやすい。
- ・資料が多い印象がある。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・他分野の学習内容との関連が示されている。 ・目立つ色があまりなくシンプルで見やすい。 ・小単元の終わりごとにまとめの活動があり、節を見通した学習を進めやすい。 ・適切である。 ・各ページに学習課題が設定されている。 ・章末に、まとめ学習のページが設定されている。 ・特に問題はない。 ・使用上の問題点は特にならない。 ・発色が鮮やかでいい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・多くのページに2次元コードがある。 ・各単元にチェック&トライなどのコードが書かれており、家庭学習にも向いている。 ・適切である。 ・導入動画、問題演習、資料等が示されている。 ・2次元コードの活用場面が明確ではない。 ・他の科目の内容もあり、教科横断的な視点から見てもいい。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・各章末に「まとめの活動」を設け、学習内容を自分の言葉でまとめられるよう配慮されている。 ・学習のポイントが随所で見られ学習しやすい。 ・節のまとめで対話的な活動ができる工夫がされている。 ・SDGsについては、探究学習のページで取り上げられている。 ・使いやすい。 ・家庭学習としては、文章量が多い。 ・SDGsのターゲットが示されていない。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	地理的分野
教科用図書名	中学社会 地理 地域にまなぶ	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- 教材の適切さ
- 教材や資料の正確さやわかりやすさ
- 生徒の発達の段階に対する配慮
- 学び方、考え方の習得
- 基礎・基本の確実な習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的・対話的で深い学びへの配慮

意見

- ・各ページに「確認!」「表現!!」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
- ・学習課題が単元の問に対して分かりやすいものとなっている。
- ・「地理の窓」という現在進行形で生じている問題とのつながりが記されている。
- ・カラフルな資料で導入に使う資料も生徒の関心が惹けそうな物が多い。
- ・導入とまとめで明確化されており、使いやすい。
- ・必要な情報が網羅されている。
- ・最初に学び方について説明されている。
- ・章末に探究課題が設定されている。
- ・資料がやや大きい感じがする。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成につながる部分が高度である。
- ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。
- ・単元のまとめのページが比較的統一されていて、何をするか分かりやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・「地理の窓」や「雨温図」など、資料が充実している。
- ・適切である。
- ・見開き1ページで構成され、学習課題も明確に記載されている。
- ・小学校や他分野との連携が密である。
- ・配列・分量は適切である。
- ・基本事項がわかりやすく太字で示されている。
- ・単元の構成に改善必要。
- ・資料が少ないため、余白が多くなっている。
- ・書き込む内容が難解なため、余白を生かし切れない。
- ・ワードチェックがあり、基礎基本が習得できる。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・裏表紙に「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。」「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。」とある。
- ・地図とグラフが見やすい。
- ・簡潔にわかりやすく書かれている。
- ・単語や用語などを、中学生にも理解できるよう、もう少し簡単な表現であるとよい。
- ・適切である。
- ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。
- ・図表の配置が混み合っている。
- ・地図が大きく見やすい。
- ・写真がやや大きい感じがする。
- ・シンプルで見やすい。
- ・写真が大きい。
- ・資料欄が多くて分かりやすい。
- ・資料が充実している。
- ・色が見やすく分かりやすい。

観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意見	
・各ページの下部に他分野との関連が示されている。 ・地図とグラフが見やすい。 ・単元ごとの学習課題、節ごとの学習課題が明確に記載されているため、見通しをもって学習を進められる。 ・適切である。 ・各ページに学習課題が設定されている。 ・章末に、まとめ学習のページが設定されている。 ・特に問題はない。 ・歴史や公民とのつながりがあり、分かりやすい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意見	
・「地理の技」などが2次元コードで示されている。 ・関連する内容や、サイトへのリンクが少ないように感じる。 ・全ページには掲載されておらず、時折見られる。 ・動画教材がある点はいいと思う。 ・単元ごとに構成されていて使用しやすい。 ・単元ごとのクイズと関連リンクが示されている。 ・2次元コードの活用場面が明確ではない。 ・デジタルコンテンツは他の発行者に比べて劣る。映像や小テストなどがないなど。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意見	
・巻頭Ⅰ・ⅡでSDGsと地理の学習との関連を記載している。 ・SDGsとの関連が明確で分かりやすい。 ・節のまとめで単元を振り返る部分があり、対話的に学べる工夫が見られる。 ・SDGsについては、各章の導入で示されている。また特設ページが設定されている。 ・章のまとめが使いにくい。 ・家庭学習に使うことを考えた場合、文章量が多い。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・解説や資料が充実し、家庭学習にも有効に使える。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	地理的分野
教科用図書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	発行者	株式会社帝国書院

観点① 内容等

- 教材の適切さ
- 教材や資料の正確さやわかりやすさ
- 生徒の発達の段階に対する配慮
- 学び方、考え方の習得
- 基礎・基本の確実な習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的・対話的で深い学びへの配慮

意見

- ・各ページに「確認しよう」「説明しよう」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
- ・学習課題が簡潔で分かりやすい。
- ・写真が適切に配置されている。
- ・グラフ・図より写真が多め。
- ・授業の導入に使用しやすい写真も多く、見やすく授業展開も考えやすくなっている。
- ・学習指導要領の目標・内容を踏まえた内容となっており、地域調査、日本の諸地域や世界の諸地域を追究する視点が明確になっている。
- ・必要な情報が網羅されている。
- ・最初に学び方について丁寧に説明されている。
- ・章末に探究課題が設定されている。
- ・資料がやや大きい感じがする。
- ・文章の量と資料の量は中学校段階として適切な量と考えられる。
- ・資料が分かりやすく、写真も見やすい。
- ・地図帳活用のページが分かりやすく、地図帳を手にする機会が増えてよい。
- ・節のまとめにある学習の振り返りが端的で分かりやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・「地理プラス」や「雨温図」など、資料が充実している。
- ・適切である。
- ・概ね見開き1ページで構成され、学習課題が明確になっている。
- ・教材の構成・配列は適切である。
- ・配列・分量は適切である。
- ・基本事項がわかりやすく太字で示されている。
- ・単元の構成はよい。
- ・単元の冒頭に、地方の地図がイラストと共にあり、単元の概要を掴みやすく系統性をもって学べる。
- ・ページでも節を通した問いが書いてあり、常に単元を通した問いを意識することができる。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・裏表紙に「特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」とある。
- ・写真が分かりやすい。
- ・簡潔にわかりやすく書かれている。
- ・単語や用語など、中学生にも理解できるようもう少し簡単な表現でしてほしい。
- ・本文の分量は適切であり、表現も軟らかくわかりやすい。
- ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。
- ・文字の間隔・図表の配列も見やすくなっている。
- ・写真の大きさはちょうどよい。
- ・写真資料が充実している。
- ・綺麗な写真を掲載しており、デジタル教材と遜色なく見せる事ができる。
- ・扱う地図・写真が小さい。
- ・150ページにある防災に関する絵図など、工夫されている資料が多い。
- ・写真が大きく分かりやすい。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・「学習を振り返ろう」などそれぞれのページへの2次元コードがあり自学自習への配慮がなされている。 ・単元の問いが分かりやすい。 ・各単元での学習課題も明確になっており、各節の学習課題も明確になっていて見通しをもって学習を進めやすい。 ・写真や図表、グラフなど、多様な資料が用意され、事象の理解を深める工夫がされているとともに、レイアウトも良い。 ・各ページに学習課題が設定されている。 ・章末に、まとめ学習のページが設定されている。 ・特に問題はない。 ・情報量はそのまま、軽量化している。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・各ページだけでなく、統計資料や他分野教科書リンクなど多くのコンテンツへの2次元コードが裏表紙にまとめられている。 ・地図クイズが興味関心を高める。 ・デジタル教科書を導入するのが手間である。 ・今年度使用したデジタル教科書も非常に使いやすく、便利だった。2次元コードの内容も適切である。 ・豊富に用意されていて、使用しやすい。 ・学習動画、ワークシートや問題演習、GISジオグラフ、関連リンク等が示されている。 ・2次元コードは、学習上必要な箇所にあり、活用しやすい。 ・動画や小学校で既習している知識を確認できる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・各章のまとめページでSDGsの目標から振り返れるように配慮されている。 ・学習のポイントが随所で見られ学習しやすい。 ・小単元の最後に「学習を振り返ろう」の部分で対話的に深い学びを行いやすいようにしてくれている。 ・SDGsについては、表紙裏に取り上げられているが、関連は示されていない。 ・章のまとめの設問が難しく感じた。 ・ポイントが絞られているため、復習を進めやすい。 ・SDGsの課題に沿った内容が多くあり、生徒も主体的に取り組める。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	地理的分野
教科用図書名	中学社会 地理的分野	発行者	日本文教出版株式会社

観点① 内容等	
○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成
○生徒の発達の段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮
○学び方、考え方の習得	
意 見	
・各ページに「確認」「表現」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。 ・学習課題が簡潔で分かりやすい。 ・文章と写真・図の境界がない。 ・背景が白くパッと見たときに少し見づらい。 ・カラフルな資料で導入に使う資料も生徒の関心が惹けそうな物が多い。 ・グラフを多用している印象を受けた。 ・適切である。 ・必要な情報が網羅されている。 ・最初に地理的見方考え方について丁寧に説明されている。 ・章末に探究課題が設定されている。 ・思考力・判断力・表現力等の育成につながる部分が高度である。 ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。 ・資料がやや大きい感じがする。 ・節の問いを立てる流れが見通しを持ちやすい。 ・州ごとのSDGsの課題が授業内容を踏まえて単元の課題を深めることができる。	
観点② 構成及び分量	
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ	
○各領域の分量、発達の段階に応じた分量	
○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い	
○基礎的・基本的事項等の取り扱い	
意 見	
・「議論してみよう」で生徒の対話をうながす課題を多数設定している。 ・適切である。 ・見開き1ページで構成され、学習課題も明確に記載されている。 ・見方・考え方も書かれており、見通しをもって学習を進めやすい。 ・構造的に作られており、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができる。 ・配列・分量は適切である。 ・基本事項がわかりやすく太字で示されている。 ・分量は適切である。 ・思考ツールの活用例を示すなどの工夫が見られる。 ・章、単元の導入資料が明示され分かりやすい。 ・単元の構成に改善必要。 ・歴史や小学校の既習内容が記述されていて、社会科のつながりが分かりやすい。	
観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現	
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現	
○一貫性をもった記述	
意 見	
・「より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。」「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と裏表紙に記載されている。 ・太字が分かりやすい。 ・簡潔にわかりやすく書かれている。 ・単語や用語など、中学生でも理解できるようもう少し簡単な表現でしてほしい。 ・適切である。 ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。 ・文字の間隔・図表の配列も見やすくなっている。 ・写真は大きくて見やすい。 ・写真の大きさはちょうどよい感じ。 ・写真が見やすくていい。 ・色もユニバーサルカラーで見やすい。	

観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・巻頭8で歴史的分野・公民的分野との関連が示されている。 ・学習課題が簡潔で分かりやすい。 ・単元ごとの学習課題、節ごとの学習課題が明確に記載されているため、見通しをもって学習を進められる。 ・適切である。 ・各ページに学習課題が設定されている。 ・章末に、まとめ学習のページが設定されている。 ・使用上の便宜としての問題点はない。 ・特に問題はない。 ・内容も充実しているが軽量でいい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・多くのページに2次元コードがある。 ・全ページに2次元コードが設定されており、確認問題や動画などが設定されている。 ・コンテンツが充実している。 ・導入動画、ワークシートや問題演習、白地図、関連リンク等が示されている。 ・2次元コードの活用場面が、明確に示されていない。 ・活用していない。 ・映像資料だけでなく、小テストや雨温図を表示できるのでいい。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・巻頭1・2でSDGsを取り上げている。 ・学習のポイントが随所で見られ学習しやすい。 ・節のまとめで単元を振り返る部分があり、対話的に学べる工夫が見られる。 ・SDGsについては、表紙裏に取り上げられているが、関連は示されていない。 ・家庭学習としては、文章量が多い。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・特に問題はない。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	新編 新しい社会 歴史	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等			
○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得		
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成		
○生徒の発達の段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮		
○学び方、考え方の習得			
意見			
・学習課題に一貫性があり分かりやすい。 ・偏りのない適切な写真や資料で、色使いもカラフル。 ・「もっと知りたい」や「資料から発見」などで、歴史学習を深められる。 ・よく配慮がされている。興味や関心を誘う内容にもなっている。 ・各ページに学習している時代が分かる年表があってよい。 ・資料が多い。 ・思考のチャート・グループ活動の実施方法などが示される。 ・資料がやや大きい感じがする。 ・思考力・判断力・表現力等の育成に繋がる部分もある。 ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。 ・基礎的な学習の習得に繋がるよう、用語がわかりやすく説明されている。 ・各ページに「チェック」「トライ」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。 ・思考ツールが活用できるようになっている。			
観点② 構成及び分量			
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ			
○各領域の分量、発達の段階に応じた分量			
○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い			
○基礎的・基本的事項等の取り扱い			
意見			
・適切である。 ・地理・公民など他分野との関連リンクが多く書かれている。 ・2ページ1単元の構成で、学習のまとまりが明確になっている。 ・単元の構成に改善必要。 ・資料が充実していて、活用しやすい。 ・分量は小学校に近い。発達に応じた分量としては少ない。 ・本文以外の解説部分の文字のフォントが小さく読みづらさを感じる。 ・適切である、資料が十分に掲載されている。			
観点③ 表記及び表現			
○わかりやすく、読みやすい表記、表現			
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現			
○一貫性をもった記述			
意見			
・単元の間に迫るような精選された資料である。 ・簡潔かつ平易な文章で書かれている。 ・適切である。 ・図やイラストはわかりやすい。 ・写真がやや大きい感じがする。 ・余白が多い。 ・何を学習しているのか、明確でない部分がある。 ・前方後円墳の立体図等、見やすく工夫されている部分がある。 ・写真等が工夫されている。 ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。」とある。 ・因果関係がわかりやすい記述になっている。			

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・あたたかい色使いで見やすい。 ・公民学習へのつながりがスムーズに行える内容になっている。 ・適切である。 ・単元導入で全体の構成を確認することができる。 ・特に問題はない。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・他教科の学習内容との関連が示されている。 ・身に付けるべき技能が効果的に身につくような活動が設定されている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意 見	
・教科書に当該範囲の内容をまとめた動画が付いている。 ・各単元ごとにデジタルコンテンツが用意されており、学習意欲を高める工夫がなされている。 ・適切である。 ・基礎学習・まとめ方のガイドなど豊富である。 ・2次元コードの活用場面が明確でない。 ・オリジナルコンテンツに2次元コードからアクセスができる。 ・教科書の誌面を直接2次元コードから見ることができる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意 見	
・レポートの作成方法、プレゼンの仕方など工夫されている。 ・オーソドックスなつくりの安心感の中に、「地域の歴史を調べよう」など探究的な学びにつながる工夫も多く、使ってみたいと思わせる教科書である。 ・2次元コードが家庭学習の助けとなる。 ・とても使いやすい。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・各章末に「探究課題を解決しよう」を設け、学習内容を自分の言葉でまとめられるよう配慮されている。 ・デジタル教材などを通して様々なツールを使って探究ができる。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	中学社会 歴史 未来をひらく	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・単元を貫く問いが簡潔で分かりやすい。
- ・史料が現代語訳され、若干大きめに掲載されている。
- ・単元の見出しが「あつく三宝を敬え」等、独特の言い回しになっている。
- ・資料は良い意味で見慣れたものが多く、安心できる。
- ・教材の内容は適切であり、必要な周辺資料も充実している。
- ・生徒の発達の段階に即した記載内容となっており、用語や歴史的事実に対する議論が分かれる内容についても丁寧な注釈がある。
- ・学習課題も各ページで整理され、見方・考え方についても、丁寧な記載が見られる。
- ・視覚的に色調が非常に見やすく、構成も非常に整理されている。
- ・写真や図が多く、わかりやすい。
- ・章末に表現させる問いがある。
- ・確認と表現のまとめがあってよい。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成につなげる部分は高度である。
- ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。
- ・各ページに「確認!」「表現!」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
- ・何を表現するべきかなどが明確に示されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切である。
- ・2ページ1単元の構成で、学習のまとまりが明確になっている。
- ・分量は適切であり、本文を囲む周辺資料についても、生徒の思考を深める材料として、不足がない。
- ・基礎的・基本的事項についても十分な記載がある。
- ・単元の構成が以前のものより工夫されていてとても使いやすくなった。
- ・適切である。資料が十分に教科書に掲載されている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・はっきりとした色使いで見やすい。
- ・簡潔かつ平易な文章で書かれている。
- ・図版は全体的に見やすく、理解が深まる構成になっている。
- ・重要語句が分かりやすく示されている。
- ・写真がやや大きい感じがする。
- ・資料の端、図が角張っている。
- ・挿絵が多くて見やすい。
- ・図表や資料に色分けがなされていて分かりやすい。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・はっきりとした色使いで見やすい。 ・巻末の年表は開くと一目ですべてを見渡せる作りになっていて使いやすい。 ・章、節、各時の間が記載されており、学習内容とは別に、学習手法や、協働学習の手がかりなどが、計画的に構成されている。 ・年表が示されていて、見通しが持てる。 ・特に問題はない。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・単元の学習課題が全てのページに掲載されていて学習の見通しがたてやすい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・2次元コードを通じたデジタルコンテンツも、動画やまなびリンクへのアクセスが充実している。 ・資料の補足・動画が示される。 ・とても使いやすく、生徒の自主的な活動にも活用できる。 ・2次元コードの活用場面が明確でない。 ・文化財などの様子を閲覧でき、学習が深めやすい。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・単元の最後に流れを確認できる問題があって良い。 ・可もなく不可もなくといった印象だが、対話的な学習や探究的な学びへのアプローチがうすく、内容的に生徒の興味を高めるきっかけが弱く感じる面もある。 ・SDGsへの配慮が終末にあり、十分に配慮されている。 ・探究的な学びや対話的な学びのための、特設ページが充実している。 ・問題演習のような物はない。 ・章のまとめがやや使いにくい。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・見方・考え方を働かせられるように学習コーナーが設定されている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	発行者	株式会社帝国書院

観点① 内容等

○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成
○生徒の発達の段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮
○学び方、考え方の習得	

意見

・単元を貫く問いが書かれていて見通しがもちやすい。
・教科書右側に歴史の年表が載っており、どの時代のどの部分をやっているのかがわかりやすい。
・写真や図版が充実し、カラフルな印象を受ける。
・本文の横に、解説や資料などを随所に盛り込んでおり、知識・技能の習得がしやすい。
・資料が大きくわかりやすい。
・まとめのガイド、対話的な学びのすすめなどが示される。
・思考力・判断力・表現力等の育成につながる部分は高度である。
・対話的な学びが促される補助発問等が多い。
・「アクティブ歴史」を各章に設けて、生徒の主体性を引き出すアクティブ・ラーニング型授業を行うための配慮がなされている。
・資料がやや大きい感じがする。
・その時代の特色を示した資料が掲載されているページで、対話的な課題を設定しやすい。

観点② 構成及び分量

○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・適切である。
・2ページ1単元の構成で、学習のまとまりが明確になっている。
・地理的分野との関連がとられており、学習しやすい。
・項目によって分量の差がある。
・イラスト等で単元の見通しがもてるように工夫されている。
・各章末で課題探究学習を設定し、学習内容を統合してレポート作成や発表へつなげられるよう配慮されている。
・単元の構成はよい。
・適切であり、より系統的になっている。

観点③ 表記及び表現

○わかりやすく、読みやすい表記、表現
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
○一貫性をもった記述

意見

・単元の間に迫るような精選された資料である。
・目新しさはないが、的確な資料と平易な文章でわかりやすい。
・適切である。
・資料の文字が少し窮屈に感じる。
・1つひとつの写真資料が大きくてクリアで見やすい。
・「学習を振り返ろう」などのコンテンツ専用ページへの2次元コードがあり、自学自習への配慮がなされている。
・裏表紙に「特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」とある。
・写真の大きさもちょうどよい。
・より因果関係がわかりやすい表現になっていて、難しい語句の解説が充実している。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
	・とても見やすい。 ・文章と写真・図との境界が曖昧のように感じる。 ・「タイムトラベル」等、生徒の興味・関心を高める工夫がある。 ・各単元ごとにどの年代について学習しているのかがわかるよう年表が示されており、わかりやすい。 ・適切である。 ・常にどの時代を学んでいるか確認できる。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・「学習を振り返ろう」などのコンテンツ専用ページへの2次元コードがあり自学自習への配慮がなされている。 ・特に問題はない。 ・問いが示されているため、学習が系統的に行われやすい。
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
	・ほしい資料が適切にある。 ・教科書の一部を拡大して見ることができる。 ・2次元コードの活用場面は明確でない。 ・各ページだけでなく、統計資料や他分野教科書リンクなど多くのコンテンツへの2次元コードが裏表紙にまとめられている。 ・紙面が閲覧できるようになっている。
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
	・単元の最後に流れを確認できる問題があって良い。 ・地理の教科書とセットだと生徒にとっては親しみやすいかも知れない。 ・内容的にも偏りがなく、使いやすい。 ・導入のイラストが生徒の興味を引くことができる。 ・「タイムトラベル」で見通しをもたせている。 ・探究課題が明確に示されている。 ・世界の歴史についての見通し(P. 150、168)が掲載されており、広い視野から活用できる。 ・人権への配慮の描写が示されている。 ・巻頭1、2でSDGsの目標から振り返れるように配慮されている。 ・章のまとめの設問が難しく感じた。 ・章の問いが追究しやすいような構成になっている。関連する資料もさがしやすい。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	中学歴史 日本と世界改訂版	発行者	株式会社山川出版社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・資料が豊富で分かりやすい。
- ・他の発行者のものと比較し、文章量が多い。
- ・資料自体は興味深いものが多いが、中学生には難しい印象を受ける。
- ・資料が豊富である。
- ・一部の史料で現物に加えて文字化してあり使いやすい。
- ・文章量が多いと中学生には難しい。
- ・時代ごとの地域へのアプローチは興味を引く内容となっている。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成に繋がる部分は高度である。
- ・対話的な学びが促される補助発問等は多くない。
- ・各ページに「ステップアップ」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
- ・資料と本文等のバランスがよい。
- ・世界の歴史についての記述が充実している。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切である。
- ・活字が小さい分、量が多い。高校生に向けた構成に近い。
- ・文章量が多い。
- ・コラムの位置が章末にあると良い。
- ・ハイレベルで高校の学習内容に近い。
- ・各章末で「農村にいる武士の立場で考えてみよう」など課題探求学習を設定し、学習内容を統合してレポート作成へつなげられるよう配慮されている。
- ・単元の構成がよい。
- ・詳しい記述がなされているので、少し量が多いと感じた。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・大きくて分かりやすい。
- ・言葉が少々難しい箇所が見受けられる。
- ・他の教科書に比べ文字が小さく、色使いも地味な印象を受ける。
- ・適切である。
- ・文字・資料が小さい。
- ・資料が足りない部分もあり、文章と合わない部分もある。
- ・裏表紙に「この教科書は、色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れています。また、本文には見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォンを採用しています。」とある。
- ・全体的にわかりやすい。
- ・因果関係がわかりやすい表現になっている印象を受けた。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
- 単元の流れが分かりやすく見通しがもてる。 - どの教科書にもある巻末(巻頭)年表が見当たらない。やはりないと不便を感じる。 - 適切である。 - 細かく学びたいときには適している。 - 見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 - 目次が見開き2ページでまとまらず、3ページにわたって記載されているため、一覧性に欠ける。 - 特に問題ない。 - 各章に年表が載っているため全体の流れが掴みやすい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
- 適切である。 - 資料の補足が多い。 2次元コードの活用場面が明確でない。 - 複数のページに外部コンテンツへアクセスできる2次元コードがある。 - 活用していない。 - 比較的内容は少ないように感じる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
- 単元の最後に流れを確認できる問題や単元をふりかえる説明があつて良い。 - 探究的な学びや、対話的な学びへの配慮はあまり感じられない。 - 内容としては充実しているが、中学生が使いこなすことができるかという懸念がある。 - SDGsのターゲットが示されていない。 - SDGsとの関連が分かる工夫が見られない。 - 特に問題ない。 - 地域教材が充実している、高校への接続をより意識している記述の多い教科書と言える。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	中学社会 歴史的分野	発行者	日本文教出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・見方・考え方の視点が分かりやすい。
- ・写真・図版とも精選されており、十分な量も確保されている。
- ・要所ごとに大きいサイズの資料があり、資料読み取り中心の授業展開ができる。
- ・資料が多く、見やすい。
- ・調べ学習で、思考力を育成する設定がある。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成につながる部分は高度である。
- ・対話的な学びが促される補助発問等は少ない。
- ・各ページに「確認」「表現」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
- ・資料がやや大きい感じがする。
- ・より良い未来について考えさせる場面が設定されており、主権者教育にも繋げやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・古代文明が簡潔にまとめられている。
- ・2ページ1単元の構成で、学習のまとまりが明確になっている。
- ・小学校で学習した内容がページ下部で取り上げられており、活用しやすい。
- ・項目によって文章のばらつきがある。
- ・P. 214「近代の雑誌の表紙」等、単元の冒頭には、歴史に対する興味・関心へとつながる資料が掲載されている。
- ・「チャレンジ歴史」などで生徒の対話をうながす課題を設定している。
- ・単元の構成は改善が必要。
- ・生徒が扱いやすい分量だと感じた。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・分かりやすい。
- ・簡潔かつ平易な文章で書かれている。
- ・適切である。
- ・色分けがわかりやすい。
- ・色が見やすい。
- ・文字も大きく学習者が読みやすく表記されている。
- ・「より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。」「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と裏表紙に記載されている。
- ・特に問題ない。
- ・資料が多く示されていて、その資料も歴史を大観しやすいものが示されている。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・単元の流れが分かりやすく見通しがもてる。 ・他の教科書に比べて白い部分が目立つ(特に古代)。 ・「まとめとふり返し」で大単元ごとの要点がまとめられるようになっている。 ・適切である。 ・各ページに年表があり、見通すことができる。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・各ページ下部で歴史的分野・地理的分野との関連が示されている。 ・特に問題ない。 ・単元の流れが見やすく、内容のまとまりが分かりやすく示されている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・適切である。 ・小テストなどで、基礎を確認できる。 ・2次元コードの活用場面が明確でない。 ・多くのページに2次元コードがある。 ・活用していない。 ・小テストやポートフォリオなど内容が充実している。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・単元を貫く問いが明確で良い。 ・普段の歴史学習では特に支障ないが、「地域調べ」などが西日本中心になっており、あえて東京で使用する必然性は感じられない。 ・単元ごとに探究課題が出されており、探究的な学びを個別に進められる工夫がなされている。 ・P4・5でSDGsを取り上げている。 ・特に問題ない。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	新しい歴史教科書	発行者	株式会社自由社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・単元を貫く問いが簡潔で分かりやすい。
- ・写真の選択が微妙な箇所があるように感じた。
- ・写真・図版は概ね見慣れたものが多いが、良くも悪くも、時々独自色のあるものを見かける。
- ・日本の成り立ちと近現代に重きを置いた内容となっている。
- ・神話に関する事項が詳細に示されている。
- ・情報量が多い。
- ・調べ学習のページがある。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成につながる部分は高度である。
- ・対話的な学びが促される補助発問等は少ない。
- ・特に問題ない。
- ・重点を置かれている教材がほかの教科書と異なる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切である。
- ・2ページ1単元の構成で適量である。
- ・年代によって分量の差が見られる。
- ・問題はない。
- ・分量は適切に設定されている。
- ・単元の構成は改善が必要。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・はっきりとした色使いで見やすい。
- ・関係図・家系図の色が単調すぎて、少々見にくい。
- ・難解な語句がときどき見受けられる。
- ・適切である。
- ・内容がシンプルで見やすい。
- ・読みやすい表現が用いられている。
- ・図が多くないため、イメージにもたせるには工夫が必要である。
- ・特に問題ない。
- ・因果関係が捉えやすい。

観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意	見
・はっきりとした色使いで見やすい。 ・日本賛美のコラムが多い印象を受ける。 ・適切である。 ・単元の学習について、時代区分が示されている。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・特に問題ない。 ・見やすい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意	見
・適切である。 ・2次元コードがない。 ・2次元コードの活用場面は明確でない。 ・活用していない。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意	見
・単元の最後に流れを確認できる問題があって良い。 ・他に優れた教科書も多く、この教科書を使用する必然性は感じられない。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・特に問題ない。 ・資料が充実しているので探究に向かいやすい。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	新しい日本の歴史	発行者	株式会社育麟社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・見方・考え方の視点が分かりやすい。
- ・ページによって写真や図の充実さが異なる。
- ・各章導入部分の絵巻はこれから何をやるのかが一目でわかるようになっている。
- ・写真・図版とも必要十分な内容を備えている。
- ・教材の内容は、近現代において、我が国が国際社会でとる立場や、周辺諸国の内政状況にせまる内容の記載が多い。その一方で、国際社会における、主権国家の狭間で苦しむ人々の実態への視点や、国際協調に向けた努力という観点がやや不足している傾向にある。歴史的事実を通じて生徒が、我が国の歩んだ過程を価値判断するにあたって、やや隣国への厳しい見方に寄りがちになる傾向が見られる。
- ・各ページの下に「探究」「確認」の項目があり、学習手法への配慮が見られる。
- ・資料が多く、丁寧に説明されている。
- ・各ページに探究課題が設定されている。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成に繋がる部分は高度である。
- ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。
- ・各ページに「確認」「探究」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
- ・資料がやや大きい感じがする。
- ・豊富な教材が掲載されているので、時代の特色を多面的に捉えられる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切である。
- ・2ページ1単元の構成である。
- ・分量は適切であるが、周辺資料の注釈に力を入れ、議論の対象となる様々な見方を紹介している。
- ・生徒の発達の段階を考慮すれば、やや歴史的な見方において、固定した方向付けを与えようとする傾向にある。
- ・世界史の内容が示されているなどの配慮がある。
- ・全体的な分量は適切であるが、学年段階に応じた量にはなっていない。
- ・P7に「コラム」の一覧が示されている。
- ・単元の構成は改善が必要。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・絵が多く興味関心が持てる。
- ・目新しさはないが、特に問題はない。
- ・適切な部分や、わかりやすい図版もある。
- ・文字の大きさ、資料も見やすい。
- ・読みやすい表現である。
- ・図や事例が少ない。
- ・新聞記事の写真の引用などで、縮尺と画素数などの印刷設定が記事本文を読むのに適していないため読みにくい。
- ・わかりやすい表記をしている。
- ・色のユニバーサルデザインが施されている。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・大きさや色使いが見やすい。 ・時代を大観する「鳥の目」と掘り下げる「虫の目」というコラムは秀逸である。 ・近現代に近づくにつれ、隣国への見方を固定しようとする構成がみられる。 ・各ページに年表による時代区分が示されている。 ・学習の流れが分かりやすい。 ・2次元コードのリンク先に自社のオリジナルコンテンツがない。 ・特に問題ない。 ・歴史学習全体の流れが見やすくなっている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・内容は発展的であり、中学生には難しい。 ・2次元コードの活用場面は明確ではない。 ・各ページだけでなく、統計資料や他分野教科書リンクなど多くのコンテンツへの2次元コードが裏表紙にまとめられている。 ・活用していない。 ・動画やデータベースなどが充実している。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・単元の最後に流れを確認や重要語句の確認ができる問題があって良い。 ・色合いが単調で、総合的には「堅い」イメージを生徒に与える内容・構成になってしまっている。 ・現代的課題として、SDGsを取り上げている。 ・各ページの下に「探究」のパートがあるが、内容的には「探究」とは言い切れない、学習課題も見られる。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・P270で、SDGsの目標が記載されている。 ・特に問題ない。 ・つかむ、しらべる、まとめる、が1ページにまとまっていて、探究が行いやすい。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	ともに学ぶ人間の歴史	発行者	株式会社学び舎

観点① 内容等	
○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成
○生徒の発達の段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮
○学び方、考え方の習得	
意 見	
・興味関心を持てる教材が多くある。 ・サイズが大きいからか文字が多い。 ・写真がもう少しあっても良いように感じる。 ・隙間が目立つ。 ・写真・図版は必要最低限の感がある。 ・学習内容の要点つかませることよりも、歴史的な事象を通じて、やや悲観的印象を付与しようとする記載を優先する姿勢が、全体を通じて見られる。 ・学習手法に関連する配慮は見られなかった。 ・資料は大きいですが、説明が少ない。 ・章末にグループ活動による学習課題がある。 ・思考力・判断力・表現力等の育成に繋がる部分は難しい。 ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。 ・各ページに補足の資料はあるが、発展的な学びを促すアイコンなどがない。 ・資料と本文のバランスがとれている。 ・節や章のまとめの箇所でも様々な学習活動が行えるようになっており、表現したり考えを深めたりしやすい。	
観点② 構成及び分量	
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ	
○各領域の分量、発達の段階に応じた分量	
○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い	
○基礎的・基本的事項等の取り扱い	
意 見	
・適切である。 ・個人の伝記のような、本文には不必要と思われる記述が散見される。 ・要点の整理や、内容理解を促すための記載が少なく、基礎的・基本的事項の取り扱いに課題がある。 ・時系列に並んでいないところがある。 ・分量が多いため、読解の苦手な生徒にとっては読み進めるには時間がかかる。 ・博物館のホームページを紹介する記載はあるが、2次元コードがなく、紹介数も限定的なため、発展的な内容を学習しにくい。 ・単元の構成は改善が必要。	
観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現	
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現	
○一貫性をもった記述	
意 見	
・絵が多く興味関心を持てる。 ・太字がなく、要点を把握しづらい。 ・グラフのような客観的データが少ない。 ・重要なポイントがわかりにくい。 ・表現は読みやすくなっている。 ・例示や図で示された部分は少ない。 ・裏表紙に「より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインも配慮しています。」とある。 ・特に問題ない。 ・大きく鮮明な図版があるので、生徒が資料を分析しやすい。	

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・大きさや色使いが見やすい。 ・A4版と大きく、重い。 ・個別的事象が多く、歴史の大局を見渡す教材として課題がある。 ・章末に振り返り問題ある。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・本文ページの構成を解説するページが無いため、スムーズな学習活動に支障がでると思われる。 ・特に問題ない。 ・太字をなくしている為、学習の妨げにならない。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・2次元コードがない。 ・2次元コードの活用場面は明確でない。 ・活用していない。 ・充実している。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・単元の最後に流れを確認や重要語句の確認ができる問題があって良い。 ・「既存のものとは違う教科書をつくる」という意気込みを感じるが、小単元の題が、生徒にとって学習内容に結びつかないものが多いなど、まだまだ使い勝手に疑問が残る。 ・歴史を学ぶための系統性に欠ける点が、散見される。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・SDGsについて記載が無い。 ・特に問題ない。 ・出来事の間連を掘みやすいように構成されているので、個に応じた学習がしやすい。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	歴史的分野
教科用図書名	国史教科書 第7版	発行者	令和書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・興味関心を持てる教材が多くある。
- ・淡々と文章が続く、小説のような感じがする。
- ・各単元の境界がわかりにくい。
- ・歴史好きには興味深いかも知れないが、教科書としては使えない。
- ・教材としての配慮に欠ける部分が散見される。
- ・中学生には難しい語句、内容が多い。
- ・学習課題はあるが、課題を考えるために必要な情報が少ない。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成につながる部分は高度である。
- ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。
- ・小項目毎に「考えよう」とあるが、表記が統一されず、考察すべきか、調査のみすべきかも判断がつきづらく、本文のどの部分を参照してたりすれば良いのかも分かりにくい。
- ・特に問題ない。
- ・重点を置かれている教材が外と異なる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じての分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切である。
- ・分量が多すぎ、要点がつかみにくい。
- ・流れがわかりにくく、分量も多い。
- ・分量としては適切に設定されているが、学年の発達の段階に応じて適切に量を調整する工夫が必要である。
- ・「天和の治」など他の発行者の教科書では触れられることがほとんどない。
- ・語句が本文で太線で記載されるなど、情報量が過多であると考えられる。
- ・単元の構成は改善が必要。
- ・多い印象を持った。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・絵が多く興味関心を持てる。
- ・カラーでない。
- ・字が小さく、読みづらい。
- ・図版が乏しい。
- ・文字が小さく見にくい。
- ・白黒印刷で見にくい。
- ・読みやすい表現である。
- ・例示や図で示された部分が少ない。
- ・特に問題ない。
- ・因果関係が捉えやすい。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・大きさや色使いが見やすい。 ・中学生が学習するには厳しい構成。 ・中学生が使用する3年間に耐えうる製本ではない。 ・配慮がない。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・判型が小さいため、厚い製本となっており、使用に困難を感じる。 ・特に問題ない。 ・見やすい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意 見	
・デジタルとの関連性が見られない。 ・2次元コードがない。 ・2次元コードの活用場面が明確ではない。 ・他の発行者に比べて2次元コードが少ない。オリジナルコンテンツもない。 ・活用していない。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意 見	
・確認問題などがあり家庭学習で使える。 ・対話的な学びには不向き。歴史を深く掘り下げたい極一部の生徒には良いかもしれない。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・アイコンなども無いためSDGsとの関連を意識した構成とはいえない。 ・特に問題ない。 ・資料が充実しているので探究に向かいやすい。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	公民的分野
教科用図書名	新編 新しい社会 公民	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等			
○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得		
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成		
○生徒の発達段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮		
○学び方、考え方の習得			
意見			
・「深めよう」が実践的で使いやすい。 ・各ページに「チェック」「トライ」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。 ・「スキル・アップ」で資料の読み取りや調べ学習を行う際の手法などを紹介し、活用するコーナーを設けている。 ・「みんなでチャレンジ」で対話的な学習の場面を設けており、アクティブラーニングを進めやすい。 ・用語の整理ができやすい。 ・様々な思考チャートの提示あり。考え方の習得ができる。 ・導入資料が大きく分かりやすい。 ・教材内容は適切であり、視覚的には、やや文字が小さめな印象を受ける。 ・指導内容はわかりやすく、平易に表現しつつも、内容的に充実している。 ・学び方については、教科書のページ下部に、わかりやすい記号で表され、全体を通じて統一感がある。 ・思考判断のパターン化して、意識付けしようとする意図が感じられる。 ・資料が豊富である。 ・各ページに、学びのガイドが示されている。 ・資料がやや大きい感じがする。 ・思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫がある。 ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。 ・基礎的な学習の習得に繋がるように用語が説明されている。 ・単元を通した問いが設定されており、課題解決的な学習を行えるような工夫がなされている。			
観点② 構成及び分量			
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ			
○各領域の分量、発達の段階に応じた分量			
○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い			
○基礎的・基本的事項等の取り扱い			
意見			
・分量は適切である。 ・「スキル・アップ」など本文以外の解説部分の文字のフォントが小さく読みづらさを感じる。 ・学習のポイントになる部分で話し合い活動のテーマが掲載されており言語活動や思考を深めるための工夫となっている。 ・社会科以外の教科で取り扱っている学習内容にマークが付けられている。 ・各章、節、項目ごとの問いがあてが良い。 ・章末に丁寧な振り返りがあてが良い。 ・単元を貫く課題が適切に設定されている。 ・分量は適切であり、指導内容に不足はない。 ・「もっと知りたい」のコラムの文字は極めて小さい。 ・ルビは少なく、学習能力に課題がある生徒にはやや難しい面がある。 ・解説部分のフォントが小さい。 ・単元の構成に改善が必要。 ・単元の導入資料が充実しており、見通しを立てて学習できる。 ・基礎・基本から探究的な内容まで幅広く記述されている。			
観点③ 表記及び表現			
○わかりやすく、読みやすい表記、表現			
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現			
○一貫性をもった記述			
意見			
・資料の色はもう少し濃い方が見やすい。 ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」「全ての生徒の色覚特性に適合するようにデザインしています。」とある。 ・アニメや漫画・スポーツ選手など興味を引きやすいものが多い。 ・裏表紙に「ユニバーサルデザインフォントを採用しています。」とあり良い。 ・資料と本文の配置が決まってい、視覚的には分かりやすい。 ・本文以外の枠が多くなっており、生徒の注意が散漫になることが懸念される。 ・図版の整理がよくなされている。 ・配色も適切である。 ・記述の一貫性だけでなく、内容的なつながりの一貫性が十分に整っている。 ・ユニバーサルデザインを取り入れている。 ・写真がやや大きい感じがする。 ・イラストを用いて図示されている部分が多く、理解を促すよう工夫されている。 ・イラスト、写真などがバランス良く配置されている。			

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・単元の問いが見通しをもちやすい。 ・他教科の学習内容との関連が示されている。 ・章ごとにページの色を変えていて分かりやすい。 ・各章・節・項の問いの提示があって良い。 ・みんなでチャレンジで思考ツール提示されており、生徒の思考を助ける工夫がされている。 ・全体の見通しが十分に持てる書面構成になっている。 ・他教科との関連が明記されている。 ・特に問題はない。 ・全体的な構成として、見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・問いの設定、追究、まとめの流れが構造化されており、使用しやすい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・内容を明記しているのが分かりやすい。 ・多くのページに2次元コードがある。 ・2次元コードを読み込むと地理、歴史、公民の教科書の関連ページを見ることができたり、外部リンク、動画などを見ることができる。 ・動画や学習コンテンツが充実している。 ・2次元コードで、学習の確認を行える。 ・2次元コードが適度に掲載されているが、活用場面が明確ではない。 ・選挙制度の仕組みを解説するデジタルコンテンツが収録されている。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・各章末に「探究課題を解決しよう」を設け、学習内容を自分の言葉でまとめられるよう配慮されている。 ・持続可能な社会の実現を考えるヒントになる「未来にアクセス」というコラムがある。 ・探究活動、対話的な学びの面で十分に活用できる内容になっている。 ・対話のための生徒の意識付けや、課題意識を喚起する十分な資料があり、バランスが良い。 ・SDGsについても十分に配慮されている。 ・探究課題が設定されている。 ・家庭学習に使うことを考えると、文章量が多い。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・2次元コードでの動画再生機能などで家庭学習をサポートしている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	公民的分野
教科用図書名	中学社会 公民 ともに生きる	発行者	教育出版社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・「ウォーミング公民」が分かりやすい。
- ・各ページに「確認!」「表現!」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
- ・文章と写真の境界線が明確である。
- ・写真資料が多く掲載されており、生徒の興味関心を高める工夫がされている。
- ・「確認」「表現」で着目する視点を提示している。
- ・「公民の技」のコーナーを設け、公民の学習で身に付けたい技能や表現力を養えるように配慮されている。
- ・資料を読み取ったり、意味を考えたりできるTHINKが設けられている。
- ・導入部分には、見方・考え方のヒントとなるキャラクターがあり、1時間の学習を見通しやすい。
- ・学習内容に多すぎる必要な資料が適切に配置されている。生徒の発達の段階を考慮して、視覚的な配慮をしようとする意図が十分に感じられる。
- ・生徒が思考を深めるための資料が充実しており、「公民の技」や「公民の窓」のコラムを通じた授業展開への配慮がうかがえる。
- ・特設ページに避難所運営に関するページがあるなど、身近な課題を視野に入れた学習活動の展開に、十分に活用できる。
- ・写真・図表が多い。
- ・各ページに学びのガイドが示されている。
- ・確認と表現のまとめがあってよい。
- ・思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫がある。
- ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。
- ・基礎的な学習の習得に繋がるように用語が説明されている。
- ・「公民の技」「公民の窓」など、見方・考え方を育成するためのコラム欄が充実している。単元を通した問いを追究する流れとなっており、課題解決学習に取り組ませやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切である。
- ・「公民の窓」や「判例ファイル」など、コラムが充実している。
- ・「公民の窓」「公民の技」のコラムで、単元の学習内容に応じて、補助的な資料や発展的な学習を促せる資料が用意されていて良い。
- ・「学習のまとめと表現」では、資料を使った問題、重要語句のチェックがあり復習できる。
- ・各ページの下に「小学校、他分野、他教科との関連」や、「関連するSDGs」を表示している。
- ・本文の分量は適切であり、基礎的・基本的事項の取り扱いにも問題がない。
- ・補助的な教材である特設ページは、やや分量が多く感じるが、内容を深めるために選択的に使用するという観点からすると、内容的な充実がみられる。
- ・単元の構成が以前のものより工夫されていてとても使いやすくなった。
- ・統一された構成・レイアウトになっているため、視覚的なイメージを構築できる。
- ・全体を通して、資料は少ない。
- ・単元を通して、問の設定、追究、まとめという構成が構造化されており、使用しやすい。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・色が少し薄く感じる。
- ・裏表紙に「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。」「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。」とある。
- ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」とあり良い。
- ・文章の間隔があいていて見やすい。
- ・写真とその解説が充実している。
- ・語句の脚注が多いので、内容を言葉で補充できる。
- ・図版、写真、グラフともにわかりやすく表現されている。
- ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。
- ・写真がやや大きい感じがする。
- ・図は大きくて分かりやすく描かれている。
- ・全体的に落ち着いた色味になっている。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・単元の問いが分かりやすい。
- ・各ページの下部に小学校や他分野との関連が示されている。
- ・裏表紙に、環境に優しい再生紙と植物性インキの使用とあり良い。
- ・章ごとにページの色を変えていて見やすい。
- ・用語の解説が分かりやすい。
- ・課題意識をもって、全体を見通しながら学習活動に取り組むことができる。
- ・他分野との関連が示されている。
- ・特に問題はない。
- ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。
- ・1時間ごとに、問いとまとめの欄が対応しており、生徒が見通しを持ったり、振り返ったりしやすい流れになっている。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・本文にあると使いやすい。
- ・「語句クイズ」などが2次元コードで示されている。
- ・「まなびリンク」というウェブサイトで単元ごとに活用できるウェブサイトを紹介していて良い。
- ・学びリンクの2次元コードを読み込むと外部のウェブサイトやクイズを閲覧することができる。
- ・デジタルコンテンツは学びリンクと動画があり、必要な場所に適切に配置されている。
- ・クイズや動画を見ることができる。
- ・とても使いやすく、生徒の自主的な活動にも活用できる。
- ・2次元コードが多いが、活用できるポイントが曖昧である。
- ・2次元コードから動画を再生することで、見方・考え方の育成が図られている。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・巻頭Ⅰ・ⅡでSDGsと公民の学習との関連を記載している。各ページの下部に17の目標で関連するものを示している。
- ・Ⅰ、Ⅱのページに見開きを用いてSDGsを紹介しているだけでなく、右側のページの下にアイコンを明示するなどの工夫がある。
- ・13テーマの持続可能な社会に向けてという特設ページが設定されている。
- ・章末のJUMP!にSDGsと関連する学習内容が設定されている。
- ・全体を通じて、一貫したSDGsへの視点を重視した組み立てが見られる。
- ・探究的な内容にも十分に対応した作りになっている。
- ・特設ページには、対話的な学びを促す学習内容が適切に配分されている。
- ・SDGsとの関連が示されている。
- ・章のまとめがやや使いにくい。
- ・家庭学習としては、文章量が多い。
- ・SDGsのターゲットが示されていない。
- ・学習内容と関連するSDGsの表示が毎時間ごとにある。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	公民的分野
教科用図書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	発行者	株式会社帝国書院

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・導入の街の様子が分かりやすい。
- ・「アクティブ公民」を各章に複数設けて、生徒の主体性を引き出すアクティブ・ラーニング型授業を行うための配慮がなされている。
- ・各単元前のイラストが見やすく、生徒の興味・関心を引きやすい。
- ・「章の学習を振り返ろう」や「アクティブ公民」など、公民的分野で鍛える「見方・考え方」の活用機会や、社会的な課題の解決に向けて「構想(選択・判断)」する機会を設けている。
- ・アクティブ・ラーニング型の授業を行える「アクティブ公民」を設けている。
- ・「技能をみがく」コーナーで、意見交換を整理する手法や、議論の進め方などの技能を習得できるように配慮している。
- ・導入の「学習の前に」が資料が大きく、学習内容が分かりやすくなるよう工夫されている。
- ・教材内容は適切であり、視覚的にとらえやすい配置になっている。
- ・指導内容の考え方のバランスが良く、安定感がある。
- ・具体的事例や、簡素な例を織り交ぜて、生徒の思考力を深めようとする仕掛けが見られる。
- ・資料の配置や思考を深める資料の選択が良い。
- ・資料が大きく見やすい。
- ・各章末に学びのガイドが示されている。
- ・現代的な内容が描かれており、自分事として捉えられるように工夫されている。
- ・資料がやや大きい感じがする。
- ・実社会に興味をもたせ、学び心を引き出すことを重視している。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切である。
- ・第5部で課題探究学習を設定し、第4部までの学習を統合してレポート作成や発表へつなげられるよう配慮されている。
- ・振り返りのページが復習しやすく工夫され、基礎基本の習得につながるとともに、学習に対する意欲を醸成しやすい。
- ・各章、節、項目ごとの学習課題がある。「節の学習を振り返ろう」で知識だけでなく思考力、判断力、表現力を試す問題があって、バランス良く学びを定着させる工夫がされている。
- ・部や章の冒頭の「学習の前に」では、社会全体を概観するイラストや小学校の既習事項を掲載している。また、問題提起になっていて取り組みやすい。
- ・分量は適切であり、指導内容に不足はない。
- ・課題についての問い掛けとそれに対応した資料が充実しているため、考え方や表現の仕方に結びつけやすくなっている。
- ・単元の構成に改善必要。
- ・発達の段階に考慮し、社会参画への意識を高める内容が意識された構成となっている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・色分けが分かりやすい。
- ・裏表紙に「特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」とある。
- ・統一した導入で進めやすい。
- ・太字が見やすい。
- ・図版の整理がよくなされている。
- ・配色も適切である。
- ・ユニバーサルデザインを取り入れている。
- ・イラストが多用されている。
- ・写真がやや大きい感じがする。
- ・写真が多く配置されており、生徒の関心を引き出そうとする意図が伝わる。

観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・「問い」と「確認しよう」が分かりやすい。 ・「学習の前に」「学習を振り返ろう」それぞれに専用ページへの2次元コードがあり自学自習への配慮がなされている。 ・章ごとにページの色を変えていて分かりやすい。 ・下に小学校、地理、公民、他教科との関連を示している。 ・章末問題は知識・理解、表現ともにあり、自主学習がしやすい。 ・全体の見通しが持てる書面構成になっている。 ・2次元コードで復習教材が示されている。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・特に問題はない。 ・「章の問い」が単元の初めに設定されており、見通しをもって学習に臨めるよう工夫されている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・使い方が明記されていると分かりやすい。 ・各ページだけでなく、統計資料や他分野教科書リンクなど多くのコンテンツへの2次元コードが裏表紙にまとめられている。 ・2次元コードから見られるデジタル教材が豊富。 ・リンクだけでなく、学習のコンテンツも充実している。 ・統計資料等多くのコンテンツが示されている。 ・2次元コードが適度に掲載されているが、活用場面が明確ではない。 ・活用していない。 ・「先輩たちからのメッセージ」という動画がある。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・各章のまとめページでSDGsの目標から振り返れるように配慮されている。 ・巻頭に思考ツールの活用の仕方が示されている。 ・章の振り返りやアクティブ公民などに思考ツールが示されている。 ・探究活動、対話的な学びの面で十分に活用できる。 ・SDGsについても配慮がある。 ・SDGsとの関連が示されている。 ・家庭学習には、文章量が多い。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・特に問題はない。 ・現代社会の見方・考え方について、具体例を交えて本文中で詳細に解説されており、家庭学習に活用できる。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	公民的分野
教科用図書名	中学社会 公民的分野	発行者	日本文教出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・「公民+α」が歴史とつながっていて深めやすい。
 ・各ページに「確認」「表現」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
 ・「見方・考え方」コーナーを全ページに設け、「アクティビティ」や「深めよう」や編末の「チャレンジ公民」で「見方・考え方」を働かせることができるようにしており、アクティブラーニングに活用しやすい。
 ・「情報スキルアップ」で情報の読み取りや活用に必要な知識・技能を学習することができる。
 ・巻末に思考ツールの説明や使い方が示されている。
 ・章の導入のイラストが分かりやすい。
 ・教材の取り扱いが適切である。
 ・図版については、やや内容がうすい傾向にある。
 ・思考を深める授業展開においては、他の資料を活用しながら授業を進めていく必要がある。
 ・資料が多く見やすい。
 ・章の最初に学びのガイドが示されている。
 ・思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫がある。
 ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。
 ・基礎的な学習の習得に繋がるように用語が説明されている。
 ・本文と資料のバランスはよい。
 ・各時間の学習課題を積み重ねて説の問を解決し、説の問を積み重ねて編の問いを解決する構造になっている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・適切である。
 ・「チャレンジ公民」で「公園づくりについて話し合おう」など生徒の対話をうながす課題を設定している。各ページに「確認」「表現」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
 ・巻末に高校の公民科「公共」とのつながりや他教科とのつながりについて示されてる。
 ・表紙裏のページに見開きを用いてSDGsを紹介しているが、各単元の学習との関連を目次ページで説明したり、アイコンを用いて説明するなどの工夫がないため、系統性への配慮がやや不足している印象がある。
 ・分量はやや少なめの構成になっている。教科書を通じた思考の深まりを促すには、もう一段の資料の配分が必要である。
 ・文章の分量が適切である。
 ・問いに対応しており利便性がある。
 ・単元の構成に改善が必要。
 ・導入ページでは、生徒同士で意見を出し合って問いを立てるサポートの記述があり、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
 ○一貫性をもった記述

意見

・色分けが分かりやすい。
 ・「より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。」「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と裏表紙に記載されている。
 ・裏表紙に「カラーユニバーサルデザイン」と「ユニバーサルデザインフォント」を用いているとあり良い。
 ・イラストが分かりやすい。
 ・文字の大きさと濃さが適切である。見ていて疲れないデザインである。
 ・全体を通して読みやすく、発達の段階に対する配慮が見られる。一方で、もう少し内容を深めたりするための、図版の分量にやや物足りなさがある。
 ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。
 ・分かりやすい資料が充実している。
 ・写真がやや大きい感じがする。
 ・特に導入ページに生徒のイラストが多用されており、生徒が学習活動をイメージしやすいよう工夫されている。

観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・導入で見通しをもちやすい。 ・巻頭Ⅲで歴史的分野・地理的分野との関連が示されている。 ・裏表紙に「植物油インキと再生紙を使用しています。」とあり良い。 ・各ページの左下に節の問いが書かれている。 ・全体を見通せる構成になっている。 ・歴史・地理との関連が示されている。 ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・特に問題はない。 ・色は明るい、落ち着いたトーンが目立つ。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・使う場面が分かりやすい。 ・多くのページに2次元コードがある。 ・2次元コードからポートフォリオ、イントロダクションムービー、確認小テスト、外部リンクなどを見ることができる。 ・デジタルコンテンツがとても充実している。一部、教科書と同じ図版が出るが、他のアプリケーションを活用した授業で、使うことができる。 ・2次元コードの活用場面が明確ではない。 ・活用していない。 ・動画、外部リンクの2次元コードが多くある。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・巻頭1・2でSDGsを取り上げている。 ・授業で全て扱えるかは別として、SDGsに関するページが他社に比べて多い。 ・「見方・考え方」コーナーを全ページに設け、「アクティビティ」や「深めよう」や編末の「チャレンジ公民」で「見方・考え方」を働かせることができるようにしており、アクティブラーニングに活用しやすい。 ・巻末に思考ツールの説明や使い方が示されている。 ・探究的な学びの導入で、生徒のわかりやすさ、理解のしやすさを重視しているように感じる。 ・SDGsに対する配慮も十分になされている。 ・SDGsとの関連が示されている。 ・家庭学習としては、文章量が多い。 ・SDGsのターゲットが示されていない。 ・特に問題はない。 ・2次元コードで練習問題に取り組めるようになっており、家庭学習に活用しやすい。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	公民的分野
教科用図書名	新しい公民教科書	発行者	株式会社自由社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・基礎・基本の確実な習得に適している。
- ・空白が目立つ。
- ・中学生が理解するのはやや難しく感じる。
- ・内容は中学生に難しい。
- ・復習や調べ学習のページがある。
- ・思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫がある。
- ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。
- ・基礎的な学習の習得に繋がるように用語が説明されている。
- ・本文に対しての資料の割合が高い感じがする。
- ・発行者の主義主張、意向が色濃く反映された内容である。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・分量は適切である。
- ・情報量が多い印象。
- ・国家についての記載が多い。
- ・分量は適切に設定されている。
- ・単元の構成に改善必要。
- ・発行者の主張に基づいた内容構成である。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・色分けが分かりやすい。
- ・もう少し資料や写真が充実していてもよい。
- ・重要語句はゴシックになっている。
- ・情報量が多く、中学生が理解するのはやや難しく感じる。
- ・問題はない。
- ・読みやすい表現である。
- ・例示や図で示されている部分が少ない。
- ・発行者の主張に基づいた記述が多い。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・適切である。
- ・「ここがポイント」コーナーで単元の重要事項が簡単にまとめられている。
- ・見通し・学習内容・まとめが明確に示されている。
- ・特に問題はない。
- ・探究的な学習への配慮が薄いと感じる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

- 2次元コードによる学習内容
- 見やすさ、操作性

意 見

- ・デジタル教材は極端に少ない。
- ・2次元コードがない。
- ・2次元コードの活用場面が明確ではない。
- ・活用していない。
- ・他の発行者と比べ見劣りする。

観点⑥ 特記すべき事項

- 地域性への配慮
- 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ
- 対話的な学習が行いやすい工夫
- SDGsへの配慮
- その他

意 見

- ・「ディベート」のページが設けられている。
- ・家庭学習には、文章量が多い。
- ・SDGsのターゲットが示されていない。
- ・特に問題はない。
- ・議論を喚起するような記述もある。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	公民的分野
教科用図書名	新しいみんなの公民	発行者	株式会社育鵬社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・シミュレーションが使いやすい。
 ・各ページに「確認」「探究」など思考力や判断力を伸ばす課題が設定されている。
 ・資料は充実している。
 ・もう少し資料内の説明の文字が大きくてもよい。
 ・コラムの「やってみよう」で主体的・対話的で深い学びへの配慮がなされている。
 ・各章の導入に「入り口」のページを設け、章全体の学習内容の趣旨をとらえさせる言語活動の「入り口」のページを設けている。各時間の終わりに、社会的事象の意や意義を解釈したり、事象間の関連を説明する言語活動に取り組める「これから」(出口)を設けている。
 ・公民の基礎的な技能を身に付ける「スキルアップ」が設けられている。
 ・調べ学習がやりやすい工夫がされている。
 ・教材内容は適切であり、視覚的にとらえやすい配置になっている。
 ・指導内容については、隣国の国際社会における振る舞いや、人権問題に強く踏み込み、教科書会社の課題意識が強く反映されている。国際社会の現況に正対しようとする一方で、我が国の、国内における人権課題に関してはやや記載が乏しい。
 ・旧憲法に対する価値判断に、教科書会社の意向が反映され、やや客観性に欠ける。
 ・資料の配置や思考を深める資料についてはやや乏しい。
 ・資料が多く見やすい。
 ・各ページに学びのガイドがある。
 ・思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫がある。
 ・対話的な学びが促される補助発問等が少ない。
 ・基礎的な学習の習得につながるように、分かりやすく用語が解説されている。
 ・本文と資料のバランスはよい。
 ・課題をつかむ、課題について調べる、課題についてまとめることで、「問題解決的な学習」を進める構成となっている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・分量は適切である。
 ・P.7に「コラム」の一覧が示されている。
 ・「地理」マークや「歴史」マークで地理や歴史の既習事項が紹介されている。
 ・コラムの「やってみよう」で本文量を圧迫する程度のももあり、基礎・基本の確実な習得という面で課題を感じる。
 ・分量の配分は適切であるが、指導内容に基礎的・基本的な事項をややこえた内容が散見される。
 ・分量は適切である。
 ・単元の構成に改善が必要。
 ・両論併記を充実させたコラムを多数掲載している。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意	見
・資料の色分けが分かりやすい。 ・裏表紙に「特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と記載されているが、裏表紙の濃い青のデザイン部分に文字がかかっており一部読みにくい。段落替えも○の下にまで文字があり、読みにくい。 ・カラーバリエーションに配慮されているのが良い。 ・巻末に日本国憲法の条文と解説がある。 ・グラフの色や模様が豊富で、見づらさを感じる。 ・図版の整理がよくなされている。 ・思考の深まりよりも価値判断に寄せる資料選択になっている部分がある。 ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。 ・写真や挿絵がかなり大きい。 ・特に問題はない。 ・フォント等、ユニバーサルデザインに配慮している。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意	見
・「○○の入り口」が使いやすい。 ・新聞記事の写真の引用などで、縮尺と画素数などの印刷設定が記事本文を読むのに適していないため読みにくい。 ・各章の冒頭にキーワードや単元に関連する写真が掲載されている。 ・章末問題は、自学としても使える。 ・全体の見通しがやや劣る。 ・新聞記事の画像など、読みにくいところがあった。 ・見直し・学習内容・まとめが明確に示されている。 ・特に問題はない。 ・流れが構造化されており、見直しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容 ○見やすさ、操作性	
意	見
・2次元コードのリンク先に、自者のオリジナルコンテンツがない。 ・2次元コードによる学習内容は、外部リンクとNHK for Schoolのみで独自の内容があるわけではない。 ・2次元コードの活用場面が明確ではない。 ・活用していない。 ・他の発行者よりはやや少ない印象である。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮 ○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ○対話的な学習が行いやすい工夫 ○SDGsへの配慮 ○その他	
意	見
・SDGsの項目16の写真が拉致に関するものであることに違和感を感じる。 ・章末問題は、自学としても使える。 ・コラムの「やってみよう」で主体的・対話的で深い学びへの配慮がなされている。 ・SDGsについて取り扱っている。 ・SDGsとの関連が示されていないことが多い。 ・3ページにある「なぜ公民を学ぶのか」といった、地理歴史公民の構造図を用いて、学習の意義を考えさせることができる。 ・特に問題はない。 ・「国際社会のこれから」のページで、SDGsに関連した記載がある。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	地図
教科用図書名	新編 新しい社会 地図	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・地方の特色が分かりやすい。
- ・P.10など多くのページに「Bee's eye」という問いコーナーがあり、それらの問への解答と解説が各ページの2次元コードから簡単に確認できるような配慮がなされているため、主体的な学びに活用できる。
- ・世界地図に同緯度・同縮尺の日本が掲載されており、地域を比較してみる力に繋がる。
- ・環境問題や資源・エネルギー問題、人口問題、貧困問題、地域紛争や難民問題について扱う特集ページを設け、SDGsの理解を基に、現代社会の諸課題の理解を促す配慮がされている。
- ・現代的な課題をテーマにした地図が多く掲載されており、課題解決の授業に役立つ。
- ・学習に必要な地図・資料が網羅されている。
- ・思考力を高める主題図・データも充実している。
- ・調べ学習に最適。
- ・データ資料が多い。
- ・基本的な資料が多く、分かりやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じての分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・適切な分量である。
- ・歴史的分野、公民的分野と関連がある地図などは各ページのアイコンで確認できるよう配慮されている。
- ・地理的分野の学習の流れに沿って、世界の一般図と資料、日本の一般図と資料、統計と索引の3つのまとまりで構成されている。
- ・適切である。
- ・補助教材としてとてもよい。
- ・見やすい構成である。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・色分けが分かりやすい。
- ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。」とある。
- ・地図の色が落ち着いている。
- ・巻末の統計データが2020年と少し古い。
- ・写真資料が多く使われている。
- ・地図の中の言葉(地名など)がやや細く小さい印象。文字と地図の色があまりはっきり区別されているわけではないので、場所を探しにくい部分がある。
- ・適切である。
- ・地形を表現する色使いが見やすい。
- ・色使いが少し気になる。
- ・淡色である。
- ・色が落ち着いていて見やすい。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・地域の全体地図の後に、分野別の地図があって分かりやすい。 ・2次元コードで解答例やアフリカの自然などが確認出来るよう配慮されている。 ・教科書との連携がされており、併用が前提となっている。 ・世界の中での位置を常に確認できるようなイラストがある。 ・資料には学習課題が設定されている。 ・特に問題はない。 ・全体的な構成としては、地域ごとにまとめられている。 ・他の発行者の地図帳より軽量でよい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・使いやすい。 ・多くのページに2次元コードがある。 ・インターネットを活用した学習が効果的な部分にはDマークが付けられており、「地理院地図」を参照したり、一般的な白地図をダウンロードしたりできる。 ・適切である。 ・学習課題の解答、デジタルマップ、関連する教科書のページなどがある。 ・2次元コードの活用場面が明確ではない。 ・2次元コード読み込むと該当の教科書ページに飛ぶので、より詳しく学ぶことができる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・SDGsについての記載がある。 ・P.8でSDGs用の特設ページを設けている。 ・SDGsに配慮した内容は当然だが、含まれている。 ・SDGsについての説明はあるが、関連は示されていない。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	社会	種目	地図
教科用図書名	中学校社会科地図	発行者	株式会社帝国書院

観点① 内容等	
○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成
○生徒の発達の段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮
○学び方、考え方の習得	
意見	
・資料が大きくて見やすい。 ・P.10など多くのページに「地図で発見！」という問いコーナーがあり、それら全ての問への解答と解説がP.6の2次元コードから簡単に確認できるような配慮がなされているため、主体的な学びに活用できる。 ・巻末の統計データが充実している。 ・はっきりした発色で地形のようすや土地利用のようすが見やすく、地図を主眼に置いた地図帳である。 ・平野に使われている緑色など、鮮やかな色が多い。 ・現代的な課題をテーマにした地図が多く掲載されており、課題解決の授業に役立つ。 ・学習に必要な地図・資料が網羅されている。 ・思考力を高める主題図・データも充実している。 ・調べ学習に最適。 ・データ等の資料が豊富であり、利便性は高い。 ・資料が多くあり、色々な視点から考えることができる。	
観点② 構成及び分量	
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ	
○各領域の分量、発達の段階に応じた分量	
○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い	
○基礎的・基本的事項等の取り扱い	
意見	
・適切な分量である。 ・歴史的分野、公民的分野と関連があるページを目次のアイコンで確認できるよう配慮されている。 ・同じ縮尺の資料図を並べ、変化や関係性などを追究できるようにしている。 ・英語科や理科でも活用することができる。 ・汎用性のある地図となっており、地理的分野のみならず、歴史、公民、他教科の授業でも使用可能である。 ・各資料が豊富にあり、よく活用している。 ・構成は見やすく、情報の分量は適切に設定されている。 ・基礎的な内容から発展的な資料があり、良い。	
観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現	
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現	
○一貫性をもった記述	
意見	
・3Dイラストが興味を引いて分かりやすい。 ・裏表紙に「特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」とある。 ・市街地等の表示が多色で塗り分けられている。 ・平野に使われている緑色など、鮮やかな色が多い。 ・各地域のテーマ資料が見やすい。また、地図に使われている色もはっきりしていて見やすい。 ・索引ページのページ数が強調されており分かりやすい。マークで遺産や歴史地名などが一目で分かるのも良い。 ・適切である。 ・地形を表現する色使いが見やすい。 ・色使いが見やすくてよい。 ・色のコントラストがはっきりしている。 ・もう少し資料(分布図)などの色が濃い方が見やすいのではないかな。	

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・地域の全体地図の後に、分野別の地図があって分かりやすい。 ・同者の地理的分野の教科書と連携がなされており併用することへの配慮がなされている。 ・統計ページの「日本の統計」では、各都道府県だけでなくそれぞれ地方別に合計のものが掲載されているので、地域を比較しながら考えることができるものとなっている。 ・適切である。 ・世界の中での位置を常に確認できるようなイラストがある。 ・資料には学習課題が設定されている。 ・特に問題はない。 ・全体的な構成として、地域ごとに適切にまとめられている。 ・「地図で発見する」があることで、地図に触れる機会を多く作れる。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・州や地方ごとによって使いやすい。 ・「地図で発見！」の解答と解説以外にも、統計資料や小学校の振り返りなど多くのコンテンツの2次元コードが裏表紙にまとめられている。 ・2次元コードが各所に設置されており、専用サイトにアクセスし、地図帳を補完する資料を閲覧できる。 ・適切である。 ・学習課題の解答、デジタルマップ、動画等の関連リンクなどがある。 ・デジタルマップは、非常に使用しやすい。 ・2次元コードが随所にある。 ・ジオグラフを使うことでさまざまな視点から地理的な考えを深めることができ良い。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・SDGsについての記載があるとよい。 ・P.8でSDGs用の特設ページを設けるとともに、関連のあるページのタイトルの横にアイコンを記載している。 ・SDGsの内容も書かれている。 ・SDGsについての説明はあるが、関連は示されていない。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	数学	種目	数学
教科用図書名	新編 新しい数学1・2・3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- 教材の適切さ
- 教材や資料の正確さやわかりやすさ
- 生徒の発達の段階に対する配慮
- 学び方、考え方の習得
- 基礎・基本の確実な習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的・対話的で深い学びへの配慮

意見

・演習問題において♥をつけることで、確実に習得させたい内容をしぼり、指導しやすくしている。
・例題において、解答の根拠がやや省略されており、指導者が補足しながら説明した方がよい部分が存在する。
・数と式の単元においてクイックチェックの欄が新設され、生徒が復習する際に、どこをやればよいかが分かりやすくなっている。
・導入や深い学び、章の問題Bの後半等で扱っている題材が日常生活に結びつく内容や学習内容を発展させることができる題材が多く、生徒の関心・意欲を高めるような内容になっている。また、主体的・対話的な授業展開がしやすい題材であり、思考力・判断力・表現力の育成にもつながると考えられる。
・既習事項の内容がヒント的に右端に書かれていたり、問題の種類も、基本から応用までバランス良く取り入れられており、各問以外に、基本の問題、章の問題、補充の問題と、問題数もたくさんあり、生徒の実態に合わせた授業展開が行いやすい。
・適切であり、分かりやすい。
・ページを開いたときに、学習内容とポイント、重要語句がパッと目にとまりやすいレイアウトになっており、復習もしやすい。
・基本的な問題がおさえられている。
・「深い学び」の単元が工夫されている。
・日常生活に関係する身近な課題を導入部で取り入れており、生徒の興味を持って取り組める工夫が見られる。
・各章で「問題解決型の学習」が取り入れられ、流れも分かりやすい。
・課題に対する図や表がイメージしやすいものとなっており、写真も効果的に挿入されている。
・ねらいが分かりやすい表現になっており、その時間に何を学習するのかが捉えやすい。
・「Q 考えてみよう」が柔らかな表現で、課題もつかみやすい。
・その都度、まとめがあったり、振り返りがあったりと、発達段階に対する配慮が感じられる。
・「Q→例→問」の流れは、学び方の習得のためにはよい流れである。
・「大切にしたい見方・考え方」が紹介されており、考え方の習得には有効に活用できる。
・個にあわせて「クイックチェック」や「学びを振り返ろう」などで、学習したことの確認が随時できる。
・「基本の問題」で、どこに戻ればよいかが明確に示されている。
・「深い学び」の問題では、課題を解決するための流れが明確に示されており、個やグループ、全体での思考・判断・表現力の育成に有効に活用できる。
・「章の問題B」の「活用問題」は難易度は高めであるが、考え方を深めるためにはよい問題が多い。
・「深い学び」の内容は、「やってみよう」「考えてみよう」と思わせる課題が多く、主体性や対話を大いに期待することができる。
・学習すべき事項がわかりやすくまとまっている。
・基礎基本を習得する問題が配置されている。
・各学習内容が問いをもつことから始まり、生徒の主体的な学びを促している。課題解決をしながら学習内容を深め、例題や練習問題で定着を図ることができる。
・章末問題が多く、活用問題も現実場面との関連が時代に準拠しており充実している。
・生徒の発問として考え得る吹き出しのイラストが多く扱いやすい。
・題材→めあての順に配置されている。
・単元が必ず問いではじまる。
・(2年生)連立方程式の解とグラフで、解なしの場合が扱われている。
・演習問題に、習熟段階別のしきりがついている。
・扱う問や例題の内容も適切で、難易度も適切である。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・1年生の0章で素因数分解を扱っているが、1章の正負の数の累乗を学習していない段階であるため、答え方の表記で累乗を使わない形で教えたあと、1章を学習した後に、累乗を使った表記に訂正しなくてはならないため、学習の配列としてはやりずらさを感じる。
・2年生の4章平行と合同の導入で多角形の内角の和を扱っているが、関心意欲を高めるのに適しているが、三角形の内角の和をやる前であるため、三角形の内角の和を学習した後に、ふたたび多角形の内角の和と外角を定義し直して、学習の配列としてはやりずらさがある。
・3年生の3章2次方程式で、一般的に多く活用していく解き方は因数分解を使った解き方であることと、解の公式の導入での平方完成で平方根の考え方を使得って解くため、①因数分解②平方根③解の公式で教えていく方が流れがスムーズであると感じる。しかし、東京書籍では①平方根②解の公式③因数分解の順に扱っている。
・適切である。
・例題や問題の難易度も適切で、練習問題の量や章末の問題の量も適切である。補充問題などもあり、繰り返し練習して定着を図ったり、発展課題に挑戦し学びを深めたり広げたりと、生徒の発達の段階に応じて、問題の分量を調節できるようにしている。
・巻末に付録の補助教材が載っている。
・既習事項を想起させる工夫がなされており、「数学の窓」等の発展的な課題も、生徒の興味を引きつけることができると考える。
・始めの問いかけ、例、問の分量も適切であり、基本の問題や章の問題は難易度も含めて適切な分量である。
・本文中や巻末にある日常生活における数学のトピックは「数学の窓」とともに、生徒の興味・関心をひき、グループ学習やレポートの課題としても活用できる。
・「クイックチェック」や「学びを振り返ろう」を通して、基礎的・基本的事項の確認が適宜できる。分量も適切である。
・問題の内容・量ともに適切である。
・補充問題・発展問題が設定されており、習熟状況に応じた取り組みが進められる。
・(1年生)作図の単元では、垂直二等分線の前に、たこ形を用いた垂線が示されている。一般的な場面から特殊な場面への流れで学習内容を扱っているため学習を理解を促しやすい。
・例題や問題の難易度も適切で、練習問題の量や章末の問題の量も適切である。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現	
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現	
○一貫性をもった記述	
意 見	
- 一貫性をもった記述となっており、挿絵も適切で、見やすく、わかりやすい字体、表現、配置、色使いになっている。 - めあてや課題が明確に示されているのもよい。 - 見やすい。 - 学習課題と中心発問が枠で囲った上で背景が色付けされており、これから学ぶ内容がわかりやすい。また、ポイントとなる内容については、右端のスペースを使って別立てでまとめられており、ページを開いたときに、内容やポイントがつかみやすい表記になっている。 - 大切な用語は太字になっており、まとめも分かりやすい表現である。 - 読み間違えしそうな漢字には、ルビが振ってあり、配慮を感じる。 - 文字の大きさと太さ、例題の解答やまとめの色使いも分かりやすい表現である。 - 問いかけ方が統一されており、一貫性をもった記述となっている。 - 学習課題・ポイントがわかりやすくまとまっている。 - 図が多くかつ大きくなっているため、考えやすい工夫がされている。 - 計算問題などは、計算過程を丁寧に記述してあり、なぜそのように計算できるのか、どのように計算するのかを正確につかむことができるように工夫されている。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意 見	
- 必ず身につけるべき基本的な内容と、応用的な内容がマークやタイトルで分かるようになっており、個別最適な学びがしやすい作りになっている。 - 教科書の最初と最後に、教科書の使い方や、全体の内容のまとめ等がわかりやすくまとまっている。 - 適切である。 - 各章ごとの見出しが整っているため見通しをもちやすい。 - 目次のページで単元のねらいがあり、内容を想像できるのでよい。 - 教科書の最後にふろくがついており、授業で数学的活動を取り入れやすいつくりとなっている。 - 随時、既習事項の確認や、吹き出しによる考え方のヒントやガイドなど、今何を学んでいるかが明確に捉えられる工夫がなされている。 - どこに戻ればよいかが分かりやすく、全体が見通せる配慮が感じられる。 - 導入部分の発問が分かりやすく、これから何を学ぶかが捉えやすい。 「深い学び」では、学習の流れが分かりやすく解説しており、学びの深め方に対する配慮がなされている。 - ユニバーサルデザインフォントを採用しており、字体やフォント、字の太さ、色使いなどに配慮が感じられる。 1年生の教科書は重たく感じるが、内容的に仕方がないのかも知れない。 - 目次などで、見通しがもてる工夫がされている。 - ページをまたいだ表現がなく、簡潔にまとめる工夫がなされている。 - 目次には、その学習内容につながる既習内容が記されており、学習の系統性が分かるようになっている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
2次元コードのコンテンツが1752と多く、工夫されており、生徒のiPadを学習に活用しやすく、授業や家庭学習に日常的に取り入れられる工夫がされている。 - 各ページに2次元コードがついており、家庭学習にも活用できる。 - ほぼ全てのページに2次元コードがあり、授業中はもちろんのこと、予習や復習でも活用でき、個に応じた指導もできる。 - 見やすさ、操作性に問題はない。 2次元コードが各ページにあり、主体的に学べる工夫がされている。 - 全ページに2次元コードあり。 - 一問一答形式のデジタルコンテンツは利便性が高い。 - デジタル教材が充実している。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
- 日本語が不自由な生徒も増えているため、133言語のGoogle翻訳対応となっているのはとても良いが、中野区が貸与しているiPadのsafariブラウザでは使うことができないとなっているため、とても残念である。 - SDGsの題材も扱っていて、数学とSDGsをつなげることができるように工夫されている。 - 環境配慮基準を満たすインクをつかっている。 「深い学び」の単元が工夫されていてよい。 「深い学び」の課題は、問題解決学習には有効に活用でき、流れも分かりやすい表現になっている。その課題を通して、対話的な学習も進めやすくなると感じる。 2次元コードによる学習により、自分のペースに合わせた家庭学習が可能である。 - 探究的な学習に取り組める工夫がされてる。 - 補充の問題が充実していて、演習として扱いやすい。 (2年生)証明をふりかえる活動が取り入れられている。 - 作図の書き方が、分かりやすい。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	数学	種目	数学
教科用図書名	数学の世界1・2・3	発行者	大日本図書株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・フォントは他の教科書よりも多少大きい。
 ・絶対値の指導において、中学校以降あまり使用しない帯分数の問題が1問だけ掲載されている。しかし、その後帯分数が登場する問題は掲載されていないため、なぜ掲載されているか疑問である。
 ・各章において、導入から基礎・基本的な知識、発展の問題まで丁寧に示されている。
 ・導入において具体的な日常の場面を題材にしている。
 ・各章や節に「考えよう」や「活動」というトピックが設定されており、思考力・判断力・表現力の育成や主体的・対話的で深い学びにつなげやすい工夫がされている。
 ・適切であり、分かりやすい。
 ・「活動」と「例題」があり、数学的な活動に取り組みやすい。「めあて」も明記してある。
 ・問題形式が多く、生徒が取り組みやすい。
 ・全ての章の利用の節で、主体的・対話的な活動が入っており、指導の流れも分かりやすい。
 ・日常生活に関する題材を多く取り入れており、生徒の興味・関心をひくための工夫が感じられる。
 ・本文中の図や表、イラスト等はシンプルで、余計な情報が少なく感じる。
 ・適宜、既習事項が確認できるよう、配慮されている。
 ・「プラス・ワン」や「さらにプラス」で発展的な課題が設定されており、生徒の学習進度に合わせた配慮がなされている。
 ・巻頭に学習の流れがまとめられており、各章の終わりの方には、問題解決学習の流れの説明がある。学び方・考え方の習得の仕方が大まかに捉えやすい。
 ・「めあて」が明確に示されており、本時に何を学ぶのか分かりやすい。
 ・中心発問が「活動1」「活動2」と明記されており、基礎・基本の確実な習得のための配慮が感じられる。
 ・章末の「力をのばそう」や「活用・探究」で、思考・判断・表現力等の伸長を図ろうとしている。
 ・「仕事のなかの数学」などの読み物を通して、社会とのつながりを感じたり、対話的な活動へと発展させることが期待できる。
 ・めあて⇒活動⇒例題と活動しやすい工夫がされている。
 ・全ての章で、主体的・対話的な活動が入っている。
 ・すべての章の利用の節で、主体的・対話的な活動が取り入れられている。
 ・「めあて」が先頭に配置されているため把握しやすい。
 ・ページを開いたときに、学習内容とポイント、重要語句がバツと目にとまりやすいレイアウトになっており、復習もしやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・前の学年までに学んだこととのつながりを示してあったり、学習範囲を超えてチャレンジできる発展問題が適切に配置されている。
 ・各分量や構成、基礎的・基本的事項の取り扱いは概ね適切であると感じる。
 ・適切である。
 ・各章において、導入から基礎・基本的な知識、発展の問題まで丁寧に示されている。
 ・巻末に補助教材がまとめられており、いろいろな領域の学習を総合したり、ほかの教科での学習に関連づけたり、前年度の学年の学習内容や1年間の学習を仕上げる問題など、多彩に補助教材が用意されている。
 ・活動⇒例題⇒たしかめ⇒Qの流れが一貫しており、構成・配列としては適切である。
 ・問や振り返りの問題、力をのばすための問題など、分量は適切である。
 ・章毎の演習問題や、巻末の補助教材など、多種多様な教材が多数取り扱われている。
 ・章の途中にある「たしかめよう」で、基礎的・基本的事項の確認ができるようになっている。
 ・基礎問題、発展問題ともに充実している。
 ・補助教材が充実しており、様々な学習に対応できる。
 ・見開きで1時間の授業構成ができる。
 ・めあてがあるのが良い。
 ・問題量がやや多く、選べるのが良い。
 ・(1年生)作図の単元で、垂直二等分線・垂線の後に角の2等分線が扱われている。そのため、垂線を「角の2等分線の特殊形」ではなく「たこ形の線対称性の活用」として一貫性をもった学習として取り組める。
 ・(2年生)データの分布・箱ひげ図⇒確率の順に単元が並んでいる。
 ・補充問題などがあり、繰り返し練習して定着を図ったり、発展課題に挑戦して学びを深めたり広げたりと、生徒の発達の段階に応じて、問題の分量を調節できるようになっている。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意見	
・乗法の計算の紹介において、上部では道のり、速さの例を使っているが、中段では、演繹的に考えさせる例を掲載しているため、1ページの中の一貫性が感じられない。 ・章ごとに、色の統一がされており、章のまとまりがわかりやすい。 ・めあてや大事なポイントが、太字のみで表記されているが、背景に色をした方が見やすいと感じる。 ・章末など問題だけのページのフォントの大きさが小さく感じる。 ・色の統一がなく分かりにくい。 ・教科書の使い方が記載されており、それぞれのページにおいて、めあてや活動、判断しようなど、何をやるかが明確になっている。 ・表紙に各単元の要素が盛り込まれていて興味深い。 ・字体や色の工夫など、読みやすく配慮されているが、字がやや小さいように感じる。 ・大切な用語は太字で示されており、図やイラストもシンプルでよいと感じる。 ・めあて、活動、問の表記が統一されており、一貫性をもった記述となっている。 ・学習方法について、丁寧に示されている。 ・字のサイズが小さい。 ・「まとめ」のほかに、強調された太字(単語でなく)の文章について、読み取りにくい部分がある。 ・課題解決をしながら学習内容を深め、例題や練習問題で定着を図ることができる内容になっている。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意見	
・前学年の復習がコンパクトにまとまっていて、振り返りながら学習を進めることができる。 ・章の最初に、既習事項との関連性やこの章で学ぶ内容がタイトル脇に書いてあり、見通しが持ちやすい。 ・適切である。 ・各章ごとに学習内容が節に分かれており、全体構成が見通せる。 ・「たしかめよう」はシンプルでよい。また、分からないときにどのページを振り返ればよいのか明記されているのが良い。 ・ページの右側に章と節が分かるように、色別で示しており、既習事項や次の単元が探しやすい工夫が施されている。 ・活動→例題→たしかめ→Qの流れが一貫しており、学習活動を進めやすくする配慮となっている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用しており、字体やフォント、字の太さ、色使いなどに配慮が感じられる。 ・東京書籍よりは軽く感じる。 ・個人学習で、分からないときに何を学び直すか記されている。 ・1ページあたりの情報量が多い。 ・1ページあたりの情報量がコンパクトにまとめられており、学習活動が進めやすくなっている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容 ○見やすさ、操作性	
意見	
・「数学の世界WEBプラス」でSGRAPAで箱ひげ図等を生徒自身が作成できるのがよい。 ・2次元コードで動画やシミュレーションなどのデジタルコンテンツが気軽に使うことができ、個別最適な学びにつなげやすい。 ・2次元コードを読み取ると、家庭学習をタブレットでできるようになっている。 ・2次元コードはあるものの、量的には物足りなさを感じる。 ・見やすさ、操作性に問題はない。 ・2次元コードで問題演習ができる。 ・1部に2次元コンテンツあり ・充実しているが、単元のページ毎に2次元コードが示されている訳ではない。 ・2次元コードでも示されていて、家庭学習で活用できる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮 ○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ○対話的な学習が行いやすい工夫 ○SDGsへの配慮 ○その他	
意見	
・各学年で、SDGsの内容を扱ったページがある。 ・自動採点のドリルコンテンツがあり、家庭学習で活用しやすくなっている。 ・多言語対応が13カ国しかないものの、他言語版デジタル教科書での対応となっているため、Google翻訳等を使わなくても使える点が良い。 ・全ての章の利用の節で、主体的・対話的な活動が入っており、指導の流れも分かりやすい。 ・問題解決型の課題が設定されており、探究的な学びに結び付けることができる。 ・レポートの書き方が掲載されているので、それを参考にさせて探究的な学びにつなげることができる。 ・2次元コードが少ないので、家庭学習で活用させることはできにくいと考える。 ・主体的・対話的な学習について、各章で示されている。 ・(1年生)作図の演習で、75°限定の発問がある。「どんな大きさの角を作図できるか」といったオープンアプローチの発展問題を作成することもできる。 ・活用問題がない単元もある。 ・その場面で身につけさせたい数学の見方・考え方について表記がありわかりやすい。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	数学	種目	数学
教科用図書名	中学校 数学1・2・3	発行者	学校図書株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・発展的な内容や日常生活に結びつく様な内容にふれあうことができる「深めよう」や巻末に「さらなる数学へ」というトピックスが、思考判断表現力の育成や主体的・対話的で深い学びに結びつくと考えられる。

・2年生2章連立方程式の解の書き方が、中括弧を使い、縦にならべて書く表記になっているが、都立高校の入試問題の解答欄が、横に並べて書く表記になっているため、横に並べて書く表記の方に慣れておく方が、生徒の混乱がないように思う。

・適切であり、分かりやすい。

・複雑な計算式に対して、計算手順を1つひとつ記入されているのは非常に良い。

・導入の課題が身近な題材で工夫されている。各内容ごとの最初の課題が、その学習内容を理解していくための適切な内容になっている。扱う問や例題の内容も適切で、難易度も適切である。

・章の導入の前に振り返りのページがある。

・計算力を高めよう、確かめよう等のページで基礎・基本の確実な習得ができる。

・導入部分で身近な話題を取り上げており、学習に入りやすい工夫がされている。

・各内容の最初の課題が分かりやすく、どのようなことを学習するかが、イメージしやすい。

・目標(ねらい)が明記されており、その日の学習内容がつかみやすい。

・吹き出しや見方・考え方などがヒントとなり、図や表も扱いやすい構成になっている。

・Q→例題→問の流れが一貫しており、基本的なものから発展的なものまで幅広く問題が扱われている。

・節の終わりにある確かめの問題等で、基本的な事柄が確認でき、扱いやすそうである。

・巻頭に学び方や考え方の流れがまとめてあり、それらの習得に有効に活用できる。

・節の終わりにある「確かめよう」や「計算力を高めよう」など、それまでの基本事項の確認がしやすい工夫がされている。

・吹き出しやふりかえりで基本的な考え方が明記されており、基礎・基本の習得には有効である。

・各単元に数学的活動が用意されており、流れも的確に明記されている。

・章末の「深めよう」の課題が、身近な話題で生徒の興味をひき、思考力や表現力を高めるには有効に活用できる。

・その都度ある「Tea Break」や「数学へのいざない」が「やってみよう」「考えてみよう」という気持ちを引き出し、主体的・対話的な深い学びにつながっていくと考える。

・学習の流れ、計算方法が丁寧に示されている。

・導入課題が生徒の興味を引く内容となっている。

・基礎・基本を習得させる、問題ページが設定されている。

・単元の導入は必ず問いから始まる。

・章のまとめの問題が充実しており、演習で扱いやすい。また、単元の振り返りのページがある。

・章のはじめに既習事項の確認のページが配置されていて必要に応じて使い分けられる。

・導入の課題が身近な題材で工夫されている。各内容ごとの最初の課題が、その学習内容を理解していくための適切な内容になっている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・情報が網羅されているが、1ページあたりの情報量が多く、見づらく感じる印象がある。

・1つ題材が複数ページにまたがって掲載されているため、1つのページを見たときに、何について説明しているページかわかりづらい。まとまりを感じにくい。

・単元の構成や分量は概ね適切である。

・発展的な内容や日常生活に結びつく様な内容にふれあうことができる「深めよう」や巻末に「さらなる数学へ」というトピックスがある。

・基本的な問題は十分だが、応用的な問題や思考力・判断力・表現力を問う問題は他社の教科書に比べると少なめに感じる。

・1年生7章データの活用、2年生7章データの分析で、表計算ソフトの利用の仕方を丁寧に扱っているのが良い。また、各学年の巻末でプログラミングについて扱っているのが良い。

・適切である。

・各章に入る前に、それに関連した学習内容をこれまでどこで触れたのかを記載してほしい。各章の終わりにある応用問題は、豊富にあり良い。

・各章で、応用問題、活用問題があり、それとは別に発展的な内容にふれあうことができる「深めよう」というトピックスがある。

・基礎・基本の定着への工夫がされている。例題や問に、キャラクターがヒントやポイントをつぶやいており、基本的な事項をしっかりと理解できるようサポートされている。

・各内容でQ→例題→問の流れが確立されており、それらが発展的な内容につながっていくよう配慮されている。

・例題と問の分量が多く、繰り返し学習をすることができる。

・章末問題でも豊富な問題量が確保されている。

・章末にある「深めよう」の課題は身近なものであり、習得したものを活用できるよう工夫がされている。

・例題が多く配置されているので、基礎的な力を蓄えるための配慮を感じる。

・視覚的なヒントにより、学びやすくなっている。

・基礎問題・応用問題ともに豊富に設定されている。

・単元構成において、1年生の作図の単元では、垂直二等分線を学習した後、扇形を用いた垂線の学習が配列されており、特殊な例から一般的な例への流れとなっている。

・1年生には、平行線の作図がある。

・2年生の確率の導入は、数学的確率と想像を考えさせるなど、興味をもたせる工夫がされている。

・各章ごとにその章のまとめ問題が記載されている。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意見	
・ページの冒頭に発問が掲載されているが、文章量が多く、その影響で他の部分が圧縮されている。 ・概ね見やすくまとめられているが、パッと見たとき、字体や色、イラスト、写真の配置が少し煩雑に見えるページがある。 ・余白がない ・色が多すぎて分かりにくい。 ・立体の模型には色をつけて欲しい。 ・ユニバーサルデザインの視点が取り入れられており、色使いやレイアウトなど見やすく工夫されている。目標が枠で囲まれており、学習内容が一目でわかるようになっている。 ・ゆとりのあるレイアウト。 ・字体やまとめなどにより、分かりやすく読みやすい構成となっている。 ・太字で大切な用語を明記している。 ・図や表、色の使い分けにより、学習が進めやすい。 ・始めの課題のQは柔らかな表現で、例題や問は的確な表現で、一貫性を感じる。 ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。 ・レイアウトも適切である。 ・色づかいが落ち着いていて見やすい。 ・一貫性をもった記述がされている。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意見	
・章が変わるたびに緑、オレンジと色分けされており、進めやすい。 ・目次には、その学習内容につながる既習内容が記されており、学習の系統性が分かるようになっている。 ・章の扉に節が示されており、その章で学ぶ内容の見通しができる。 ・適切である。 ・2次元コードでも示されていてよい。 ・ページの右側に単元や節が色別に記載されており、全体を見通したり、振り返りを行う際にも有効に活用できる。 ・巻頭に学習の進め方がまとめて書いてあり、授業の流れが分かりやすく説明されている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用しており、字体やフォント、字の太さ、色使いなどに配慮が感じられる。 ・目次に、全体を見通せる工夫がされている。 ・振り返りのページは、チェック項目で自己評価ができるようになっている。 ・目次を利用して、全体をつかむことができる。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容 ○見やすさ、操作性	
意見	
・2次元コードがいろいろと配置されており、生徒のiPadを活用した授業や家庭学習がしやすく工夫されている。 ・2次元コードを読み取ると、家庭学習をタブレットで取り組めるようになっている。 ・2次元コードを活用して、アニメーションでは学習のイメージが捉えやすく、チャレンジ問題もあり、様々な工夫がされている。 ・見やすさ、操作性に問題はない。 ・2次元コードで問題演習ができる。 ・デジタルコンテンツが充実している。 ・2次元コードから章末の問題のポイントを見ることができ、家庭学習で活用できる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮 ○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ○対話的な学習が行いやすい工夫 ○SDGsへの配慮 ○その他	
意見	
・各内容の始めに、「Question」として、思考判断表現力を高めるような発問があり、対話的な学習や、探究的な学びに結びつけやすい工夫がされている。 ・巻末の「さらなる数学へ」でSDGsの題材を扱っている。 ・「さらなる数学へ」が主体的・対話的で深い学びの学習ができる。 ・SDGsなど社会に生きる数学の見方・考え方がまとめられている。 ・巻末の「深めよう」の課題により、探究的な学びが確保されている。 ・SDGsとの関連性が明記されており、数学とのつながりが興味をひく題材である。 ・2次元コードを活用しての固い学習が可能である。 ・主体的・対話的で深い学びの学習ができるページがある。 ・1年生のヒストグラムでは、平均と最頻に差のある問い(靴のサイズの問題)が扱われていて、対話的な学習が行いやすい。 ・身近に感じる題材が扱われていて親しみやすい。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	数学	種目	数学
教科用図書名	中学数学1・2・3	発行者	教育出版社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・生徒のキャラクターによる考えを整理する吹き出し(例 2年生P.52上部のようなもの)は、動機付けにもつながるためよい。ただし、その「？」こそ生徒から出てほしい事柄でもあるため、教師用教科書の方に留めてもよいと感じる場面も多いと感じた。

・学習の感想なども、なかなか出ない生徒の参考としてはよいかもしれないが、他の考えや感想が出にくくなる要因にもなると感じる。

・適切であり、分かりやすい。

・各章の導入課題には生徒の生活に身近な題材が数を多く取り上げられており、生徒が興味・関心をもって学習に入ることができるようになっている。

・小学校の復習が充実している。

・社会での活用が紹介されている。

・シンプルな構成が使いやすい気がする。

・各学年ともに、身近な題材から始まる単元が多く、教材として適切である。

・ねらい(めあて)が明記されており、その日の学習内容がイメージしやすい。

・図やポイントが分かりやすくまとめられている。

・Q(始めの発問)、例題、たしかめ、問と、発達段階に対して理解しやすい構成となっている。

・発展的な課題では様々な問題が取り上げられており、数学的な考え方を伸ばすには有効に活用できる。

・巻頭にこの教科書の使い方や大切にしたい考え方などの記載があり、学び方・考え方の習得のための道筋が示されている。

・例題の解説が丁寧でわかりやすく、基礎・基本の習得には有効である。

・各章末に学習のまとめがあり、基本事項を振り返るための配慮がなされている。

・問題解決型の課題では、学びのプロセスが明記されており、思考・判断・表現力の育成のためには有効である。

・章末の「学んだことを活用しよう」や「数学の広場」などの発展的な課題を通して、主体的・対話で深い学びにつなげられるための配慮がなされている。

・導入課題が生徒の興味を引く内容となっている。

・小学校の復習問題もあり、基礎・基本を習得させる、工夫がされている。

・単元の導入は、必ず問いから始まる。

・入試問題の改題を示す表記がある。

・一問一答形式のまとめがある。

・導入において具体的な日常の場面を題材にしている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・各章の、「?はてな」→「!なるほど」→「! ?だったら」の流れはとてもよい。このような思考の流れが問題解決能力の向上につながると考える。

・数学の広場は、身近に感じづらい数学を身近に感じる(興味がわく)コンテンツでとてもよい。

・1年生において、 π が図形の単元まで出てこないことは問題ないと感じた(他の教科書では、文字式で一度教えることが多いが、図形の単元まで忘れてしまっている生徒も多く二度手間になりがちなので)。

・適切である。

・「学びマップ」で小学校で学習した内容をわかりやすくまとめてあり、小中の学習内容の系統もわかるようになっていたり、小中の学習内容の違いが分かる代表的な箇所、算数から数学へ学習内容がどのように広がっているかを示してある。中高連携にも対応している。

・本文中や章末、巻末などのいろいろな箇所に、日常生活や実社会に関連する話題や課題、学習したことをさらに探究する課題などが多数掲載されている。

・1章「整数の見方」が正負の数から独立しており、扱いやすさを感じる。

・単元の構成や配列等も適切である。

・例題やたしかめ、問が多いのがよい。習熟度により問題を選ぶことも可能である。

・「数学の広場」やトピックスなど、様々なことと関連付けるための補助教材が豊富である。

・各単元終わりにある「学習のまとめ」で、そこまで学習した重要事項について振り返りができる。

・小学校からの流れも見通せるようになっている。

・学んだことを活用する方法についても示されている。

・単元構成において、1年生の作図の単元では、垂直二等分線を学習した後、扇形を用いた垂線の学習が配列されており、特殊な例から一般的な例への流れとなっている。

・3年生の2次方程式は因数分解から導入されている。

・どの単元も、基礎的・基本的事項の取り扱いが適切である。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現	
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現	
○一貫性をもった記述	
意	見
・日常生活のつながりを考えさせるページが多い。 ・イラストが多いページがあり、見づらく感じる印象がある。 ・全体として、太文字だけでなく、もう少し大切なところを強調してもいいように感じた(例 1年生P.218の正多面体の説明のようなどころ)。同様に各問い(Q)は、区切りとしても背景色を変えるなりがあってもよいと感じた。 ・「各章の学習のまとめ」は、1ページでまとめた意図はわかるが具体例も含んでいるため、問題として扱うのか、ちょっとした確認として扱うのか、少し中途半端な印象を受ける。 ・シンプルで分かりやすい。 ・中心的な内容と補足的な内容を一目で区別できるように、側注のデザインが工夫されている。 ・章のタイトルのページに、その学習内容と日常生活を関連付けらる内容の大きな写真が使われており、生徒の関心をひく工夫がされている。全体の色の使い分けも落ち着いた見やすい配色になっている。 ・分かりやすく、読みやすい表記であり、特に問題はない。 ・字の大きさ、字体については妥当である。 ・色の使い分けも統一されており、分かりやすい。 ・図がやや小さく感じるのが気になる。 ・Qはです・ます調の柔らかな表現で、たしかめや問は「～しなさい」の表記で統一されている。 ・見開きで、学習がしやすくなるようなレイアウトとなっている。 ・レイアウトが適切である。 ・配色がはっきりとしている。 ・文字と図の大きさのバランスがよい。図の大きさも適切である。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意	見
・学びのマップは、既習内容や先の学習内容とのつながりを確認しやすくとてもよいと感じる。 ・適切である。 ・章ごとに学習のまとめを1ページでまとめているが、前年度の学習内容のまとめに10ページ以上をつかっており、復習をしたり、既習事項との系統性をつかみながら、学習を進めていける工夫がされている。 ・ページの右側に単元や節が色別に記載されており、全体を見通したり、振り返りを行う際にも有効に活用できる。 ・巻頭にこの教科書の使い方や大切にしたい考え方などの記載があり、学び方・考え方の習得のための道筋が示されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮した構成となっており、製本に対する問題もない。 ・前年度との系統性を見通して学習できるため、つまづきを自己調整しやすい。 ・単元の導入部の振り返りのページは使いやすい。 ・全体的にまとまっている。	

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・まなびリンク、動画など動きで理解を深めるコンテンツが多くてとてもよい。 ・2次元コードを読み取ると、家庭学習をタブレットでできるようになっている。 ・アニメーションや動画を活用してイメージを膨らますことができ、発展課題のサポートもできるようになっているが、もう少し基本的なことの振り返りができるような配慮がほしい。 ・見やすさ、操作性に問題はない。 ・2次元コードで問題演習ができる。 ・デジタルコンテンツを利用するためには工夫が必要である。 ・目次を利用して、全体をつかむことができる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・ユニバーサルデザインを取り入れている。 ・全ての章の利用の節で、主体的・対話的な活動が入っており、指導の流れも分かりやすい。 ・各章末にある「学んだことを活用しよう」や「数学の広場」を活用しての探究的な活動が可能である。 ・とびらのページを含め、写真が多く掲載されているので、それらを通して対話的な学習が進められると考える。 ・問が多く、宿題を出しやすいが、2次元コードによる学習がもう少し可能だと更によい。 ・主体的・対話的で深い学びの学習ができるページがある。 ・1年生の作図の演習では、75°限定の発問のみ掲載されている。 ・ヒントやさらに学習の内容を深めるための問いかけがあり、生徒が学習活動を進めやすくなる工夫がされている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	数学	種目	数学
教科用図書名	未来へひろがる数学 1・2・3	発行者	株式会社新興出版社啓林館

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・その単元や項でのめあてが明確に書いてある。
- ・行間がせまく、例と問のそれぞれが見にくい箇所がある。「ひろげよう」「練習問題」の内容も同様に見にくい。
- ・例と問が細かく設定されていて、スモールステップになっており、基礎基本の習得につながりやすい。
- ・思考力、判断力等の育成は、巻末の「学びを生かそう」にて掲載されている。
- ・主体的・対話的で深い学びへの配慮は巻末の「学びを生かそう」のみに集約されている。
- ・適切であり、分かりやすい。各単元について、基本的な問題だけでなく応用問題も充実している。
- ・それぞれの章で学んだことを、身のまわりで役立てたり、深めたりすることができる題材が充実している。
- ・2次元コードがついていて、それを読み取ると、啓林館の学習ページにとぶ。家庭学習の助けが充実している。
- ・題材が端的でシンプルである。
- ・導入部分の課題がやや複雑で、考えにくい面がある。
- ・題材が端的でシンプルであるが、分かりやすい具体的な例とはなっていない。
- ・ねらい(めあて)が明確に示されており、その日の授業がイメージしやすい。
- ・例題→問→練習問題の流れが確立されており、基本から応用まで幅広い課題が設定されている。
- ・巻頭に教科書の構成と使い方、問題解決の仕方、大切な考え方など、学習を進める上での大切なことをまとめている。
- ・本文中にある練習問題の量が豊富で、2次元コードによる学習でも補充が可能であり、基礎・基本の習得には有効である。
- ・章末にある「数学ライブラリー」を活用して、思考・判断・表現力の育成を図ることができる。
- ・章の問題の中にも発展的な問題があり、有効に活用できる。
- ・巻頭にある「表現する力を身に付けよう」で、話すとき、聞くときの大切なことがまとめてあり、それを基に授業を展開させることができる。
- ・学び方、学習の流れ、まとめと学びやすく整理されている。
- ・学んだことを社会で活用する方法についても示されている。
- ・関数の分野では、一貫して「 x と y の関係を式に表しなさい」と表現されている。
- ・単元の導入が問いから始まらないものもある。
- ・計算力を高めたり、確かめるページがあり、基礎・基本の確実な習得ができる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・演習問題が多い。
- ・ほぼすべての演習問題の直前に例題が掲載されており、途中式や解法が丁寧に記載されている。
- ・構成は問題ないが、発展性に関して不十分である。
- ・分量は適切である。
- ・基礎的事項等の扱いは、適切である。
- ・単元の構成は適切である、前の学年までに学んだこととのつながりを示してあり、系統性が分かりやすい。また、さらに学習を深めたり、発展させたりするための問いかけやトピックスが用意されている。
- ・問題量が多いので反復練習がしやすい。
- ・各単元ともに、基本的な内容から発展的な内容へと順を追って配列されている。
- ・既習事項との関連が明記されており、系統性が分かりやすい。
- ・各領域の分量、発達の段階に応じた分量ともに適切である。
- ・章末問題は基本的なものから発展的なものまで幅広く用意されており、分量も多く、学んだことの確認が広きに渡って可能である。
- ・「ふりかえり」や「練習問題」で、基本事項の確認が適宜行える。
- ・前年度からの系統性が示されており、学習の流れを見通すことができる。
- ・基礎問題・応用問題ともに問題量が充実している。
- ・単元構成において、1年生の作図の単元では、垂直二等分線を学習した後、扇形を用いた垂線の学習が配列されており、特殊な例から一般的な例への流れとなっている。
- ・学習の前に取り組む問題が用意されているので、復習や苦手な生徒への対応に活用できる。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意	見
・表現については適切である。 ・挿絵が多く、写真が少なく構成されている。式や図形に関しては適切である。 ・シンプルで分かりやすい。 ・各内容の導入の課題の字体と本文の字体、模範解答例の字体が使い分けられており、分かりやすい。レイアウトもとても見やすく、側注も有効に使われている。 ・落ち着いた色使いで、安心して教科書を読み進めることができる。重要語句や大事な内容は背景が色付けされていて、見やすい。 ・表記・表現ともに分かりやすく、読みやすい表現である。 ・まとめはあるものの、字体がほとんど同じで、どの部分が大切なのかがかみにくい。 ・本文はです・ます調の柔らかな表現で統一されているが、問はまちまちで統一性が感じられない。 ・フォントが使い分けられており、分かりやすい。 ・レイアウトも適切で見やすい。 ・各内容の導入の課題の字体と本文の字体、模範解答例の字体が使い分けられており、分かりやすい。レイアウトもとても見やすく、側注も有効に使われている。 ・「例」と「例題」が混在している。 ・ユニバーサルデザインの視点が取り入れられており、色使いやレイアウトなど見やすく工夫されている。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意	見
・例題の後に、問があり、補充問題があるものもあり、学習を進めやすくしている。 ・適切である。 ・教科書を閉じた状態でも各章の場所がわかるように工夫されている。 ・ヒントやさらに学習の内容を深めるための問いかけなどが緑の字でかかれており、それをもとに生徒が学習活動を進めやすくなる工夫がされている。 ・ページの右側に単元や節が記載されており、全体を見通したり、振り返りを行う際にも有効に活用できる。 ・吹き出しで疑問を投げかけたり、ヒントを与えたり、振り返りをさせたりと、いろいろな活用がなされ、配慮が感じられる。 ・ユニバーサルデザインフォントが採用しており、読みやすい配慮がなされている。 ・印刷・製本に対する問題は特にない。 ・視覚的なヒントにより、学びやすくなっている。 ・1ページあたりの情報量が多い。 ・落ち着いた色使いで、安心して教科書を読み進めることができる。	

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・解説動画が2次元コードで準備されているものもある。 ・2次元コードを読み取ると、家庭学習をタブレットでできるようになっている。 ・2次元コードによる学習の中に、補充問題があるのがいい。 ・見やすさ、操作性に問題はない。 ・2次元コードで問題演習ができる。 ・原理の説明よりも、解法の説明のためのデジタルコンテンツである。 ・2次元コードから章末の問題のポイントやくわしい解説を見ることができ、家庭学習で活用できる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・UDフォントを使用したり、用紙やインクを環境に配慮して使用している。 ・全ての章の利用の節で、主体的・対話的な活動が入っており、指導の流れも分かりやすい。 ・「数学ライブラリー」では、いろいろな内容が取り上げられており、探究的な学びにつなげられる。 ・2次元コードによる学習で、補充問題があるので、家庭学習でも活用できるのはよい。 ・各単元の導入部分で、対話的な学習をすることができるようになっている。 ・主体的・対話的で深い学びの学習ができるページがある。 ・活用の問題がない単元もある。 ・目次には、その学習内容につながる既習内容が記されており、学習の系統性が分かるようになっている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	数学	種目	数学
教科用図書名	これからの 数学1・2・3	発行者	数研出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・行間がせまく、1ページの掲載量が多い場面がある。例題、問、練習の順に掲載され基礎の習得につながりやすい。
- ・巻末の「チャレンジ編」には、思考力等の育成、深い学びへの配慮がある。
- ・適切であり、分かりやすい。
- ・まとめが細かく、分かりやすい。
- ・問題が基本的でシンプル。
- ・探究ノートについては、内容や構成において改善が必要である。教師も率先して使用したいと思うものをリサーチしているとよい。
- ・導入部分で様々な課題が設定してあり、生徒の興味・関心をひく内容となっている。
- ・日常生活の身近な話題が多く扱われていて、考えてみようと思える課題設定になっている。
- ・ねらい(めあて)が明確に示されており、これから何を学ぶかが明確につかめる。
- ・教材や資料はわかりやすい内容であり、扱いやすいと考えられる。
- ・各単元に入る前に、既習事項の確認ができるように配慮されていて、その学習をするためにはどのような力が必要かが明確である。
- ・TRY→例題→問の並びが統一されており、段階的に考えるための配慮が見られる。
- ・巻頭に学び方の手ほどきが示してあり、授業の進め方やどのような流れで考えればよいかが捉えやすい。
- ・適宜、それまでのまとめや振り返りがあり、基礎・基本の習得のためには有効である。また、イラストによるヒントやガイドも考えるべきことがよく分かり、工夫が感じられる。
- ・章末にある「学んだことを活用しよう」を授業に取り入れることにより、思考力や表現力の育成に活用できる。
- ・吹き出しを通して、対話的な発展が可能である。
- ・身近な題材が多いので、「やってみたい」と思える課題が多い。
- ・基本的な問題がシンプルで分かりやすい。
- ・まとめのページが学習内容を整理しやすくしている。
- ・単元導入の具体例がやや少ない。
- ・1年生のヒストグラムで、平均と最頻に差がある分布が問いとして扱われていない。
- ・チャレンジ問題はあがるが、まとめの問題が少ない。
- ・各章において、導入から基礎・基本的な知識、発展の問題まで丁寧に示されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・全体的にフォントサイズが小さい分、各ページに程度の余白が生まれ、見やすい印象を受ける。
- ・分量は適切である。
- ・発展性にはやや欠ける。
- ・基礎等の取り扱いはとくに問題はない。
- ・探究ノートを活用することで、通常の授業の中に発展的な学習が取り組みやすい。導入の前に既習事項を振り返ることで系統性もつかみやすい。
- ・単元の配列は適切であり、基礎から発展まで段階を経て課題に取り組めるよう配慮されている。
- ・例題、問、確認問題、章末問題と、多様な課題が多く設定されており、その分量も適切である。
- ・巻末にある発展的な課題は、数学の力を伸ばしたいと考える生徒には有効であり、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。
- ・適宜あるまとめや振り返りにより、基礎的・基本的事項の確認がしやすい。
- ・前年度からの系統性が示されており、学習の流れを見通すことができる。
- ・探究学習に取り組む発展的な内容も充実している。
- ・単元構成において、1年生の作図の単元では、垂直二等分線を学習した後、扇形を用いた垂線の学習が配列されており、特殊な例から一般的な例への流れとなっている。
- ・問題集のような構成である。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意 見	
・例題の後の演習問題に一貫性がないときがある。例えば分配法則のページでは、例題で{}を使った問題を説明しているが、演習問題では{}がない問題を取り扱っている。 ・表記、表現は適切である。 ・行間のせまさ、1ページの掲載の多さ、色の配色において、わかりやすさにつながらないページがいくつかある。 ・全体的に挿絵は多いが、写真が少ない。 ・色が多く分かりにくい。 ・「ノートのつくり方」が詳しく書かれているので、生徒にとってありがたい。また、至る所に挿絵でヒントなどが描かれていて見やすい。 ・表記は分かりやすく、読みやすい。 ・字体・文字の大きさ等、問題はない。図形や挿し絵も分かりやすいものとなっている。 ・色使いは統一されており、読みやすい構成となっている。 ・例題は「～しよう」、問は「～しましょう」で統一され、柔らかな表現で一貫している。 ・学び方、ノートの作り方などが示されており、学びやすい。 ・文字のサイズが小さい。 ・色の種類や写真・イラストが多く、記号や図形、挿絵は見やすく分かりやすい。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・例題の後に、問があり、補充問題があるものもあり、学習を進めやすくしている。 ・印刷に関して、1冊の重量が重い。 ・適切である。 ・目次に内容に関連した写真やイラストが添えられており、パッと見て、この1年間どんな内容を学習していくのが見通せる。 ・ページの右側に単元や節が記載されており、全体を見通したり、振り返りを行う際にも有効に活用できる。 ・もくじにその単元に関する写真や挿し絵が添えられており、何に関して学ぶかがイメージしやすいようになっている。 ・吹き出しが多く、学習を進める上での手助けとなっている。 ・色使いが柔らかく感じる。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用しており、読みやすく、印刷・製本に関して特に問題はない。 ・目次などで、年間の学習内容を見通すことができるため、つまづきを自己調整しやすい。 ・1ページあたりの情報量が比較的多い。 ・全体構成が見通せて使いやすい。	

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

- 2次元コードによる学習内容
- 見やすさ、操作性

意見

- ・Link「イメージ」や「考察」というものが2次元コードで準備されている問題もある。
- ・2次元コードを読み取ると、家庭学習をタブレットでできるようになっている。
- ・2次元コードによる学習は多種多様に富んでおり、補充問題から考察・探求に至るまで、幅広く活用できる。
- ・見やすさ、操作性に問題はない。
- ・2次元コードで問題演習ができる。
- ・多様なデジタルコンテンツがある。
- ・1人1台タブレットを利用しながらの学習には適しているが、そうでない場合は使いにくい。

観点⑥ 特記すべき事項

- 地域性への配慮
- 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ
- 対話的な学習が行いやすい工夫
- SDGsへの配慮
- その他

意見

- ・UDフォントを使用したり、用紙やインクを環境に配慮して使用している。
- ・全ての章の利用の節で、主体的・対話的な活動が入っており、指導の流れも分かりやすい。
- ・章末にある「学んだことを活用しよう」では、探求のLinkを活用して、学習を深めることができる。
- ・2次元コードにより、家庭学習でも十分活用できる。
- ・吹き出しを利用した対話的な学習が可能である。
- ・主体的・対話的で深い学びの学習ができるページがある。
- ・家庭学習でも使うことができる。
- ・各単元の最初に、復習しておきたい算数の学習内容に関わる問題が掲載されており、導入としても活用できるようになっている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	数学	種目	数学
教科用図書名	中学数学1・2・3	発行者	日本文教出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・1ページの掲載内容が精選されており、余白が適度にあるため見やすい印象を受ける。
 ・他の教科書よりもフォントサイズが小さい。
 ・思考判断表現力の育成や主体的・対話的で深い学びにつなげやすい工夫がされている。
 ・速さの公式のようにつまづきやすい既習事項の振り返りなど本文横にあり、とてもよい。また、「確かめ」もあることで理解しやすいつくりとなっている。(例 3年生P.57の確かめは確かに説明の際に触れる内容である)。
 ・適切であり、分かりやすい。
 ・数学の学習の流れを問題、解決、振り返りについて着目し、それに付随することについてまとめられている。
 ・早く計算し終わった生徒が補足で取り組めるチャレンジ問題の答えが次のページにあるのがよい。
 ・例題の最初にめあてが記述されている。
 ・どの教材も適切で、導入部分では身近な話題から入っており、分かりやすい。
 ・図や写真で、分かりやすい構成となっており、デジタル教材も活用しやすそうである。
 ・めあてが明確に示されており、その日に学習することのイメージが付きやすい。
 ・Q(最初の課題)→例題→問の流れが確立されており、発達段階に対する配慮が見られる。
 ・巻頭で「学びに向かう力」について解説されており、学びのポイントがつかみやすい。
 ・デジタル教材活用しての補充ができるように配慮されている。
 ・節毎に基本の問題で基本事項の確認ができるようになっている。
 ・「数学のたんけん」で思考・判断・表現力の育成をすることはできそうだが、問題量的にはやや足りない感じがする。
 ・導入部分の課題は身近なものであり、主体的・対話的で深い学びにつなげられる。
 ・学習の流れが丁寧に示されている。
 ・めあてや振り返りなど自分で学習を調整する工夫がある。
 ・計算の解説がわかりやすい。
 ・例題の前にめあてが配置されている。
 ・単元の導入は必ず問いで始まる。
 ・SDGsなど社会に生きる数学の見方・考え方がまとめられている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・各単元の冒頭に小学校の復習が入っており、レディネスの確認ができる。
 ・「めあて」があることで、何が出来れば(わかれば)よいかの見通しがたちやすい構成でとてもよい。合わせて1時間の流れが、Q(基点となる問題)から活用・演習までわかりやすく、指導のイメージも持ちやすい。
 ・2次元コード「みにつける」や、チャレンジ問題など、分量としても豊富で、幅広い層をカバーできていると感じる。
 ・数学のたんけんは、身近に感じづらい数学を身近に感じる(興味がわく)コンテンツでとてもよい。
 ・適切である。
 ・各章において、導入から基礎・基本的な知識、発展の問題まで丁寧に示されている。
 ・各章ごとにその章のまとめ問題が記載されている。
 ・巻末ページが充実している。
 ・各単元ともに、基本的な内容から発展的な内容へと順を追って配列されている。
 ・既習事項との関連が明記されており、系統性が分かりやすい。
 ・問題量は適切な分量であり、発達の段階にも応じた対応となっている。
 ・補助教材がやや少なめに感じる。
 ・デジタル教材による基礎的・基本的事項の反復練習ができるように配慮されている。
 ・単元構成が適切で、導入、基礎演習、発展問題と学びやすい流れになっている。
 ・発展的な問題が充実している。
 ・単元構成において、1学年の作図の単元では、垂直二等分線を学習した後、風形を用いた垂線の学習が配列されており、特殊な例から一般的な例への流れとなっている。
 ・各章ごとにその章のまとめ問題が記載されている。

観点③ 表記及び表現

○わかりやすく、読みやすい表記、表現

○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現

○一貫性をもった記述

意 見

- ・必要などころに濃淡の色分けがされており見やすい。
- ・本文もとても端的に書かれており非常にわかりやすい。
- ・余白が狭い。
- ・フォントが読みにくい。
- ・色が多くて見にくい。
- ・学習課題や問いなど、各単元の目標や考えるべきことなど、シンプルな色使いで見やすい。
- ・どの単元も表現が分かりやすく読みやすい。
- ・式の計算の仕方や考え方が具体的に示されている。
- ・表記・表現ともに分かりやすく、読みやすい表現である。
- ・導入のページは図やイラストが大きく、扱いやすい構成となっている。
- ・大切な言葉は太字で明記されており、ポイントが分かりやすい。色も豊富である。
- ・本文・例題はともにです・ます調の柔らかな表現で統一されており、一貫性をもった記述となっている。
- ・レイアウトや色使いも適切で見やすい。
- ・アンダーラインが色分けして使われている。
- ・式の計算のフォントと問や例題のフォントは統一した方が見やすい。

観点④ 使用上の便宜

○全体の構成が見通せる配慮

○学習活動を進めやすくする配慮

○印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・「大切な見方・考え方」により考えを深めるきっかけとなる。このような思考の練習が、1つの事柄を多角的な見方をすることや問題解決能力の向上につながると考える。
- ・適切である。
- ・各章の学習の前にその章に関連する振り返りの問題が記載されており、学習活動をすすめるように配慮がなされている。
- ・全体構成が見やすい。
- ・単元名がインデックスになっていてよい。
- ・ページの右側に単元や節が色別に記載されており、全体を見通したり、振り返りを行う際にも有効に活用できる。
- ・「大切な見方・考え方」が適宜明記されており、学習を進める上でのポイントが分かりやすい。
- ・ユニバーサルデザインフォントが採用しており、読みやすい配慮がなされている。
- ・印刷・製本に対する問題は特にない。
- ・関連する単元が示されており、学習を調整しやすくなっている。
- ・各章の学習の前にその章に関連する振り返りの問題が記載されている。
- ・その場面で身につけさせたい数学の見方・考え方について表記があり見通しをもって学習できる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・動きで理解を深めるようなコンテンツが多くてとてもよい。
- ・2次元コードを読み取ると、家庭学習をタブレットできるようになる。
- ・デジタル教材による動画やアニメーション、シミュレーションなどが豊富で、課題をイメージしやすくする配慮が感じられる。
- ・反復練習できる課題があるのがいい。
- ・見やすさ、操作性に問題はない。
- ・2次元コードで問題演習ができる。
- ・多様なデジタルコンテンツとなっている。
- ・2次元コードでも示されていてよい。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・ユニバーサルデザインを取り入れている。
- ・全ての章の利用の節で、主体的・対話的な活動が入っており、指導の流れも分かりやすい。
- ・巻末に探究的な課題はあるが、分量的には物足りなさを感じる。
- ・デジタル教材を活用して、基本的な事項の確認ができるようになっているので、家庭学習でも活用できる。
- ・対話的な学習は、導入部分で可能である。
- ・SDGsに関する問題が巻末に記載されている。
- ・主体的・対話的で深い学びの学習ができるページがある。
- ・単元のまとめの「説明できるかな？」の問いは、抽象的である。
- ・各単元の最初に、復習しておきたい算数の学習内容に関わる問題が掲載されており、導入としても活用できるようになっている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	理科	種目	理科
教科用図書名	新編 新しい科学1・2・3	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・周期表が一新され、それぞれの元素に対する興味関心を引き出すようなつくりになったと感じた。具体的には、身の回りの元素の例がイラストになったこと、説明に少し具体性が出たことで周期表をじっくり見る機会が増えそうだと感じた。色使いもはっきりしたことで、金属元素と非金属元素の区別にも目がいきやすい。

・図や写真の量が増え、大きくなることで見やすくなっている。また、生徒に提示しやすい。

・実験の一部に予想が入ったことがよい。

・発展の内容や資料の情報が多く、文章と図で説明しており分かりやすい。

・「Before&After」を使った振り返りがしやすい。

・スタンダードな実験を多く取り入れている。安全への配慮が見られる。

・実験の頁は背景の色が変わっていてわかりやすい。・グラフの印刷が見やすく、小さいものでも1目盛りが読み取れる。

・生徒が疑問に感じる内容を【なるほどね】などの項目を設けている点、理解しやすい。・3年の教科書内で人間の性に関する記載が見られる。保健体育の内容とはすみ分けがされておりよりよい内容である。

・適切にルビがふられている。・問題を解決するための項目【レッツスタート】など導入がしやすい内容である。

・教科書内の発問が適切である。・太字になっている語句など基本的な内容を抑えている。

・章末の【学習内容の整理】は基本的な内容が掲載されていて扱いやすい。

・発問が適切であり、生徒が文章化しやすい内容である。

・「何を」まとめるのか、「何を」が明確である。・「まとめて話し合う」などの表記があると生徒の意欲は向上する。

・発問はよい。

・探究的な導入課題が、学習活動の流れを作っている。

・周期表が一新され、それぞれの元素に対する興味関心を引き出すようなつくりになったと感じた。具体的には、身の回りの元素の例がイラストになったこと、説明に少し具体性が出たことで周期表をじっくり見る機会が増えそうだと感じた。色使いもはっきりしたことで、金属元素と非金属元素の区別にも目がいきやすい。

・適切である。写真や図が見やすく、身近な題材を扱うことで、生徒が学習に対する興味や関心をもちやすく配慮されている。

・正確であり、問題ない。

・ユニバーサルデザインのフォント・色違いとなっている。また、重要な語句が太字になっていたり、送り仮名が振られているなど、配慮がある。

・問題提起→観察・実験→結果→考察の順で構成されており、学び方や考え方の習得がしやすく、良い。

・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかれる構成である。

・身近な題材で生徒の興味を引き、問題提起→観察・実験→結果→考察の順で学習内容が構成されている点が良い。思考力や判断力の育成に役立つ。また、実験結果のまとめ方などについても丁寧に記載されている。

・興味を引く写真や題材や、コラムで学びを深める工夫があり、学習後も自ら学びを深めたいくなるような工夫がある。また、実験前に自らの考えを問う、実験観察の結果を考察する点などに、対話的に学習が進められるような工夫がされている。

・セキツイ動物の分類表が章末に移動した。

・無セキツイ動物の分類表が追加されている。

・わかりやすい内容の資料がそろっている。

・太字になっている語句など基本的な内容を抑えている。

・考えたり話し合ったりする活動や自分の言葉で表現する場面が多く設定されている。

・各節の導入部で、興味や気づきを得られる問いかけが設けられており、自然に探究を深められる流れになっている。

・課題と課題に対する結論を表現する流れが良い。

・考えたり話し合ったりする活動や自分の言葉で表現する場面が多く設定されている。

・学び方、考え方の解説があって良い。

・主体的・対話的で深い学びへの配慮では話し合いの仕方の記述があってよい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・文や用語の量が少ないように感じる。基礎的な内容はもっと増やしてほしい。
- ・2年生の電気の単元で電気の正体をはじめに持ってくるただでさえ難解な電気の単元においてさらに難解なものになってしまうのではないか。
- ・レイアウトに一貫性があり見やすい。
- ・実験の内容が1ページにまとまってお見やすい。
- ・3年生の教科書で「化学」と「物理」が連続していないことで計算が苦手な生徒でも意欲を維持できるようになっている。
- ・学年ごとの統一感が見られる。
- ・3年生の中和の単元、具体的な例の量など適切であり、扱いやすい。
- ・学年ごとの覚えるべき語句量も適切である。
- ・多くの実験で、手順と結果が見開き頁になっていないことが指導しやすい
- ・実験の頁がわかりやすく、安全にも配慮されている。
- ・適切である。
- ・配列・分量共に適切である。
- ・実験の内容が振り返りやすくまとまっている。
- ・「単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ」は問題ない。
- ・「各領域の分量、発達の段階に応じた分量」は問題ない。これまでと同じ。
- ・実験器具の操作について、詳細に記載されている。
- ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかれる構成である。
- ・キャリア教育的な要素が含まれており、各単元の内容を将来の仕事に結びつけられる。
- ・教科横断的な学習を記号で示しており、発展的に学習を進めることができる。
- ・基礎的・基本的事項として、実験器具の操作について、詳細に記載されている。
- ・単元のはじめにテーマに対する問題提起が挙げられており、話し合いをさせやすい構成になっている。
- ・各章ごとに問いあり、何を学ぶかイメージができる。また、振り返りで成長が実感できる。
- ・各節ごとに課題発見→探究→結論→活用の流れがあるため、活動に一貫した流れがあることで、見通しを持って授業に参加することができる。
- ・基礎的・基本的事項などの取り扱いがあってよい。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・実験結果の写真配置がよい。
- ・いろいろなところに強調がありすぎて、大事なポイントが見づらくなっている印象がある。
- ・図が見やすく、わかりやすい。
- ・図や写真が見やすい。レイアウトも良い。
- ・行間がほどよく、文章を読みやすい構成になっている。
- ・改行を改めたほうがいい文章がいくつかある。
- ・図や絵の大きさにある程度の統一感があり、それにより文章が読みやすい。
- ・写真とイラストが比較されている内容もあり、生徒の理解を促す構成である。
- ・太字はフォントを変えるなどの統一感が見られる。
- ・レイアウトが定型になっており見やすい。
- ・図表や写真も大きく見やすい
- ・実験結果の写真配置がよい。
- ・字体の見やすさのみでなく、一文が簡潔に区切られており、読みやすい。
- ・見やすく・わかりやすく表現されている。
- ・文字の大きさや脚注なども、問題ない。
- ・「一貫性をもった記述」については問題ない。
- ・図や挿絵、写真が大きくなり、視覚的に捉えやすくなった。
- ・写真とイラストが比較されており、実物とイメージを結びつけられる。
- ・写真と記号、「ここがポイント」などキーワードが明確に示されている。
- ・興味関心をもつ写真が多い。
- ・イラストが多数併用されており、飽きずに読む工夫がされている。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・単元に関わる仕事と人物の話を掲載させていることで、キャリア教育とつながっている。 ・教科書の判型が他者と異なり、持ちづらさを感じる。 ・疑問や気付きから導入する探究的な流れを組んでおり、学習活動しやすくなっている。 ・目次は項目ごとに分かれている記載もあり、非常に見やすい。 ・単元ごとのカラーに統一感がある。 ・教科書の横幅が大きい。机の上にノートと共に置いた時に圧迫感がある。 ・ページはめくりやすい。 ・色使いが良い。 ・紙質が柔らかく、生徒の手を傷つける心配はない。 ・探究学習の流れが示されており、学びやすい。 ・教科書型が特徴的になっている。 ・文字の記述が左側、図が右側に配置されており、ぱっと見て目に入りやすく、内容を理解しやすい構成となっている。 ・実験・観察の結果が次の頁に記載されており、答えや内容が実験観察前に見えないように配慮されており、よい。 ・縦長から横長に変更された。特に問題はない。 ・AB版ではないため、生徒にとって整理する際に工夫が必要である。 ・目次は項目ごとに分かれて記載されている。 ・「Before & After」を活用して振り返りができる。 ・章末に振り返りと章の始めの問いをもう一度考えるところがあるため学習の進め方をイメージしやすい。 ・目次が充実している。 ・AB版ではなく、コピーの際にやや不便さを感じる。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意 見	
・実験の映像があるため復習に活用するのに役立つ。 ・導入の動画を各自で見られるところに魅力を感じる。全てを使うことは難しそうなので、いくつかピックアップして使う形になるのではないかな。 ・それぞれの実験手順に2次元コードがあり、実験の説明などに活用しやすそう。 ・2次元コードを読み込み、導入の動画や実験の説明を見られるのは生徒にとっても分かりやすい。 ・2次元コードが小さく撮影しにくい。 ・2次元コードの内容がわかりやすい。 ・導入動画や解説を見ることができる。 ・実験の映像があるため復習に活用するのに役立つ。 ・既学習事項・導入・実験手順・実験結果のシュミレーション・コラム・単元末問題などで2次元コードが活用されており、とても使いやすい。 ・実験動画を2次元コードで生徒端末で見られるようになった。 ・実験方法の各自確認などメリットが大きい。 ・ICT機器だけでなく、新しい実験器具にも対応している。 ・インターネット学習ができる。 ・他教科との関連が載っているのよい。 ・デジタル教材との連携など、細かなところまで配慮が行き届いている。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意 見	
・SDGsの表記や具体例が示されており、わかりやすい。 ・学びのフローチャートが示されており、探究のステップが言語化されている点が良い。 ・SDGsについて考えるサイトとリンクしており、他教科との関連も示されている。 ・SDGsとの関連付けは不十分である。アイコンの記載がない。 ・家庭学習への配慮は章末問題の答えの記載等で見られる。 ・SDGsサイトへのリンクが示されている。 ・既学習事項・導入・実験手順・実験結果のシュミレーション・コラム・単元末問題などで2次元コードが活用されており、生徒が家庭で学習の振り返りをしやすい工夫がされている。また、実験前に自らの考えを問う、実験観察の結果を考察する点などに、対話的に学習が進められるような工夫がされている。 ・学習内容に対する、環境問題や災害、SDGsに関する記載があり、学習を自然環境や社会に還元しようとする意識がもたれている。 ・SDGsについて考えるサイトとリンクしており、他教科との関連も示されている。 ・学習を自然環境や社会に還元しようとする意識がもたれている。 ・東京都や中野区への地域性への配慮のようなものを感じることは少ない印象。 ・「つながる科学」で学習内容に関係する事象を紹介している。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	理科	種目	理科
教科用図書名	理科の世界 1・2・3	発行者	大日本図書株式会社

観点① 内容等

- 教材の適切さ
- 教材や資料の正確さやわかりやすさ
- 生徒の発達の段階に対する配慮
- 学び方、考え方の習得
- 基礎・基本の確実な習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的・対話的で深い学びへの配慮

意見

・実験準備に時間がかかる内容が多く、実施しづらい。
 ・図よりも文章の説明が中心となり、かたいイメージがする。
 ・説明は細かくされている。
 ・資料が端的でわかりやすい。
 ・興味や関心を高める写真やイラストを多用しており、生徒同士の学びのきっかけをつくることができている。
 ・スタンダードな実験が採用されている。安全への配慮も見られる。
 ・実験の内容のイラストが切れている部分がある。全体が記載されるとよい。
 ・単元ごとに適切な写真が掲載されており、実験が難しい内容への配慮がみられる。
 ・発展の内容が見開きで掲載されているページがある。理科が得意な生徒への意識付けとして有効である。
 ・他教科との関連が掲載されているとよい。
 ・発問は適切であり、発問に対する考え方のヒントが同頁に記載されている。
 ・science pressに高度な考察も掲載されている。
 ・重要語句が太字になっていてみやすい。
 ・単元末問題の難易度が適切である。
 ・読解力問題の設定により、適切な設定がされている。
 ・探究活動の頁が独立しており、学習活動に取り入れやすい。
 ・イラスト上で対話形式で内容が展開されており、授業で扱いやすい。
 ・発問がよい。
 ・導入の写真・イラストを生徒の興味関心を引く内容となっている。
 ・学び方、ノートやレポートの書き方などについて丁寧に説明されている。
 ・適切である。写真や図が見やすく、身近な題材を扱い、生徒が学習に対する興味や関心をもちやすく配慮されている。また身近な題材や科学史に関する記述が多く用いられている。
 ・「教材や資料の正確さやわかりやすさ」は正確であり、問題ない。
 ・ユニバーサルデザインのフォント・色遣いとなっている。また、重要な語句が太字になっていたり、送り仮名が振られているなど、配慮がある。
 ・問題提起がはっきりと区切られており、学習に対する課題の設定がしやすい。その後、観察・実験→結果→考察の順で構成されており、学び方や考え方の習得がしやすい。
 ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかられる構成である。
 ・問題提起が？マークで統一されて示されており、課題がわかりやすい。その後、観察・実験→結果→考察の順で学習内容が構成される。結果や考察のまとめの例が書かれているため、生徒が学習する際のまとめ方の参考となる。
 ・興味を引く写真や題材や、コラムで学びを深める工夫があり、学習後も自ら学びを深めたいような工夫がある。
 ・スタンダードな実験が採用されている。安全への配慮も見られる。
 ・各所に発展的な内容の読み物資料がある。
 ・実験結果、結果からわかることがはっきり記載してある。
 ・学習内容に関する読み物が記載してある。
 ・基礎・基本を押さえるページがあって良い。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・章立てが細かく分かれていて、流れがつかみやすい。
 ・ページックな形の教科書である。発展内容が多いと探究心のある生徒は理解を更に深められると感じた。
 ・ガイダンスでも活用できるような、「理科室のきまり」や「ノートやレポートの書き方」が充実している。
 ・例題や探究的な学習、単元末問題などバランス良く配列されている。
 ・3年生教科書「物理」単元から始まっている点、計算に苦手意識のある生徒にとって4月から難しさを感じてしまう。
 ・学年ごとの関連はよい。
 ・分量は適切である。
 ・掲載されている説明のイラストの難易度が高く、理解が難しい内容もある。
 ・実験の手順と結果が見開きにはなっていないので使いやすい。
 ・3年生周期表は「化学」の頁に組み込まれる必要がある。
 ・適切である。
 ・配列・分量共に適切である。
 ・探究的な学習・問題演習ともにバランス良く配列されている。
 ・実験器具の操作について、詳細に記載されている。特に、2次元コードで実験時の注意が動画で示されており、安全対策に力が入れている印象。
 ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかられる構成である。
 ・キャリア教育や理科に関連した事柄について掲載されている。
 ・実験器具の操作について、詳細に記載されている。
 ・2次元コードで実験時の注意が動画で示されており、安全対策に力が入れている。
 ・実験の手順と結果が見開きにはなっていないためしっかりと予想を立てられる。
 ・内容の整理や、既習学習事項のまとめのページ、問題演習のページが設定されている。
 ・単元末に探究活動が設定されている。
 ・単元末に、キーワードのまとめ、章末問題、読解力問題があるため目的に応じた振り返りがしやすい。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意 見	
・写真ではなくイラストが多い。写真の方がイメージが付きやすく、実際のものとして事象を捉えやすい。 ・図での説明がもう少し多くてもよいかも知れない。 ・端的にまとめており、わかりやすい。 ・実験の内容が1ページにまとまっており見やすい。 ・文章に統一感があり、非常に読みやすい。 ・式は太字になっており見やすい。 ・本文のフォントが細く、読みにくい箇所がある。 ・色使いの統一感がある。 ・段落がわかりやすく設定されている。 ・資料の提示やレイアウトがシンプルで、わかりやすい。 ・図表や写真も大きく見やすい。 ・実験方法、モデル図などの説明が詳しく載っているため再現性が高いと感じる。 ・文字が中央に配置され、その周りに図や写真が配置されている構成である。 ・文字は比較的多い印象であるが、読みづらさはない。 ・見やすく、わかりやすく表現されている。文字の大きさや脚注なども、問題ない。 ・画一的な記号、式などはあるものの写真が少なくイラストが多い。 ・2次元コードで補完している。 ・見やすく、かりやすく表現されている。文字の大きさや脚注なども、必要な部分に施されている。 ・ユニバーサルデザインのフォント・色遣いとなっている。 ・やや文章が多く、読み込んで理解する印象を受ける。 ・スタンダードなレイアウトで、偏りなく使いやすい。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・3年生の単元6の内容が手厚くて授業が進めやすい。 ・目次は見やすく、頁設定も適切である。 ・科学のあしあと、話し合おうはよいタイミングで設定されている。 ・紙質が光を反射しやすく顔をずらしながら目を通す動作が伴う。 ・表紙が丈夫である。 ・実験の内容が振り返りやすくまとまっている。 ・両面の頁を開いて文字の記述が中央、図が左右に配置されており、整然としている印象。 ・内容を理解しやすい構成となっている。 ・実験・観察の結果が次の頁に記載されており、答えや内容が実験観察前に見えないように配慮されており、よい。 ・大きさは若干小さいサイズである。視覚的資料の提示に制限がある。 ・紙質が光を反射しやすい。顔をずらしながら目を通す動作が必要になる。 ・表紙が丈夫である。 ・紙の質が良い。 ・使用されている紙の発色が見やすい。	

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・ICTを活用できる場面が少ない。 ・ウェブコンテンツが充実しており、観察・実験動画やWebテストなどが豊富である。 ・2次元コードからアクセスできるので、操作性も良い。 ・2次元コードは多くなくよいが、小さく撮影しにくい。 ・観察や実験の動画、小テストなど充実している。 ・2次元コードの掲載が限定的で少ない。 ・ICT機器を活用した内容が多くない。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・SDGsの内容に関しては巻末には載っているものの、個々の単元の中で触れられていることが少ない。 ・探究の過程をマークで表記しているので、探究的な学びを深めやすい。 ・巻末にSDGsに関するページを設けている。 ・SDGsへの配慮は感じない。アイコンを積極的に掲載するなど工夫を凝らすことで生徒の意欲も向上する。 ・SDGsについて特設ページが設定されている。 ・SDGsがどういう考えのもと設定されている目標なのか、しっかり扱われている。 ・単元ごとに身近な科学の事例や、科学史や最新の研究に関する記載があり、興味をもって学びを進められるようにされている。 ・章末問題や単元の語句のまとめで、学習を進められるようにされている。 ・学習内容に対する、環境問題やSDGs・災害に関する記載があり、学習を自然環境や社会に還元しようとする意識がもたれている。 ・SDGsに関連させている部分は多くない。 ・デジタル教材内のコンテンツはNHK準拠の映像教材を揃えており、見やすくなっている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	理科	種目	理科
教科用図書名	中学校 科学1・2・3	発行者	学校図書株式会社

観点① 内容等

- 教材の適切さ
- 教材や資料の正確さやわかりやすさ
- 生徒の発達段階に対する配慮
- 学び方、考え方の習得
- 基礎・基本の確実な習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的・対話的で深い学びへの配慮

意見

・色分けがシンプルで色彩の多さが苦手な生徒にとっては読みやすい。
 ・もう少し写真があった方がわかりやすい。
 ・全体的に興味をもって理科を行う生徒に対しては十分だが、興味のない生徒にとっては端的すぎて読みづらいのではない。
 ・考え方のプロセスは明確にされている。
 ・実験を探究と位置づけ、そのながれを踏襲しているのはわかりやすい。
 ・簡潔な作りで系統的に示されている。
 ・探究を気づきと振り返りの反復と位置づけてある。3年間でこれらの考えを昇華させていくような編集で、発達・知識の段階を踏まえて作成されている。
 ・実験の仮説から考察のプロセスを通じ、最終的に提案を深めるような構成で、それぞれの内容を深化させようとしているようになっているのがよい。
 ・全体的に内容が発展的な部分がある。
 ・本時の課題が冒頭に、まとめが最後に示されている。
 ・実験や観察のページでは、手順が示され、解説も細かい。
 ・基本的な実験が掲載されている。
 ・実験の説明内容もわかりやすく、理解しやすい内容である。
 ・課題や仮説の設定がわかりやすく、具体的な事例もあり、考えやすく、意見交換しやすい内容である。
 ・導入課題、学習内容、まとめとわかりやすく示されている。
 ・実験・観察については丁寧に方法が示されている。
 ・写真や図が見やすく、身近な題材を扱うことで、生徒が学習に対する興味や関心をもちやすく配慮されている。
 ・正確であり、問題ない。
 ・ユニバーサルデザインのフォント・色違いとなっている。また、重要な語句が太字になっている。
 ・気づき→課題→仮説→計画→方法→結果→考察の順で頁を通して構成されている点がわかりやすい。
 ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかられる構成である。
 ・身近な題材で生徒の興味を引き、気づき→課題→仮説→計画→方法→結果→考察の順で頁を通して構成されている点
 がわかりやすい。
 ・身近な事例や科学史・最新の研究などの紹介は少ないが、しっかりと解説をしながら学習内容を定着させようとする内容
 である。
 ・主体的・対話的という観点では弱い印象を受ける。
 ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されている。
 ・1年生の36ページで、イカやエビの観察をしているが、直後の脊椎動物と無脊椎動物の説明のためには、脊椎動物の観察
 も実施する必要がある。
 ・探究のページで話し合いの流れが可視化できている。
 ・実験の計画が立てられるようになっている。
 ・実験の結果、考察、振り返りまで記載がある。
 ・まとめをページの下の方に記載してある。
 ・見方、考え方の記述がよい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・系統的に学習する上で各単元の巻頭などに小学校もしくは中学校の関連項目が紙面上に示されていないのが残念である。
 ・単元の内容を把握している、もしくは理科に興味のある生徒であれば、単元の内容に注力し、学習できる内容である。
 ・補助教材としての特性は低い。
 ・理科の内容そのものは申し分ないが、教科的内容を将来に結びつけたり、身近な内容と結びつけるには十分でないと感じた。
 ・周期表がシンプルすぎて、入り込みづらい印象を受ける。
 ・電流や電圧の説明の後に、電気の正体の順番は、生徒がイメージしづらいかもしれない。
 ・分量は適切である。
 ・教科書紙面がウェブページにリンクし、チャットボットにより質問することができるようになっている。
 ・3年生の内容はエネルギーの内容から始まっており、計算に対して苦手意識のある生徒にとっては、学習意欲の維持が難しい配列である。
 ・基本的な内容は本文中で太文字になっている等、整理しやすい構成になっている。
 ・配列・分量ともに適切である。
 ・周期表がシンプルすぎて、入り込みづらい印象を受ける。
 ・実験器具の操作について、詳細に記載されている。一方、安全管理や事故への配慮の呼びかけは、教科書の後ろの補充資料に集約されて掲載される。その場での確認はしづらい。
 ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかられる構成である。
 ・問題内容はオーソドックスなものである。
 ・理科の内容そのものは十分であるが、学習した内容を将来に結びつけたり、身近な現象と結びつけるには部分が少ない。
 ・ほぼ全ページに「この時間の課題」が記載されており、毎時間の目標を常に意識することができる。
 ・各単元に3観点の目標が示されている。→目標を意識しながら授業に取り組める。
 ・実験ごとに、気づき→課題→仮説→計画→方法→結果→考察の流れがあるため、活動に一貫した流れがあることで、見通しを持って授業に参加することができる。
 ・単元末には見開きで読解の問題(学びを日常にいかしたら)があるので、学んだことを活用して課題を解決する活動ができる。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意	見
・理科の学習のみに限定するならわかりやすいが、図鑑のような興味関心をひくだけのトピックスが乏しい。 ・実験を中心に記号等がシンプルに示されている色の使い分けが乏しく、興味がそそられない。 ・図やイラストが多く、見やすい。 ・実験の内容が1ページにまとまっていないところがあり、見にくい。 ・文章は1文が短く理解しやすい。 ・写真は大きくみやすい。特に、章の最初の写真はインパクトがあり扱いやすい。 ・レイアウトはページにより、まとまっていないところもある。 ・字体の見やすさのみでなく、一文が簡潔に区切られており、読みやすい。ルビは少ない。 ・見やすく・わかりやすく表現されている。文字の大きさや脚注なども、問題ない。 ・図示において、矢印が全体的に細くなっている。 ・文字が大きく、文字間隔がひろくとられ、読みやすい。ユニバーサルデザインのフォント・色遣いとなっている。 ・文字と図の配置、バランスが良くとても見やすい。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意	見
・目次に教科書の読み解き方が示されているが、細かい部分も紹介してあるとさらに良いと感じた。 ・一貫性のある記述内容になっている点がある。 ・紙質のため、蛍光灯の反射が強く感じられ、見にくい。 ・教科書の紙に関して、光の反射が大きい。蛍光灯の下でみると目線をずらさなければ見えない場所が生じる。 ・紙質が特徴的で光沢が強い。 ・文字は比較的多いが、文字間隔や行間が広くとられており、見づらさはない。図は端に配置されており、ぱっと見て目に入りやすく、内容を理解しやすい構成となっている。 ・実験・観察の結果が次のページに記載されており、答えや内容が実験観察前に見えないように配慮されており、よい。 ・学習内容に対する疑問の提示が少ないため、自分で課題を見つける練習ができる。 ・全学年の巻頭に記載されている学習の流れを参考にしながら学習活動を進められる。 ・何を学ぶのか分かるページがあって良い。	

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意見

- ・ほとんどのページに2次元コードが提示され、視覚的にわかりやすく、意識して組み込まれている事が感じられる。
- ・ICT機器の活用に関して、2次元コード以外でも示されると、なお良かった。
- ・教科書の上の部分に2次元コードがたくさんありすぎて、どのように使用すれば良いかわかりにくい。
- ・全ての頁に2次元コードが設定されている。探すことはなく、見付けやすい。
- ・2次元コードが多く少しわかりにくい。
- ・チャットボットで質問できる。
- ・ほぼすべての頁に2次元コードが使われており、ミライキョウカショとの内容で学習内容の図説や動画(NHK for School)などのリンクに飛ぶことができる。
- ・既習学習事項・導入・実験手順・実験結果のシミュレーション・コラム・単元末問題などで2次元コードが活用されており、とても使いやすい。
- ・全ページに2次元コードがついていて、教科書の内容以外の情報や動画も視聴でき、様々な面で充実している。
- ・2次元コードで教材を見ることができる。家庭学習で使える。
- ・プログラミング教材があってよい。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意見

- ・理科が好きな生徒には十分な内容である。それ以外の事象との結びつきに関して内容としては不十分である。
- ・家庭で開きたくなるには興味関心を高めるトピックがもっと多くあると良いと感じた。
- ・SDGsについて巻頭の表紙には必ず載っているがそれ以上の掲載がなく、もう少し注釈や指摘があるとよかった。
- ・コラムとしてSDGsに関連した内容を取り上げている。
- ・SDGsのアイコンの記載が見られる。SDGsの記載も随所にみられ、非常に扱いやすい。
- ・SDGsを考えることもできる内容である。
- ・SDGsについては、コラム等で示されている。
- ・2次元コードの活用が積極的に行われている。教科書内容が別のHPにまとめられており、生徒が家庭で学習の振り返りをしやすい工夫がされている。
- ・教科書の最後に補填資料があり、調べたり、学習内容をさらに学習したりすることに活用できる。説明や解説が多く対話的な学習には、弱い印象を受ける。
- 各章のはじめに、SDGsの目標のマークの記載があり、SDGsの推進を強く意識している。
- ・各地方における学習できる環境や施設の紹介がある。
- ・実験前に自らの考えを問い、実験観察の結果を考察するなど、他者対話的に学習が進められる。
- ・環境問題・SDGs・災害等に関する記載があり、学んだ内容を自然環境や社会に還元しようとする意識を育てられる。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	理科	種目	理科
教科用図書名	自然の探究 中学理科1・2・3	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等	
○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成
○生徒の発達段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮
○学び方、考え方の習得	
意見	
・実験のところにたくさん図があるのはとてもわかりやすい。 ・発展的な内容が小さく、情報が少し少ない。 ・冒頭に「探究の進め方」ページがあり、学び方の習得ができるようになっている。 ・要点チェックや基本問題など、スモールステップで学習できるようになっている。 ・基本的な実験が掲載されており理解しやすい内容である。 ・特に3年生の酸アルカリでは、リトマス紙も含めた記載がされており理解しやすい。 ・色の変化の伴う実験がわかりやすく、発色よく掲載されている。 ・酢酸の化学式が掲載されており、日常的な内容への関連性がよい。 ・適切にルビがふられている。 ・他教科とのかかわりを示す内容が乏しい。 ・「課題」の設定から「結論」までに至る過程が文章化されており、難解な内容でも考えるポイントが掲載されていてわかりやすい。 ・「要点と重要語句の整理」の頁では複数回にわたる練習を前提とした掲載方式が取られており、基本的な内容の習得に役立つ。 ・章末問題の難易度も適切である。 ・「課題」が適切に設定されており、項目ごとに考えることができる。 ・話し合いを促す内容の充実が図れるとよい。 ・主体的に学習するような頁構成になっている。 ・探究的な導入課題が、学習活動の流れを作っている。 ・導入、学習内容の確認、基本問題、応用問題と学びやすい流れになっている。 ・適切である。身近な題材を扱うことで、生徒が学習に対する興味や関心をもちやすく配慮されている。 ・正確であり、問題ない。 ・文字が大きく、文字間隔がひろくとられ、読みやすい。ユニバーサルデザインのフォント・色遣いとなっている。また、重要な語句が色がオレンジ・太字・送り仮名つきで、配慮がある。 ・疑問(課題)→仮説→観察・実験→結論→考察(まとめ)の順で構成されており、学び方や考え方の習得がしやすい。 ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかられる構成である。 ・教材や題材を精選し、問題や課題の提示している。その後、疑問(課題)→仮説→観察・実験→結論→考察(まとめ)の順で構成されており、思考力や判断力の育成に生かしやすい。また、実験結果のまとめ方についても丁寧に記載されている。 ・題材や教材の数は少ないが、精選された内容で興味を引く写真やイラスト、コラムが使用されている。 ・学習後も学びが深められるように、疑問などを登場人物の吹き出しで記載し、わかりやすくまとめている。 ・思考のプロセスが明確に示されている。 ・実験の結果から、考察に加え課題を示され思考力・判断力等の深化が行われている。 ・文字が大きく見やすい。重要語句の色を変えている。 ・課題や結論がはっきり示してある。 ・発展内容が小さい字で記載してある。 ・学習内容に関する読み物の記載がある。 ・内容が細かすぎる印象。 ・生徒が家庭で自習する際にも活用できる。	
観点② 構成及び分量	
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い ○基礎的・基本的事項等の取り扱い	
意見	
・単元の編成が生物→化学→物理→地学がよい。理由としては最後に大きい単元が入ると、進めていく上で焦燥感にかられるため。 ・分量は適切である。 ・3年生の教科書は化学から入り、生物・地学・物理と掲載されており、計算が苦手な生徒への学習意欲の維持を目指す点では扱いやすい。 ・適切である。 ・実験と結果の頁が見開きになっていないので、おのずと実験結果の確認は実験後に行うことができる。 ・新出語句は太字になっておりわかりやすい。 ・配列・量ともに適切である。 ・実験器具の操作について、詳細に記載されている。 ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかられる構成である。 ・気づき→課題→仮説→計画→方法→結果→考察の順でページを通して構成されている。 ・字体の見やすさのみでなく、一文が簡潔に区切られている。 ・ルビのある部分は多くない。 ・疑問→課題→仮説→計画→実験→考察→結論の流れあり。 ・発展内容があつてよい。 ・学習内容(特に用語)がやや多い。	

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意	見
	・化学反応が紹介されるたびに化学反応式を物質名⇒モデル⇒化学反応式の順で表しているため、一貫性がある。 ・様々なレベルの生徒に適応しやすいと感じる。 ・イラストが多く、写真が少ないためイメージしやすい印象。 ・文字が多く、かたいイメージがする。 ・文字のサイズは大きく見やすい。 ・実験の内容が1ページにまとまっており見やすい。 ・文字が大きく見やすい。 ・新出語句がオレンジ色で掲載されている点は見にくさを感じる。 ・実験の背景は色を変えておりわかりやすい。 ・3年間の一貫性がとれている。 ・実験の内容が振り返りやすくまとまっている。 ・化学反応が紹介されるたびに化学反応式を物質名⇒モデル⇒化学反応式の順で表しているため、一貫性がある。 ・様々なレベルの生徒に適応しやすいと感じる。 ・文章が長い印象を受ける。しかし、一文一文は短く区切られており、読みづらさはない。その分、写真やイラストが少ない。 ・見やすく・わかりやすく表現されている。特に、文字や行の間隔、文字の大きさや脚注などが大きく、シンプルで見やすい。 ・文章は簡易的で読みやすい。 ・文字の大きさ、文字間隔が広がっている。 ・色彩の選択はわかりやすく、課題から思考へのながれを深化させる工夫がある。 ・単元における実験、説明といったものが視覚的にメリハリが少なく、区別がつけづらい印象がある。 ・写真やイラストが大きい。 ・文字が大きく、文章がすっきりしているため生徒が無理無く読むことができる。
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意	見
	・観察実験のページが読みやすい。 ・調べたい結果のまとめ方も一貫した形式で載っているため、使用しやすい。 ・シンプルなつくりのため、理科に興味があるような内容のコラムが少ない。 ・目次がみやすい。 ・教科書右側の縦文字は見やすく検索に適している。 ・ページがめくりやすい。 ・紙がやわらかく扱いやすい。 ・表紙の写真が鮮明である。 ・資料の提示やレイアウトがシンプルで、わかりやすい。 ・観察実験のページが読みやすい。調べたい結果のまとめ方も一貫した形式で載っているため、使用しやすい。 ・文字の行の中に、写真や表が配置されており、上から下に読み進めていく形式となっている。学習内容は、1頁ごとに区切られているので、内容の把握はしやすい。 ・実験・観察の結果が次の頁に記載されており、答えや内容が実験観察前に見えないように配慮されており、よい。 ・重要語句が同色太字ではなく、色を替えている。 ・実験・観察の結果が次の頁に記載されており、答えや内容が実験観察前に見えないように配慮されている。 ・全体構成が見通しにくい。 ・紙が薄く感じるため、折れやすいのが心配。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・ICTの活用ポイントがあまりはっきりしていないため、活用しづらい。 ・「まなびリンク」が設けられており、アクセスも容易である。 ・2次元コードが小さく撮影がしにくい。 ・2次元コードの登場頻度は適切である。 ・学習リンクが示されている。 ・2次元コードで動画を見たり、インターネット環境を活用する工夫は少ない。 ・学びリンク(HP)で実験資料や画像、動画が利用できる。 ・1人1台端末を実験等で活用する記述は多くない。 ・既習学習事項・導入・実験手順・実験結果のシミュレーション・コラム・単元末問題などで2次元コードが活用されている。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・読み物資料にSDGsのマークが表示されて、関連性がわかりやすい。 ・SDGsへの記載が少ない。アイコン等を活用があるとよい。 ・SDGsについては、関連について示されている。 ・教科書頁中に2次元コードは少ないが、HPを活用して授業展開や教材紹介することは可能。 ・単元末問題や語句のまとめで学習を振り返るように構成されている。 ・実験前に自らの考えを問う、実験観察の結果を考察する点などに、対話的に学習が進められるような工夫がされている。 ・学習内容に対して、環境問題やSDGs・災害に関する記載があり、学習を自然環境や社会に還元しようとする意識がもたれている。 ・各章のはじめに、SDGsの目標のマークの記載がある。 ・理科を他の教科と結びつける工夫はなされているため、家庭学習にも教科横断的な学習として活用できる。 ・教科書内容が別のHPにまとめられており、生徒が家庭で学習の振り返りをすることができる。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	理科	種目	理科
教科用図書名	未来へひろがる サイエンス1・2・3	発行者	株式会社新興出版社啓林館

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・3年生に合わせて系統的に内容が表示されているため、前後のつながりを捉えやすい。
- ・実験が生徒の興味を引きやすい内容となっている。
- ・標準的な内容と発展的な内容のバランスがよい。
- ・学習前と後の設問があり、振り返りがしやすい。
- ・内容も濃く、発展的な学習を進めることができる。
- ・スタンダードな実験が設定されている。
- ・図がわかりやすく生徒の理解をうながすものである。
- ・探Qシートが別紙になっており、担当によって扱いが分かれる内容である。学年間の統一はとりにくい。
- ・サイエンス資料は多岐にわたっておりわかりやすい。
- ・導入課題、学習内容、まとめと学習しやすい流れになっている。
- ・発展的な探究課題も設定されている。
- ・適切である。興味を惹く探求的な学習、身近な事例、食育など、工夫がある。また、写真や図が見やすい。
- ・ユニバーサルデザインのフォント・色遣いとなっている。また、重要な語句が太字になっていたり、送り仮名が振られているなど、配慮がある。
- ・実験の頁が〔?課題→目的→方法→結果→考察〕順で構成されており、学び方や考え方の習得がしやすい。まとめ方についても、ふろくとして「探Qシート」まとめ方が示されており、使用しやすい。
- ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかられる構成である。また、章ごとにReviewをもうけて、用語の確認や考え方の整理がされる。
- ・身近な題材で生徒の興味を引き、〔?課題→目的→方法→結果→考察〕順で学習内容が構成されている。まとめ方についても、ふろくとして「探Qシート」まとめ方が示されており、使用しやすい。問題演習の課題が工夫されている。
- ・興味を引く写真や題材や、コラムで学びを深める工夫があり、学習後も自ら学びを深めたいような工夫がある。また、実験前に自らの考えを問う、実験観察の結果を考察する点などに、対話的に学習が進められるような工夫がされている。
- ・「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」は、学習前の見通しを立てさせることと、学習後に振り返らせることにとても有効である。
- ・ふろくの「探Qシート」にまとめ方が示されている。
- ・実験器具の操作や安全について、詳細に記載されている。
- ・補助実験も多数記載されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・単元の内容が1分野と2分野の内容に分けられており、授業の進行順ではなく、内容ごとにまとめられている。
- ・実験にまつわる身近な内容について具体例が示されており、よい。しかし、もう少し発展的な内容について示されていると良い。
- ・より抽象的な概念で考える化学分野と電気分野が後半であるのは、生徒の発達の段階を踏まえると良いと思う。
- ・生物、天体から始まっている点、教科書通りの構成だと計算が苦手な生徒が後半に関心が低くなる可能性がある。
- ・配列・量ともに適切である。
- ・実験器具の操作や安全について、詳細に記載されている。
- ・内容の整理や、既習学習事項のまとめの頁、問題演習の頁が設定されており、学習内容の確実な定着がはかられる構成である。
- ・具体的な概念である生物分野と地学分野が前半に配置されている。
- ・抽象的な概念で考える化学分野と電気分野が後半に配置されている。
- ・キャリア教育的要素が含まれており、各単元の内容を将来の仕事に結びつけられる。
- ・探Qシートを活用することで実験の計画を立てられるようになっている。
- ・実生活に繋がるコラム(「お料理ラボ」など)があって良い。
- ・章末の振り返り問題が少ない印象。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・実験のページの色をはっきりとさせた方がよいのではないかと少し見づらいため。
- ・写真や挿絵の分量は申し分ないと思う。
- ・個々の単元で特化したい内容について感じることができる。
- ・レイアウトに一貫性があり見やすい。
- ・文章量が適切であり、読みやすい。
- ・グラフの印刷が明瞭であり、読み取りやすい。
- ・資料の提示やレイアウトがシンプルで、わかりやすい。
- ・字体の見やすさのみでなく、一文が簡潔に区切られており、読みやすい。
- ・見やすく・わかりやすく表現されている。
- ・文字の大きさや脚注なども、問題ない。
- ・レイアウトに一貫性があり読みやすい構成である。
- ・目次に教科書の内容が細分化されて示されている。
- ・字体の見やすさのみでなく、一文が簡潔に区切られている。
- ・写真が同じように並べてあり、比較がしやすい。
- ・章の始めのページの写真がダイナミックに使われていて、生徒の興味・関心を引きやすくして良い。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・3年生に合わせて系統的に内容が表示されているため、前後のつながりを捉えやすい。しかし、低学年の段階から結果まで掲載してしまうと思うことなく覚えてしまわないか気になった。
- ・実験が生徒の興味を引きやすい内容となっている。
- ・探Q実験では、探究の過程が示され、見通しを持った学習ができるようになっている。
- ・どの写真もポイントが合っており授業中に取り扱いやすい
- ・実験の頁は色が変わっておりわかりやすい。
- ・探究学習の学び方について、丁寧に示されている。
- ・探求の実験に対応した実験シートがあり、探求をする上での流れが学べると感じた。
- ・文字の記述が両頁の中央、図が左右に配置されており、ぱっと見て目に入りやすく、内容を理解しやすい構成となっている。
- 写真の脚注や図なども工夫がみられる。
- ・実験・観察の結果が次の頁に記載されており、答えや内容が実験観察前に見えないように配慮されており、よい。
- ・縦長から横長に変更された。特に問題はない。
- ・部活、防災、料理、仕事など単元に関連した内容が掲載されている。
- ・さまざまな関心事と結びつけやすい。
- ・また1分野、2分野の内容に分かれ、学校毎の事情に合わせ教科書を扱いやすい。
- ・「実験のスキル」があることによって、観察・実験に必要な技能を随時確認することができる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・どこでICTを用いるべきかが明記されているため、利用しやすい。 ・問題や振り返りシートなどの2次元コードがあり、使いやすそう。 ・2次元コードを読み込むことでつまづきやすい部分を動画で確認できるのは、生徒にとって理解しやすいと感じた。 ・2次元コードの掲載場所・位置が頁によって異なっており発見しにくい。 ・観察や実験の動画などを見ることができる ・ICTの活用例が豊富 ・2次元コードが多様に活用されている。既習学習事項の振り返り、実験内容、探求的な学習など、とても使いやすい。 ・各実験内容においてICT機器の活用について触れており、現在の学習活動に合わせた内容になっている。 ・教科書の該当ページに2次元コードが有ることで、生徒が自分のタイミングで知識を得ることができる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・実験について独自のものを準備しなければいけないことがある。 ・探究的な実験と明記されており、区別がしやすい。 ・SDGsについて特記されていて良い。 ・SDGsに関する話題を紹介しており、配慮が感じられる。 ・SDGsへの配慮はあまり感じない。アイコン等を明記する必要がある。 ・SDGsについて説明するページがある。 ・探求的な学びとして、特集の頁が組まれていたり、最新の研究や身近な科学などが紹介されており、生徒の学びが深まる工夫がある。また、2次元コードを活用することで、学習しやすくなっている。 ・課題の提示やまとめ方なども対話的に学習が進められるような工夫がされている。 ・環境問題やSDGsに関する記載も多くあり、学習を自然環境や社会に還元しようとする意識がもたれている。 ・考えたり話し合ったりする活動や自分の言葉で表現する場面が多く設定されている。 ・力試し問題が単元末に設置されていて、自主学習に役立つ。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	音楽	種目	一般
教科用図書名	中学音楽1、2・3上、2・3下 音楽のおくりもの	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・冒頭、角野隼斗を起用したのは生徒の共感性が高い。
- ・鼻濁音についての記載は、とても良いが、なぜ鼻濁音にする必要があるのか、明記されると更に良い。
- ・西洋音楽史の記述内容が、中学生には難しすぎる。
- ・日本の古くからある曲や、異なった雰囲気、様々な拍子の曲があり、とてもよかった。1年生に4分の3拍子の曲が入っているのもよい。
- ・「歌うための準備」について、わかりやすく書かれていた。
- ・「比べてみよう」という他の曲と比較できることを示すものもよかった。その曲に合わせて、曲想について考えることができ、考えを深められることが書かれていた。
- ・鑑賞で意見交換ができるページがあって、対話的学習に使えそうと感じた。
- ・教科書の内容としては充実している。音符も鮮明に書かれており、解り易い。各学年の必要な内容は満たしている。基本的な事も、しっかり書かれている。深い学びに対しても、内容が深く、思考力・判断力・表現力の育成につながる。
- ・教員の指示、手立てが必要。自分なりの教え方を反映しやすいと思う。
- ・内容は学習指導要領に基づいている。
- ・教材は楽譜資料と音資料の関連が図示されており、生徒の理解を促すものである。
- ・学年に応じた教材の選択については、歌唱教材、鑑賞教材共に、必要な情報が写真、動画、楽譜資料など複数の方法で掲載されている。
- ・使用頻度の高い教材が選定されていた。
- ・音楽用語等は記号の図と解説されているページ数が示されていた。
- ・教科書に生徒が記述するスペースが十分に確保されていた。
- ・学び方、考え方を習得しやすいよう、また思考力、判断力・表現力が育つよう、「Active!」の欄が随所にあり、学んだことや考えたことを記載できるようになっている。
- ・気が付いたことを友達に紹介しながら対話的に学べる「話し合おう」の欄が設けられており、学習しやすい。
- ・多面的に学習ができるようになっているため、一貫性をもち、深く学習ができる。
- ・挿絵や写真が多く曲のイメージなどがつかみやすい。
- ・全体的に文字が大きくはっきりとしている。
- ・統一感があり見やすい。
- ・シンプルな表現が使用されている。
- ・色彩が鮮やかで見やすい。
- ・多面的に学習ができるようになっているため、一貫性をもち、深く学習ができる。
- ・挿絵や写真が多く曲のイメージなどがつかみやすい。
- ・全体的に文字が大きくはっきりとしている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・「小フーガ短調」の資料が4ページに増えたことは歓迎したい。詳しい説明が記載されている。
- ・成長段階に合わせたものが載せてあり、学習の順序を立てやすい。
- ・主要教材に合わせた曲が入っており、題材に合わせた指導ができる。
- ・全体的な分量もちょうどよく、様々な曲に触れることができる。
- ・楽曲と、それに対する説明の表記のバランスが良い。単元構成は、曲を展開させてゆき、その主たる物との関連性を縦にならべてゆけば、その楽曲系統が、解るので、適切である。基礎的事項等の取り扱いに対する表記が良い。
- ・内容的には、バランス良く、表記と表現に於いて満たされている。記号等は見やすく良い。学習を、進め易くするpointがあり、配慮もなされている。
- ・適切だと思う。
- ・共通教材について、《夏の思い出》を1年生での歌唱に用いることは、声帯の発達上、配慮して指導する必要がある。
- ・歌唱、鑑賞、創作に分かれた構成ではない。しかし、関連性のある教材が近くに掲載されている。補助教材が掲載されている構成になっている。
- ・歌唱教材について、基礎、基本が確実に習得できるよう、音楽表現に関する記号がページ右側にまとめてとりあげられている。
- ・写真やイラストが豊富で、音楽の情景や背景などを想像しやすい。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意 見	
・巻末に弦楽器4つの写真が掲載されているが、扱っている教材が「バロック時代の室内楽曲」なのであれば、チェンバロについての拡大写真や解説も記載して欲しい。 ・掲載写真の色味が悪い。 ・楽譜における音符の大きさもほどよく、見やすい。 ・写真を多く使っていて、とても美しい。 ・挿絵も入っていて、わかりやすい。 ・一貫性をもった記述がなされており、便宜の取り計らいも良い。 ・全体の構成は良く、全てをすんなりと見通せる配慮もなされている。 ・落ち着いた印象で、音に集中しやすい。 ・表紙絵の演奏表現が適切でない。 ・楽譜資料の大きさが適切である。 ・音符や楽語のフォントがカラーUDに配慮している。 ・楽譜に色づけがされていていて分かりやすい。 ・図解が分かりやすい。特に伝統芸能の分野の図解がよい。 ・やわらかい色が使われており、ユニバーサルデザインに配慮した色使いになっている。 ・歌唱教材の挿絵は、雰囲気を作る程度の量で、楽譜が中心となっている。 ・段階的に学習できるようになっていて、適度な情報量である。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・「コンピュータで表現しよう」の単元では、アプリありきとなっている。そうであれば、アプリの紹介もして欲しい。 ・紙質が悪い。 ・教科書が大きく、見やすい構成になっていた。 ・表紙の絵が優しいが、何が描かれているのかわかりにくい(名前のわからない楽器がある。女の子の絵が描かれているが、足の向きがおかしい)。 ・各学年で、学習MAPのページを設けており、教材のつながりがわかりやすく示されている。 ・適切だと思う。 ・楽譜資料を見開きで開くための適切な製本がされている。 ・歌唱、鑑賞、創作に分かれた構成ではない。しかし、関連性のある教材が近くに掲載されている。補助教材が掲載されている構成になっている。 ・目次に続いて「学習MAP」が示されており、年間を通じてどのようなことを学ぶのか、また教材が相互にどのように関連しているのか確かめやすい。 ・題材がまとまっていて見通しをもつことができ、授業で使いやすい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容 ○見やすさ、操作性	
意 見	
・もっと2次元コードを活用して、詳細資料を飛ばして欲しい。 ・実際に音を聴くことができ、わかりやすい。 ・動画や写真、図版など、デジタルコンテンツが充実している。 ・適切だと思う。 ・教科書の内容と音資料との関わりが感じられ、適切である。 ・2次元コードでの範唱があり、分かりやすい。 ・2次元コードから音源を聞くことができる。また、ワークシートが掲載されている。 ・学び方に関する注釈が端的に添えられている。 ・関連教材に2次元コードがついていて、ICTを活用することができる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮 ○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ○対話的な学習が行いやすい工夫 ○SDGsへの配慮 ○その他	
意 見	
・SDGsへの関連が示されていて、配慮されていた。 ・その曲についての背景や説明がほどよく書かれていた。 ・地域性の配慮もなされている。総合的に、とても嬉しいと思う。 ・適切だと思う。 ・2次元コード資料により、家庭でも音資料と触れ合いながら学習ができる。 ・2次元コードから音源を聞くことができるので、家庭学習を進めやすい。 ・気が付いたことを友達に紹介しながら対話的に学べる「話し合おう」の欄が設けられており、学習しやすい。 ・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	音楽	種目	一般
教科用図書名	中学生の音楽1、2・3上、 2・3下	発行者	株式会社教育芸術社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・「発声の仕組み」の図解説明が分かりやすくて良い。
 ・「早春賦」が2・3下巻に掲載されているのは扱いやすくて良い。
 ・成長段階に合わせた、様々な曲が入っていてよかった。新曲も入っていた。
 ・音楽史のページに、昨年度亡くなった坂本龍一が入っていた。生徒が知っている最近の作曲家が教科書に載っていることで、最新の情報が掲載されていると感じられる。
 ・目次前のアーティストの一言もとても良かった。「My Melody」のページが、作曲をしながら、音の動きや表現がわかるようになっていた。
 ・自分の考えを書くページと、グループで話し合うことができる箇所があり、とてもよかった。
 ・教材としてはレベルが少し下がるように思える。見方によっては、使い勝手が良いと思われるかもしれないが、教科書に学習の手順や考え方が明記してあるので、若手の先生にとってはありがたいかもしれないが、経験のある先生にとってはガイドが必要ない場合もある。
 ・内容は学習指導要領に基づいた適切なものである。
 ・教材は楽譜資料と音資料の関連が図示されており、生徒の理解を促すものである。
 ・学年に応じた教材の選択については、歌唱教材、鑑賞教材共に、必要な情報が写真、動画、楽譜資料など複数の方法で掲載されている。
 ・外国語歌曲の歌唱教材にサンタルチアが掲載されているため、基礎的な外国語歌唱の習得に適している。
 ・使用頻度の高い教材が選定されていた。
 ・音楽用語等は記号の図と解説されているページ数が示されていた。
 ・2拍子、3拍子、8分の6拍子など、4拍子以外の楽曲には指揮法が載っていると分かりやすい。
 ・「音楽を形作っている要素」についての説明ページが、大変わかりやすい。
 ・基礎・基本を確実に習得し、また学び方や考え方を習得するためにも大変役立つページである。
 ・SDGsとの関連を取り上げている。
 ・楽曲の歴史的背景について詳しい説明があり、様々な視点から学習ができる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・「発声の仕組み」の図解説明が分かりやすくて良い。
 ・「早春賦」が2・3下巻に掲載されているのは扱いやすくて良い。
 ・「コード進行を条件にした創作活動」という構成は、興味関心を引き出しやすく、良い。
 ・「西洋音楽史」な記載内容が、少ないが分かりやすくて良い。
 ・成長段階に合わせたものが載っており、学習の順序を立てやすい。
 ・主要教材に合わせた曲が入っており、題材に合わせた指導ができる。
 ・音楽用語についても各ページにわかりやすく書かれていた。
 ・「My Voice!」が歌い方の指導が適切にできそうに感じた。
 ・全体的な分量もちょうどよく、様々な曲に触れることができる。
 ・分量は適切である。
 ・共通教材について、1年生で赤とんぼ、2年生で夏の思い出、3年生で花を取り扱うことは、発声の発達上適切である。
 ・「早春賦」の次に「ふるさと」、「帰れソレントへ」等、関連性のある教材が並んで掲載されているのがよい。
 ・共通教材においては、楽譜の掲載以外に考えをまとめたり、構成や曲想などを考える、(記述できる)スペースがあるとよい。
 ・各領域の分量は発達の段階に応じて適切であるが、教材に関する説明の分量が多めである。
 ・諸外国の教材では、日本の時代と比較しながら発展的に学習ができる。

観点③ 表記及び表現	
☐ わかりやすく、読みやすい表記、表現 ☐ 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ☐ 一貫性をもった記述	
意見	
・「花」の資料でおぼろ月、權などを写真掲載してあるのはわかりやすくて良い。 ・絵を多用していて、わかりやすかった。一貫して、目的が書かれていることもわかりやすい。 ・フォントに工夫も感じられた。 ・楽譜における音符の大きさもほどよく、見やすい。 ・イラストを多用しているせいか、中学生が使用する教科書としては稚拙な印象を受ける。 ・絵や写真などの情報が多い。音楽がBGMにならないか心配。 ・楽譜資料の大きさが適切である。 ・音符や楽語のフォントがUDに配慮している。 ・楽譜に色づけがされていていて分かりやすい。 ・図解が分かりやすい。 ・伝統芸能の分野の図解が分かりやすい。 ・オペラの図解がとても分かりやすい。 ・教材ごとに年表がのっている。 ・楽譜の文字や音符が小さい部分がある。 ・説明はとても詳しいが、行間が狭くなっている。 ・写真の大きさやイラストの大きさが見やすい大きさと、量や内容も適切である。	
観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意見	
・教科書が大きく、見やすい構成になっていた。 ・表紙の字も大きく、わかりやすい。 ・学びの地図というページで、学習の見通しをもたせている。 ・適切だと思う。 ・楽譜資料を見開きで開くための適切な製本がされている。 ・歌唱、鑑賞、創作に分かれた構成であった。 ・目次に続いて掲載されている学習内容について、評価との関わりがわかりやすく掲載されている。 ・楽曲の配列順が学習活動を進めやすく配列されている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意見	
・「花」の組歌4曲の音源と楽譜を、2次元コードで飛ばしてあるのはとても良い。 ・実際に音を聴くことができ、わかりやすい。 ・パート別音源や風景動画など、コンテンツが充実している。 ・適切だと思う。 ・教科書の内容と音資料との関わりが強く感じられ、適切である。 ・2次元コードでのカラピアノはあるが、範唱はなく、パート音源はピアノで行われていた。また、そのときの伴奏がないために拍子感が分かりにくかった。 ・2次元コードの移動先の見本がなかった。 ・教科書の関連動画や音楽が再生視聴できるようになっている。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意見	
・「Challenge!!」の箇所が他の曲の紹介がされていて、探究的な学びにつながりそうだと感じた。 ・生活や社会の中での音や音楽というページでSDGsを取り上げ、教科横断的な学びができるよう工夫されている。 ・適切だと思う。 ・2次元コード資料により、家庭でも音資料と触れ合いながら学習ができる。 ・意見交換をしながら学習を進められる書き込み枠があり、対話的な学習が行いやすい工夫がされている。 ・創作活動は、わかりやすい説明で取り組みやすくなっている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	音楽	種目	器楽合奏
教科用図書名	中学器楽 音楽のおくりもの	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・太鼓のページは、模範演奏者の服装と背景の色が似ており、見づらい。
 ・巻末のコードネームの表記は、見やすく、わかりやすくて良い。
 ・中学生で取り組む主な楽器がしっかりと取り上げられていた。
 ・演奏の仕方を写真や絵を使って書かれていて、とてもわかりやすく感じた。
 ・楽譜が多く、様々な曲に挑戦できることも、音楽に対する楽しみが増えてよいと思った。
 ・1度は聞いたことのあるメロディを多く取り上げ、生徒の興味や関心を高める教材となっている。
 ・写真やデジタルコンテンツなど、多様な教材により授業展開をすることができる。
 ・適切だと思う。
 ・内容は学習指導要領に基づいた適切なものである。
 ・楽器の演奏に関して、演奏法及び読譜の方法が写真で解説されており、生徒の理解を促すものである。
 ・教材は楽譜資料と音資料の関連が図示されている。
 ・ギター教材でなくても、習ったことを生かしてアンサンブルなどができるよう、器楽の教科書の楽譜にはコード表記もあると多くの教材を演奏できると思う。
 ・「名曲旋律集」のページは使いやすいと感じた。
 ・間違いやすい部分には、楽譜に赤色で印が付けられており、演奏時に生徒が気を付けることのできる工夫がされている。
 基礎・基本を確実に学ぶのに有効である。
 ・琴のいろいろな奏法が写真付きであり、分かりやすい。
 ・リコーダー、尺八、篠笛、及びカホンや打楽器の小物類の奏法の記載があり、分かりやすい。
 ・掲載曲も馴染みのある曲から比較的新しい曲まで採用し(箏の楽曲には日本のPOPSも有り)生徒の興味関心を引き出しやすい。
 ・打楽器のみで合奏できる楽曲が掲載されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・1つの楽器に対しての量がちょうどよい。
 ・基礎的なことに丁寧に触れられていた。
 ・指導すべき楽曲や内容は概ね網羅しており、郷土音楽や芸能、和楽器等の内容も充実している。
 ・適切だと思う。
 ・各楽器における演奏法が網羅されている。基礎的な技能から発展的な課題までのつながりが適切である。
 ・主要教材と補助教材の関係で、楽器の分野がとんでいるものがあつた。(特に箏のこと)奏法の写真説明もあるため、まとめて掲載されているとよい。
 ・各学校の実態に合わせて、効果的な教材を選べるよう、多くの教材が掲載されており、基礎的・基本的事項を確認しながら器楽活動に取り組めるようになっている。
 ・各領域ごとに、段階的に難易度があがる学習内容になっている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
 ○一貫性をもった記述

意見

・手のアップの写真を多く使い、演奏時の手の動きや楽器の持ち方などがわかりやすい。
 ・UDに配慮したデザインや表記をしている。
 ・落ち着いた印象。音に集中しやすい。
 ・文化譜や縦譜の表記、及びフォントがやや小さく、書字障害の生徒にとって文化譜の読譜が困難である可能性がある。
 ・表紙絵の演奏表現が適切ではない。
 ・写真説明がわかりやすい。
 ・楽器の扱い方や奏法の写真について背景が水色になっており、ユニバーサルデザインへの配慮が見られる。
 ・音楽を形づくっている要素により、学んだ内容を振り返りやすくなっている。

観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意見	
・表紙の絵が素朴で優しい。 ・写真、デジタルコンテンツ、演奏の仕方、合奏教材と内容や活動が系統立てられており、学習活動が進めやすくなるよう配慮している。 ・適切だと思う。 ・楽譜資料を見開きで開くための適切な製本がされており、譜面台での使用時に利便性が高い。 ・ギター教材でなくても、習ったことを生かしてアンサンブルなどができるよう、器楽の教科書の楽譜にはコード表記もあると多くの教材を演奏できると思う。 ・運指の表記が大きく、学習活動を進めやすい。 ・関連付けた学習ができるため、1つの教材から発展して学習することができる。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意見	
・各楽器の奏法などを、2次元コードで飛ばして、見られるようにして欲しい。 ・実際に音を聴くことができ、わかりやすい。 ・まなびリンクにより、音声コンテンツが充実している。 ・適切だと思う。 ・2次元コード資料による動画は、演奏法を理解するために適切な内容である。 ・収録された音環境に十分な教育的配慮を感じる。 ・アナウンスや字幕の内容は、演奏理解に適切である。 ・2次元コードでの例が少ない。 ・主体的な学びを促すように、2次元コードから音源を聞き取ることができ、学び方の注釈も端的に添えられている。 ・2次元コードが掲載されているため、自宅で復習をすることができる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意見	
・友達と一緒に演奏できる楽譜が多くあり、対話的な学習に発展しやすいと感じた。 ・デジタルコンテンツの「見る」教材が多いので、家庭学習でも使いやすい。 ・2次元コードによる動画資料により、家庭で演奏法の学習が深められる。発展的な演奏法や楽譜資料の充実により、生涯学習として音楽を学ぶ参考書として使用できる内容である。 ・気が付いたことを友達に紹介しながら対話的に学べる「話し合おう」の欄が設けられており、学習しやすい工夫がされている。 ・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	音楽	種目	器楽合奏
教科用図書名	中学生の器楽	発行者	株式会社教育芸術社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・太鼓の奏法の解説が分かりやすくて良い。
- ・中学生で取り組む主な楽器がしっかりと取り上げられていた。
- ・写真が多く使われていて、とても見やすい。
- ・細かい所は絵を使い、よりわかりやすくしていた。
- ・子供達が親しみやすい曲が多く載せられていた。
- ・打楽器も多く載せられていて、読み物としても面白く、音楽への興味が深まると感じた。
- ・学習目標、活動内容などの表記がわかりやすく示されている。
- ・主体的・対話的で深い学びが実現できるような配列になっているだけでなく、ワークシートの活用も前提に置いた紙面構成になっているので、教材づくりの手間が簡略できる。
- ・適切だと思う。
- ・内容は学習指導要領に基づいた適切なものである。
- ・楽器の演奏に関して、演奏法及び読譜の方法が写真で解説されており、生徒の理解を促すものである。
- ・教材は楽譜資料と音資料の関連が図示されている。
- ・奏法の写真説明が多く、分かりやすい。
- ・掲載されているパーカッションの種類が多いところが良い。
- ・写真や図の注釈が分かりやすい。
- ・関連付けた学習ができるため、1つの教材から発展して学習することができる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・1つの楽器に対しての量がちょうどよい。
- ・基礎的なことに丁寧に触れられていた。
- ・「伝統音楽の楽器編成」や「リコーダーの種類」など、鑑賞の授業での資料として使えるページが多くあった。
- ・単元構成や分量は適切である。
- ・知識・技能、思考力・判断力・表現力と単元の関連がわかりやすく示されている。
- ・適切だと思う。
- ・各楽器における演奏法が網羅されている。
- ・基礎的な技能から発展的な課題までのつながりが適切である。
- ・主要教材と補助教材のバランスが良い。
- ・楽器の持ち方、扱い方、運指の説明が丁寧に分かりやすい。基礎的、基本的事項を身に付けるのに適している。
- ・比較教材の掲載があり、学びのねらいが書かれているため、目標が明確になる。

観点③ 表記及び表現	
☐ わかりやすく、読みやすい表記、表現 ☐ 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ☐ 一貫性をもった記述	
意 見	
・目次が見やすく、演奏時の手の動きや楽器の持ち方はもちろんのこと、前からや手のアップの写真だけでなく、演奏者の上から取っている写真もあり、とてもわかりやすい。 ・学習目標、学習活動、考えたいポイントがブロックごとに示されて追い、読みやすい工夫がされている。 ・学びのコンパスのページで、生徒の主体的な活動ができるようになっている。 ・様々なジャンルの音楽の特性や臨場感が写真で表されているので、多様性を感じやすくなっている。 ・楽譜資料の大きさが適切である。 ・文化譜や縦譜の表記が適切であり、邦楽器への正しい理解を促す表示である。 ・写真説明が、注目すべき部分の写真になっており、わかりやすい。また、文章説明よりも写真説明の方が充実しており、分かりやすい。 ・写真の色合いが見やすく、分かりやすい。 ・関連付けた学習ができるため、1つの教材から発展して学習することができる。	
観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意 見	
・学習内容のページが表にされていて、わかりやすい。 ・冒頭に学習内容が示され、観点との関連も示されている。 ・適切だと思う。 ・楽譜資料を見開きで開くための適切な製本がされており、譜面台での使用時に利便性が高い。 ・全体の構成が見通せる構成になっていた。 ・分野毎にページがまとまっているので、使用しやすい。 ・「唱歌」「楽器名」「内容の説明」のカテゴリーごとに、説明の文字の字体を変えており、見やすい。 ・様々な色が使用され、色分けされていて、見やすい。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意 見	
・実際に音を聴くことができ、わかりやすい。 ・多くのページで2次元コードを設けているので、デジタル教材が気軽に使えるようになっている。 ・適切だと思う。 ・2次元コード資料による動画は、演奏法を理解するために適切な内容である。収録された音環境に十分な教育的配慮を感じる。 ・アナウンスや字幕の内容は、演奏理解に適切である。 ・2次元コードでの奏法説明やがとても充実している。多くの楽器音が収録されていて分かりやすい。 ・2次元コードで、伴奏音源を聞くことができる。 ・2次元コードが掲載されているため、自宅で復習をすることができる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意 見	
・友達と一緒に演奏できる楽譜が多くあり、対話的な学習に発展しやすいと感じた。 ・デジタルコンテンツが多く、家庭学習で使いやすい。 ・2次元コードによる動画資料により、家庭で演奏法の学習が深められる。発展的な演奏法や楽譜資料の充実により、生涯学習として音楽を学ぶ参考書として使用できる内容である。 ・打楽器を扱うページでは、様々な種類の打楽器についての記載があり、器楽や創作の活動に活用できる。 ・楽譜の右下から伴奏音源を2次元コードで読み取れるため、家庭学習で活用できる。 ・1つの教材に対して、多面的に学習ができるようになっているため、一貫性をもち、深く学習ができる。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	美術	種目	美術
教科用図書名	美術1、2・3	発行者	開隆堂出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・写真が多く見やすい。
- ・文字の大きさや分量も適切である。
- ・図・写真が多く多様で、わかりやすい。
- ・1年生から2・3年生と写真の大きさ、配置数に配慮がある。
- ・観点を目立たせる工夫がなされており、学びを深めることに有用である。
- ・簡潔に表現されており、基礎・基本の習得に配慮されている。
- ・余白が多めで、見る側の想像力をかき立て深めることに有用である。
- ・余白が多めで、大きめの写真と簡潔な説明で、主体的・対話的な学びが深まる。
- ・どの題材も正確で分かりやすく、適切に取り扱われている。
- ・知識・技能、基礎・基本の習得を助ける、資料ページがある。
- ・発想や構想の方法や進め方が工程順に揭示され、学び方や考え方の手立てに役立てそうである。
- ・思考力・判断力の育成ができるかは、分からない。
- ・題材ごとに学習のポイントが記されており、学ぶ視点が明確で主体的な学びに繋げられる。
- ・思考力・判断力・表現力を育成するための具体的資料が多く、表現の幅を広げやすい。
- ・学習指導要所に記載のある、美術の見方や考え方についての視点があるので学びやすい。
- ・意図が伝わりやすく考えられていると思う。
- ・やや淡泊な印象を受ける。
- ・2・3の鑑賞が生徒の表現活動とやや結びつきにくい印象である。
- ・「1」色を学ぶ、色を知る”の説明が丁寧と感じた。
- ・教材が適切であり、資料が分かりやすい。
- ・生徒の発達の段階に対する配慮がなされている。
- ・基礎・基本の習得が期待できる。
- ・教材は、分かりやすい。
- ・内容は、1、2・3年生のバランスがちょうどよく発達の段階に対する配慮もあるように感じた。
- ・現代アートや身近な作品を取り入れ、美術を親しみやすく工夫している。身近な現代アート作品が充実しており、今を生きる生徒に寄り添って対応している。
- ・正確で適切な内容となっている。
- ・学び方についてスモールステップで示されている。
- ・学習ポイントにより、学びやすくなっている。
- ・学びの資料が充実しており、基礎的な技能の習得に役立つ。
- ・内容が正確で詳しい。
- ・生徒の身近な作品で、興味をひく内容である。
- ・多くの情報が載っている。
- ・「鑑賞の入り口」が主体的で対話的な学びへとつながる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・関連のある写真が適切な順番に配置されており、指導する内容を発展させることに有用である。
- ・学年ごとに配慮されている。
- ・扉の写真が印象的で、見る者の想像力を高める。
- ・簡潔に表現されており、適切である。
- ・各領域の分量は適切である。
- ・配列及び発展性に繋がりがあり、適切である。
- ・教科の特性に応じた主要教材の取り扱いができています。
- ・単元ごとに見やすく配列しており、分量については内容の構成に基づいて適切である。
- ・バランス良く構成されている。
- ・2・3で合本で、鑑賞と資料集的なページが多く、生徒の授業での活動がイメージできるページが少ない印象。
- ・単元の構成、配列が良い。
- ・分量が適当である。
- ・2冊にまとめられ、全体的に見やすく、シンプルに内容をまとめ分量も適量である。
- ・1つの題材について、4ページのページ割り振りになっており、分量が適切である。
- ・表現と鑑賞活動の一体化が図れるようになっている。
- ・多くの内容で構成されているが、3冊に分かれているので構成が分かりやすい。
- ・各単元ごとにうまく扱われている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・余白が多めで読みやすく、文字のサイズも見る者に配慮されている。
- ・写真のアングルが引きが多く、迫力があり、見る者の印象に残る。
- ・2冊を通して、一貫した表記・デザインがなされている。
- ・図版と説明文の配分がちょうどよい。
- ・原寸や作品の部分拡大など、小さな図版では気づかないような点が見ることができる工夫がされている。
- ・一貫性のある記述がされている。
- ・視覚的な指導が、年間を通して継続的に行われており、具体的な指導ができるよう適切である。
- ・すっきりしたレイアウトで見やすい。
- ・カラーユニバーサルデザインやルビ、図番号への配慮などができている。
- ・挿絵、写真などの大きさにメリハリがあると良い。
- ・写真や挿し絵が見やすく、とても分かりやすい。
- ・分かりやすく、読みやすい。
- ・図や挿絵が多く分かりやすい。見ていて楽しい感じが伝わる。
- ・学びの資料が、コンパクトにまとめられており、見やすい。
- ・重要箇所を拡大するなどの工夫が見られる。
- ・見やすく問題は無い。
- ・文字の分量、内容は適切で読みやすい。
- ・隙間をうまく使って詳しく説明を加えているが、窮屈な感じの部分もある。
- ・作品名などが太字にしてあり、分かりやすい。
- ・一貫性があり読みやすい。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

・目次で全体を平易に見渡せる。
・表紙の印刷に特殊加工が施されており、見る者の興味関心を引きつけることで、学習活動を進めやすくする一助になっている。
・表紙で特殊印刷加工を施し、触感にも訴えかけている。
・2・3が1冊にまとまり、発展の内容が見通せるようになっている。
・2次元コードを使った資料公開や学習動画など学習活動を進めやすくする工夫がある。
・印刷は明瞭であり、見やすく、製本も問題ない。
・生徒が考える視点が明記されており、話し合い活動などが行いやすい。
・表紙の加工や紙質が特徴的で面白い。
・まとめというページが3年生後期を想定させる。年間計画だけでなく、生徒の成長にも課題生成の自由度があると良い。
・全体的に美しく見やすい印象である。
・全体の構成が見通せる配慮が感じられる。
・サイズがA4サイズより横に大きい。使い勝手に疑問を感じる。
・「美術2・3」が1冊にまとまっていて良い。
・教科書の表紙が良い。
・学習内容が見通せる構成となっている。
・見やすく問題は無い。
・学年ごとの3分冊は分量はいいが、内容に応じて使い分けが少し不便。
・サイズがA4サイズより横に大きい。
・目次とインデックスが色で関連付けられて見やすい。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

- 2次元コードによる学習内容
- 見やすさ、操作性

意見

・ワークシートも含まれており、活用の幅が広い。
・2次元コードを使った多彩な解説や資料の提示が来ている。
・見やすく、生徒でも使用しやすいような簡易的な操作性がある。
・2次元コードによる動画等を授業のポイントで使うことができる。
・2次元コードを授業で全員で見ることはほとんどないが、興味をうながす手助けにはなると思う。
・デジタルコンテンツがシンプルで活用しやすい。
・資料や解説が豊富に示されている。
・題材の導入動画がついている。
・「学習のはじめに」という導入の部分の動画があり、自学でも学習に入っていける工夫がある。

観点⑥ 特記すべき事項

- 地域性への配慮
- 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ
- 対話的な学習が行いやすい工夫
- SDGsへの配慮
- その他

意見

・東京都内の美術館の作品を掲載し、見る側の周辺にも多様な作品があることを伝え、美術が日常生活に置いて身近なものである印象を与えている。
・地域性の配慮はさらにあるとよい。
・家庭での学びやすさは、題材ごとに掲示されている制作の進め方や資料ページ、2次元コードなどがあるため学習に役立てることができる。
・対話的な学習は補助教材と併用することで行える。
・SDGsへの配慮・繋がりをもっとあるとよい。
・家庭学習については教科特性上難しい部分もあるが、内容における疑問などが提示されており、対話的な学習は行いやすい。
・細部まで配慮され使いやすかった。
・学習の進め方や2次元コードにより、家庭学習が進めやすくなっている。
・導入の動画と参考作品がついており、生徒の学習のイメージがもちやすくなっている。
・SDGsがテーマのページがあり、持続可能な社会への視点がむけられている。
・SDGsとの関連項目が下に記載されている。
・2次元コードで、「学習のはじめに」という動画を見て、家庭学習でも興味をもって学習できる。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	美術	種目	美術
教科用図書名	美術1、1資料、2・3	発行者	光村図書出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・写真が多く見やすい。
- ・見る手の興味関心を引きつける構成がなされている。
- ・吹き出しを多用し、親しみやすさとわかりやすさに留意した表現がなされている。
- ・吹き出しが多用されており、読み手の親しみを持って文章を読むことができるよう工夫されている。
- ・表現・鑑賞と区切られており、習得する上でわかりやすい。
- ・タイトル、サブタイトル共に簡潔で、確実な要所の習得に繋がる。
- ・2次元コードで多くの作品をみせることで、思考力・判断力・表現力等を育成することに有用である。
- ・吹き出しの問いかけが適切で、読み手への配慮が成されている。
- ・どの分野も適正に取り扱われている。
- ・身近な現代社会の作品を取り入れ、親しみやすい教材を取り入れている。
- ・原寸大や見開きページなど作品を実際に感じ取りやすく、わかりやすい掲示の仕方をしている。
- ・1、2・3共に実用性が増している。
- ・他教科とのつながりが載っており、学びを広げやすい。
- ・鑑賞を楽しむ手掛かりや制作の流れなどが明確である。
- ・制作の過程が掲載されており、具体的な作業のイメージと見通しが持ちやすくなっている。
- ・発想・構想の広げ方を題材に応じて紹介しており、制作に取り掛かりやすく、思考力などの育成につながる手立てができています。
- ・対話的な学びの配慮があるかという点では、分かりにくい点がある。
- ・思考力・判断力・表現力を育成するための具体的資料が多く、表現の幅を広げやすい。
- ・学習指導要所に記載のある、美術の見方や考え方についての視点があるので学びやすい。
- ・意図が伝わりやすく見やすい。
- ・資料が分かりやすい。
- ・生徒の発達の段階に対する配慮がなされている。
- ・デジタルコンテンツがシンプルで活用しやすい。
- ・1と2・3の教材の内容に発達の段階に応じて、発展しているか分からない面もある。
- ・これまでの有名な名画を提示したり、生徒の作品が出来るまでの表現の流れ(みんなの工夫)を入れてたりしている。生徒の視点を大事に作り方、手順の流れを載せている。
- ・1の資料がわかりやすくて良い。
- ・正確で適切な内容となっている。
- ・鑑賞方法・制作方法についてスモールステップで示されている。
- ・他教科との関連が示され、学びやすくなっている。
- ・吹き出しやポイントが学習を深めるのに役立っている。
- ・制作の行程や制作者のインタビューが載っており、作品制作のイメージがわかりやすい。
- ・内容が正確で詳しい。
- ・生徒の身近な作品で、興味をひく内容である。
- ・多くの情報が載っている。
- ・「鑑賞の入り口」が主体的で対話的な学びへとつながる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・図版の大小にメリハリがあり、読み手の意欲を引き出す工夫がなされている。
- ・学年を追って、ページ内の文字・写真の分量が増えており、発達の段階を意識した分量になっている。
- ・日本絵画を和紙に印刷しており、作品のよさをより引き出す工夫がなされている。
- ・目立たせたい言葉を強調する文字のサイズ・太さが工夫されている。
- ・他教科とのつながりや発展が言葉や説明、2次元コードなどで紹介されている。
- ・生徒の作品の割合が少なく、もう少し紹介があってもよい。
- ・分量についても各学年適切である。
- ・補助教材の説明などが余白部分に埋められているが、見づらい。
- ・制作の過程が掲載されており、具体的な作業のイメージと見通しが持ちやすくなっている。
- ・単元ごとに見やすく配列しており、分量については内容の構成に基づいて適切である。
- ・「生徒作品」の掲示が少なめと感じた。
- ・「1」で形と色についての記述が少なく感じた。
- ・分量がやや少ない印象。
- ・デッサンの描き方の説明があり、参考になる。
- ・構成は分かりやすい。
- ・目標が2つに絞られており、シンプルである。生徒の作品の下に作者の言葉が添えられている。分量は適量。
- ・配列・量ともに適切である。
- ・他教科とのつながり示されている。
- ・生徒が身に付ける資質能力に視点が向けられた紙面になっている。
- ・表現と鑑賞活動の一体化が図れるようになっている。
- ・多くの内容で構成されているが、3冊に分かれているので構成が分かりやすい。
- ・各単元ごとにうまく扱われている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・文字の大きさに工夫が見られる。
- ・写真の大小の配置にメリハリがあり、見る側の印象に残る工夫がなされている。
- ・2冊を通して、作品の説明が簡潔かつ要所を的確に表現している。
- ・全体的に読みやすい配列やサイズに違いを出すなど、工夫されている。
- ・マークや目標の設定などはよい。
- ・鑑賞として、原寸大の名画作品を載せている。
- ・一貫性をもって記述できている。
- ・視覚的な指導が、年間を通して継続的に行われており、具体的な指導ができるよう適切である。
- ・絵と文字のバランスがほどよい感じ。
- ・特に、2・3年生の写真や挿し絵が見やすく、とても分かりやすい。
- ・少し表記の字が小さい。詳しく書いてあるが、そこまで確認できるか分からない。
- ・古典的な名画を取り入れながら、現代と結びつけてる。
- ・学びの資料がコンパクトにまとめられている。
- ・レイアウトは見やすい。
- ・原寸大の作品を掲載するなどの工夫が見られる。
- ・わかりやすく、問題は無い。
- ・見開きページでまとめられて見やすい。それぞれのページでレイアウトに工夫がある。
- ・表記の字がやや小さいところがあるが、問題ない。
- ・統一されており読みやすい。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

・導入の見開きで全体の内容を伝える工夫がなされている。
・他教科、他ページとの関連が細かく表記されており、学びを深めることに有用である。
・内容によって、紙質、紙のサイズを変えており、作り手のこだわりを感じると共に、見る側の印象に残る工夫が見られる。
・2・3年上下巻が1冊にまとめられ、発展内容が見通せるようになっている。
・各項目ごとに2次元コードによる動画などを取り入れ、発展的な学習が可能になっている。
・学習を支える資料で手順をしっかりと追って、説明している。
・見開きページの扱いはよい。異なる紙質のページを挿入した試みも面白い。(2・3年生 P.27等)教科書のサイズがA4サイズで良い。
・生徒が考える視点が明記されており、話し合い活動などが行いやすい。
・単元ごとの意図が伝わりやすいと感じた。
・資料集のようなページが多い。
・画面全体がすっきりとして見やすい。
・1年生用の全体構成や学習活動を進めるために、ひと工夫が必要である。
・教科書の表紙が良い。
・サイズがA4サイズより大きく、使い勝手に疑問を感じる。
・「美術2・3」が1冊にまとまっていて良い。
・中学生の荷物の多さ(重さ)がニュースに取り上げられるようになっている昨今のため、サイズや冊数を工夫しているところがとても良い。
・学習の手順が丁寧に示されている。
・わかりやすく、問題は無い。
・学年ごとの3分冊は分量はいいが、内容に応じて使い分けが少し不便。
・サイズがA4サイズより横に大きい。
・目次とインデックスが色で関連付けられて見やすい。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

- 2次元コードによる学習内容
- 見やすさ、操作性

意見

・適宜、コンテンツの説明があり、わかりやすい。
・各項目ごとに2次元コードによる動画などを取り入れ、発展的な学習が可能になっている。
・2次元コードによる動画等を授業のポイントで使うことができる。
・2次元コードを全体で見るとはほとんどないが、興味をうながす手助けになると思う。
・動画など学習を深める映像を見ることができる。
・参考作品が2次元コードから見ることができる。
・教科書に載せきれない、作家や生徒の作品がたくさん見ることができるため、深く調べることができる。
・参考作品の質が良い。

観点⑥ 特記すべき事項

- 地域性への配慮
- 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ
- 対話的な学習が行いやすい工夫
- SDGsへの配慮
- その他

意見

・東京都内の美術館の作品を掲載し、見る側の周辺にも多様な作品があることを伝え、美術が日常生活に置いて身近なものである印象を与えている。
・地域性の配慮はさらにあるとよい。
・題材ごとに、構想を練るヒントや生徒の参考作品などが掲載されているので家庭学習も進めやすい。
・対話的な学習は補助教材と併用することで行える。
・SDGsへの配慮・繋がりはもっとあるとよい。
・家庭学習については教科書特性上難しい部分もあるが、内容における疑問などが提示されており、対話的な学習は行いやすい。
・細部まで配慮して作られていると思う。
・学習の進め方や2次元コードにより、家庭学習が進めやすくなっている。
・資料が別紙になっており、3年間通して使用できるようになっている。
・日本絵画のキーワードが印刷や紙の工夫もして入っている。
・SDGsとの関連項目が下に記載されている。
・目標やPOINT、投げかけのことで2次元コードがあるので、家庭学習でも十分使いやすく、対話的な学習もできる。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	美術	種目	美術
教科用図書名	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来	発行者	日本文教出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・図版が多く、文章も簡潔で、見やすく理解しやすい。
- ・＜鑑賞の入り口＞がわかりやすい。
- ・学年が上がるにつれて文字量、掲示作品量が適切に増加している。
- ・学びの目標が適切に設定されている。
- ・簡易な文章でわかりやすく表現されており、基礎・基本の確実な習得が想定される。
- ・＜鑑賞の入り口＞で各自の考察を深める工夫がなされている。
- ・“表現のヒント”として学びの可能性を広げる工夫がなされており、主体的・対話的で深い学びへの配慮が見られる。
- ・身近な現代社会の作品を取り入れたり、動画制作の流れ親しみやすい教材を取り入れている。
- ・どの題材も内容が正確であり、様々な図版や説明があることで分かりやすい。
- ・掲載作品ごとに、学びを広げられるような問いかけや造形的な視点が吹き出しでついでおり、主体的に考える・他者と意見を交わし合えるようなきっかけがある。
- ・発想・構想の手立てとして、作家の表現の練り方や表現の仕方などまとめたページがあり、作品の制作に取りかかりやすい。
- ・1、2・3上下の関連性はあまりみられない。
- ・学びの目標が、説明とアイコンで掲示してあり、題材ごとのねらいが分かりやすい。
- ・鑑賞の流れや表現のヒントがあり学び方や考え方が明確である
- ・巻末ページに、学びを支える資料として技法や名称などが多彩に紹介され基礎的な学習ができる。
- ・思考力・判断力・表現力を育成するための具体的資料が多く、表現の幅を広げやすい。
- ・学習指導要所に記載のある、美術の見方や考え方についての視点があるので学びやすい。
- ・技法の説明など、授業での使いやすさが高い。
- ・技法の説明(木彫等)の細かさがやや足りないと感じる。
- ・教材や資料が分かりやすい。
- ・生徒の発達の段階に対する配慮がなされている。
- ・「学びの目標」が記されているのが良い。
- ・デジタルコンテンツの工夫が必要である。
- ・学年での発達の段階に応じた学習内容が分かりやすい。
- ・発達の段階に応じて、内容が豊かに組まれている。いろいろなジャンルの資料があり、基礎基本も抑えられ興味をそそる。生徒同士の会話や対話にも有効である。
- ・描いたり作ったりばかりでなく、自分で感じた美しさを写真で撮って記録する等の表現活動も記載され、今後の新しい自己表現を考えるきっかけとなるだろう。
- ・正確で適切な内容となっている。
- ・学び方・制作手順についてスモールステップで示されている。
- ・めあてがアイコンで示されていて、学びやすくなっている。
- ・発達の段階に合わせて2・3年生の教科書が3冊にわかれている。
- ・内容が正確で詳しい。
- ・生徒の身近な作品で、興味をひく内容である。
- ・多くの情報が載っている。
- ・「鑑賞の入り口」が主体的で対話的な学びへとつながる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・制作のヒントなどを交えつつ、伝えたいことが適切に表現されている。
- ・適切な分量で、発達の段階に応じており、見る側への配慮が感じられる。
- ・特質をもとに、幅広い題材を取り扱っている。
- ・基礎的・基本的な事項をわかりやすく伝えている。
- ・他教科との関連・系統性はさらに深い内容であるとよい。
- ・分量は適切である。
- ・補助教材が見やすくまとめられている。
- ・単元ごとに見やすく配列しており、分量については内容の構成に基づいて適切である。
- ・バランス良く考えられている。
- ・分冊のぶん、内容は厚い。目新しい資料は少ないが、安定感のある内容で、教師が工夫して指導できる。
- ・単元の構成、配列が良い。
- ・分量が適当である。
- ・3冊に分かれているが、構成が分かりやすい。
- ・いろいろなジャンルの内容を惜しげもなく網羅し、分量が多く、見応えがある。
- ・3冊に分けられているため、発達の段階を意識できる。
- ・色相環に色名が付くなどの新しい工夫が随所にされている。
- ・配列・量ともに適切である。
- ・造形的な視点を具体的に示しているの、わかりやすい。
- ・表現と鑑賞活動の一体化が図れるようになっている。
- ・多くの内容で構成されているが、3冊に分かれているので構成が分かりやすい。
- ・各単元ごとにうまく扱われている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・余白が適切で、見やすく読みやすい工夫がなされている。
- ・適切な間隔で掲載されており見やすい工夫がなされている。
- ・分野が片寄ることなく、幅広い題材に触れている。
- ・題材ごとの両ページで、それぞれ余白を均一に保って掲載してあるので大変見やすい構成になっている。
- ・中学生の頭身を作品の横に並べて掲示(1, P26)するなどイメージがしやすい。
- ・色の使い方が、見出しにつけたり、分類に用いるなどまとまりがあり見やすい。
- ・どの巻も説明が簡潔かつ具体的であり、内容が一貫している。
- ・キュビズムなど言葉の説明だけでない図解した説明が分かりやすい。
- ・視覚的な指導が、年間を通して継続的に行われており、具体的な指導ができるよう適切である。
- ・整然としたレイアウトで見やすい。
- ・文字の形、レイアウトが3冊通してばらついていない印象。
- ・参考作品や挿絵、写真が大きく載っていて見やすい。
- ・写真や挿し絵が見やすく、とても分かりやすい。
- ・全体の構成が見通せる配慮が感じられる。
- ・学習活動を進めやすい配慮が感じられる。
- ・作品名などが太字にしてあり、分かりやすい表記。
- ・生徒の写真が多く、熱心に取り組む様子が映し出されている。
- ・生徒作品から作家の作品まで数多くの参考作品が掲載されており、これを見ることで単元ごとの生徒理解が進むものと考えられる。
- ・図版や説明のレイアウトが適切でわかりやすい。
- ・見やすく問題は無い。
- ・文字の分量、内容は適切で読みやすい。
- ・隙間をうまく使って詳しく説明を加えている。
- ・作品名などが太字にしてあり、分かりやすい。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・3年間を見通した学びが成される工夫がされている。
- ・対象を大きく写した写真が多く、見た人に分かりやすい工夫がなされている。
- ・本のページ数が適切である。
- ・完成作品だけでなく、制作途中のアイデアスケッチなどにも生徒作品が掲載され学習の流れをイメージしやすい。
- ・作品のスケール感をより伝えるような見開きのページがよい。
- ・作品によっては画質が荒く見づらいものもある。
- ・生徒が考える視点が明記されており、話し合い活動などが行いやすい。
- ・3冊に分かれていると紛失や忘れ物につながりやすい。
- ・2・3下がいかにも3年生向けなのが使いやすい。
- ・3冊に分けた場合の紛失の可能性を懸念する。
- ・学びを支える資料では、幅広い内容や資料を提示している。
- ・生徒の意欲を喚起し、学びきっかけ作りをしている。
- ・サイズがA4サイズより横に大きく、使い勝手に疑問を感じる。
- ・発想、構想の手立ての一例を、美術作家の構想の仕方を載せるなどして、生徒が躓きやすい過程を細かく解説している点がとても良い。
- ・学習の流れが丁寧に示されている。
- ・見やすく問題は無い。
- ・学年ごとの3分冊は分量はいいが、内容に応じて使い分けのものが少し不便。
- ・サイズがA4サイズより横に大きい。
- ・目次とインデックスが色で関連付けられて見やすい。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

- 2次元コードによる学習内容
- 見やすさ、操作性

意見

- ・導入に活用できる内容が多く有用である。
- ・2次元コードによる、学びの発展や導入があり、見やすく分かりやすい。
- ・2次元コードによる動画等を授業のポイントで使うことができる。
- ・2次元コードを授業全体で見るとはほとんどないが、興味をうながすきっかけになるかもしれない。
- ・2次元コードが便利そう。自習で使ってほしい。
- ・掲載作品に2次元コードが付いており、スマホやタブレットなどで作品の解説や立体作品を多角的に見られるなどの工夫がされており、今後の授業の展開に役立つだろう。
- ・導入動画などが示されている。
- ・「学習のはじめに」という導入の部分の動画があり、自学でも学習に入っていける工夫がある。

観点⑥ 特記すべき事項

- 地域性への配慮
- 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ
- 対話的な学習が行いやすい工夫
- SDGsへの配慮
- その他

意見

- ・東京都内の美術館の作品を掲載し、見る側の周辺にも多様な作品があることを伝え、美術が日常生活に置いて身近なものである印象を与えている。
- ・地域性の配慮はさらにあるとよい。
- ・家庭での学びやすさは、題材ごとに掲示されている制作の進め方や資料ページ、2次元コードなどがあるため学習に役立てることができる。
- ・現代社会に結びつけやすい題材設定や作品の紹介がされていて、SDGsへの繋がりが感じられる。
- ・対話的な学習は補助教材と併用することで行える。
- ・家庭学習については教科特性上難しい部分もあるが、内容における疑問などが提示されており、対話的な学習は行いやすい。
- ・細部まで配慮され、使いやすさのバランスが良い。
- ・学習の進め方や2次元コードにより、家庭学習が進めやすくなっている。
- ・導入の動画がついており、生徒の学習のイメージがもちやすくなっている。
- ・SDGsとの関連項目が下に記載されている。
- ・2次元コードで、「学習のはじめに」という動画を見て、家庭学習でも興味をもって学習できる。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	保健体育	種目	保健体育
教科用図書名	新編 新しい保健体育	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・基礎・基本を習得するための資料が多く、わかりやすい。
 ・思考・判断・表現を育成するための発問があつて良い。
 ・全体の流れがわかりやすい。
 ・「活用する」の内容が難しいところがある。
 ・今日的な教育課題への対応が充実している。
 ・教育漢字以外の常用漢字に振り仮名が付されている。
 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。また、単元がすべて網羅されており、全体の流れが分かりやすい。
 ・学習課題が大きく、分かりやすい。視覚的に課題をとらえることができる。
 ・学習のまとめが授業内でも使用しやすい。また、家庭での復習にも使いやすい。
 ・本文と資料の境目が分かりやすく、どこに視点をもっていけばよいか困惑することが予想される。
 ・内容と資料のリンクが分かりやすく、使いやすい。
 ・「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」といった、学習の一連の流れが提示され、見通しが明瞭。
 ・内容のまとめごとに発問があり、主体的に学ぶ配慮がされていて良い。
 ・今日的な教育課題への対応が充実している。
 ・技能の実習方法が充実しているため学びやすい。
 ・「活用する」の部分が、学びの習得に役立つ。一方で、内容が難しいところもある。
 ・「見つける」「課題」「活用する」「広げる」と、学びの連続性があつて良い。
 ・ねらいに対する学習課題の設定が適切でわかりやすい。
 ・様々な教育課題を提示して、学びを広げている。
 ・イラストやグラフが豊富であり、生徒の理解を促す内容となっている。
 ・資料が多いのはよいが、もう少し解説や資料の結果から考えられることなどが書いてあると良い。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・系統性があり、とてもわかりやすい。
 ・1年生、2年生の内容では、資料がほぼ数種類程度であり、1単位時間内に十分に活用できる量でとても良い。
 ・各学年において、保健編、体育編(体育理論)の順に構成されている。
 ・各章ごとのまとめがされていて、知識の定着を図りやすい。
 ・資料が多過ぎず、バランスが良い。
 ・章末資料が充実しており、知識・理解の定着や活用に役立つ。
 ・単元のつながりが分かりやすい。
 ・系統性があり、とても分かりやすい。
 ・見開きページで1単位時間となっておりわかりやすい。
 ・各章ごとの分け方も分かりやすく、資料もたくさんあるため、活用したい場面の選択肢が広がる内容になっている。
 ・一文が長い印象。
 ・文字数が多い印象。
 ・新型コロナウイルス感染症に関する記述が少ない。
 ・配列・分量ともに適切である。
 ・課題の提示、学習内容、まとめと学びやすい流れになっている。
 ・掲載されているコラムは、日常生活や身近な話題にあるような具体的にイメージしやすいものになっている。
 ・各学年において、保健編、体育編(体育理論)の順に構成されている。
 ・章末資料が充実しており、知識・理解の定着や活用に役立つ。
 ・単元のつながりが分かりやすい。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・文章と資料の区切り(点線)があるのは、分かりやすい。
- ・1ページ内で、左側が文章、右側が資料の配置になっている。
- ・色合いが落ち着いていて、特別な支援を要する生徒などにも見やすい。
- ・資料のレイアウトが良く、どの文章と対応しているのかわかりやすい。
- ・保健編は、イラストが多い。
- ・記号や図形が適切に配置されている。
- ・各単元とも一貫した記述になっている。
- ・学習課題が大きく提示されており分かりやすい。
- ・本文と資料との位置関係が離れているので捉えづらい部分がある。
- ・文字の間隔が狭く、読み込むのに苦労する。
- ・ふりがなが多く、つまづきが少ない。
- ・資料は多いが、本文に対する大きさのバランスが良いため見やすい。
- ・図表が多く、充実している。
- ・学習課題が分かりやすく提示されている。
- ・行間が少し詰まっているように感じる。
- ・教材の中でポイントになる部分がはっきりわかるように表記されており、内容を理解する上でわかりやすくなっている。
- ・色の使い方が適切である。
- ・図や挿絵、写真が大きい。
- ・全てのページにおいて、色の使い方が落ち着いていて、見やすく、特別支援教育に配慮されている。
- ・保健編は、イラストが多い。
- ・挿し絵が多く、イメージをしやすい。
- ・字体が読みやすい。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・全体の構成が見通ししやすい。
- ・目次において、コラム・資料の内容表記が細かくされているので、索引しやすい。
- ・資料を使っの学習活動などがしやすい。
- ・各章ごとの見出しが整っているため見通しをもちやすい。
- ・資料が本文に沿って提示されており、内容のイメージを持ちやすい。
- ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。
- ・資料集のような触り心地で持ちやすい。
- ・目次を活用することによって、全体を見通すこと、学習を調整することができる。
- ・それぞれ学習のキーワードが書いてあり、具体的に進めていく学習内容を把握しやすくなっている。
- ・目次において、コラム・資料の内容表記が細かくされているので、索引しやすい。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

- 2次元コードによる学習内容
- 見やすさ、操作性

意 見

- ・充実している。
- ・Dコンテンツの資料を簡単に扱うことができる。また、ナレーション・アニメーション共に内容が分かりやすく、知識の定着に寄与されると考えられる。
- ・「Dマーク」により、動画や消費カロリーシミュレーションなど、興味関心を惹くものが用意されている。
- ・デジタルコンテンツが充実しており、活用しやすい。
- ・Dマークコンテンツの活用ができるのが良い。
- ・動画等の教材が示されている。
- ・実習や学習のまとめ、クイズなどができる2次元コードの掲載が豊富である。
- ・調べ学習や話し合い学習等、学習の進め方がいくつも紹介されていて、学習活動のイメージがしやすい。

観点⑥ 特記すべき事項

- 地域性への配慮
- 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ
- 対話的な学習が行いやすい工夫
- SDGsへの配慮
- その他

意見

- ・デジタルコンテンツが充実しており、活用しやすい。
- ・本文に対する資料が、やや簡潔すぎるように感じる。
- ・課題の投げかけが分かりやすい。
- ・日常生活に繋がりがやすい資料構成になっている。
- ・2次元コードを活用することにより、家庭学習を充実させることができる。
- ・読み進める上で、学習の流れがわかりやすくなっている。
- ・2次元コードを活用し学習活動を進めることで、家庭での学習を上手に進めることができる。
- ・インターネットを使った学習一覧が掲載されている。
- ・デジタルコンテンツが充実しており、活用しやすい。
- ・Dマークコンテンツの活用ができるのが良い。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	保健体育	種目	保健体育
教科用図書名	中学校保健体育	発行者	大日本図書株式会社

観点① 内容等	
○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成
○生徒の発達段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮
○学び方、考え方の習得	
意見	
・トピックスの内容が面白い。 ・内容が豊富で資料も大きく正確なためわかりやすい。 ・学習のまとめが用語の説明のみになっており、それに加えて各章を振り返ることができる問題などがあるとよい。 ・93ページ資料5の内輪差による事故の男の子のイラストが不自然(転ぶ方向)。 ・トピックスが充実していて良い。 ・「つかもう」では課題を主体的に考え、「やってみよう」では対話的に学ぶことができるようになっていて分かりやすい。 ・今日的な教育課題への対応が充実している。 ・見出しが認識しやすい。 ・資料が多く、活用したい場合の選択肢が広がる。 ・教育漢字以外の常用漢字に振り仮名が付されている。 ・資料が大きく、理解が進みやすい。 ・各章ごとの区分けが分かりやすい。授業展開が4ステップで構成されているため、授業の展開を理解しやすい。 ・学習のまとめが用語の説明のみになっており、それに加えて各章を振り返ることができる問題などがあるとよい。 ・心肺蘇生法のページが充実、分かりやすい。 ・左ページに解説、右ページに資料といった流れができている。 ・学習のねらいが認識しやすい。 ・今日的な教育課題への対応が充実している。 ・問いが設定してあり、学習しやすい。 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。 ・具体例が多くあり、話し合い活動が多くなる。 ・スモールステップで学ぶ方法が示されている。 ・主体的・対話的な学習課題を提示して、学びを広げている。 ・まとめのページで基礎的事項を定着する工夫が見られる。 ・イラストやグラフが豊富に掲載されている。 ・見出しが認識しやすい。 ・資料が大きく、理解が進みやすい。 ・トピックスが充実していて良い。 ・写真が多い。	
観点② 構成及び分量	
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ	
○各領域の分量、発達の段階に応じた分量	
○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い	
○基礎的・基本的事項等の取り扱い	
意見	
・全体的に分量が多く見える。 ・左側のページは文章のページとなっていて、分量は全学年において適切な量に感じる。右側の資料のページは資料に関する説明文が多い印象を受ける。 ・各学年において、体育編(体育理論)、保健編の順で構成されている。 ・章末資料が充実しており、知識・理解の定着や活用に役立つ。 ・単元の構成が適切である。 ・基本的な情報が全てあり、発達段階に合わせた分量である。 ・資料が右ページにまとまっている点使いやすい。 ・全体的に分量が多く見える。 ・本文と資料の対応が分かりやすい。 ・各学年の内容終末に、学習のまとめ(学びを活かそう)、重要な言葉を掲載していて知識の定着を図りやすい。 ・「つかもう」では課題を主体的に考え、「やってみよう」では対話的に学ぶことができるようになっていて分かりやすい。 ・章の見出しに、中学で学ぶこと、高校で学ぶことが明記されている。 ・見開きの左に文章、右に図表が記載されていることで、流れが掴みやすい。 ・新型コロナウイルス感染症に関する記述が乏しい。 ・全体的に分量が多く見える。 ・配列は適切である。 ・分量はやや多いように感じるが、資料が充実しているため、発展的な学習にも対応できる。 ・身近な話題のコラムや具体的な情報などが掲載されている。 ・各学年において、体育編(体育理論)、保健編の順で構成されている。 ・章末資料が充実しており、知識・理解の定着や活用に役立つ。 ・単元の構成が適切である。 ・基本的な情報が全てあり、発達の段階に合わせた分量である。 ・全体的に分量が多く見える。	

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現	
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現	
○一貫性をもった記述	
意	見
	・見開きの中で、左ページが文章、右ページが資料で分かりやすい。写真が多い。見やすい。 ・字が小さく見づらい。 ・左ページが文章、右ページが図や資料などと文章と図などが分かれていて、見づらい。 ・レイアウトが見づらい。 ・全体を通してページ内の配置(左本文、右資料)に統一感がある。内容の流れが分かりやすい(図と文章が違うページにあると、つながりが分かりにくいという意見もあり) ・重要なワードが太文字になっていて良い。 ・レイアウトがやや見づらい印象。 ・資料が大きく、視覚的で分かりやすい。 ・文字が若干過密気味で、読み込むのに苦勞する。 ・フォントや行間のためか、少々他者に比べて堅い印象がある。 ・資料が多く、活用したい場合の選択肢が広がる。 ・カラフルであり、イラストが多い。 ・字が多い印象。 ・UDフォントの方が読みやすい。 ・本文と資料の配置が一貫して見やすい。 ・行間が少し詰まっているように感じる。 ・色が使い分けられており、どこにポイントがあるのか、わかりやすく示されている。 ・文字が若干過密気味で、読み込むのに苦勞する。
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意	見
	・図や資料と文章が違うページにあり、図がどの文章と関わりがあるのかわかりづらく、流れがつかみにくい。 ・各章ごとの見出しが整っているため見通しをもちやすい。 ・調べ学習や話し合い学習等、学習の進め方がいくつも紹介されていて、学習活動のイメージがしやすい。 ・教科書のサイズが他の発行者と比較して小さい。 ・基本右側のページが活動のページとなっていて、学習を進めやすい。 ・心肺蘇生法のページが充実、分かりやすい。 ・ねらい、キーワードが記載されているのでイメージしやすい。 ・様々な手立てが見られる。 ・見出しを確認することで、見通しをもつことができる。 ・教科書のサイズが小さい。 ・学習のキーワードが示されているため、何を学習したら良いのか見通しをもつことができる。 ・各章ごとの見出しが整っているため見通しをもちやすい。 ・教科書のサイズが他の発行者と比較して小さい。
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意	見
	・充実している。 ・「まとめの問題」など、デジタルコンテンツが利用できるものとなっている。しかし、アニメーションで知識定着を図るものが少ない。 ・シミュレーションコンテンツやCBTなど、1台端末を用いた学習ができそう。 ・リンク先が教科横断的で良い。 ・まとめ学習などができるようになっている。 ・2次元コードには、学習や実習のまとめやクイズなどが豊富に掲載されている。 ・話し合い活動や実習を促すための資料との関連付けが分かりやすい。
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意	見
	・話し合い活動や実習を促すための資料との関連付けが分かりやすい。 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。 ・具体例が多くあり、話し合い活動が充実できるようになっている。 ・課題の投げかけが分かりやすい。 ・日常生活に繋がりがやすい資料構成になっている。 ・対話的な学習を進めるための資料や説明がある。 ・2次元コードを活用することで、家庭学習を効率よく行うことができる。 ・明るく大胆な写真を多く使っている感がある。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	保健体育	種目	保健体育
教科用図書名	最新 中学校保健体育	発行者	大修館書店

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・単元によって資料の量にばらつきがある。
 ・章のまとめが、観点別に問題が作られていてわかりやすい。
 ・今日的な教育課題への対応が充実している。
 ・各章ごとの区分けが分かりやすい。
 ・資料が多く、活用したい場合の選択肢が広がる。
 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。
 ・イラストが分かりやすい。
 ・中学生が理解しやすい構成になっている。
 ・ユニバーサルデザインに配慮しており、これからの授業の使用に適している。
 ・章のまとめが、観点別に問題が作られていて分かりやすい。
 ・内容と資料のリンクが分かりやすく、使いやすい。
 ・「つかむ」「考える」「振り返る」の流れが明確。
 ・主体的・対話的な学びをするためのコーナーが準備されている。
 ・「課題をつかむ」では、参考となるイラストや例文があることや、話し合うのか、振り返るのか、考えるのが明確であり取り組みやすい。
 ・今日的な教育課題への対応が充実している。
 ・各章ごとの区分けが分かりやすい。
 ・流れが掴みやすい。
 ・ねらいに対する学習課題の設定が適切でわかりやすい。
 ・様々な教育課題を提示して、学びを広げている。
 ・資料が豊富であり、効果的に配置されている。
 ・まとめのページで基礎的事項を定着する工夫が見られる。
 ・イラストやグラフが豊富に掲載されている。
 ・各章ごとの区分けが分かりやすい。
 ・資料が多く、活用したい場合の選択肢が広がる。
 ・教育漢字以外の常用漢字に振り仮名が付されている。
 ・イラストが分かりやすい。
 ・章のまとめが、観点別に問題が作られていて分かりやすい。
 ・学習のねらいや話し合い、体験させるコーナーが設けてあり、分かりやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・教科書からの発問がなく、生徒が考えたり、調べたりする量が少ない。
 ・資料を活用しながら授業を進めやすい構成となっている。
 ・項目立てが細かく丁寧である。
 ・資料の分量やリンクの量が多い。
 ・基本的な情報が全てあり、発達の段階に合わせた分量である。
 ・章のまとめがあり、授業のまとめとして、また、家庭における復習として扱い使いやすい。知識の定着を図りやすい。
 ・対応している資料がどれなのか分かりやすい。
 ・「今日の学習」の場所が分かりやすいとよい。
 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。
 ・技能の実習方法が充実しているため学びやすい。
 ・単元の構成が適切である。
 ・基本的な情報が全てあり、発達の段階に合わせた分量である。
 ・配列は適切である。
 ・分量はやや多いように感じるが、資料が充実しているため、発展的な学習にも対応できる。
 ・身近な話題のコラムや具体的な情報などが掲載されている。
 ・資料を活用しながら授業を進めやすい構成となっている。
 ・各学年において、体育理論、保健の順に構成されている。
 ・単元の構成が適切である。
 ・章のまとめがあり、授業のまとめとして、また、家庭における復習として扱い使いやすい。知識の定着を図りやすい。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・見開きページで、文章は内側、資料が外側の配置になっている。
- ・文章と資料は、色の実線で区切られている。
- ・これまで大修館書店の教科書を使用していたため、見慣れているが、全体を見るとゴチャゴチャしている印象をもつ。
- ・口絵のレイアウトや内容が良く、見やすい。
- ・各内容の小見出しが見づらい。
- ・イラストが見づらい。
- ・ページによって、図や資料のレイアウトが異なりわかりにくい。
- ・イラストや写真の色合いが落ち着いていて、見やすい。
- ・文章のスペースと資料のスペースが同じ。(現使用教科書より、資料のスペースが広い。)
- ・資料は、枠で囲まれているので、分かりやすい。写真が多く、目を引く。
- ・マークが多い。
- ・読みやすい文字の大きさである。
- ・重要なワードが太文字になっていていい。
- ・見出しに対する1つ1つの文章が短く、読みやすい。
- ・資料が多く授業の展開がしやすい。
- ・口絵のレイアウトや内容が良く、見やすい。
- ・ページ全体、柔らかな色味。
- ・太字やキーワードへのふりがななど、つまづきが少なそう。
- ・資料が多く、活用したい場合の選択肢が広がる。
- ・教育漢字以外の常用漢字に振り仮名が付けられている。
- ・ユニバーサルデザインに配慮しており、これからの授業の使用に適している。
- ・本文に対して資料が大きく、目移りしてしまう。
- ・ユニバーサルデザインを取り入れている。
- ・イラストが効果的に使用されていてわかりやすい。
- ・色を使い分けられており、どこにポイントがあるのか、わかりやすく示されている。
- ・資料は、枠で囲まれているので、分かりやすい。写真が多く、目を引く。
- ・挿し絵が多く、イメージをしやすい。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・「きょうの学習」が右ページの内容のタイトルとは離れた位置にあり、わかりにくい。
- ・目次において、コラム・資料の内容表記が細かくされているので、索引しやすい。
- ・各章ごとの見出しが整っているため見通しをもちやすい。
- ・全体の構成が分かりやすく、すぐに理解しやすい。
- ・カラー印刷がきれいにできており見やすい。
- ・「きょうの学習」が右ページの内容のタイトルとは離れた位置にあり、やや分かりにくい印象である。
- ・章のまとめが、観点別に問題が作られていて分かりやすい。
- ・「クローズアップ」の読み物が充実している。
- ・目次を活用することによって、全体を見通すこと、学習を調整することができる。
- ・学習のキーワードが書いてあり、学習活動が進めやすい。
- ・全体の構成が分かりやすく、すぐに理解しやすい。
- ・カラー印刷がきれいにできており見やすい。
- ・様々な構成があり、興味を引く。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意	見
・充実している。 ・2次元コードの資料では、クイズやワークシートが掲載されており、子どもの興味関心や知識定着に活用できる。しかしアニメーション等を用いた、動画で内容を可視化できるようなものが少ない。 ・動画コンテンツは、現在も授業で使っている。 ・Webワークシートや「保体クイズにトライ」もやらせてみたい。 ・内容と資料のリンクが分かりやすく、使いやすい。 ・デジタルコンテンツが豊富だが、調べ学習が中心である。 ・クイズ・ワークシートが示されている。 ・各章ごとの見出しが整っているため見通しをもちやすい。 ・全体の構成が分かりやすく、すぐに理解しやすい。 ・カラー印刷がきれいにできており見やすい。 ・様々な構成があり、興味を引く。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意	見
・調べ学習や話し合い学習等、学習の進め方がいくつも紹介されていて、学習活動のイメージがしやすい。 ・表紙が傷つきにくそうなところが良い。 ・教科書からの発問がなく、生徒が考えたり、調べたりする量が少ない印象を受ける。 ・3ステップ構成で授業の展開がつかみやすく、知識の定着を図りやすい。 ・対話的な学習を進めるための資料や説明がある。 ・2次元コードを活用することで、家庭学習を効率よく行うことができる。 ・デジタルコンテンツがある。 ・保体クイズがあり、学習した内容をすぐに確認できる。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	保健体育	種目	保健体育
教科用図書名	新・中学保健体育	発行者	株式会社Gakken

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・中学生向けというより、高校生向けの分量や字の大きさのように感じる。
 ・各単元の最後に「探求しようよ」があり、通常であれば、1つの項目について考えるようになっているが、複数にわたって考えることができる。
 ・各章ごとの区分けが分かりやすい。
 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。
 ・本文に対して資料が多すぎてやや目移りする印象である。
 ・細かい内容まで分かりやすい。中学生が理解しやすい構成である。
 ・今日的な学習課題が充実しており、各学年の学習の終わりに振り返りのページが設定されていて、学習の定着を図ることができる。
 ・文字量が適量で、分かりやすい。
 ・適度な知識量が書かれている。
 ・中学生向けというより、高校生向けの分量や字の大きさを感じる。
 ・章のまとめがあってよい。学年の終わりにまとめがあってよい。
 ・「ウォームアップ」が設けられており、導入で主体性、興味関心を惹かせて授業に臨める。
 ・問いの設定として、「学びを生かす」が丁寧に設定されており、学習を進めやすい。
 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。
 ・今日的な学習課題が充実しており、各学年の学習の終わりに振り返りのページが設定されていて、学習の定着を図ることができる。
 ・ねらいに対する学習課題の設定が適切でわかりやすい。
 ・様々な教育課題を提示して、学びを広げている。
 ・資料が豊富である。
 ・まとめのページで基礎的事項を定着する工夫が見られる。
 ・単元ごとに話し合う活動が入っている。
 ・資料が多く、活用したい場合の選択肢が広がる。
 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。
 ・適度な知識量が書かれている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・資料などの文章なども多く、ぱっと全体を見たときに分量が多い。
 ・全体的に文章が多いイメージがあるが、説明がくわしく読みやすい。
 ・各学年において、体育編(体育理論)、保健編の順である。
 ・各学年の終末に、まとめをするページがある。
 ・各章ごとのまとめがされていて、知識の定着を図りやすい。
 ・単元の構成が分かりやすい。
 ・分量が多くなく、負担にならない。
 ・基本的なレイアウトが統一されていて良い。
 ・単元によって文字の分量の差が大きい。
 ・細かい内容まで分かりやすい。中学生が理解しやすい構成になっている。
 ・章のまとめがあってよい。学年の終わりにまとめがあってよい。
 ・各章ごとのまとめがされていて、知識の定着を図りやすい。
 ・系統性があり、とても分かりやすい。
 ・配列は適切である。
 ・文章量・資料数はやや多いように感じるが、その分発展的な学習にも対応できる。
 ・文字の太さが細い。
 ・全体的に文章が多いイメージがある。
 ・説明がくわしく読みやすい。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・字体がUDで、太文字は字体があるが、分かりづらい。
- ・1ページの中で、左側が文章、右側が資料になっているが、見開きになると見づらい。
- ・資料のレイアウトが良く、どこの文章と対応している資料なのかがわかりやすい。
- ・色がまとまっていて見やすい。
- ・字が小さく見づらい。
- ・イラストと写真が構成良く配置されている。
- ・マークが多いが、適切な資料が提示されている。
- ・各单元とも一貫した記述になっており、読みやすい。また、資料のレイアウトがよく、どこの文章と対応している資料なのかが分かりやすい。
- ・字体がやや読みづらい。
- ・文字が細く、全体的に薄い感じがする。
- ・色の使い方がなんとなく暗い印象である。
- ・前回に比べ、イラストの雰囲気が多少柔らかくなった。
- ・本文に対して資料が多すぎてやや目移りする印象である。
- ・資料が多く、活用したい場合の選択肢が広がる。
- ・教育漢字以外の常用漢字に振り仮名が付されている。
- ・資料などの文章が多く、ぱっと全体を見たときに分量が多く感じる。
- ・本文の文字がやや小さいので、もう少し大きくしたほうが読みやすい。
- ・資料の挿絵で、血管などわかりやすくなっている。
- ・図と文章のレイアウトは適切で見やすい。
- ・コントラストが弱く見にくい。
- ・イラストが少ない。
- ・資料の大きさがとても見やすい。
- ・イラストと写真が構成良く配置されている。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・1時間の流れを組みやすい。
- ・色合いが落ち着いていて見やすいが、資料の位置が少し見にくいページがある。資料が文章の上下もしくはページの端のみにすると見やすいが、ページの端と下部にあると見通しが悪く見えてしまう。
- ・目次において、コラム・資料の内容表記が細かくされているので、索引しやすい。
- ・学習のまとめが簡潔で、分かりやすく掲載されている。
- ・技能の実習方法が充実しているため学びやすい。
- ・各章ごとの見出しが整っているため見通しをもちやすい。
- ・調べ学習や話し合い学習等、学習の進め方がいくつも紹介されていて、学習活動のイメージがしやすい。
- ・目次を活用することによって、全体を見通すこと、学習を調整することができる。
- ・学習の課題が書いてあるため、何を学ぶかわかりやすい。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意	見
・充実している。 ・デジタルコンテンツは豊富だが、調べ学習が中心である。しかし、内容によって、デジタルコンテンツに資料・ワークシート・解説・リンク集などの中から一つしか記載されていないため扱いづらく感じてしまう。 ・「章デジ」や「シミュレーション教材」が多数用意されている。 ・章デジが設定されており、活用の幅が広がりやすい。 ・デジタルコンテンツは豊富だが、調べ学習が中心である。活用にはひと工夫が必要であると考ええる。 ・資料・ワークシート・解説・リンク集などが示されている。 ・動画で具体的な動きを確認することができる。 ・各単元ごとのねらいに対して課題が明確で見通しをもちやすい。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意	見
・章のまとめとして自己の振り返りと設問、応用として課題があるため自己学習の流れがつかみやすい。 ・デジタルコンテンツの活用により、家庭学習もしやすい。 ・まとめページに振り返り、発展的な課題があるため学習しやすい。 ・全ての単元に学びの活用があり、対話的な学習を行いやすい。 ・明るく大胆な写真を多く使っている感がある。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	技術・家庭	種目	技術分野
教科用図書名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・安全確保にヒューズの説明をしているが、図記号一覧にヒューズ図記号の記載がない。思考判断する上での十分な基礎知識の記載がない。ちぐはぐさがある。

・エネルギーの変換効率の説明の前に損失を取り上げて説明しており、事例として、発電から消費間の各場面での損失とつなげて説明している点は分かりやすい。

・「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの活動場面を数多く設定し、主体的対話的で深い学びにつなげている。

・統一された問題解決の流れが示され、見通しをもって取り組むことができるように工夫されている。

・導入の「レッツスタート」の項目などは、もっと身近な話題について触れてほしい。有名なアニメや商品などを引用してもいいと思う。いきなり実験してみて考えさせる導入が多く、興味を引きづらい。

・学習指導要所に記載のある、技術の見方や考え方についての視点があるので学びやすい。

・学習が系統的にすすめられるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。

・幅広い難易度の問題解決例を豊富に揃え、授業時数や技能に応じて選べるようにしている。

・社会における技術を見ることで技術の見方・考え方に気づき、働かせられるようになっている。

・「学習課題」「まとめの活動」を設け、課題意識を持って毎時の学習に取り組めるようにしている。

・主体的に調べたり、協働して比較・検討したりする発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫がされている。

・小学校でのプログラミング体験を基盤として、問題解決に取り組めるプログラミング問題が用意されている。

・様々な技術に関する事例が掲載されており、学校や学年の特徴に応じてページを使い分けることができる。

・基本ページ以外にも、学習を深めるためのページやコラムを豊富に取り上げている。

・生徒の興味や技能に応じた8つの問題解決例が示され、問題発見と解決の糸口がつかみやすい。また、独自の工夫へ発展させるためのきっかけが引き出される構成になっている。

・小学校での学習を基に、プログラミングによる問題解決に取り組むことができる。簡単なプログラミングをいつでも体験できる別冊があり、各家庭でも実習ができる。

・各節の冒頭に「目標」を示すことで、育成すべき資質・能力を明確にしている。

・問題解決に取り組む時に必要となる基礎技能がまとめられている。

・キャラクターにより、問題解決の場面で対話的に設計要素などを検討することができる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・副教材は電気と機械の両事例を複数提示していて、イメージしやすい。

・基礎的・基本的事項等の取り扱いは配慮されている。

・基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述され、学習が系統的に進められるような構成になっている。

・内容の分量は、時数・学期・学年配分など適切に対応できるように配慮されている。

・他教科などの関連についてわかりやすく書かれている。語彙についても、本文の横に抜きだしてリスト化されている。例えば148ページの上の方。

・単元ごとに見やすく配列しており、分量については内容の構成に基づいて適切である。

・各編は、「編の導入」→「基本ページ」→「学習のまとめ」の構成で統一し、問題解決例や資料はその構成の中で適切に取り上げている。

・各節の冒頭には「目標」という学習の到達目標をはっきりと示し、見通しを持って学習を進めることができるように配慮されている。

・「小学校リンク」マークでは、小学校での既習事項を示し、習熟度を確かめたいうえで学習を積み上げることができるようにしている。

・それぞれの単元は、「目標」「学習課題」「技術のとびら」で構成している。

・各節の冒頭に「目標」を示されており、育成すべき資質・能力が明確になっている。

・学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述している。

・工具や機器の使用法や作業の手順など、基礎的な技能をまとめていて分かりやすい。

・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングでは、プログラムソースを自社開発して多様な環境に対応できる工夫がある。

・問題解決の過程を振り返る学習が全編に新設され、問題解決を繰り返すことで新たな問題発見へ繋がり、社会の発展とこれからの技術への視野を広げられる。(P76-77、128-129他)

・小学校での既習事項を振り返るマークの他、学習の初めにできる簡単な活動例が導入ページに示されている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・各発電のコストを示しているが、9年前の資料を用いるものもあり、比較する上で不適切。
- ・挿絵・写真、図は分かりやすいものが多い。
- ・漏電と防止方法に2つの図に分けられており、比較できて分かりやすい。
- ・カラーユニバーサルデザインの観点からも、配色とデザインについて、色覚に関して配慮されたものになっている。
- ・ほとんどのページは内容のまとまりや適切な余白があり、最も読みやすい。ただしテックラボのページのみ、「資料」などの謎のコラムがあり、内容の統一感がなくなっている。
- ・画像が多すぎるので、もっとオンライン上に情報を移して、重要な画像を大きめに印刷してほしい。
- ・リンク等のマークが各所に配置されており、重要なポイントがわかりやすい。また、図や写真が多く使われており、視覚的効果も高めやすい。
- ・デザインやフォント等の一貫性があり、文章とのバランスがよい。
- ・書体は全てユニバーサルデザインフォント(UD書体)を使用し、可読性を高めるように配慮されている。
- ・写真やイラストなどの資料を効果的かつ豊富に用いているほか、2次元コンテンツも充実し、学習への興味・関心を高めるように工夫されている。
- ・わかりやすく丁寧に表記されている。
- ・具体的な写真などによるイメージに繋がられるようになっている。
- ・絵や写真が見やすい。写真が多く、実習の手順や風景が分かりやすい。
- ・「問題発見→課題設定→設計・計画→製作・制作→評価・改善・修正」といった問題解決のプロセスを丁寧に説明している。
- ・マークで、技術の最適化について扱う内容を示している。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・冒頭、3章に分かれていることを記載している。
- ・問題解決のプロセスが見開きで構成され、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。
- ・見開き構成になっているので、1時間の授業の導入からまとめの活動まで授業の流れがわかりやすく示されている。
- ・生徒が考える視点が明記されており、話し合い活動などが行いやすい。
- ・各節では、「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などを、全見開き同じ位置に配置し、生徒が混乱しないようにしている。
- ・各編、各章と、「問題解決例」、「TECH Lab」の見開きページの右端に、爪となる色帯を施し検索できるようにしている。
- ・見やすい。文字も大きく、絵や写真がいい。バランス・内容が良い。
- ・基本ページでは「目標」「始めの活動」「まとめの活動」などを全見開きの同じ位置に配置して見やすい。
- ・「理解する」「問題解決に取り組む」「つながる・広がる」の構成により、ストーリー性のある授業展開が可能。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・リンク機構や歯車による動力伝達を動画で埋め込んでおり、2次元コードの特性をうまく活用している。 ・Dマークにより、授業で活用できるように2次元コンテンツが豊富に用意されている。 ・すべてのページに2次元コードがついていて、授業で利用しやすい。 ・2次元コードによる動画等を授業のポイントで使うことができる。 ・動力伝達の部分では動画教材が必須項目であるため、2次元コード等が必要であると感じた。 ・インターネットを活用して効果的に学習を進めるための2次元コンテンツを用意し、該当箇所Dマークを付している。 ・2次元コンテンツはWebページから無料配信され、授業で活用できるように工夫されている。 ・デジタルコンテンツを用いて動画などを閲覧させ、理解をより確かなものに深められるように工夫されている。 ・iPadでも実際に様々な様子が見られるシミュレータが配信されており、教材としても大変につかいやすい。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・図を多用しており、資料として用いるには分かりやすい。指導する先生がその特性をつかめると使い易い。 ・問題解決の取り組みにページを割いているが、製作題材も異なり、使い勝手は悪い。汎用性に配慮願いたい。 ・「伝統文化」マーク、「防災」マーク、「安全」マーク、「消費者」マークなどを付けて、生徒の注意を喚起する配慮がなされている。 ・他の発行者の他教科であれば、章末に問題のページがある。技術は3種類とも、別冊のノートを買わないと問題がない。 ・家庭学習については教科特性上難しい部分もあるが、内容における疑問などが提示されており、対話的な学習は行いやすい。 ・SDGsはどこに配慮されているかわからなかった。 ・社会の中でのさまざまな発想や工夫から生まれた製品を紹介し、創造性の大切さが示されている。また、問題解決例では「もっと問題解決」が設けられ、工夫・創造することの大切さが示されている。 ・「SDGsとTechnology」では、持続可能な開発目標について技術が果たしている重要な役割を分かりやすく紹介し、持続可能な社会の構築に寄与する態度が養えるように配慮されている。 ・課題を見つけ、問題を解決できるように、他教科と連携した教科横断的な学びを意識して作られている。 ・環境やこれからの社会に視点をおいて、SDGsを意識し、STEAM教育にも対応した内容になっている。 ・2次元コードから進むデジタルコンテンツは、家庭学習でも活用できる。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	技術・家庭	種目	技術分野
教科用図書名	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する 明日を創造するスキルアシスト	発行者	教育図書株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・安全確保にヒューズの説明をしているが、図記号一覧にヒューズ図記号の記載がない。思考判断する上での十分な基礎知識の記載がない。ちぐはぐさがある。

・作品例には、はんだづけを使用しているが、はんだ付けの方法や安全についての記載がない。

・「やってみよう」により、調べたり、考えたりする活動を通して、主体的で対話的な学びができるように配慮されている。

・設計・計画、計画・育成のまとめをグループで発表し合うことで、自らの設計をふり返り、深い学びを実現できるように配慮されている。

・考えさせるためのキーワードがたくさんあり、思考力を育成する授業がやりやすい。例えば146ページの回路を設計するところでは「何をさせたいか」「どうやって制御するのか」などの見出しがあって、思考を促している。

・学習指導要所に記載のある、技術の見方や考え方についての視点があるので学びやすい。

・单元ごとのまとめようのページがわかりづらく感じた。

・学習が系統的にすすめられるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。

・幅広い難易度の問題解決例を豊富に揃え、授業時数や技能に応じて選べるようにしている。

・社会における技術を見ることで技術の見方・考え方に気づき、働かせられるようになっている。

・「学習課題」「まとめの活動」を設け、課題意識を持って毎時の学習に取り組めるようにしている。

・主体的に調べたり、協働して比較・検討したりする発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫がされている。

・大きな写真が採用されている。生徒がイメージしやすく、技術に興味をもてるよう工夫されている。

・総合的な問題解決のページは他の発行者より多く、独自にE編として「夢をかなえる技術」を章立てしている。課題発見や問題解決のヒントとなる具体的な記述が豊富である。

・コラム等で技術に関する職業の様子を紹介し、技術への興味・関心を抱かせている。

・P121の「日本の電源別発電電力量の構成比」は資料として分かりやすい棒グラフにしているが、問題の発見に結びつく多面的な資料がやや少なく感じる。

・材料と加工の技術では、生徒の興味や技能に応じた題材例と4つの製作例が示され、問題発見と解決の糸口がつかみやすくアイデアを補強するのに役立つ。

・文字が大きく発達の段階の遅い生徒に配慮している。

・「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の3ステップで技術の見方・考え方を育むように工夫されている。学習内容の「タイトル」から対話形式で興味関心を引き出し、「めあて」「キーワード」で主体的に学習に取り組むことができるようになっている。

・別冊による「スキルアシスト」にはビジュアル型と日本語入力型の基本操作法を載せることで、操作への迷いを軽減できるよう配慮されている。

・第1章の「学ぶ」では本文と資料を連動させ、基礎的な知識の理解が図れるようにしている。

・様々な工具の使用方法が紹介されており、都度参考にできるよう工夫されている。

・A編2章など、具体例が豊富で、実際にどのような視点で設計するのが書かれており、思考し、判断し、表現する流れがつかみやすい。

・P43の設計では、「こうだったらいいな」という生徒自らが改良したりより良いものをつくりたいという意欲を向上させている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・副教材数が少ないが、各事例をページを割いて分かりやすく提示している。
・他の教科書と比較してエネルギー変換の内容の記載分量が少ない
・基礎的・基本的事項等の扱いは配慮されている。
・基礎的・基本的な学習内容でのみ構成されている。
・幅広い実習題材をそろえて、時数や技能、生徒の実情に応じて、対応できるように工夫されている。
・分量は適切であるが、他者と比べると紙面が小さいため、若干少ないようにも感じる。
・単元ごとに見やすく配列しており、分量については内容の構成に基づいて適切である。
・各内容は、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、各段階とも生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的な学習が進められるように工夫されている。
・内容は全体として系統的・発展的に組織されており、分量や配分は、授業時数や多様な指導計画などに適応できるように考慮してまとめている。
・教科書の掲載内容が多く、詳しく解説されているため分量が多くなり、教科書が厚くなっている。
・A～Dのすべての課題解決の流れが4つのステップで統一されている。また、総合的な課題解決実習について、E編としてまとめられている。
・章構成を統一し、指導と評価を一体化させる工夫をしている。学習を「見つける→学ぶ→振り返る」で進めることで、指導の流れを捉えやすくしている。
・全体的に実習題材例が豊富。E編としてまとめられている総合的な課題解決実習のページも充実している。
・発展的な学習の内容がマークで明示されている。設計・計画の流れを丁寧に示し製作・育成・制作のバリエーションを多く掲載している。
・ネットワークを利用した双方向性のあるプログラミング・コンテンツでは、3つのプログラム言語を取り上げ、ビジュアル型・日本語入力型など生徒や学校の実態に合わせて選択できる。
・「技ビト」、「スゴ技」等のコラムで、各地域で活躍する技術者や技術を紹介し、社会の中で技術がどのように活用されているかを理解しやすくしている。
・基礎的な知識・技能をまとめた「スキルアシスト」が別冊で附属している。授業で使用する工具を網羅しており、生徒が実習時に確認する際にも役立つ。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

・漏電と防止方法に2つの図に分けられており、比較できて分かりやすい。
・学習内容の重要語句は、青太文字になっている。
・写真・イラスト・図表などが大きく配置され、適切な箇所に配分されている。
・文字のフォントや画像は見やすく適切である。
・リンク等のマークが各所に配置されており、重要なポイントがわかりやすい。また、図や写真が多く使われており、視覚的効果も高めやすい。
・同じような色合いで統一しているため、どのページなのかわかりづらく感じた。
・各内容は、本文、図・イラスト・写真など、いずれも正確で、分かりやすく丁寧に記述されている。
・写真や図版は分かりやすく、理解を促すための工夫がなされている。
・カラー写真が鮮明で、イメージが湧きやすい。
・紙質と印刷文字のコントラストがはっきりしており、文字も大きく読みやすい。強調するワードが青色の太文字になっていて分かりやすい。
・写真やイラストを大きく配置し、生徒に技術への興味・関心をもたせるよう工夫されている(P14-15、70-71、112-113、172-173、246-247)。
・「振り返る」での自己評価で、「課題」は「設定できましたか」、「計画」は「考えることができましたか」、「問題解決」は「振り返ることができましたか」など語尾が一貫した表現になっている。
・1、2、3章の構成を学習指導要領の(1)(2)(3)に対応させ、技術の見方・考え方を、関心の喚起から技術の活用へと徐々に育まれるように工夫されている。
・色遣いやフォント、余白のバランス、図の見易さなどが工夫され、ユニバーサルデザインに配慮されている。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・冒頭、3章に分かれていることや各ページ内容まで示す目次を記載している。 ・「もっと知ろう」「先輩に聞いてみよう」「スゴ技」「技ビト」などのコラムで、生徒の興味・関心を引き出している。 ・「見つける」では、学習への意欲を喚起する工夫がされている。 ・見開きに、制作の流れを詰め込んでいるのが他者だが、教育図書では見開きで1つのステップの説明があり、知識と思考を混ぜて分量を確保している。右上に全体の流れの今日の段階かも表示されているので、見開きに収まっていなくても十分全体を見通すことができる。 ・生徒が考える視点が明記されており、話し合い活動などが行いやすい。 ・レイアウトは、見開きを有効に活用しており、本文及び参考などの資料との区分も明確である。 ・作品の作り方を順に画像で説明しており、見通しをもって考え、作業を進めることができる。 ・知識・技能を学ぶ「練習課題」から問題を発見し、課題解決するための「本題材」へつながる工夫がなされている。 ・学習を「見つける→学ぶ→ふり返る」で進め、指導の流れがひと目で分かるように配慮されている。 ・設計の手順や、実習の手順が統一され学習活動が進めやすい。 ・2次元コードを実習題材やまとめ、別冊の各ページに付け、動画などを閲覧して基礎技能が確認でき、理解を確かなものにする工夫がされている。 ・サイズは見やすさと机上での取り扱いやすさがうまくバランスされている。 ・製本サイズは3発行者の中で一番横幅が5mm程度狭い。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・リンク機構や歯車による動力伝達は2次元コードに動画を埋め込んでほしかった。 ・2次元コンテンツで「情報モラルチェック」が用意され、情報モラルについて確認できる。 ・2次元コードは他者と比べると少ないので、不足していると感じる。 ・2次元コードによる動画等を授業のポイントで使うことができる。 ・生物育成、エネルギー変換の分野での2次元コード等を増やしてほしい。 ・ページごとに2次元コードを配置し、生徒が主体的に学習に取り組むための豊富なコンテンツを利用することができる。 ・2次元コードからリンクされている動画などを閲覧して学習を進めることができる。 ・家庭学習でも活用でき、理解を深める工夫がされている。 ・2次元コードを使って、動画とPDFファイルを閲覧できるようになっている。サイトの構成がシンプルで分かりやすい。「スキルアシスト」の項目では様々な技能動画があり、実習中の確認用としても優れている。	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・はんだ付けなど工具の使い方は指導する先生が教科書に頼らずに行うことを理解していれば使い勝手はよくなると思う。 ・SDGsの17の目標マークに関連する学習内容に付けており、自らの課題として捉えられるように配慮している。 ・「スキルアシスト」の各ページから動画などを閲覧して学習を深めることができる。 ・他者の他教科であれば、章末に問題のページがある。技術は3種類とも、別冊のノートを買わないと問題がない。 ・家庭学習については教科特性上難しい部分もあるが、内容における疑問などが提示されており、対話的な学習は行いやすい。 ・マークが記載しているのみでSGDsに関しては内容と即して配慮しているようには感じられなかった。 ・実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように工夫されている。 ・課題を見つけ、問題を解決できるように、他教科と連携した教科横断的な学びを意識して作られている。 ・環境やこれからの社会に視点をおいて、SDGsを意識し、STEAM教育にも対応した内容になっている。 ・国際感覚豊かなグローバル人材を育成する視点で、体験を重視した構成になっている。新しい技術や価値による創造を積極的に取り入れている。また、コラムや巻末など、人とのつながりの中で将来を考えさせる対話的な記述に特徴が見られる。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	技術・家庭	種目	技術分野
教科用図書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	発行者	開隆堂出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・作品例など、教科書で扱っている部品をすべて図記号一覧に表示されていることから、充分な基礎知識の上に思考、判断させようとする意図が見受けられる。

・項目ごとに設けられた「学習課題」を通して生徒が授業へ積極的に取り組むように配慮している。

・項目の最後の「CHECK」により、自己の学びを調整し、深い学びになるように工夫している。

・教材は適切である。

・思考力がメインのページの学習目標に、「について知る」と「について考える」が両方あるので1つにまとめたほうが良い。

・学習指導要所に記載のある、技術の見方や考え方についての視点があるので学びやすい。

・特に変化を感じなかった。

・実習例は、基本となる実習から参考・応用的なものまで、いずれも生徒が関心と意欲をもって取り組めるような多彩な例が扱われていて適切である。

・ガイダンスページで技術の見方・考え方を取り上げ、各内容でそれを深めるようになっている。

・教科書全体を通して、学習指導要領の内容を無理なく学習できる分量になっており、構成や図版の工夫によりどの教員でも指導しやすいよう配慮されている。

・実験や学習課題などで、協力し、結果を話し合って検証するような協働的な活動が出来るように配慮されている。

・実践的・体験的な題材が取り上げられ、課題解決を図る力を育む工夫がされている。

・道具や工具の使い方が詳しく説明されており、偏りなく記述されている。歴史的な内容にも触れ、今後の社会における利用方法など、見通しについても記載されている。

・総合的な問題解決のページは4つの技術のふり返りが中心で、課題発見や問題解決に繋がる記述は少ない。技術の「見方・考え方」から世の中を支える技術について理解が深まるように工夫されている。

・進路や職業に関する話題を取り上げ、自らと技術との関わりを考えることで、職業感を育み勤労を重んずる態度を養える。

・写真と図やイラストを使い分け、よりイメージしやすい工夫がなされている。

・P216「コンピュータシステム」は他の発行者に比べイメージ図がシンプルかつ大きく詳細に載っているため、仕組みがイメージしやすい。

・材料と加工の技術では、生徒の興味や技能に応じた7つの実習例が示され、問題発見と解決の糸口がつかみやすい。

・A～Dすべてに「問題解決のふり返し」があり、考え方の例も載っているため、考えることのイメージがしやすい。

・ガイダンスのページ(P.14)では、「生活や社会の技術を読み取る」→「～技術によって課題に取り組む」→「学習したことを社会に生かす」という技術分野の学習の流れが書かれている。

・基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、社会・環境と技術とのかかわりについて理解を深められる。

・学習の流れが3段階構成になっていて、始めに基礎・基本の確実な習得として、知識や技能を身に付ける内容になっている。

・Aの実習例では「問題の発見と課題の設定」「設計・製作」「評価・改善」の流れが一貫しており、例を見ながら思考し、判断し、表現する流れがイメージできる。

・P49など「さらなる改善点」という項目があり、主体的に問題を解決する思考をするきっかけとなる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・副教材は電気と機械の両事例を複数提示していて、イメージしやすい。
- ・基礎的・基本的事項等の扱いは配慮されている。
- ・全般にわたって、内容は系統的・発展的に構成されており、分量や配分は多様な指導計画に適應できるように考慮されている。
- ・分量は適切である。
- ・知識などの量も適切である。
- ・他教科との関連情報が少ない。
- ・単元ごとに見やすく配列しており、分量については内容の構成に基づいて適切である。
- ・各内容は、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、各段階とも生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的な学習が進められるように工夫されている。
- ・内容は全体として系統的・発展的に組織されており、分量や配分は、授業時数や多様な指導計画などに適應できるように考慮してまとめている。
- ・情報の技術の実習例において、生成AIについて、簡単な仕組みやAIが作成した文章を紹介するとともに、これからの活用方法について問題提起することで、生徒が自ら関わり方を考えられるように配慮されている。
- ・設計・計画の流れを丁寧に示し製作・育成・制作のバリエーションを多く掲載している。
- ・各内容とも「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で系統的・発展的に組織されている。
- ・実習例では、問題発見から課題設定、設計・製作、評価・改善まで、実習の流れが明確に示され、取り組む課題が分かりやすい。
- ・「導入課題」で主体的な学びを促し、「実験」や「課題」などの活動を通じて、他者との関わりの中で理解を深めることができる。
- ・生徒の意欲や興味・関心に応えられるように、「豆知識」マークを付し、本文と関連づけて無理なく配置されている。
- ・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツによるプログラミングでは、小学校との接続性のよいスクラッチを主として扱い、課題の解決に取り組むやすい工夫がされている。
- ・ガイダンスでは、受け継がれ発展する技術や日本の技術の歴史を取り上げて、生徒の関心を引き出そうとしている。
- ・学習の流れが3段構成となっていて、初めに基礎・基本の確実な習得として、知識や技能を身に付ける内容になっている。
- ・各項目の「導入課題」によって生徒が積極的に取り組むように配慮されている。また「実験」や「課題」などの活動を通して、他者との関わり合いをもちながら技術の理解を深めることができる。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・漏電と防止方法は1つの図にまとめられており、比較しやすいのが残念。
- ・基本的知識から問題発見、構想・設計、製作、評価と一貫性をもつよう配慮した記述が認められる。
- ・ユニバーサルデザインフォントを使用していて、読みやすく、適切な大きさが使われている。
- ・マークやキャラクターが効果的に用いられている。
- ・情報量が増えてよかったが、密度が高すぎるページがある。
- ・見出しの文字の大きさが小さすぎてわかりにくい。例えば191ページの電気回路について、「電源」「スイッチ」などの見出し文字が小さく、ほかの文章に紛れている。
- ・リンク等のマークが各所に配置されており、重要なポイントがわかりやすい。また、図や写真が多く使われており、視覚的効果も高めやすい。
- ・材料と加工の分野ではイラストや写真等の表現が大きく鮮明である。
- ・各内容は、本文、図・イラスト・写真など、いずれも正確で、分かりやすく丁寧に記述されている。
- ・写真や図版は分かりやすく、必要な箇所では、生徒が自分で作業をしているように見えるアングルで撮影した写真が使用されているなど、理解を促すための工夫がなされている。
- ・文字の大きさが大きく見やすい。
- ・特別支援学校や発達段階が遅れている生徒にとっては、わかりやすい教材である。
- ・新しい単語や重要語句は黒文字の太字になっており、過剰な色彩を抑えている。
- ・P37右上などに関連した内容のページを記載しているため、つながりを持たせやすい。
- ・生徒が自分で作業しているように見えるアングルの写真や図版が使用されているなど、分かりやすくする工夫がみられる(P92など)。
- ・アニメ風のキャラクターを使い、課題が整理できるように促している。イラストの色遣いはコントラストがはっきりしていて見やすい。
- ・学習ごとふり振り返り、これからの技術について考えさせる話題、「発展」マークによる発展的学習への対応など、生徒が課題意識を高め、学習に取り組むことができる工夫がある。
- ・生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを考慮して範囲や程度が定められており、各内容の系統性も適切。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・冒頭、3章に分かれていることを記載している。
- ・小学校で学んだことを関連づけて記載されている。
- ・全ページがカラー印刷で美しく印刷されている。
- ・重要語句は太字にして、分かりやすい工夫がされている。
- ・見開きに1つの制作例がまとまっており、小さなまとまりでは見通しを持ちやすい。
- ・生徒が考える視点が明記されており、話し合い活動などが行いやすい。
- ・配慮を感じられる箇所がわからなかった。
- ・レイアウトは、見開きを有効に活用しており、本文及び参考などの資料との区分も明確である。
- ・すべての学習活動に学習コンテンツが収録されており、学習課題を理解し、解答できるように工夫されている。
- ・目次が丁寧に書かれており、適切に全体像を把握することができる。
- ・見開きを有効に活用したレイアウトで学習項目ごとにまとまっており、学習を進めやすい。
- ・教科書中の2次元コードにより、生徒が主体的に学習に取り組むための豊富なコンテンツを利用することができる。
- ・地域関連ページや巻末の折込みで、日本各地の伝統的な技術を紹介するなど地域性のある技術を積極的に取り入れている。
- ・大きく見やすいサイズだが、ページを開いた横幅が大きく、机上ではやや占有面積が大きい。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

- 2次元コードによる学習内容
- 見やすさ、操作性

意見

- ・リンク機構や歯車による動力伝達を動画で埋め込んでおり、2次元コードの特性をうまく活用している。
- ・すべての学習課題に学習コンテンツが収録されている。
- ・オンラインの資料が充実していることがわかったが他者と比較すると少ない。
- ・2次元コードによる動画等を授業のポイントで活用することができる。
- ・2次元コードの量は適切であるが、教科書を見てどのような内容かわかりづらい。
- ・ページごとに2次元コードを配置し、生徒が主体的に学習に取り組むための豊富なコンテンツを利用することができる。
- ・2次元コードからリンクされている動画などを閲覧して学習を進めることができる。
- ・家庭学習でも活用でき、理解を深める工夫がされている。
- ・ほぼ全てページに2次元コードが乗っており、教科の内容をスライド形式にまとめた動画、内容で紹介されているものの動画や資料が数多くあるため、家庭学習でも個別最適化が図られている。

観点⑥ 特記すべき事項

- 地域性への配慮
- 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ
- 対話的な学習が行いやすい工夫
- SDGsへの配慮
- その他

意見

- ・製作事例も多くイメージは湧くが、1つあたりの分量が少なくなり、指導する先生の補助資料が必要になる。その特性を理解すれば使い易いと思う。
- ・防災に関する技術について、マークを使って取り上げている。
- ・SDGsとの関わりを考えるワークシートで実践的態度が身に付くように配慮されている。
- ・他の発行者の他教科であれば、章末に問題のページがある。技術は3種類とも、別冊のノートを買わないと問題がない。
- ・家庭学習については教科特性上難しい部分もあるが、内容における疑問などが提示されており、対話的な学習は行いやすい。
- ・使い慣れた教科書であり、生徒用ワークシートの充実感もあり、今後も継続した使用を希望する。
- ・実験や学習課題などで、協力し、結果を話し合って検証するような協働的な活動ができるように配慮されている。
- ・実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように工夫されている。
- ・課題を見つけ、問題を解決できるように、他教科と連携した教科横断的な学びを意識して作られている。
- ・環境やこれからの社会において、SDGsを意識し、STEAM教育にも対応した内容になっている。
- ・P4ではSDGsの目標実現のために技術ができることは何かを問うページがある。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	技術・家庭	種目	家庭分野
教科用図書名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・用例が多いのは良い。特に多様な家族の例にアニメやドラマを取り上げており、わかりやすく、取っつき易い。
- ・「学び方、考え方の習得」という点で、P.21のマンガにみる暮らしの例の紹介は、生徒の興味をひく資料で良いと思った。それを、例えばサザエさんの食事とか、住まいとかいうように、衣食住のいろいろな分野で、多様しているともっと面白い活用が可能だと思う。
- ・「教材や資料の正確さやわかりやすさ」という点で、調理実習のレシピが一番多い。P.183の災害への対策の資料が、一部屋で表現されていて、わかりやすい。P.147のミシンの名称は、小さい絵と字で、表記がごちゃごちゃしておりわかりにくい。
- ・家族に関する分野で、もう少し、現状に合わせて「多様な形の家族」に関しても配慮が欲しかった。内容が薄い。
- ・基礎基本に関しては分かりやすく記載されている。
- ・家族に関する分野で、もう少し、現状に合わせて「多様な形の家族」に関しても配慮が欲しかった。
- ・体験的な付録が付属され、生徒の興味を引き出すことができる。
- ・「いつも確かめよう」の記載により、知識や技能において確実な定着を図ることができる。
- ・失敗例の記載があり、正確な技能を身につけることができる。
- ・ダイヤモンドランキングなどの思考ツールの例が記載され、より発展的な深い学びに繋げることができる。
- ・家庭内事故の箇所「ヒートショック」を扱っている教科書は少なく良いと思う。また、高齢者と同居している生徒が多いので、ぜひ、知っておいてほしい内容と考える。
- ・新学習指導要領にある蒸し物の例が少ない印象である。
- ・幼児が使っている靴や歯ブラシなど、実物大の写真が、分かりやすい。
- ・「いつも確かめよう」という項目で、基礎的な技能を確認できるようになっている。
- ・「目標」「キーワード」「評価」という流れで学習できるようになっている。
- ・各領域のまとめが、ワーク形式になっていて取り組みやすい。
- ・ガイダンスの部分がとても分かりやすく、3年間の流れをみながら、見通しを持たせ使用させることが出来る。基礎基本が充実している。生徒が授業だけでなく、生活の中でも使用できそうである。主体的、対話的な深い学びにつながっていく。
- ・教科書がしっかりと開くため、のどの近くを書いてあるものも見やすい作りになっている。
- ・文章の分量が多く、自習学習にも適していると思う。
- ・ゲーム形式のコンテンツにより、生徒の意欲を高めることができる。
- ・巻末にチャイルドヴィジョンが綴じ込んであるので、実習に直ぐに取りかかれるので良い。
- ・実生活に即した具体的な例、写真が豊富で授業の中でも生活をイメージしやすくなっていて良いと思います。
- ・教材は正確でわかりやすい。
- ・基礎基本が習得できる内容となっている。
- ・基礎・基本的な知識や技能の定着ができるように内容が充実している。
- ・衣食住のバランスがよく配置されている。
- ・内容に関してレーダーチャートなどを作成しながら学習を進めることができる。
- ・図や表が分かりやすく、基本的な事項を判断できる。
- ・自ら作成した表などを互いに比較し合う作業などを通じて、主体的・対話的で深い学びを進めることができる。
- ・基礎的な内容とガイダンスが充実している。
- ・「調理」や「布を使った作品の製作」の教材も適切である。
- ・各章の学習のまとめがわかりやすい。
- ・「図」がわかりやすいので、経験の少ない生徒にも理解しやすいと思われる。
- ・考えさせる問いかけや資料が少ない。
- ・関心の高い生徒が主体的に学ぶための、発展的な内容や情報が少なめで、対話につなげやすい問いかけも多くない。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・現実的な順序に沿ったページ配分になっているのは良い。ただ、ガイダンスの1編は冗長に感じる。自立について触れているのは良いが、教科書でワーク的なことをやらせることはない。なぜなら提出がさせにくいからである。教科書に直接書きこみ、回収提出、返却は現実的ではない。そういった点でも冗長である点がいなめない。教科書はあくまでも詳細な解説にとどめるべきであると思う。
- ・「単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ」という点で目次が1編、2編・・・となっており、A分野、B分野という関連性が分かりにくい。しかし、ガイダンスとしては、1年生の最初の授業はやりやすいと思う。
- ・「各領域の分量、発達の段階に応じた分量」という点で、資料がごちゃごちゃしており、情報量が多すぎると思う。興味がある生徒には良いが、そうでない生徒には見にくいと思う。
- ・3年生で保育実習をすることが前提となっている。保育実習ができない学校では使いにくそう。
- ・最近、日本の食文化を意識した食生活がだんだん洋式の食生活に変わりつつあり、特にお正月のおせち料理をたべるという習慣がなくなってきているので残念。結果的に、教科書にも記載がない。ぜひ、実物の写真入りを載せてもらいたい。
- ・巻末の補助教材が良い。防災手帳と、特に幼児の視野体験の付録が良い。資料、内容ともに充実していてとても使いやすいとまとまっている。
- ・導入、基本ページ、学習のまとめで構成されており、授業の流れが可視化されている。
- ・「いつも確かめよう」という項目で、基礎的な技能を取り扱いがある。また、発達の段階に合わせて確認ができる。
- ・他教科の結びつきがよく分かる。基礎基本のものもよく分かる。
- ・ページ内の情報の重要度(発展的内容なのか)などが視覚的に感じられるよう、配置、色、文字の大きさなどで変化をつけていただけるとありがたい。
- ・配列や量については適切である。
- ・目標・活動・学習課題・まとめの流れで授業が進められるようになっている。
- ・単元ごとの配列で見やすい。分量はちょうど良いと思う。
- ・単元構成の系統性が分かりやすく、内容を発展させながら読み進めることができる。
- ・書き込みながら学習できる教科用図書となっているため、学習者端末を用いて、調べ学習を円滑に進めることができる。
- ・より深く学ぶ場合は、各ページの2次元コードから内容を深めることができる。
- ・幼児とのふれあい体験に関するページがたいへん多く、学校の実態と合えば有効だが、使いづらさもあることが予想される。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・主文は良いが、資料などの分は細く、薄く、生徒によっては読みにくかもしれない。
- ・「一貫性をもった記述」という点で、生活メモが下部に一カ所にまとまっているのが見やすい。
- ・料理の難易度が低く、調理実習で使用しやすい。
- ・インデックスが見やすい。探しやすい。
- ・1本取りと2本取りの例がある。
- ・TPOの説明を書いてもらいたい。
- ・ユニバーサルデザインを考慮して編集されているところが良い。非常に分かりやすく、ページの構成が良い。使いやすさと分かりやすさに配慮されている。
- ・実物大の写真が豊富で視覚的に捉えることができ、レイアウトも分かりやすい。
- ・余白が多く、教科書にメモがとりやすいと思う。
- ・イラストが親しみやすい。文字の大きさは本文、説明ともに小さい。やさしい色使いになっている。
- ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。
- ・インデックスが見やすい。探しやすい。
- ・調理実習や布製作の事例が多く使用しやすい。
- ・話題や課題が新しく、生徒が取り組みやすくなっている。
- ・色のバランスが良く、わかりやすい。
- ・写真、挿絵、図形などバランスよく見える。
- ・内容ごとの色の使い分けに問題はない。
- ・全体にやさしい色遣いで落ち着いた印象。
- ・「図」や「表」が充実していてわかりやすく、写真の内容がよい。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
	・見開きの41、42ページが序盤にあることで、ページがめくりにくくなっている点はあるかもしれない。それ以外はとくに気にならない。 ・「全体の構成が見通せる配慮」という点で、ページの左側に目次がふってあるのがわかりやすい。 ・「印刷、製本に対する配慮」という点で、表紙がロボットの絵なので、技術と区別しづらいのではないかと思った。 ・見開き構成になっているので、1時間の授業の流れが見えやすい。 ・横長の判型はめくりにくく広げたときに全体を見通すことが難しい。 ・全体が分かりやすく、進めやすい。 ・ページ数は多いが、軽量の用紙の使用により、身体的負担が軽減されるようなつくりになっている。 ・検索性の高い小口の見出しがある。 ・食品や人物の写真はあたたかみを帯びるような色味が表現できる用紙を使用している。 ・余白が多く、教科書にメモがとりやすいと思う。 ・家庭分野のガイダンスは、これからどのように学習していくのかが分かりやすくできている。直接記入できるチェック項目も良い。 ・子どもの視界眼鏡が巻末付録になっている。 ・紙質、分量ともに適量である。 ・1ページで見開きで分かりやすい。 ・ガイダンスと「家族・家庭と地域」の領域が離れており、家庭分野では生徒の発達の段階を踏まえ、家族・家庭を2年次以降に行うことが多いため教科書が進めやすいのではないか。 ・6つの食品群の資料が丈夫な紙でできているので、繰り返し見て覚える時に破れることがなくて良い。 ・背表紙に名前を記入する場所があり、教科書を立てて並べた状態でも持ち主が分かるようになっている点が良い。 ・見開きで、授業の全体像が確認できる。 ・全体の構成が見やすく、進めやすい。 ・3年間の見通しを考えやすく作られている。 ・書き進めながら学べるため、学習しやすくなっている。 ・全体にやさしい色遣いで落ち着いた印象。
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
	・2次元コードを無理してつける傾向がどの教科書にもあるが、現実には、生徒が一斉にアクセスするとつながりにくくなるので、授業中に使うことはほとんど無い。授業内容の補助や生徒が自宅学習するときに手助けになる内容だと望ましい。 ・「2次元コードによる学習内容」という点で、右上にかたまって表記しているが、何の内容が書いてある2次元コードなのかが分からない。 ・2次元コードを読み込むと何が表示されるのか、軽くてよいのでタイトルがついていれば便利だった。 ・右利き、左利きの生徒にも対応できる資料がある。 ・デジタルコンテンツが各章にありとても分かりやすい。 ・Dマークという2次元コードで、実技が再生ができる。 ・動画やワークシートなど豊富なコンテンツがある。 ・2次元コードを授業で使うことができる。 ・各ページ右上に2次元コードがあり、アクセスしやすい。 ・調理ページの2次元コードから得られる情報は動画を期待させてしまうが、実際は動画ではなかった。
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
	・UDに配慮している点はよい。 ・「SDGsへの配慮」という点では、各ページの表記が少なくわかりにくい。しかし、後ろのページでまとめてあるのは良い。 ・デジタル教科書でGoogle翻訳が使えるため、様々な言語に対応しながら学習ができる。 ・ジェンダー、性別役割分業に関する記載がない。 ・デジタルコンテンツが豊富で、家庭学習での学びのガイドとなる。 ・対話的な学習が教科書を使用して授業で使いやすい。 ・SDGsへの配慮ができていて、いろいろな場面で使いやすくなっている。 ・地域や郷土料理について丁寧に扱われている。 ・読み進められる構成のため、家庭において学習を進めるのには適している。 ・SDGsの特集ページも組まれているため、進んで学習を深められる構成になっている。 ・SDGsに関する直接的な記載は少ないが、環境への配慮などはいいねいに取り上げられている。 ・学びを深めるための基礎となる資料や新しい情報が充実している。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	技術・家庭	種目	家庭分野
教科用図書名	新技術・家庭 家庭分野暮らしを創造する	発行者	教育図書株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・用例が多いのは良い。特に多様な家族の例にアニメやドラマを取り上げており、わかりやすく、取っつき易い。

・「思考力・判断力・表現力等の育成」という点で、調理実習の作り方が見開きで、左側が完成写真、右側が作り方となっており、見やすい。また、どうしてこうなったか？と調理実習の失敗例の写真が載せてあるのが、「主体的・対話的で深い学びへの配慮」につながると思う。

・「主体的・対話的で深い学びへの配慮」という点で、P.96～97の食品の名前知っていますか？は面白い資料だと思った。

・学習の振り返りがあるため基礎基本の確実な習得の育成に繋がる。

・テーマ、めあて、重要単語が冒頭に記載されており分かりやすい。

・88ページ、折り込み①の文字量が多く見辛い。

・分かりやすく、導入部や資料に生徒の興味を引くようなものが使われていて良い。特に冒頭のアニメや漫画等から取り上げた「家族」資料が具体的かつ想像が容易で良い。ただ、内容としては時勢を踏まえて多様な家族の形に対する配慮がもう少しほしかった。

・「ふり返る」の箇所学習を振り返ったり、自己評価できたりするため、学びの定着に繋がる。

・「見つめる」、「学ぶ」、「ふり返る」の一連の学習の流れが分かりやすい。

・学ぶ・見つめる・振り返りなどがかくページで分かりやすい。キーワードや目あても見開きの教科書の中にありよい。課題を持って学習に取り組めるようになっている。

・住居分野の写真やパースを効果的に使っていて、見やすい。また、和室が家にない生徒も多いので、写真を見せて説明がしやすい。

・クリーニング店の利用など、実践的な内容が扱われて良い。

・新しい指導内容の煮しめについては、肉・魚・野菜料理のそれぞれに調理例があり、指導しやすい。

・单元ごとの学習のふり返りで、「確認・考える・自分の言葉でまとめる」という一連の流れが構成されているので、繰り返しで習得できる。

・大切な用語が青字で書かれているため、一目で確認すべき用語が分かる。

・目次でこれから一緒に学習をしていくキャラクターが紹介されており、生徒が興味を持つきっかけにできるのではないかと感じる。

・キャラクターの会話の中に、主体的・対話的な学びのヒントが多くある。

・「メッセージ」や「センパイに聞こう」など、多方面からの情報を得ることができる。

・実生活に即した具体的な例、写真が豊富で授業の中でも生活をイメージしやすくなっていて良い。

・教材は正確でわかりやすい。

・基礎基本が習得できる内容となっている。

・テーマ、めあて、重要単語が示されており、授業の見通しが持てる。

・基礎・基本的な知識や技能の定着ができるように内容が充実している。

・「調べてみよう」が各单元に多く記載されており、生徒自身が考えて表現できるような内容になっている。

・単元の最後に「考えてみよう」があり、生徒が知識を生かして表現できるような内容になっている。

・「見つめる」という内容は導入の問いかけにもなり、生徒が主体的・対話的に取り組める内容になっている。

・単元の最後に「自分の言葉でまとめよう」があり、生徒が自分の課題に気づき、深められるような内容になっている。

・基礎的な内容がていねいに説明されていて、小学校の学習が十分に身につけていない生徒にとっても理解しやすいと思われる。内容のユニバーサルデザイン化が感じられる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・用例が多いのは良い。特に多様な家族の例にアニメやドラマを取り上げており、わかりやすく、取っつき易い。内容、範囲は適当だが、「自立」に関しての内容が薄い。調理に関しての例、レシピが多い点は良い。

・「基礎的・基本的事項等の取り扱い」という点で、取り扱い表示が、5つの基礎記号と+付加記号と表記しており、組み合わせで意味がわかることが、わかりやすく提示してあると思った。

・簡単な調理が多く、基礎的、基本的事項を学習できる。

・日本の代表的な食文化である「おせち料理」を写真入りで加えてほしい。

・各章が、育成すべき資質や能力の3つの柱を意識した構成になっていて、系統性がある。

・実習の手順において、簡潔に基礎・基本が記載されているため、分かりやすい。

・単元ごとに「めあて」「キーワード」「ふり返る」があり、生徒自身の気づきにつながる。

・練習作品から実習例への流れがあり、自分の発達の段階に応じて取り組める内容になっている。

・献立作成用の巻末シールがあり、副教材を購入する必要がなくなる。

・小学校のふり返りから、すぐに取り組めそうな実習例、練習作品などがある。基礎の習得につながる。

・手順や実習のやり方が多く、示されていて良い。基礎基本の徹底にもなる。持続可能な社会のをめざしてということで、SDGsの事を表記しているのはよい。

・配列や量については適切である。

・見つめる、見つめてみよう、学ぶ、振り返るの流れで授業が進められるようになっている。

・章末に振り返りシートが設定されている。

・単元ごとの配列で見やすい。分量はちょうど良いと思う。

・単元ごとに「めあて」「キーワード」「ふり返る」があり、生徒自信の気づきにつながる工夫がされている。

・製作では布の折り方や縫い方など、分かりやすく表示されている。

・巻末に献立を作成できるシールがあり、考えるための補助的資料となっている。

・他教科、他分野とのつながりがわかりやすく示されている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

・全体的に散漫でページが見にくい。ページの構成が整理されておらず、ごちゃついていて、要点が分かりづらい。

・「わかりやすく、読みやすい表記、表現」という点で、P.88の6つの食品群と食品群別摂取量のめやすが、縦割りで1枚になっている資料がわかりやすい。

・写真が多く説明しやすい。調理の流れが写真で記載されているので調理実習の際使用しやすい。

・細かい字が太くなっていて、読みにくい。

・ユニバーサルデザインを意識した教科書構成が良い。できれば色覚に関する監修があるとなお良かった。

・字が大きく、読みやすい字体である。

・実習にかかわる手順の写真が大きく掲載されていて分かりやすい。また、新しい学習内容は、活動例や図解で分かりやすく示されている。

・製作においては、必要な布の寸法が記載されているため、学習した内容を実生活で活用できる

・単元ごとの「めあて」「キーワード」「ふり返る」や章のまとめで「学習のふり返り」という学習の流れができています。

・資料の絵や写真がもう少し大きいもの(実物大のもの)があると良い。

・調理実習の材料と時系列が写真付きで分かりやすく提示されているため、生徒が自分のペースや状態の良さあしを判断できるようになっている。

・ユニバーサルデザインが取り入れられている。

・写真や図が豊富であり、学習の流れがわかりやすい。

・調理実習や布製作の事例が多く使用しやすい。

・話題や課題が新しく生徒が取り組みやすくなっている。

・表現は分かりやすく、読みやすい表記になっている。

・所々ふりがながふってあり、読みやすい表記になっている。

・写真、図が大きく、見やすい。文字も大きくて見やすい。

・文章と図の境目がわかりにくいところがある。

・1ページの中で色が多く使用されているので目が様々なところへ移りやすい。また、色覚への配慮に欠けている。

・本文が短めにまとめられていて、内容がわかりやすい。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
	・デザインが散漫でページが見にくいのが気になる。内容を詰め込んだ分、本のサイズを大きくするなど、ごちゃついたデザインを整理してほしい。 ・読みにくい。 ・版型が他社と比べて小さいがゆえに内容を詰め込みごちゃつくのならば大きくしても良いのではないか。 ・「印刷、製本に対する配慮」という点で、写真が多く、見やすい。 ・最終ページにシールがついており、遊んだり剥がれたりするため3年間使う教科書としては適さない。 ・課題解決のための実践例、ワークシート例が載っていて便利。 ・紙に厚みがある。 ・表紙が落ち着いた色で良い。 ・3発行者の中で教科書に一番厚みがあり、重い。ただ、他の発行者と比べて縦長の判型が一番見やすく、めくりやすい。縦長の判型は見開きの際に全体を見通すことが容易であり、生徒の狭い机でも広げやすい。 ・「学びを生かそう」のページでは、6つのステップが表記されているため、学習した内容を踏まえて、問題解決的な学習をすすめることができる。 ・目次を使用し、家庭分野のガイダンスをするが、「年中行事とわたしたちの暮らし」も使うことで、よりイメージがしやすくなる。 ・実習例や資料の多さから、厚みのある教科書ではあるが、副教材として、ワークや資料集を購入する必要がない。 ・内容が豊富なので、厚みがあるのはしかたがないと思う。紙質を変え、重量を抑えている。 ・学習で「学ぶ」ことが分かりやすい。 ・版は他の図書に比べて若干大きめであるが、行間がしっかりととられており、とても見やすくなっている。 ・見開きで、授業の全体像が確認できる。 ・全体の構成が見やすく、進めやすい。 ・目次やガイダンスで全体が見通せるようになっていく。 ・「考えてみよう」「話し合ってみよう」「体験してみよう」などの記述があり、活動を進めやすくする配慮がある。 ・紙が薄い、軽くてよい。
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
	・2次元コードを無理してつける傾向がどの教科書にもあるが、現実には、生徒が一斉にアクセスするとつながりにくくなるので、授業中に使うことはほとんど無い。授業内容の補助や生徒が自宅学習するときに手助けになる内容だと望ましい。 ・「2次元コードによる学習内容」という点で、右下1カ所に表記しており、どういう2次元コードなのか、内容も書いてあるので、わかりやすい。 ・学習の振り返りがPDFデータで公開されており、教科書に書き込まなくても使用できて良い。 ・デジタル対応には及ばないが、副教材の必要がなく、教科書だけで十分な内容となっている。 ・2次元コードの表示があり活用したいと思った。 ・動画やワークシートなどのコンテンツがある。 ・2次元コードを授業で使うことができる。 ・ワークシートやレポート用紙、動画、Webページなどがページ右下の2次元コードから読み取ることができる。 ・調理や布を用いた製作など、2次元コードから動画を再生できる点が良い。
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
	・教科書にシールがついているのは他にはない特色。ただ、教科書でワーク的なことをやらせることはない。なぜなら提出をさせにくいからだ。教科書に直接書きこみ、回収提出、返却は現実的ではない。 ・読みにくいのが気になる。画面、構成を整理してほしい。目が滑る。 ・「探究的な学びや家庭学習での使いやすさ」という点で、P.137のお弁当をつくろうというページがあるのが良い。 ・内容も、卵焼きの作り方が、写真で1枚1枚丁寧に表示しており、生徒が自分で作ってみたいという意欲を感じる資料だと思う。 ・副教材の購入が必要ないくらい資料が多い、見やすい。 ・SDGsについて、記載されているページがある。 ・対話的な学習が教科書を使用して授業で使いやすい。 ・SDGsへの配慮ができていて、いろいろな場面で使いやすくなっている。 ・「学びを生かそう」が各単元の最後に記載されており、探究的な学びを深める工夫がされている。 ・SDGsの表記はあるが、関連付けた資料などは提示されていない。 ・学びを深めるための基礎となる資料が充実している。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	技術・家庭	種目	家庭分野
教科用図書名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	発行者	開隆堂出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・多様な家族を紹介するページでアニメやドラマの登場人物を取り上げていないのは開隆堂だけなので、生徒に想像しやすいものとして具体例として使っても良いのではないかと思います。
- ・「学び方、考え方の習得」という点で、豆知識が1カ所にまとまっているので、わかりやすいと思う。
- ・今までの踏襲の上で分かりやすく現代的になっているところが良い。また特に、家族に関する分野に対して、これまでより、多様な形の家族への配慮があって良い。
- ・基礎基本を重視している。学習の流れが分かりやすい。
- ・学習した内容を家庭でも取り組むことができるような記載がされている。また、Q&Aなども紹介され、科学的根拠も示されている。
- ・学習内容を主体的・対話的・深い学びの視点で捉え、学習過程が明確で取り組みやすい。
- ・「先輩からのエール」により、生徒の学習意欲を高めることができる内容が記載されている。
- ・食分野の「1日にとりたい食品と分量」が実物大の写真になっているので、生徒に伝わりやすい。
- ・基礎基本を重視している。学習の流れが分かりやすい。学び方や進め方がどの单元でも同じになり深い学びにつなげられる。ガイダンスでは3年間の流れをみながら、見通しを持たせ使用させることができる。
- ・調理実習の食材の欄にアレルギー物質を含む食材が分かりやすく記載されており、学習を振り返ることや、食への興味につながると感じた。
- ・興味を引くような差し込み資料が多いので、資料から考えることができる。
- ・「考えてみよう」や「発表してみよう」など、主体的に考えることへの呼び水的資料が多い。
- ・発展的内容が他の教科書に比べて少ないが基本的な内容理解にはシンプルで良いと思う。
- ・教材は正確でわかりやすい。
- ・身近な題材を取り上げて、生徒の興味関心、理解を深める工夫がされている。
- ・実践方法について提示されている。
- ・基礎・基本的な知識や技能の定着ができるように内容が充実している。
- ・学習の流れが分かりやすく、最新をデータを見ながら学習することができる。
- ・グラフが最新のデータになっており、現状を理解しながら学習を進めることができる。
- ・切り方やミシンの資料など、拡大されているのでわかりやすい。
- ・「考えてみよう」など、知識を生かして考え、表現できるような問いかけが各領域の最後に設定されている。
- ・「調理」や「布を使った作品の製作」の教材は充実していて適切である。
- ・社会の流れに即した教材が少なめで弱い。特にグローバルな視点や環境。
- ・生徒に深く考えさせるための基礎的な情報や投げかけが少なめである。

観点② 構成及び分量
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ ○各領域の分量、発達段階に応じた分量 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い ○基礎的・基本的事項等の取り扱い
意見
・適当であると思う。ただ、主観的な表現や受け取り方次第な面が、特に序盤の家族・家庭生活の分野で多いことが気になる。もう少し、具体例や、客観的な視点で、用語の解説などもしっかりしてほしい。少々不足に感じられる。 ・「教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い」という点で、住まいの安全の題材で、高齢者と幼児で分けて内容が書いてある点がわかりやすい。しかし、災害への対策については、もう少し、防災教育への意識が高まるような資料があると良いと思う。 ・ガイダンスの内容がまとまっており便利。 ・理解を深めるための補助教材がもう少しあっても良い。内容の分量は適切である。 ・基本的な知識や技能を適切に習得できるように配列が工夫されている。 ・「小学校での学び」が記載されており、小学生のときに学習した内容と関連づけてすすめることができる。 ・単元ごとに「めあて」「キーワード」「ふり返る」があり、生徒自身の気づきにつながる。 ・献立作成用の巻末シールがあり、副教材を購入する必要がなくなる。 ・小学校のふり返りから、すぐに取り組みそうな実習例、練習作品などがある。 ・授業ごとに身近な話題があり生徒の気を引き、興味関心を持ち授業が進められる。地域や社会について視野が広がるように構成されている。内容の中にも持続可能な生活と結びつき分かりやすい。他教科とのつながりも分かりやすい。 ・単元や学習内容の目標が分かりやすい。 ・配列や量については適切である。 ・目標、本文、学習課題、まとめの流れで授業が進められるようになっている。 ・ガイダンス機能が充実している。 ・単元ごとの配列で見やすい。分量はちょうど良いと思う。 ・「加工食品の活用」では、防災について考える内容もあり、食生活と住生活を関連付けて発展的な学習ができる内容になっている。 ・発達の段階に応じた分量で、生徒が興味・関心をもって学習を進めることができる。 ・「参考」で補助資料が記載されており、学びをさらに深められる内容になっている。 ・各ページの下に「豆知識」があり、キーワードの補助をする内容になっている。 ・他教科、他分野とのつながりがわかりやすく示されている。
観点③ 表記及び表現
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述
意見
・誌面がすっきりしており、一番読みやすい。ただその分だけ内容が少々浅い所や、用語の解説が不足している面があるように感じられる。 ・「記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現」という点で、すっきりと統一感もあり、見やすいと思う。 ・57ページ、絵本の例が授業内で使用し辛い。 ・衣生活の製作例の難易度が高く、本校では実施できない。 ・ユニバーサルデザインフォントと、色覚に関する配慮がなされているところがとても良い。 ・実物大の写真や見分けやすい配色など、ユニバーサルデザインに配慮した記載がされている。 ・実験や実習などの資料が豊富で、分かりやすい。 ・文字が大きく読みやすい。一方で、資料やコラムの箇所の文字がやや小さく見づらい部分がある。 ・イラストが親しみやすく、写真と共に適切な量だと感じる。 ・単元ごとの「めあて」「キーワード」「ふり返る」や章のまとめで「学習のふり返り」という学習の流れができている。 ・実物の写真と挿絵がうまく使い分けられているので、とても理解しやすいし分かりやすい。 ・視覚的な資料が充実している。 ・ページごとに形式が大きく異なり、一貫性が弱い。 ・話題や課題が新しく生徒が取り組みやすくなっている。 ・所々にふりがながふってあり、読みやすい表記になっている。 ・説明が必要なキーワードについては「参考」で補足されている。 ・各領域ごとに色が分かれており、見やすい。 ・実物大の写真は見やすいが、資料にある写真は少し小さい。 ・調理実習のページは、調理過程の写真と説明がわかりやすい。

観点④ 使用上の便宜	
☐ 全体の構成が見通せる配慮 ☐ 学習活動を進めやすくする配慮 ☐ 印刷、製本に対する配慮	
意	見
・とくに気になる点はなく、3者の中で一番読みやすい。 ・「印刷、製本に対する配慮」という点で、写真が多く、見やすい。 ・「全体の構成が見通せる配慮」という点で、他教科との関連性が書いてあるのは多角的に見通せて良いと思う。 ・3年生で保育体験をする年間指導計画の場合、この教科書は使いにくい。 ・目次を使用し、家庭分野のガイダンスをするが、「年中行事とわたしたちの暮らし」も使うことで、よりイメージがしやすくなる。 ・実習例や資料の多さから、厚みのある教科書ではあるが、副教材として、ワークや資料集を購入する必要がない。 ・内容が豊富なので、厚みがあるのはしかたがないと思う。紙質を変え、重量を抑えている。 ・料理の写真や写真資料のいくつかが暗かったり、ポケていたり、意欲につながりにくいと感じるものも多く差し込まれていることが気になった(以前に比べ分かりやすくなったという意見もあり)。 ・環境問題が心配される時代なので、もう少しスペースをとって、実際にどうすれば良いのか、生徒ができそうな具体例を挙げてもらえるとよい。 ・見開きで、授業の全体像が確認できる。 ・全体の構成が見やすく、進めやすい。 ・目次が単元ごとに色分けしており、学習内容を見通せるようになっている。 ・各領域の最初に単元の流れが記載されており、学習の流れが見通せるようになっている。 ・「もくじ」から「ガイダンス」のページが充実していて、これから何を学び、考えるのかがわかりやすく示されている。	
観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
☐ 2次元コードによる学習内容 ☐ 見やすさ、操作性	
意	見
・2次元コードを無理してつける傾向がどの教科書にもあるが、現実には、生徒が一斉にアクセスするとつながりにくくなるので、授業中に使うことはほとんど無い。授業内容の補助や生徒が自宅学習するときに手助けになる内容だと望ましい。 ・「2次元コードによる学習内容」という点で、右上に統一してあるのは良いが、どういう2次元コードなのか、内容が書いていないのがわかりにくい。 ・2次元コードが目立たないところにある。 ・学習のまとめの教科書とデジタル教材の形式が異なっている。 ・デジタル対応には及ばないが、副教材の必要がなく、教科書だけで十分な内容となっている。 ・デジタルコンテンツが関連のページごとにあり分かりやすい。全体的な表記もあり分かりやすい。 ・動画やワークシートなどのコンテンツが豊富にある。 ・2次元コードを授業で使うことができる。 ・ページの右上に2次元コードがあり、動画や資料を見ることができる。 ・「調理」を動画で見られる	
観点⑥ 特記すべき事項	
☐ 地域性への配慮 ☐ 探究的な学びや家庭学習での使いやすさ ☐ 対話的な学習が行いやすい工夫 ☐ SDGsへの配慮 ☐ その他	
意	見
・教科書でワーク的なことをやらせることはない。なぜなら提出をさせにくいからだ。教科書に直接書きこみ、回収提出、返却は現実的ではない。 ・「SDGsへの配慮」という点では、17のゴールが表示してあるのがわかりやすい。現在使用しているものの方が表記がわかりやすいような気がした。 ・多様な家族の形、生徒間の貧富の差、また国際化、海外をルーツに持つ生徒などがイラストになっている。 ・地域性の配慮としては東京の公立学校では、多様な家族の形、生徒間の貧富の差、また国際化、海外をルーツに持つ生徒が増えていることをもう少し念頭にいられたらとありがたい。家庭科は生徒の生活に直結しており、内容によっては傷つく生徒もいるということを考えてもらえるとよい。 ・技能や幼児に関わる内容を動画で確認できる。 ・右利き・左利きの生徒にも対応できる資料がある。 ・SDGsや多様性など、現代社会の課題について多く取り上げている。 ・対話的な学習が教科書を使用して授業で使いやすい。 ・SDGsへの配慮ができていて、いろいろな場面で使いやすくなっている。 ・ガイダンスのページに「持続可能な社会の構築へ」という内容はあるが、各領域・単元内にはSDGsに関連するものはない。 ・「生活の課題と実践」があり、生徒が自身の生活を見つめて課題を発見したり、設定できる内容になっている。 ・グローバルな視点が弱い。子どもの権利条約やユニセフといった人権にかかわることや、フードマイレージなど環境に関わることがかなり省かれている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	外国語	種目	英語
教科用図書名	NEW HORIZON English Course1・2・3	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

・目的・場面・状況を意識できるような工夫がされている。
 ・世界の様々な国の話が載っており、多様な文化を学ぶことができる。
 ・イラストや写真が多用され、見やすくなっている。
 ・Book1では身近な話題、Book2では日本の文化や伝統など、Book3では世界の問題など、発達の段階に応じてテーマの難度があがっている世界の様々な国の話が載っているため、多様な生き方や教え方に触れることができる。
 ・毎単元、最後のまとめ活動に向けて小活動を積み重ねていく構成なので、基礎基本をしっかり学習できる。
 ・コミュニケーション活動の Real Life English では「目的・場面・状況」を明確にし、意識して活動を行うようになっている。
 ・デジタルコンテンツが充実しており、興味・関心のある生徒であれば家庭学習で積極的に利用すると考えられる。
 ・日本国内の事だけではなく、他の教科書に比べて海外の文化に触れている単元が多い。そのため生徒が国内以外のことをたくさん触れられるように作っている。
 ・Unit Activityで社会問題を身近に学ぶことができる。
 ・Real Life Englishで実践的な会話表現を学ぶことができる。
 ・教材は適切で資料も問題がない。
 ・異文化理解のための題材が数多く収納されている。
 ・英語を使用する目的や場面が生徒に分かりやすく提示されている。
 ・海外や日本を訪れている人に対して使用できる、実生活に即した場面設定がされている。
 ・様々な国のことを紹介している。
 ・情報が多いため、主体的に学ぼうとするときの選択の幅も広がりやすい。
 ・身近な話題、日本文化や伝統、世界の問題等、発達段階に応じたテーマ設定がされている。
 ・Real Life Englishは「目的・場面・状況」を明確にした活動になっている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
 ○各領域の分量、発達の段階に応じた分量
 ○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
 ○基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

・情報量も多くて読む力を育てられる。
 ・ラウンドリーディング方式で、単元末の言語活動に向けて、着実にステップアップできるような仕組みになっている。
 ・単元の導入から本文まで物語として続いており、系統性がある。
 ・適量である。
 ・Book1の前半まで小学校の復習を兼ねた「話す」活動があるので、帯活動等で復習しやすい。
 ・様々な分野の内容が用いられている。1年生の前半はbe動詞・一般動詞・三単現・疑問詞など基本的な内容を、時間をかけて丁寧に学習するような構成となっている。
 ・他の教科書に比べて適量で、的確に重要文法に触れている。
 ・本文は適切な文字数である。
 ・Stage Activityで日常的话题に関して多くの情報が得られるのがよい。
 ・配列・量ともの適切である。
 ・英語を使用する目的や場面が生徒に分かりやすく提示されている。
 ・海外や日本を訪れている人に対して使用できる、実生活に即した場面設定がされている。
 ・各Unitでは、Unitのゴールに向かって系統性のある学習の流れを構築できるようになっている。
 ・1年生前半はbe動詞・一般動詞・三単現・疑問詞など、丁寧に学習できる構成である。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・写真も絵も多く、分かりやすい。
- ・イラストや写真などが効果的に使われている。
- ・文字が大きく見やすい。
- ・Book1はUDフォントを使用している。重要なところは色が使われていて見やすい。
- ・学習のめあてやねらいが各パートごとに統一して書かれている。
- ・他の教科書に比べて、場面にあわせた新出文法を登場させ、生徒が初めて見る文法でも推測させやすい構成になっている。
- ・わかりやすく、読みやすい表記である。
- ・グラフや図表がとても見やすい。
- ・教科書本文と文法の組み合わせが適切であり、わかりやすい。
- ・やさしい教科書体を採用している。
- ・色の使い分けも適切にされている。
- ・注目するポイントや発問が明確になっている。
- ・重要なところは色が使われていて見やすく学習しやすい。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・小学校中学校接続の観点から、題材や内容が工夫されている。
- ・単元のまとまりを重視した構成のため、次にどのような活動あるか予想しやすい。
- ・各ページ右上にある2次元コードから、本文の音読ページにアクセス可能。
- ・サイズが大きく見やすい。
- ・全てのページが見やすく見通せる構成になっている。
- ・「学習の見通しを立てよう」のページの文字が多くわかりづらい。
- ・2次元コードなどを活用することで、学習活動が進めやすくなっている。
- ・各レッスンの最後にWriteやListen、Talkなどの発展的な活動ページがあり、段階的な学習に取り組むことができる。
- ・Unitの数を絞った単元構成のため、内容を精選していることがわかる。
- ・ページ数を少なくできているため軽量化されている。
- ・紙面のサイズが大きく全体が見やすい。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・2次元コードで繰り返し音声を聞くことができるようになっている。
- ・解説動画の中のKey Sentence(どこでも学習できる、言いたいことが言える本文用例検索機能)が便利そう。
- ・Digital Mapなど、世界について知ることができる資料が豊富で、どれも生徒が興味を持ちやすそうな内容だった。
- ・見本が教員用では無く、生徒用のデジタル教科書だったので、フラッシュカード機能などが確認できなかった。
- ・デジタルコンテンツはすごく充実している。特に文法解説動画があり、ただ文字が動くだけでは無く、人がわかりやすく解説してくれている。生徒が自宅が学習でも大いに活用できる物となっている。
- ・2次元コードでPreviewのアニメが見られたり語句のクイズが見られたりして使いやすい。
- ・解説動画等が充実している。
- ・2次元コードの利用で、家庭学習の機会が保証されている。
- ・2次元コードを使って多彩なデジタルコンテンツにアクセスできる。
- ・解説動画の中にある「どこでも学習できる、言いたいことが言える本文用例検索機能」により家庭学習に活用できる。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・Small Talkのためのページが設定されており、ペアでの対話活動がしやすくなっている。
- ・Dquizを活用し、家庭学習でもゲーム感覚で学習できる。
- ・全ての単元の終わりに、その単元でそこで習った文法を使った会話練習が設定されている。さらなるレベルアップを図りながら、対話的な学習が行える。
- ・環境問題、エネルギー問題、自然保護など、様々な話題について深く学ぶことができる。
- ・章末に発展的・対話的な文法演習が提示されている。
- ・単元毎の自己評価活動やCAN-DOリストにより振り返りができる。
- ・世界や他の国々との関係を紹介することによって、SDGsに結びつけ、考えを深められるようにしている。
- ・Unitに定められたためあてを基に提示されているUnit Activityの内容が充実している。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	外国語	種目	英語
教科用図書名	Sunshine English Course1・2・3	発行者	開隆堂出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・特に3年生の教材は考えを深めることができるものが多い。
- ・本文内容導入のための背景や知識を学び、その内容把握し、retellや自己表現を通して、深い学びができる構成になっている。
- ・マンガ形式で新出表現を学習できるようになっており、基礎的な内容が充実している。
- ・単元にストーリー性をもたせ、深い学びができるようになっている。
- ・文法指導の部分では、聞くこと→話すこと・書くことという流れになっているので導入しやすい。
- ・本文指導では、導入にリスニングがあって話題に関連することを聞くことで指導に入る雰囲気作りがしやすい。
- ・RetellではStep1～3に分かれていて、できることを少しずつ増やしていける構成になっている。
- ・各プログラムの最初に、イラストを交えてどのような表現ができるようになるか明示されていてわかりやすい。
- ・英語早わりのページがよくまとめられている。
- ・Review&Retellで、自分のことばで伝える練習を充分に行うことができる。
- ・教材は適切で資料も問題がない。
- ・基礎的な内容をイラストで学べるようになっている。
- ・各プログラムにおける"scenes"で、どんな生徒にも身近に感じられるトピックを取り扱っているため、導入がしやすいと感じる。
- ・具体的な場面を想像しやすい内容を扱っている。
- ・それぞれの単語の比較を比較するまとめなどでは、具体的な図でわかりやすく表現している。
- ・Stepで発表のコツや、簡単な表現の言い換え、Our Projectで役立つ技能が示されている。
- ・グループで発表をしたり、課題解決活動したりする設定がある。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・基本的事項がはっきりと示されていて分かりやすくなっている。
- ・2年生に入っていた現在完了が3年生に入り、2年生で学ぶ文法事項の量が適切になったと思う。
- ・ターゲットとなる文法事項が明記されている。Scenesや本文、actionまでが一貫した内容になっており、理解を深めることができる。文章量も適切である。
- ・5つのコーナー(Program, Our Project, Step, Power-UP, Reading)を設け、様々な場面を取り上げている。
- ・小学校の振り返りができるページを設けている。
- ・RetellではStep1～3に分かれていて、できることを少しずつ増やしていける構成になっている。
- ・Book1の前半まで小学校の復習を兼ねた「話す」活動があるので、帯活動等で復習しやすい。
- ・文法指導のところではシンプルな構成になっているため、指導者は工夫しやすい。
- ・Retellの後にActionの活動が加わったことで、より実践的な英語表現を身に付けることができる。
- ・Coffee Breakがとても興味を引き付けられる内容である。
- ・配列・量ともの適切である。
- ・小学校と復習教材も充実している。
- ・生徒にとって興味・関心高められるような単元構成になっている。
- ・発展性、系統性も適切である。
- ・Scenes→Part1→Action→まとめの流れにより、系統性をもって学習を進められる。
- ・巻末資料アクションカードは繰り返し学習が必要な単語が扱われていて、復習ができる。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・色使いもよく、写真も多くて生徒の興味をひく表現になっていると感じる。
- ・巻末の単語表は発音記号が加わり、情報も増えたのがよいが、文字が小さく薄いと感じる。
- ・写真や挿絵の多用で、視覚的に理解を助ける構成となっている。文化の多様さにも触れられる題材となっている。
- ・写真やイラスト(マンガ形式)を多用しており、苦手な生徒でもとつきやすい。
- ・Book1は読みやすい字の大きさとフォントを使用している。
- ・イラストが少なめで見やすい。
- ・イラストや写真が見やすい。
- ・生徒の興味を引くイラストを効果的に使用しており、わかりやすい。
- ・フォントにUDを使用しており、特別支援の観点での配慮を感じ取れる。
- ・文字が太く大きめに表記されている。
- ・扉のページに各単元の「できるようになること」がイラスト付きで提示され、目標が明確に示されている。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・sceneと本文がつながった内容になり、一貫したストーリーが追えるようになっている。
- ・UDフォントを使用し、発達の段階に応じた書体にもなっている。
- ・見開きで簡潔にまとめられている。
- ・目標の確認や達成度の確認ができるようになっている。また、どのようなことができるようになるかについて、確認できる。
- ・文法の導入で指導する内容が毎単元でパターン化されているので生徒が次の活動を想定しやすい。
- ・Story Preview、教科書の構成、のページが見やすく生徒の興味を引く内容である。
- ・まとめで、学習の確認・振り返りができるようになっている。
- ・各Programの導入では、場面設定が提示されており、見開きでListenやWritingなどが簡潔にまとめられている。
- ・見開きの中で簡潔にまとめられているため、ページ数が増えないため軽量化できている。
- ・A4版サイズなのでしっかりと見開きができ、環境に配慮した用紙やインキを使用している。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意見

- ・2次元コードからアクセスすることで、音声や動画を視聴でき、家庭学習の機会が保証されている。
- ・視聴用の2次元コードがあり、家庭学習でも取り組めるようになっている。
- ・単語アプリを使い、生徒が楽しく学ぶことができる。
- ・動画が見られるとなおよい。
- ・解説動画等が見られるようになっている。
- ・デジタル教科書では、各PROGRAMの本文題材の背景、関連資料を映像化されたMovieがあり、生徒の興味・関心を引き出し、理解を深めるのに役立つ。
- ・2次元コードを利用して、様々な利用価値のあるデジタルコンテンツにアクセスできる。
- ・家庭学習で音声と動画によって予習・復習を進められる。
- ・Listenでは再生速度が選択できるように改良された。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意見

- ・retellで、内容をより深める構成となっている。また、Our Projectで統合的なパフォーマンス活動を行うことができるよう設定されている。
- ・Our Projectというコーナーで協働的な学びができる活動を設定している。
- ・各学年にSDGsに関連した内容を取り上げている。
- ・世界の貧困問題、環境問題など多岐にわたった話題が取り上げられている。
- ・対話的・協働的な学びを充実させる、コーナーが設定されている。
- ・SDGsの17項目の目標のうち多くの項目に当てはまる題材が、3学年を通して扱われている。
- ・各PROGRAMにリテリングのページがあるのも特有の編集である。
- ・世界で活躍する日本出身者が紹介され、メッセージが紹介されている。
- ・3年間を通してSDGsの国際目標のうち10項目が含まれている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	外国語	種目	英語
教科用図書名	NEW CROWN English Series1・2・3	発行者	株式会社三省堂

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・普遍的な内容も、現在の流行もどちらも兼ね備えている。
- ・本文の内容がSDGsの題材を多く取り入れており、教科横断的な学びが期待できる。
- ・時事問題や昔の文学など、バラエティに富んだ内容を扱っていて良い。
- ・Language Focusのページで、複数の文法事項を1度にまとめて扱っているのが気になった。
- ・Book1は「聞く」小活動を多く取り入れており、小学校での学習スタイルとつなげやすい。
- ・Listenでは必要な情報の概要や要点を聞き取る練習、Readでは必要な情報を抽出して読み取る練習となっており、実生活で求められる能力の育成ができる。
- ・扉ページで導入し、Part1・2で文法を知り、その後読む・書く・話すという小活動に移っていくので、インプット→アウトプットの流れがしっかりしている。
- ・各単元のまとめの活動であるGOAL Activityが親しみやすく、取り組みやすそう。
- ・他教科と関連したテーマを多く扱っていて良い。
- ・生徒の関心を引きつける内容になっており、意欲的に取り組みやすい。
- ・例文があり、何を学ぶのか明確で分かりやすい。
- ・題材が発達の段階に応じた内容で、学校生活、異文化理解、社会、自然科学など多岐にわたっている。
- ・タスクが充実しており、言語材料を用いて何ができるようになるのか明確になっている。
- ・情報が細かく記載されている。
- ・自己表現をする活動が多く設定されている。
- ・教材は適切で資料も問題がない。
- ・異文化理解のための題材が数多く収納されている。
- ・アクティビティが充実しており、表現力向上が期待できる。
- ・多様な題材を扱い、内容は適切である。
- ・中学生が知りたいと考えるような題材や、身の回りの社会的な課題について、考えられるように設定されている。
- ・小学校からの円滑な接続に配慮し、習熟から活用へと展開できるプロセスが明確である。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・単語の覚え方など、学習ストラテジーに関する内容が多く取り入れられており、自律的な学習者の育成が期待できる。
- ・単元によって小活動の4技能の重点が違うので、バラエティ豊か。
- ・扉ページのQuestionがシンプルで、導入の際に取り入れやすい。
- ・1つの単元の中に4技能の活動がバランス良く入っている。
- ・物語のサイドストーリー的な内容の長文が多く乗っており、物語を楽しみつつ、読解力を強化できる。
- ・Book1の前半で、小学校で学んだ表現を、話す小活動で復習し、書く小活動で補強している。
- ・生徒自身の活動する機会が多く盛り込まれており、表現の幅が広がる。
- ・1時間に取り扱うであろう言語材料の量が適切で、生徒が、無理なくじっくり取り組める内容である。
- ・5領域のバランスに配慮した言語活動が充実している。
- ・文法事項の説明がわかりやすい。
- ・本文と発展的な読み物との関連付けがなされている。
- ・配列・量とも適切である。
- ・巻末補助教材により、表現力向上が期待できる。
- ・生徒自身の活動する機会がとて多く盛り込まれており、表現の幅が広がると考える。
- ・goal activityなど中学校で学んだことを生かす場面が設定されている。
- ・小学校で学んできたことを生かせるように、系統性をもって学べるように構成されている。
- ・1つの単元の中に4技能の活動がバランス良く入っている。

観点③ 表記及び表現

○わかりやすく、読みやすい表記、表現

○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現

○一貫性をもった記述

意見

- ・写真も絵も多く、分かりやすい。
- ・4コマ漫画など、生徒が楽しみながら英語学習を行えるような仕掛けが、取り入れられている。
- ・Book1は読みやすい字の大きさとフォントを使用している。
- ・イラストが多く、文を読むのが難しい場合も内容を想起しやすい。
- ・大人の女性の絵が漫画的で幼く、違和感を感じる。
- ・一貫性があり適切である。
- ・本文の量は適切で文字の大きさやフォントにも配慮が見られ、生徒たちが扱いやすい内容になっている。
- ・イラストは見やすく、愛着を持てるようなキャラクター設定になっている。
- ・文字の表記がわかりやすい。
- ・イラストも見やすい。
- ・生徒の興味を引くイラストを効果的に使用しており、わかりやすい。
- ・文字の大きさ、行間ともに読みやすい。
- ・見開きで、新出文法と本文が掲載されている。
- ・学びやすくなるように、表現が工夫されている。
- ・教科書が大きく読みやすさが重視されている。
- ・イラストが多く、文を読むのが難しい場合も内容を想起しやすい。

観点④ 使用上の便宜

○全体の構成が見通せる配慮

○学習活動を進めやすくする配慮

○印刷、製本に対する配慮

意見

- ・インデックスが見やすい。
- ・各単元の扉ページに学びの見通しを立てるためのQ&Aや小活動がある。
- ・デジタルコンテンツの中に文法解説動画があるので、家庭学習でも説明を聞きながら文法の復習ができる。
- ・大きくて見やすい。
- ・巻末の付録が充実していて、生徒の表現の幅を広げるのに役立つ。
- ・写真やイラストの印刷は鮮明で見やすい。
- ・単元の始まりの説明がわかりやすい。
- ・レイアウトや図表イラストも見やすくなっている。
- ・各パートごとに文法のまとめのページがあり、知識を整理しやすい。
- ・特別な支援が必要な生徒や、色の差を判別しづらい生徒へ配慮された構成になっている。
- ・見開き1ページに文法導入・本文・listen・speakがまとめられ、主体的な学びを支援している。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・2次元コードで音声が入るので、沢山家で復習ができる。
- ・英和辞典が使いやすい。
- ・見本が教員用ではなく、生徒用のデジタル教科書だったので、フラッシュカード機能などが確認できなかった。
- ・2次元コードを使用しており、自習学習ができるような内容になっている。
- ・生徒自身で操作できるような簡易性がよい。
- ・生徒が活用しやすい内容になっている。
- ・解説動画等が見られるようになっている。
- ・2次元コードの活用ができ、スマートフォンやタブレット端末を用いた自学自習が可能。
- ・家庭学習で活用するための2次元コードから展開できるコンテンツが用意されている。
- ・英和辞典が使いやすく、学習の役に立つ。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・ロールプレイの場面が多く設定されているので、ペアやグループでのやり取りができる。
- ・デジタルコンテンツを活用し、家庭学習でもマイク機能を使って発音チェックができる。
- ・2次元コードを使用しており、自習学習ができるような内容になっている。
- ・自己表現が充実した内容になっている。じっくりと表現活動が行える工夫が施されている。
- ・様々な話題を幅広く取り扱っている。
- ・2次元コードなどを活用することで、学習活動が進めやすくなっている。
- ・小学校での学びを生かし、中学校での学びへとスムーズに接続できるようにするために工夫されている。
- ・わかりやすいイラストを用いることで家庭学習でも活用できるようになっている。
- ・幅広いジャンルの教材が扱われており、適切である。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	外国語	種目	英語
教科用図書名	ONE WORLD English Course1・2・3	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・1年生では、小中の連携が意識された内容になっている。身近な話題が取り扱われている。
- ・Lessonごとに文法のまとめが簡潔にまとめられている。
- ・既習事項を使用したやりとりも盛り込まれている。
- ・題材ごとにThink & Tryと表し、主体的対話的に取り組むことができるようになっている。
- ・各学年興味深いReading教材がある。
- ・Taskによって単元で学んだ文法事項に関して、自己表現する活動を行うことができる。
- ・文法解説以外に、2次元コードのリンク先でその他のやりとり例などを活用できる。
- ・Projectでは、ペアやグループでの表現活動を支える活動が見やすく、扱いやすい量である。
- ・新出文法を会話や文章から読み取り、使い方を理解しながら教える段階的な内容になっていて、生徒に考えさせながら文法の導入をすることができる。
- ・資料がととも見やすく活用できる。
- ・小学校からの学習との連携がしやすい。
- ・即興で会話をする手立てなどが用意されていて、実践的な英語力を身につけることができる。
- ・教材は適切で資料も問題がない。
- ・ペア・グループワークが充実しており、表現力向上が期待できる。
- ・めあて確認と振り返りの実施が提示されており、学びやすい。
- ・日本語で読んだことのある教材を取り扱っている。
- ・様々な国を紹介するといったような、中学生が興味関心をもちやすい題材を豊富に掲載している。
- ・写真やイラストは鮮明でわかりやすい。また、「まなびリンク」で動画や音声を再生できる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・Lessonごとに目標や振り返りが設定されていて良い。
- ・他教科と関連のある題材を使用している。
- ・生徒の話題に関連する内容が多く取り入れられており、親近感をもって学習できる。
- ・英文の内容量も適量と考える。
- ・分量は適度である。
- ・本文の量が多く、各授業で十分な量の英文に触れられる。
- ・物語文や会話文が多く、読解力を付けやすい構成になっている。Part1～3の各パートで4技能を総合的に学べる構成になっている。
- ・程よい分量である。
- ・文法事項の表記がわかりやすい。
- ・配列は適切である。
- ・本文の量が多いが、授業内で十分に消化できる内容である。
- ・本文の量が多く、生徒が1回の授業でたくさんの量の文を読むことができる。
- ・Scen→Key sentence→Listeningという流れで配列されており、系統性をもって授業を構成することができる。
- ・Grammarで日本語の補足と英文を左右で分け、注目すべき箇所がわかりやすい。

観点③ 表記及び表現

○わかりやすく、読みやすい表記、表現

○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現

○一貫性をもった記述

意 見

- ・文字も図なども分かりやすい。
- ・写真が多用されており、視覚的な補助で、内容の理解や導入に役立っている。
- ・文字も発達の段階に応じて使用されている。
- ・Lessonの扉には目標が、末には振り返りが設定されており、一貫性をもたせている。
- ・マンガのイラストを取り入れ、読む事への負担感が減っている。
- ・目にやさしい色使いになっている。
- ・写真がふんだんに使われていて生徒の興味を引く。
- ・生徒の興味を引くイラストを効果的に使用しており、わかりやすい。
- ・イラストや写真は鮮明で、本文理解を助けるものとなっている。
- ・挿し絵が多くない部分や、色の付いた背景の上に文字が書かれている部分がある。
- ・アイコンで活動内容を明示しており、身につけるべき技能がわかりやすい。

観点④ 使用上の便宜

○全体の構成が見通せる配慮

○学習活動を進めやすくする配慮

○印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・見開きで完結している。
- ・その授業でのkeyが示されており、Listenや活動・考える機会が与えられている。
- ・全体構成が見える形になっているが、その分文字が小さくなっている。
- ・学び方のコツをつかみやすい。
- ・全体構成が見通せる配慮がなされている。
- ・巻末にCAN-DOリストがあり、見通しをもって学習できる。
- ・教科書の大きさが特徴的である。
- ・環境に配慮された再生紙・インクを使用している。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・教科書の2次元コードを読み込み、家庭で自主的に活用する機会が保証されている。 ・生徒の主体的な学習を可能とするデジタルコンテンツが豊富(本文音声の他、文法解説動画などもある)。 ・2次元コードのリスニングが取り組みやすい。 ・本文音声・解説動画などが充実している。 ・2次元コードは生徒が自主学習するために有効だと思う。 ・2次元コードからアクセスできる、家庭学習のためのコンテンツが用意されている。 ・教科書の2次元コードから簡単に「まなびリンク」にアクセスでき、多様な興味や学びに対応したデジタルコンテンツを利用することができる。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・各学年に、SDGsに関連した題材が取り扱われていて良い。 ・2次元コードからデジタル教材を活用しやすい。 ・Words&Phrases学習シートは家庭学習や考査対策として生徒が自主的に活用しやすくなっている。 ・SDGsの取り組みが数多く紹介されている。 ・2次元コードなどを活用することで、学習活動が進めやすくなっている。 ・SDGs(持続可能な開発目標)として平和や環境問題について身の回りからできることを取り上げている。 ・各Lessonの目標が明確に示されている。また、3学年の段階的な学習到達目標が巻末の「Can-Do 自己チェックリスト」に明示されている。 ・他教科やSDGsとの関連を示しておく等、教科横断的な学習を進められるようになっている。 ・Activity Plusはペアやグループでの対話を広げることができる。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	外国語	種目	英語
教科用図書名	Here We Go! ENGLISH COURSE1・2・3	発行者	光村図書出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・一貫したストーリーで生徒が感情移入しやすい、興味をもちやすい。
- ・キャラクターが生徒一人ひとりに考えるよう投げかけが設定されている。
- ・考える機会が意識的に作られていて良い。
- ・巻末に即興で活動する教材がある。
- ・外国の中学生の生活や世界の食文化、伝統など中学生が興味を持ちやすい様々なテーマを取り上げている。
- ・文章と共に写真や地図などが添えてあり、わかりやすい。
- ・Book1の前半では短い会話文から文法を導入し、インプットに重点を置いている。
- ・後半で長文読解が始まることで、読む量が段階的に増えるよう配慮されている。
- ・見開きページで左がターゲット文法を使った本文、右側が活動をなっており、インプット→アウトプットの流れがわかりやすい。
- ・文法のまとめのページが、細かく分かれているのが良い。
- ・帯活動などで補助教材Let's Talkを活用することで、即興的なスピーキング力を育てることができる。書くUnitのGOALの中に、グループ活動やグループ発表が多くて良い。
- ・物語の番外編を描いた補充用リーディング教材がついており、推測しながら読む力を育てることができる。
- ・単語が多いと思ったが、適量か。
- ・ターゲットセンテンスはもう少し丸暗記しやすい文が良い。
- ・ストーリーの内容は面白く、興味を引きやすい。
- ・TorF, Q&Aの両方があるのは良い。
- ・日本学校と世界の学校を比較するなど、異文化について深く知ることができる。
- ・日本のことを世界の人々に知ってもらうための豊富な題材が揃っている。
- ・教材は適切で資料も問題がない。
- ・ストーリー展開が生徒の興味の引く内容になっている。
- ・登場人物の数が多く、ペアワークがしにくい。
- ・基本文がどんな時に使われるのか説明が分かりやすい。
- ・単元ごとに学習のGoalが設定されており、学び方、考え方を身に付けやすくなっている。
- ・身近な題材を用いることで、自分のこととして考えられるようにしている。
- ・ストーリーを中心に学習する構成で、英語を使う目的・場面・状況がわかりやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・巻末に、CAN-DO-LISTや学び方ガイド、思考の地図などがついており、生徒が学びを調整できるような工夫がなされている。
- ・各Bookに、学期ごとに実施することをイメージしたまとめの活動が3つ入っている。
- ・1つのPartに4技能のミニ・アクティビティがバランス良く入っている。
- ・Let's Talkが以前よりも使いやすそう。
- ・インプット→アウトプットの構成がしっかりしており、第2言語習得の理論に則って学習が設定されている。
- ・be動詞の肯定文、疑問文、否定文、一般動詞の肯定文、疑問文、否定文という順番の方が体系的に学べるのではないかな。
- ・本文の語数が多い。
- ・3人以上の登場人物が話すので、ペアワークができない。
- ・Story Retellingがあるのは良いが、ユニットの後にあった方が扱いやすい。
- ・本文の内容に関連した公式サイトや例文が紹介されていて、知識を広げ、言語活動に活用することができる。
- ・リーディングワークシートがあり、読む力を伸ばすことができる。
- ・配列は適切である。
- ・本文の量が多いが、授業内で十分に消化できる内容である。
- ・帯活動でStory Retellingのページがあることで、3年間繰り返し取り組むことができ、即興力を身につけることができる。
- ・小学校での学習を踏まえて配列されている。
- ・発達の段階に応じて適切に分量設定されている。
- ・Let's Talk(話す活動)のテーマが身近な内容で親しみやすく扱いやすい。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・写真が多く、視覚的なアプローチでどの生徒にもわかりやすく場面を想像しやすい設定となっていて良い。
- ・Book1は字の大きさ・フォント共に読みやすさに配慮している。
- ・色使いが目優しい、見やすい。
- ・絵柄が落ち着いていて親しみやすい。
- ・ページによって絵や写真のレイアウトが違うのが気になった。
- ・適切である。
- ・左ページのPart1、Part2の見出しが、どのUnitなのかぱっと見でわからない。
- ・挿絵は見やすく、わかりやすい。
- ・UD字体が読みやすくてよい。
- ・わかりやすい英文の表記の仕方である。
- ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。
- ・生徒の興味を引くイラストを効果的に使用しており、わかりやすい。
- ・写真や挿絵が多用されており、理解しやすい。UD字体も使用されており、読みやすくなっている。
- ・基本文、本文、リスニングなど、単元で学んだ内容を整理しやすく構成されている。
- ・文字や色についてユニバーサルデザインを取り入れているため、見やすくなっている。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・同世代の世界のさまざまな話題を取り扱っており、生徒が自分自身と重ね、考えやすい教材。
- ・毎単元、扉ページで導入し、Part1・2で文法を学び、GOALで4技能の活動を行う、という流れが徹底されており、生徒も次にどのような作業を行うのか予想しやすい。
- ・巻末に「英語の学び方ガイド」が載っており、学習方法のヒントなどが載っている。
- ・本が大きすぎず、持ち運びが楽。
- ・生徒が自分自身と重ね、考えやすい教材である。
- ・全体の構成は見通しやすい。
- ・Unitごとの色分けがあると良かった。
- ・A4の大きさで良かったのではないかな。
- ・デジタル教科書にすべての漢字のふりがなが表示されていて、配慮が必要な生徒が学習を進めやすい。
- ・全体構成が見通せる配慮がなされている。
- ・巻末の付録(単語の成り立ち等)が図入りで分かりやすい。
- ・評価の観点に記載されている。
- ・各Unitが主教材のストーリーに沿って、4技能をバランスよく学習できる流れになっている。
- ・A4版と同じ幅の正方形に近いサイズで、環境に配慮した紙、植物油を使用している。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・2次元コードから内容のドラマや基本文を見たり聴いたりすることができて良い。
- ・Eri and Kotaと学ぶ基本文を使い、自宅で再度文法事項を確認できる。
- ・教員用のデジタル教科書では無く、生徒用だったので、フラッシュカード機能などが確認できなかった。
- ・2次元コードで音声を聞けるのは良い。
- ・Q&Aのリスニングで教科書の内容を復習したり各単元のゴールを確認したりできる。
- ・音声を聞くことができる。
- ・映像、音声コンテンツが充実している。
- ・World Tourについての2次元コードでのサポートが手厚い。
- ・多彩なコンテンツが用意されており、主体的に学ぶことができる。
- ・文法説明のアニメーションを使い、自宅学習で文法事項を振り返ることができる。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・即興的なスピーキング力をつけるためのやりとりや練習が取り入れられている。
- ・既習表現を用いて発信できるように、工夫されている。
- ・デジタルコンテンツにリスニング教材の音声とスクリプトが入っているので、授業で聞ききれなかった内容を自宅学習で確認することができる。
- ・防災や環境問題など、SDGsに配慮した内容を扱っている。
- ・SDGsの話もあるので良い。
- ・生徒1人ひとりが学びやすい方法を選ぶことができ、自宅で使いやすい内容である。
- ・SDGsについて、学べるページがある。
- ・SDGsやその他の教科につながる題材が豊富である。
- ・ストーリー仕立てによる構成で、目的・場面・状況の3要素に触れ、「使える英語」を意識した内容となっている。
- ・ターゲットを示すだけでなく、内容にしっかりと取り組ませて、SDGsについて自分事として考えられるようにしている。
- ・ICTを活用した学習イメージが教科書巻頭に示されている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	外国語	種目	英語
教科用図書名	BLUE SKY English Course1・2・3	発行者	株式会社新興出版社啓林館

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・本文の内容がSDGsの題材を多く取り入れており、教科横断的な学びが期待できる。
- ・丁寧な構成の小中連続として、「聞く」「話す」「文字と音」をふり返りようになっている。
- ・学習段階を考慮しながら、「書く」ことへのスムーズな流れとなるようなサポートがされている。
- ・Unitに入る前に小学校で学んだ内容の復習の単元になっているが、内容が少なく感じる。
- ・「3-Dアート」や「世界で働く」など生徒が興味・関心をもてるような資料や題材になっている。
- ・生徒の興味を引きつける人物やキャラクターが数多く登場している。
- ・教材は適切で資料も問題がない。
- ・めあて確認と振り返りの実施が提示されており、学びやすい。
- ・異文化理解のための題材が数多く収納されている。
- ・文法の説明事項がUnitのパートごとに説明されていて、分かりやすい。
- ・小学校と中学校の接続を意識した内容になっている。
- ・世界地図を掲載して、様々な国を紹介している。
- ・中学校1年生でUnitに入るまでの小学校での既習事項の復習がやや不十分である。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・文章量が増え、多くの情報を得ることができる。
- ・Focus on formのページが設定されていて、文法や文型への理解が促されるような構成になっている。
- ・小中高の接続を意識した編集となっている。
- ・扉ページと各Unitのページに目標が明示されていて、学習者の習得すべきことが明確。
- ・内容がコンパクトにまとまっている。
- ・生徒にとって興味・関心高められるような流れを意識した単元構成になっている。発展性、系統性もほぼ適切である。
- ・各partではGet Ready, Practice, Useの活動を用いて基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための活動を設定している。
- ・単元の導入から本文まで物語として続いており、系統性がある。
- ・適量である。
- ・単元一覧表の文字が細かく見にくい。
- ・ワークシート集が充実している。
- ・配列・量ともの適切である。
- ・基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための活動を各章で設定している。小学校と復習教材も充実している。
- ・話す活動と書く活動が繋がり、段階的になっているので取り組みやすい。特に書く活動は、内容に困ってしまう生徒がいるので書き始めやすい。
- ・指導の一貫性としての流れが適切に図られている。
- ・余白を作らないくらい文字が敷き詰められている。
- ・適宜単語を調べられるようになっており、基礎的・基本的事項は十分カバーしている。
- ・「聞くこと」に少し重きが置かれている。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・イラストや写真が多く取り入れられており、苦手意識の払拭につながる。
- ・生徒に好かれるような爽やかなイラストやアニメで構成されている。
- ・各UnitのPartで本文と新出文法およびPracticeが見開き1ページで配列。Listen、Speak、Writeの練習をし、新出文法の基礎・基本を習得することができる。
- ・イラストや絵の色のバランスがよく、見やすい。
- ・吹き出しの英語が少し見づらい。
- ・文字が細かく見づらい。
- ・挿絵も小さめである。
- ・生徒の興味を引くイラストや写真を効果的に使用しており、わかりやすい。
- ・ページレイアウトが適切である。
- ・ユニバーサルデザイン(UD)フォントを用いて、手書き風になっているため、アルファベットを習得の時期に、混乱しない字体になっている。
- ・情報量が多くなっている。そのため文字が小さい部分がある。
- ・説明する内容がすべて記載されているため、内容が多い。
- ・本文の文字の大きさは1年生の初期から大きく変わっていない。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・インデックスが見やすい。
- ・読みやすい字体である。
- ・はっきりした写真の色合いである。
- ・写真やイラストなどをたくさん用いているが、見やすい配色になっている。
- ・写真が使用されており、題材への興味関心を深めることができる。
- ・特別支援に配慮した読みやすい表記、表現である。色覚の配慮もされてとても見やすい。
- ・1ページあたりの情報量が適切で見やすい。
- ・文法指導から、長文まで、系統性があるので単元を通して同じ話題で指導しやすい。
- ・生徒にとっても復習しやすいと考える。
- ・Unitの扉のページで扱うテーマ、内容を見通しやすい。
- ・Read and Thinkで本文の内容を整理し、More Informationで理解を深めることができる。
- ・全体構成が見通せる配慮がなされている。
- ・目次を見ると、内容が分かる。
- ・Unitの最初には全体の内容を聞き取るだけでなく、画像も併せて作成されている。
- ・イラストと写真どちらも多用されており、生徒の興味・関心を引くものになっている。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・2次元コードで音声が開けるので、家で沢山、復習ができる。
- ・デジタルコンテンツで、音声や資料をスマートフォンやタブレット、PC等で家庭にて活用することができる。
- ・音声と文字を通して単語や本文の内容が確認できるので便利である。
- ・特別な支援が必要な生徒に配慮された機能が充実している。
- ・音声や資料を見ることができる。
- ・2次元コードは多くの場所に掲載されている。
- ・本文の音声や文字を2次元コンテンツでも確認することができる。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・ロールプレイの場面が多く設定されているので、ペアやグループでのやり取りができる。
- ・生徒を惹きつける多様な題材が取り上げられ、文化を比較し、自国文化を深く知ることができるようになっている。
- ・SDGsと向き合い、世界の課題を正しく捉える教材の工夫がなされている。
- ・比較文化、日本文化、地域社会、職業・生き方についてなど、多岐にわたってSDGsを通して英語学習ができる。
- ・SDGsについて、積極的に取り組んでいる。
- ・実生活に即したコミュニケーション活動を行えるような内容になっている。
- ・帯教材として使用できるページがある。
- ・全学年を通してSDGsに配慮した題材を使用している。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	道徳	種目	道徳
教科用図書名	新編 新しい道徳1・2・3	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・HIKAKINなど親しみやすい導入教材が良い。
- ・話し合いの方法や心情円を用いた表現を学ぶ機会がある。
- ・新規教材とともに、親しんできた教材も使われている。
- ・身近な内容も含まれており、自分のこととして考えることができる教材が使われている。
- ・内容も分かりやすい題材が多い。教材や資料も分かりやすい。中学生でも知っている人(ヒカキンなど)の話も合って面白い。
- ・主体的・対話的な学びになるような配慮が見られる。
- ・内容項目に即した、教材の内容になっている。
- ・読み物だけでなく、漫画も取り入れている。教材の最初に漫画の名言などを使うことで関心を引ける。
- ・1つ目がHIKAKINの内容で、驚いた。
- ・現代のSNSやネットについても触れていて、内容は適切である。
- ・付録に書かれている内容が興味深い。
- ・落ち着いた色が適用されていて見やすい。
- ・教材の冒頭に学習のテーマが記載されていて、学ぶための準備ができる。
- ・つぶやきの欄があって、読みながら気付いたことを書くことができる。
- ・読みながらメモを取ることがよい。
- ・心情円を活用して、自分の考えを表現しながら学習を進められる点が良い。
- ・生徒の実態に合った、適切な内容である。
- ・学び方について丁寧に示されている。
- ・巻頭に、学び方等がかかれていてよい。
- ・教材は適切である。
- ・ほとんど適切で、よい教材がたくさんある。
- ・イラストや写真のバランスが丁度良い。
- ・各内容項目に「考えよう」「みつめよう」の2つが準備されているため、思考力・判断力・表現力の育成になると考える。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・「挨拶」などでなく、「どうせ無理という言葉に負けない」などより具体的な題材になっていてよい。
- ・それぞれの観点の教材がバランス良く入っている。
- ・分量、発達の段階に応じた分量が適切である。
- ・短く終わる教材もあれば長いものもあり、多種多様である。また実話や漫画などの話もある。
- ・付録の補充教材が豊富である。Plusとして扱う部分に有名人などが登場するなど面白い。
- ・HIKAKINやティモンディが出てきて、生徒が進んで学習に取り組めそう。
- ・現在使用していることもあるが、絵と字のバランスがとても良い。
- ・付録に書かれている内容が興味深い。
- ・発問の内容が適切である。
- ・補足資料が充実している。
- ・分量はちょうどよい。
- ・分量は適切である。
- ・発達の段階に応じた分量が考慮されている。
- ・価値項目がおおよそ均等(集団や社会とのかかわりはすこし多い)。
- ・文章の長さは、おおよそ発達の段階に適している。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意見

- ・図や写真、イラストを使うことで内容が読みやすくなっている。
- ・生徒が共感しやすい挿し絵が使われている。
- ・写真や絵を見て視覚的に考えることができる題材があり分かりやすい。
- ・巻頭には「道徳の学び方」について明記されている。
- ・2次元コードから朗読できるので、活用しやすい。
- ・色のバランスが良い。
- ・心情円が活用できることを知らせてくれる。
- ・漫画やイラストなど、視覚的にわかりやすく示している。
- ・写真が多く使われている。
- ・読みやすい。
- ・わかりやすく読みやすい。
- ・挿絵も写真も多様できれいである。
- ・わかりやすい字体と配置になっている。
- ・各内容に「考えよう」と「みつめよう」があり、一貫性がある。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意見

- ・1年間の流れが見えるように掲載されているので使用しやすい。
- ・4つの指導項目別に色分けされているのは分かりやすい。
- ・巻頭にオリエンテーションがある。
- ・目次に合わせて、内容項目別のページもあり、目的や見通しを立てて学習することができる。
- ・色別に分けられているので、見やすい。
- ・東日本大震災があって、防災と絡めた道徳の内容が強調されている。
- ・字の大きさが適切である。
- ・ワークシートが付いていてわかりやすい。
- ・学期ごとに振り返りができるようになっている。
- ・全体の構成は見渡せるように目次にもテーマのくくりが色分けされている。
- ・製本はしっかりしている。印刷もきれい。
- ・目次で価値項目ごとの色分けを見ながら、年間を見通した指導計画を練ることができる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・デジタルコンテンツが充実している。 ・2次元コードを利用して、文章を読むのが苦手な生徒でもスムーズに取り組むことができる。 ・Dマークがあるページでは、デジタルコンテンツが用意されている。 ・2次元コードやURLから、教材と関連する映像や、関連する他教科の教科書紙面などを見ることができる。 ・1つの2次元コードを読み込んだら、一覧で出てくるのが便利。 ・音声とワークシートが示されている。 ・適切である。 ・注釈付きの2次元コードがあって、音声など聞ける。 ・教科書記載の2次元コードからワークシートや動画の資料が充実している。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・SDGsの教材が3つあり、付録として掲載されているので、生徒の状況に応じて使いやすい。 ・NHK for schoolの教材が各学年にあり、考えやすい。SDGsの内容が含まれた教材が付録に準備されている。 ・最新の要素が多く、興味をそそられる内容があり、読みたくなる内容も多かった。 ・SDGsについて学ぶ付録がある。 ・心情円が付属しているのがよい。 ・本文の頭の2次元コードで、朗読やワークシートまで出てくる。 ・SDGsと関連している項目の教材を数点載せてあるが、その他の教材も関わる内容がある。 ・心情円は協働的な学びの促進につながる。 ・SDGsに関連する教材が3つ入っている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	道徳	種目	道徳
教科用図書名	中学道徳1・2・3 とびだそう未来へ	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・いじめの図やダイヤルなど実際に行動に移すところまで考えている。
- ・話し合い活動を進めやすくするページが多くあって良い。
- ・環境問題や面接など、3年生として考えやすいものもあり良い。
- ・いじめや生命の尊さなど、生徒に身近な内容は複数の教材を使用しながら学習することができる。
- ・教材の内容は、生徒の発達の段階に合っており、身近で分かりやすい。
- ・内容項目がテーマ別にも分かれてまとめられており年間計画を作成する際に活用できる。
- ・巻頭には教材名と学習指導要領「特別の教科 道徳」の内容及び主題名との関連が明示されている。
- ・巻頭の部分で学び方が分かりやすく示されている。
- ・表紙の裏に各学年へのメッセージが書かれている。
- ・様々なテーマを扱っており、「ひろば」で学びを広げたりすることが出来るため、適切である。
- ・教材ごとに導入が用意されていて、わかりやすい。
- ・発問がまとまっているので、生徒の関心が高まる。
- ・学びの道しるべをみたら、何を考えるべきか確認することができる。
- ・導入があるので、学習の見通しをもつことができる。
- ・考えることをまとめているので、忘れたら確認することが出来る。
- ・話し合いのポイントがまとまっているから、それを参考にして話し合いを進めることができる。
- ・生徒の実態に合った、適切な内容である。
- ・学び方について最初に示されている。
- ・学びの道しるべがあり、よい。
- ・内容はおおむね適切であると思われる。
- ・発達の段階も考慮している。
- ・イラストや写真のバランスが丁度良い。
- ・各内容項目に「学びの道しるべ」は段階を追った発問が明記されており、生徒たちが考えを深めることにつながると考える。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・それぞれの観点の教材がバランス良く入っている。
- ・量が少なく、イラストの多い教材が、もう少しあっても良いと感じる。
- ・ワークシートがデータとしてあり、生徒の記録や振り返りを行うことができる。
- ・目次に何について考える教材(主題のようなもの)が書かれており、何について考えるかが明確である。
- ・1年生から分量が多く、3年生まで1単位時間で終わらせそうな分量が守られている。
- ・SDGSも意識した内容がある。
- ・文字が見やすい。
- ・左上に内容が書かれているのが気になる。
- ・各教材の導入と発問がまとまっている。
- ・適切である。
- ・新しい教材と古くから引き継がれている教材がバランスよくある。
- ・分量は適切である。発達の段階も考慮している。
- ・価値項目がおおよそ均等。
- ・文章の長さは、おおよそ発達の段階に適している。

観点③ 表記及び表現

○わかりやすく、読みやすい表記、表現

○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現

○一貫性をもった記述

意見

- ・右下に主題があるのがよい。
- ・学びの道しるべが3つ書いてある。
- ・文章と挿絵や写真のバランスが良く、読みやすいと感じる教材が多く、良い。
- ・感情移入がしやすい挿し絵を使っている。
- ・漫画であったり、写真であったり生徒に印象を与える教材もある。
- ・写真、イラストが多用されており、読み物教材内の状況がイメージしやすい。
- ・体験的な学習(やってみよう)があるので、内容がわかりやすい。
- ・見やすい。
- ・導入の発問があることで、見通しを持ちやすい。
- ・いくつかの項目で漫画を入れるなど、視覚的にわかりやすく示している。
- ・挿絵や写真も適当である。
- ・写真も挿絵もほとんどはきれいなものが掲載されている。
- ・わかりやすい字体と配置になっている。
- ・各内容に「学びの道しるべ」があり、一貫性がある。

観点④ 使用上の便宜

○全体の構成が見通せる配慮

○学習活動を進めやすくする配慮

○印刷、製本に対する配慮

意見

- ・書き込みがあるのはよいが、書きやすい素材でなく、結局違う紙に書くことになりそう。
- ・生徒が記入する枠があったり、話の進め方が書いてあったりと学習を進めやすいと感じた。
- ・1年間、1時間の学びが見やすく揭示されている。
- ・教科書のサイズが小さく使いやすい。
- ・内容項目がマークで分けられており、自分自身について考えるのか、他人との関係について考えるかなど、何について考えるかが明確になる。
- ・内容項目のまとまりがあまり感じられない。
- ・2次元コードから一覧を確認することができる。
- ・文字の大きさが適切である。
- ・話し合いのテーマについて示されている。
- ・問題ない。
- ・全体の構成は目次でも巻末のテーマ別の表でも見渡せるようになっている。
- ・製本印刷はしっかりしている。
- ・各価値項目を示すイラストが内容ごとに記載されている。それらを見ながら、年間を見通した指導計画を練ることができる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・補足資料が充実している。 ・2次元コードが付いており、教材の学びを深めたりすることができる。 ・まなびリンクが全教材に用意されており、教材解説や補足資料が見られるようになっている。 ・関心を高める動画を確認することができた。 ・教材の解説が示されている。 ・2次元コードが1つ1つの読み物ごとについている。 ・2次元コードで教材解説や様々な補助資料を見られる。 ・教科書記載の2次元コード資料は情報量が少ない。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・教材と関連するSDGsの目標が表示されていて、分かりやすく考えやすくなっている。 ・対話的な教材も多く使われており、生徒も対話を通して、考えや思いが共有できやすくなっている。 ・巻頭にSDGsとの関連について書かれている。 ・巻頭に話し合いの方法などについての記載がある。 ・道しるべがあるので、対話が進めやすい。 ・SDGsについて説明はあるが、関連は示されていない。 ・対話的な学習が行いやすい工夫がある。 ・学習の学びを広げる方法を巻頭に説明してある。 ・SDGsとの関連も考えようと巻頭に書いてある。 ・良い教材であるため、良い発問、対話的な学習を進めることができる。 ・発問がいくつか示されているため、対話的活動にスムーズにつなげることができる。 ・SDGsに関連する工夫はない。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	道徳	種目	道徳
教科用図書名	中学道徳 1・2・3 きみがいちばん ひかるとき	発行者	光村図書出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・ヨシタケシンスケさんの記載は興味が喚起されそうでよい。
- ・付録で小学校の教材があるのがよい。
- ・内容項目のイラストがかわいらしくてよい。
- ・グループ活動の進め方などが書いてあり、主体的に学習が進めやすい。
- ・人権意識を高められる教材が多く掲載されている。
- ・生徒の発達の段階に合っており、教材は分かりやすい。自ら考え、話し合うことのできるテーマが多い。また他の発行者と比べるとイラストなどが教材に多く使われており、視覚的にも話の内容がわかりやすい。
- ・教材によっては話し合いの補助資料となる物もあり、対話的な学びが促進される。
- ・道徳では他の発行者だけでなく自分の考えや思想と向き合う時間であることが求められていることが分かる。
- ・すべての内容項目がバランスよくあるので、適切である。
- ・発問や考えてみようという欄が多い。
- ・教材によっては、導入の発問が設定されていて、関心を高める工夫がある。
- ・学びの記録を毎回残すことができる。
- ・見方を変えて考えさせる発問が設定されている。
- ・日常生活に繋がる質問があって、身近に問題をとらえやすい。
- ・朗読を2次元コードから確認することができる。
- ・生徒の実態に合った、適切な内容である。
- ・学び方について示されている。
- ・話し合い活動に導けるページが工夫されている。
- ・教材は適切である。
- ・発達の段階も考慮されている。
- ・イラストや写真のバランスが丁度良い。
- ・各内容項目に「見方を変えて」という発問がある。さまざまな登場人物の視点から物事をとらえていく力の育成になると考える。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・まなびをプラスの内容が分かりやすくて良い。
- ・「自分に問う」「友だちと問い合う」「生き方を問う」という3つの観点で道徳を学ぶことができる。
- ・多様な教材があり、多面的・多角的に考えさせられる。
- ・付録として掲載している部分もあり、学校事情等に配慮しながら、全体的に道徳的諸価値を学び合えると感じられる。
- ・分量は適していると思われる。
- ・題材によって色や構成、書き方に変化があり、さまざまな内容を学んでいることを意識して感じられる。
- ・明確にABCDの内容項目が分かれて記されているページがあり、何について考える教材が明確である。
- ・ユニットのテーマごとに分けられているので、捉えやすい。
- ・文字の大きさも適切。
- ・道徳で大切にしたいことを授業の中で確認することができる。
- ・発問が項目ごとにあるので、物語の内容をとらえやすい。
- ・補足資料が充実している。
- ・導入に、学びの準備ができるようになっている。
- ・発展性のある教材も入っている。
- ・発達の段階も考慮されている。
- ・価値項目がユニットごとに分かれていて教員も生徒もわかりやすい
- ・文章の長さは、おおそ発達の段階に適している。

観点③ 表記及び表現

○わかりやすく、読みやすい表記、表現

○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現

○一貫性をもった記述

意 見

- ・「考えよう」だけが横書きで少し見にくい。
- ・イラストや写真はポップで見やすい。
- ・イラストが具体的で分かりやすかった。
- ・親しみやすい挿し絵が使われている。
- ・絵や写真が多く、読み物資料内の状況がイメージしやすい。色使いもよい。
- ・教材別テーマ一覧が掲載されており、教員も指導する資料の単元を把握できる。
- ・漫画風の資料が全学年にある。
- ・文字の大きさは1年生～3年生まで同じ大きさである。
- ・カラフルな写真も多く見やすい。
- ・大きさも適切である。
- ・「つなげよう」で授業の内容をより深めることができる。
- ・漫画やイラストなど、視覚的にわかりやすく示している。
- ・字は小さい。
- ・色味が薄い。
- ・読みやすく表現されている。
- ・挿し絵が美しく、写真が鮮明である。
- ・わかりやすい字体と配置になっている。
- ・各内容に「見方を変えて」があり、物事を多様な視点からとらえさせようという一貫性がある。

観点④ 使用上の便宜

○全体の構成が見通せる配慮

○学習活動を進めやすくする配慮

○印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・「まなびの記録」はあまり書かなそう。
- ・生徒の発達に応じた1年間の流れが組まれている。
- ・テーマ別に示されているので、見通しよく学ぶことができる配慮がなされている。
- ・比較的、取り扱いやすい内容になっており、対話的な活動は行いやすい。
- ・テーマを深めて考えることができる。
- ・最初の項目で道徳の学び方を確認してから教科書の内容を学ぶことができる。
- ・毎回の授業で振り返りを行うことができる。
- ・丁寧で見やすい。
- ・話し合いのテーマについて示されている。
- ・発展的な取組についても示されている。
- ・ルビが適切に使われている。
- ・目次では、テーマを色別に示している。
- ・巻末にテーマ別の表があり、全体を見渡して計画しやすくなっている。
- ・目次で価値項目ごとのユニットを見ながら、年間を見通した指導計画を練ることができる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意見

- ・動画や朗読の2次元コードがあって活用しやすい。
- ・2次元コードから世界人権宣言や日本国憲法前文などに触れることができる。
- ・各教材に2次元コードがついており、動画などの資料を使いながら考えさせることができる。
- ・朗読の内容もここから確認することができる。
- ・音声資料が読み取れる。
- ・朗読してくれる2次元コードあり。
- ・注釈付きの2次元コードで朗読や動画など見ることができる。
- ・教科書記載の2次元コードは朗読のみが基本である。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意見

- ・「見方を変えて」というポイントが示されていて良い。
- ・対話しながら学習できる教材が含まれている。
- ・SDGsの内容に関連する教材はわかりやすく載っている。
- ・1年後、自分自身がどのように成長していきたいのか、最初に考えることで見通しを持って、学習に臨むことができる。
- ・SDGsについての関連が示されている。
- ・教材の終わりにSDGsと関連のあるものはマークがついているが、どう関連しているかなどはわかりづらい。
- ・良い教材が多いので、良い発問、対話的な学習を進められる。
- ・各科目や、SDGsとの関わりは、表紙だけだとわからないが、各ページではわかりやすい。
- ・SDGsに関連する教材が3つ入っている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	道徳	種目	道徳
教科用図書名	中学道徳 あすを生きる1・2・3 中学道徳 あすを生きる1・2・3 道徳ノート	発行者	日本文教出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・教材が面白い。
- ・巻末が読み物として面白い。
- ・流行を取り入れた内容もあり、子どもたちが取り組みやすいと感じた。
- ・生徒が主体的に考えられる教材が用いられている。
- ・道徳ノートが付属しており、ノートの内容としても、対話しやすいワークシートとして構成されている。
- ・巻頭の道徳の学び方の内容は巻末の内容項目はわかりやすい。
- ・ミニ教材を含めて、内容を深めるための仕掛けがされており、適切である。
- ・冒頭に内容が一言でまとめてあって、全体像を捉えやすい。
- ・写真と文字のバランスが取られていて、見やすい。
- ・決まった答えにとらわれずに、生徒とともに考えていこうという姿勢を感じる。
- ・漫画のように描かれている内容も多く、学ぼうと思える。
- ・自分にプラスワンという発問が自分自身の成長に繋がると感じさせる。
- ・冒頭にどんなことを学べるか記載されており、自分の成長のために道徳を学ぶということが確認できる。
- ・生徒の実態に合った、適切な内容である。
- ・学び方について最初に示されている。
- ・ノートが付属しており、目標や目当てがわかりやすい。
- ・教材は適切である。
- ・発達の段階も考慮されている。
- ・イラストや写真のバランスが丁度良い。
- ・各内容項目に「考えよう」「明日の私にプラスワン」の2つが準備されているため、資料それぞれの価値づけがしやすい。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じての分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・道徳ノートの中心発問が分かりやすい。
- ・3年間を見通した構成と配列がされている。
- ・全体の分量はちょうどよい。
- ・目次だけでなく、テーマ別の配列を示したページも用意されており、内容のつながりについて見通しを立てて考えられる工夫がされている。
- ・あしたへのメッセージの内容が良い。
- ・文字数、文字の大きさ、バランスどれも適切である。
- ・コンテンツがすべての内容において準備されているのがよい。
- ・捉えやすい。
- ・補足資料が充実している。
- ・明日へのメッセージなど、いろいろな人の言葉が使われている。
- ・発達の段階に応じて分量も適切に設定されている。
- ・価値項目が均等に配置されている。
- ・文章の長さは、おおよそ発達の段階に適している。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・右下に挿絵の登場人物がわかりやすくなっているのがよい。
- ・ユニバーサルデザインに配慮した誌面を心がけている(フォント、振り仮名など)。
- ・イラストが豊富である。
- ・適切である。
- ・絵のタッチがよい。心温まるような印象を受けた。
- ・冒頭にテーマがまとめてあってよい。
- ・漫画やイラストなど、視覚的にわかりやすく示している。
- ・字が小さめ。
- ・絵や写真が多い。
- ・やや文字が小さい。
- ・挿し絵がきれいである。写真も適切である。
- ・中心発問に合った挿絵が多い。
- ・各内容に「考えよう」と「明日の自分にプラスワン」があり、一貫性がある。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・ノート付属は助かるが、資料や評価データ(通知表に使えるもの)があるとよい。
- ・ノートとセットになっているので、学習のルーティンができそう。
- ・教材の流れがわかりやすく、1時間の見通しが持てるようになっている。
- ・道徳ノートが付属しており、他の副教材などを用意しなくとも、学習活動を進めやすくしている。
- ・学び方が冒頭にまとまっている。
- ・内容項目別教材が一覧になっていて、学びたい時期によって変更することができそう。
- ・適切である。
- ・話し合いのテーマが示されている。
- ・付録の道徳ノートにワークシートがある。
- ・学びを進めるヒントがある。
- ・目次がテーマ別に色分けされている。
- ・巻末の内容項目別に示された表も見やすい。
- ・印刷製本も丁寧である。
- ・P176の内容項目別教材一覧を見ながら、年間を見通した指導計画を練ることができる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
・2次元コードから、タブレットにダウンロードして記入できるなら、書字にコンプレックスがある子でも取り組みやすい。 ・全教材に2次元コードがついており、資料などを見たり朗読があったりして、良い。 ・デジタルコンテンツが充実している。 ・朗読の動画もここから読み取れるのが便利。 ・音声とワークシートまた、シンキングツールが示されている。 ・すべての項目に2次元コードがある。 ・2次元コードで音声や動画を見ることができる。 ・教科書記載の2次元コードからワークシートや動画、登場人物の経歴などの資料が充実している。	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
・裏移りがある。 ・「学びを深めよう」のページに具体例があり、対話しやすい。 ・地域との関わりをテーマにした教材が掲載されている。 ・SDGsの内容が含まれた教材も載っている。 ・文字を読むのが苦手な生徒にとって、2次元コードに朗読の動画が入っているのは助かると思う。 ・SDGsについて説明はあるが、関連は示されていない。 ・SDGsとの関連が示されている。 ・別冊のノートは、教師の発問数に制約(2問)がある。 ・別冊のノートを用いた自学自習は想定されていない。 ・全教材に、SDGsとの関連が示されている。 ・SDGsに関連する教材にはわかりやすく印がつけられている。	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	道徳	種目	道徳
教科用図書名	新版 中学生の道徳 明日への扉1・2・3	発行者	株式会社Gakken

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・テーマがよくわからない。
- ・タイトルの下の書き抜かれている言葉が何だかよくわからない。
- ・深めようの「やってみよう」などで学習の進め方などの記載があり、生徒たちで主体的に活動できると感じた。
- ・LGBTQについて、触れていて良い。
- ・考えを深める4つのステップがあり、学習に取り組みやすくなっている。
- ・「深めよう」と「クローズアップ」では考えを深めたり新たな視点から物事を見たり、考えたりすることができる。
- ・現代のSNSについても触れていて、生徒が自分事として捉えやすい内容である。
- ・クローズアップでより深くその内容について学ぶことができる。
- ・内容ごとに番号が振られていて、今何をやっているのか一目で確認することが出来る。
- ・各ページに気になる言葉が割り振られていて、内容をもっと知りたくするような工夫がされている。
- ・テーマで色分けされている工夫がされている。
- ・それぞれのページに考えるきっかけがちりばめられていて、自然と考えてしまう仕掛けが良い。
- ・クローズアップの内容を読むとより一層内容項目について深めることができる。
- ・生徒の実態に合った、適切な内容である。
- ・学び方について最初に示されている。
- ・漫画なども組み込まれており、わかりやすい。
- ・教材は適切である。
- ・発達の段階も考慮して選ばれている。
- ・イラストや写真のバランスが丁度良い。
- ・各内容項目に「深めよう」が設定されており、事象を多面的・多角的にとらえる力を育成することにつながる。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・「いじめ防止のために」や「LGBT」などダイレクトなテーマがある。
- ・多角的な教材がそろっていて良い。
- ・分量は適切である。
- ・イラストなども多く、読みやすく感じる。
- ・社会の一員としての内容が多く、中学校3年生として社会のことにたくさん触れることが出来る。
- ・適切である。
- ・学びを深めるデジタルコンテンツに動画があって、興味をひかれる。
- ・考えようの主発問が捉えにくい。
- ・クローズアップいろいろな活動など、工夫がある。
- ・構成、分量は適切に設定されている。
- ・価値項目がおおよそ均等
- ・文章の長さは、おおよそ発達の段階に適している。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述	
意	見
・使われているマークが分かりやすくて良い。 ・ユニバーサルフォントを使用している。 ・文字のサイズも他社同様、見やすい仕様となっている。 ・写真も多いので、見やすい。 ・写真が多いから、文章に集中できるのか心配。 ・適切である。 ・いくつかの項目で漫画を入れるなど、視覚的にわかりやすく示している。 ・絵や挿絵が多い。 ・挿し絵や図、写真等は適切で見やすいものが使われている。 ・わかりやすい字体と配置になっている。 ・イラストが他の発行者より多い。 ・各内容にどの価値項目が含まれているかがイラストで明確に示され、一貫性がある。	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮	
意	見
・クローズアップや深めようが良い。 ・考えを深める4つのステップがあり、学習に取り組みやすくなっている。 ・テーマごとに教材の目次にイラストがあり、何について考えるかが明確に記載されている。 ・P6の自分の人生をよりよくするためのヒントがまとめられているところが良い。 ・学期ごとに道徳の振り返りシートは必要なのか。 ・字の大きさが適切である。 ・話し合いのテーマについて示されている。 ・適切である。 ・マークを多用し、目次でそれらの関連を示している。 ・目次で価値項目ごとの色分けを見ながら、年間を見通した指導計画を練ることができる。	

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・1つの2次元コードで一覧表が出てくるので、使いやすい。
- ・デジタルコンテンツが充実し、ワークシートや音声を授業で活用できる。
- ・2次元コードがついている教材には動画資料や関連資料があり、さまざまな角度から考えられる。
- ・動画のまとめが裏面にあり、該当箇所が探しやすい。
- ・いくつかの項目について、ワークシートやシンキングツールが示されている。
- ・必要に応じて2次元コードが使えるようになっている。
- ・2次元コードからは、関連資料などが見られるが、その数は少ない。
- ・教科書記載の2次元コードからワークシートの資料がいくつかある。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・多様性のマークが良い。
- ・SDGsの教材も多く掲載されている。
- ・SDGsの内容が含まれた教材も載っている。
- ・よりよく生きていくためのヒントがこの教科書には載っている気がして、内容をもっと深く読みたくなる。
- ・SDGsについてユニット学習する設定がある。
- ・SDGsへの関連が示されている。
- ・心情円は協働的な学びの促進につながる。
- ・SDGsに関連する教材が3つ入っている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	道徳	種目	道徳
教科用図書名	中学生の道徳1・2・3	発行者	あかつき教育図書株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・スポーツ選手の採用が生徒が憧れやすそうであり、定番もあって良い。
- ・生徒の身近な題材や行事などが扱われていてよい。
- ・興味をもって読める内容もあって良い。
- ・生徒が主体的に考えられる教材が用いられている。
- ・概ね適切である。
- ・漫画などの教材もあり、様々な視点から考えを深められる。
- ・道徳科の時間で学ぶべきこと、学んでほしいことを最初の項目で確認することで、1年間の見通しを持つことができる。
- ・内容項目が色ごとにわけてあってわかりやすい。
- ・全ての文字数を数えたわけではないが、1ページに書いてある文字が多い気がして見にくい。
- ・自分と向き合う発問、内容を深めるための発問にわかれていて、発問をとらえやすい。
- ・写真と文章のバランスがよい。
- ・マイプラスで内容をより深めることができる。
- ・本書の冒頭で「自分自身と向き合う」時間を道徳で学ぶと確認して、内容に入るの自然と道徳を学びたいと思える。
- ・生徒の実態に合った、適切な内容である。
- ・学び方について最初に示されている。
- ・実在する(した)人物などの内容が多く取り上げられている。
- ・名作といわれる教材も数多く掲載されている。
- ・新しい教材でも生徒が共感しやすく読みやすい教材が満載である。
- ・イラストや写真のバランスが丁度良い。
- ・各内容項目でバラバラの副教材がある。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・発達の段階に応じた文章量や教材となっている。
- ・最初の授業で「道徳はじまりの時間」という教材を用いて、今の自分を振り返ることができるようになっている。
- ・テーマ一覧がキーワードとリンクしており、分かりやすい。
- ・他の発行者同様ひとつの教材の長さが、学年ごとに調整されている。
- ・大谷翔平のような最近の話題にも触れていて興味がわいてくる。
- ・文字数が他の発行者に比べると多い印象。
- ・自分を成長させるための時間だと感じる。
- ・発問が捉えやすい。
- ・適切である。
- ・新しい教材と古くから引き継がれている教材がバランス良くある。
- ・発展性のある教材も入っている。発達の段階を考えた、適切な分量になっている。
- ・3年生の教材は長めであるが、内容として学ばせる価値のあるテーマになっている。
- ・価値項目がおおよそ均等
- ・文章の長さは、おおよそ発達の段階に適している。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・UDの字で好き嫌いが分かれそう。道徳開き(P6)用の字が大きい。
- ・UDフォントで見やすい。
- ・写真や挿絵を用いて、視覚的に訴えていて、生徒の想像がしやすいようになっている。
- ・文字の色だけでなく、フォントも工夫されている。
- ・本文のフォントは1番見やすく感じた。
- ・絵、写真が少ない気がするので、見やすい。
- ・文字の大きさが適切である。
- ・自分との対話で発問が用意されているのが良い。
- ・いくつかの項目で漫画を入れるなど、視覚的にわかりやすく示している。
- ・ルビが振られている。
- ・字はやや小さめ。
- ・わかりやすく読みやすい。
- ・挿絵や写真はきれいで適切である。
- ・補助資料も写真などで本文のそばについているのでわかりやすい。
- ・UD教科書体の見やすいデザイン・配置になっている。
- ・ルビが多く、帰国生への配慮が感じられる。
- ・各内容に「深めよう」、「Thinking」、「プラスワン」などコンテンツがありすぎて、一貫性に欠ける。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・見開きには、目次で学習内容が確認でき、学びのキーワードなどを通して、自分を見つめたり、さまざまな視点から考えたり、自分の生き方を考えるヒントを与えていてよい。
- ・B5判で持ちやすくなっている。
- ・目次にテーマが載っているため、何について考えるかが明確になっている。
- ・項目ごとに色分けされているのでわかりやすい。
- ・1年間で気になった内容を振り返ることができる。
- ・適切である。
- ・話し合いのテーマについて示されている。
- ・自分を見つめる→考えを深めるといった、流れができています。
- ・全体の構成をテーマ別で見渡せる表がある。
- ・目次には、重点テーマがわかるように色付けしてある。
- ・巻末には内容項目順に教材を並べた表もあり、授業をする側も、生徒が自学するときにも、見通しをもてる工夫がある。
- ・製本はしっかりしており、印刷は鮮明である。
- ・目次で価値項目ごとの色分けを見ながら、年間を見通した指導計画を練ることができる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・2次元コードから関係する情報を見ることができて良い。
- ・デジタルコンテンツが充実し、ワークシートや音声を授業で活用できる。
- ・2次元コードがついている教材に関しては資料を使いながら考えさせることができる。
- ・2次元コードによる、学習は他の発行者に比べると少ない印象。
- ・いくつかの項目で、解説・関連動画が示されている。
- ・必要な部分に2次元コードがある。
- ・注釈付きの2次元コードで関連のある資料をみることができる。
- ・教科書記載の2次元コードからワークシートや動画の資料が充実している。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・SDGsにかかわる内容が盛り込まれていて良い。
- ・グループでの役割演技や話し合いができるページがある。
- ・巻末にSDGsについて考えさせられるページがある。
- ・道徳で物語を読んで、筆者の気持ちを考えましようというだけでなく、自分自身の成長を手助けしてくれるような印象を受けた。
- ・SDGsについて関連は示されていない。
- ・MY PRUS ThinkingでSDGsと身近な話題が多い。
- ・自学できるような問いかけや問題提起が「自分との対話」や「マイプラス」にあり、工夫がされている。
- ・SDGsの視点からの巻末資料で、学びを広げる工夫がしてある。
- ・考えることが多く、1つひとつの発問を掘り下げることが難しい。
- ・SDGsに関連する教材が巻末のみである。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	道徳	種目	道徳
教科用図書名	道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方を見つめる 道徳 中学校3 生き方を創造する	発行者	日本教科書株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・自分自身のことや、中学生の興味のあること、行事など、幅広い内容を取り扱っている。
- ・ウェルビーイングカードがあり、自分にとってのよりよい生き方について、自分で考えながら実践することができる。
- ・有名ではない教材も載っており、オリジナル感はある。
- ・様々なテーマを扱っており、すべての内容項目がバランスよくある。
- ・テーマごとに割り振られていて、内容をとらえやすい。
- ・落ち着いた色が使われているので、見やすい。
- ・ウェルビーイングカードを活用してみたい。
- ・教材ごとにメモを取れる。
- ・メモの欄があるので範読を聞きながら、メモをとることができる。
- ・カードが他の発行者にはない強みである。
- ・生徒の実態に合った、適切な内容である。
- ・ウェルビーイングを意識した学び方が最初に示されている。
- ・写真や絵が多く使われており、わかりやすい。
- ・生徒が共感したり、考えたりするには高度な内容がいくつかある。
- ・イラストや写真のバランスが丁度良い。
- ・各内容項目に「考えよう」「深めよう」の2つが準備されているため、思考力・判断力・表現力の育成になると考える。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・目次で内容の確認でき、さらに、テーマごとにも掲載されていて、学ぶ内容やテーマが生徒にとってわかりやすい。
- ・年間指導計画に基づいて、教材を並び替えることができる。また、タイトルページが記載されていないので、先入観を持たずに教材に取り組むことができる。
- ・目次が内容項目ごとに並んでおり、わかりやすく感じた。
- ・適切である。
- ・色が落ち着いたしているので、配慮を感じる。
- ・教科書の大きさがほかの教科書と違う。
- ・氏名を書く欄が空白なだけである。
- ・補助教材については少ない。
- ・適切な分量である。
- ・分量は、3年間を通してみれば、およそ適切である。
- ・補助教材として、WELL-beingカードがある。
- ・価値項目がおおよそ均等(集団や社会とのかかわりはすこし多い)
- ・文章の長さは、おおよそ発達の段階に適している。

観点③ 表記及び表現

○わかりやすく、読みやすい表記、表現

○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現

○一貫性をもった記述

意見

- ・A-1など番号だけでなく内容項目があるとよい。
- ・大判の教科書で、文字が大きくて読みやすい反面、若干文章量が少ないように感じるが、生徒にとっては負担が少ないとも言える。
- ・写真や挿絵が使用されていて良い。
- ・適切な写真や挿し絵が使われている。
- ・イラストも多く、表紙のドラゴン桜風の絵はインパクトがある。
- ・色が少ないので、見やすい。
- ・フォントが他の発行者と違う気がする。
- ・資料の中に深めるための発問が用意されている。
- ・いくつかの項目で漫画を入れるなど、視覚的にわかりやすく示している。
- ・適切である。
- ・教科書がやや大きい。
- ・短文が多めで、読みやすい
- ・4コマ漫画の絵がやや幼い印象がある。
- ・わかりやすい字体と配置になっている。
- ・各内容に「考えよう」と「深めよう」があり、一貫性がある。

観点④ 使用上の便宜

○全体の構成が見通せる配慮

○学習活動を進めやすくする配慮

○印刷、製本に対する配慮

意見

- ・写真の色合いが落ち着いていて良い。
- ・1年間の流れが見えるように掲載されているので使用しやすい。
- ・教材の目次に何について考えるかが記載されている。
- ・教科書の冒頭にウォーミングアップが用意されている。
- ・カードのマークが記載されているものは、カードを活用して授業を進められる。
- ・字の大きさも適切である。
- ・話し合いのテーマについて示されている。
- ・適切である。
- ・内容項目順に配置されている。
- ・目次で価値項目ごとに見ながら、年間を見通した指導計画を練ることができる。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・2次元コードを読み取ることで、その教材に関する情報が得られるので良い。
- ・ドラマ仕立ての教材や、再現動画などが収録されており、視覚化されており、生徒が内容を理解しやすい。
- ・2次元コードがついている教材に関しては資料を使いながら考えさせることができる。
- ・専門性の高い動画が多い印象。
- ・いくつかの項目で、動画や資料が示されている。
- ・2次元コードは大きく示されている。
- ・2次元コードを読み取って出てくる画像と教材との関連性に乖離がある。
- ・教科書記載の2次元コードからワークシートや動画の資料が充実している。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・「ウェルビーイングカード」を利用して、自分の考えを選び、選んだ理由を仲間に伝えることで、新たな気づきを得られると考える。
- ・グループワークで考えを交換しやすい教材が掲載されている。
- ・SDGsの内容が含まれた教材は今回の中では最も少なく、また生徒に気づかせるようなページもない。
- ・ウェルビーイングカードを使ったことがないので、活用して授業をしてみたい。
- ・SDGsについての記載はない。
- ・メモ欄があり、ウェルビーイングカードがある。
- ・2次元コードには見出しが付いていない。
- ・ウェルビーイングカードは協働的な学びの促進につながる。
- ・SDGsに関連する教材が3つ入っている。